

- 「UNIX」は、X/Open Company Ltd.がライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- 「Adobe」「PostScript」は、Adobe Systems Incorporatedの各国での登録商標または商標です。
- 「SunOS」「Solaris」は、米国サン・マイクロシステムズ社の商標です。
- 「SPARCstation」は、SPARCInternational,Incの商標です。
- 「HP-UX」は、ヒューレットパッカード社の商標です。
- 「Linux」の名称は、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- 「Red Hat」は、Red Hat,inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「TurboLinux」の名称は、TurboLinux,Inc.の商標です。
- 「リュウミン L-KL」「中ゴシック-BBB」は株式会社モリサワの商標です。
- 「Helvetica」「Palatino」「Times」は Linotype-HellAG および Linotype-HellAG の子会社の商標です。
- 「ITC Avant Garde」「ITC Bookman」「ITC Zapf Chancery」「ITC Dingbats」は International Typeface Corporationの登録商標です。
- その他の記載された製品名、会社名は該当する各社の登録商標または商標です。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社まで御連絡ください。

また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が課されることがあります。

【XEROX】【The Document Company】【イーサネット】【Able】は登録商標です。

はじめに

このたびは、エイセルの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
製品の機能を十分に活用し、効果的にご利用いただくため、本書をお読みください。

本書は、UNIX フィルターのインストールおよびユーティリティソフトウェアを利用したプリント操作方法について説明しています。

なお、本書の内容は、ワークステーションと OS 環境の基本的な知識や操作方法をほぼご理解いただいていることを前提に説明しています。

本書の記載事項は事前通知なしに変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

2011 年 10 月
エイセル株式会社

マニュアルの種類

マニュアルの種類には以下のものがあります。

《本体同梱マニュアル》

本体同梱マニュアルとは、プリンタに同梱されているマニュアルです。

《別売品同梱マニュアル》

別売品同梱マニュアルとは、オプション製品に同梱されているマニュアルです。
オプション製品の取り扱い方法や設定方法を説明しています。

《商品マニュアル》

商品マニュアルとは、必要に応じて購入していただくマニュアルです。

商品マニュアルとしては、プリンタ（プロッター）制御言語のコマンドを参照するためのリファレンスマニュアルがあります。

マニュアルの一覧表は、《本体同梱マニュアル》の取扱説明書に記載してあります。「マニュアルの種類」の詳細については、取扱説明書を参照してください。

本書の読み方

■本書の構成

本書の各章の内容を次に説明します。

第1章 概要

UNIX フィルターの特長と利用可能な環境について説明しています。

第2章 インストール

UNIX フィルターのインストール方法について説明しています。

第3章 プリント操作とユーティリティ

UNIX フィルターを利用したプリント操作およびユーティリティの機能と使用方法について説明しています。

第4章 注意制限事項

UNIX フィルターを使用するときの注意事項、制限事項について説明しています。

付録

以下の付録を添付しています。必要に応じて参照してください。

- ▶ 使用できるフォント
- ▶ UNIX フィルターのアンインストール

■本書の表記

①本文中では、説明する内容によって、次の用語を使用しています。

- Sun ▶ SunOS 4.x
- Solaris ▶ Solaris
- Linux ▶ Red Hat Linux、TurboLinux、VineLinux
- HP ▶ HP-UX
- DC1250 ▶ DocuPrint C1250
DocuColor 1250/1250 CP
DocuCentre Color 500/500 CP
- DP2220 ▶ DocuPrint C2220/C2221
DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP
DocuCentre C2100
- DP3530 ▶ DocuPrint C3530
DocuPrint C3540/C3140/C3250
DocuPrintC2426
DocuPrintC2424
DocuPrint C3200 A
DocuPrint C5450
DocuPrint C3050
DocuPrint C2250
DocuPrint C3360
DocuPrint C3350
DocuPrint C5000 d
DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250
DocuCentre C2101/C1101
ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I
DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I
ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I
DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I
ApeosPort-II C4300/C3300/C2200
DocuCentre-II C4300/C3300/C2200
ApeosPort-II C7500/C6500/C5400
DocuCentre-II C7500/C6500/C5400
ApeosPort-III C3300/C2200
DocuCentre-III C3300/C2200
ApeosPort-III C3305/C2205
DocuCentre-III C3305/C2205
ApeosPort-III C4400
DocuCentre-III C4400
ApeosPort-III C4405
DocuCentre-III C4405
ApeosPort-III C7600/C6500/C5500
DocuCentre-III C7600/C6500/C5500

-
- ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270
 - DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270
 - ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275
 - DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275
 - ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580
 - DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580
 - DocuCentre-IV C2260
 - DocuCentre-IV C2263
- CLWDC ▶ Color Laser Wind 3320PS
DocuPrint C625PS /C626PS
- 注記 ▶ 正しく使っていただくための注意事項を記述しています。
手順を行う前に、お読みください。
- 参照 ▶ 参照項目を記述しています。
- 補足 ▶ 補足項目を記述しています。

② 本文中の「インターフェースボード」は、次のボードの総称です。

- ▶ Ethernet 10BASE5, 10BASE2, 10BASE-T, 100BASE-TX などの
インターフェースボード

③ 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」 特定のプリンタ名やホスト名、メニューの選択項目、本書での参照箇所を表示します。

例： ここでは「lp」とします。

「1」を選択して、ネットワークプリンタを設定します。

SunOS 4.x/Solaris/Linux：詳細は「2.4 リモートワークステーションでの操作 (Sun/Linux)」と「2.5 リモートワークステーションでの操作 (Solaris)」を参照してください。

HP-UX：詳細は、「3.3 論理プリンタからのプリント操作(HP-UX)」を参照してください。

< > キーボードのキーを表示します。

例： <Return>キーを押します。

『 』 参照する他のマニュアルを表示します。

例： フィルター記述ファイルの内部形式は、『SunOS 5.3 Reference Manual Section 1M. System Administration Commands』の lpfiler 記述に準拠しています。

④ メッセージに対して選択を行う場合、次の例中の[y] のように、[] 内はデフォルト値を表しています。この場合、メッセージに対して<Return>キーを押すと、デフォルト値「y」が選択されます。デフォルト値を選択して<Return>キーを押した場合、例中の y のようにデフォルト値を少し太い文字で表記します。

例： output-printer-name is '1250PS' (y/n)[y] : y

-
- ⑤ キーボードから入力する文字は、次の例中の「**/usr/local/fxbin1250**」のように少し太い文字で表記します。この場合は特に断らない限り、最後に<Return>キーを押してください。

例： Enter directory name [/user/lib/fxbin1250] : **/usr/local/fxbin1250**

目次

はじめに.....	i
マニュアルの種類.....	ii
本書の読み方.....	iii
目次.....	vii
第 1 章 概要	1
1.1 UNIXフィルターについて.....	3
1.1.1 UNIX Filterの特長.....	3
1.1.2 使用環境.....	4
1.1.3 対象プリンタ.....	5
1.2 ご使用になる前に.....	6
1.2.1 操作パネルからの設定.....	6
1.2.2 梱包内容.....	7
第 2 章 インストール	8
2.1 インストールを始める前に.....	9
2.1.1 インストールの前提条件.....	9
2.1.2 インストールによって変更されるファイル (Sun/Linux)	9
2.1.3 インストールによって選択するプリンタモデル.....	10
2.1.4 インストールによって追加されるファイル.....	11
2.1.5 インストール手順概要.....	29
2.2 ローカルワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Sun/Linux) ..	33
2.2.1 ソフトウェアのインストール.....	33
2.2.2 インストールによる/etc/printcapの追加.....	37
2.2.3 プリンタの設定.....	38
2.2.4 複数のプリンタを設定する場合.....	39
2.2.5 printcapをカスタマイズする場合.....	40
2.3 ローカルワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Solaris)	41
2.3.1 インストール/プリンタの設定.....	41
2.4 リモートワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Sun/Linux) ..	45
2.4.1 プリンタの設定.....	46
2.4.2 printcapをカスタマイズする場合.....	48
2.5 リモートワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Solaris)	49
2.5.1 インストール/プリンタの設定.....	50
2.6 ワークステーションでの操作 (CLWDC Sun/Linux)	54
2.6.1 ソフトウェアのインストール.....	54
2.6.2 インストールによる/etc/printcapの追加.....	58
2.6.3 プリンタの設定.....	59

2.7	ワークステーションでの操作 (CLWDC Solaris)	61
2.7.1	インストール/プリンタの設定	61
2.8	インストールでの操作手順 (HP-UX)	65
2.8.1	インストール手順	66
2.9	エラーメッセージ一覧	69
第3章	プリント操作とユーティリティ	71
<hr/>		
3.1	プリント操作 (Sun/Linux)	72
3.1.1	UNIXフィルターユーティリティを単独で使用する場合	72
3.1.2	UNIXフィルターユーティリティを複数で使用する場合	74
3.2	プリント操作 (Solaris)	77
3.2.1	Solarisからプリントする場合	77
3.3	論理プリンタからのプリント操作 (HP-UX)	80
3.3.1	論理プリンタから印刷する場合 (HP-UX)	80
3.3.2	共通オプション一覧 (HP-UX)	82
3.3.3	プリンタ固有のオプション (HP-UX)	85
3.4	ユーティリティ概要	208
3.4.1	ユーティリティ一覧	208
3.4.2	ユーティリティフォーマット	212
3.5	euc2ps2 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)	213
3.5.1	DC1250 の場合	213
3.5.2	DP2220 の場合	220
3.5.3	DP3530 の場合	227
3.5.4	CLWDPの場合	238
3.6	sunras2ps2 (Sun/Solaris)	246
3.6.1	DC1250 の場合	246
3.6.2	DP2220 の場合	252
3.6.3	DP3530 の場合	257
3.6.4	CLWDPの場合	267
3.7	sunras2g4 (Sun/Solaris)	274
3.7.1	DC1250 の場合	274
3.7.2	DP2220 の場合	280
3.7.3	DP3530 の場合	285
3.7.4	CLWDCの場合	295
3.8	tiff2ps2 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)	302
3.8.1	DC1250 の場合	302
3.8.2	DP2220 の場合	308
3.8.3	DP3530 の場合	313
3.8.4	CLWDCの場合	323
3.9	tiff2g4 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)	330
3.9.1	DC1250 の場合	330
3.9.2	DP2220 の場合	336

3.9.3	DP3530 の場合	341
3.9.4	CLWDCの場合	351
3.10	xwd2ps2 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)	358
3.10.1	DC1250 の場合	358
3.10.2	DP2220 の場合	364
3.10.3	DP3530 の場合	369
3.10.4	CLWDCの場合	379
3.11	xwd2g4 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)	386
3.11.1	DC1250 の場合	386
3.11.2	DP2220 の場合	392
3.11.3	DP3530 の場合	397
3.11.4	CLWDCの場合	407
3.12	fxpif (Sun/Solaris/Linux)	414
3.12.1	DC1250 の場合	414
3.12.2	DP2220 の場合	418
3.12.3	DP3530 の場合	421
3.12.4	CLWDCの場合	425
3.13	fxpvf (Sun/Linux)	428
3.14	fxpg4f (Sun/Linux)	430
3.15	fxpof (Sun/Linux)	432
3.16	fxoption (Sun/Linux)	434
3.16.1	DC1250 の場合	434
3.16.2	DP2220 の場合	437
3.16.3	DP3530 の場合	440
3.16.4	CLWDCの場合	443
3.17	.userhomedir (Linux)	445
3.18	posteuc1250.fd (Solaris)	446
3.19	posteuc2220.fd (Solaris)	448
3.20	posteuc3530.fd (Solaris)	450
3.21	posteuc3320.fd (Solaris)	452
3.22	FXDCL1250.fd (Solaris)	454
3.23	FXDCC500.fd (Solaris)	459
3.24	FXDPC2220.fd/FXDPC2221.fd (Solaris)	464
3.25	FXDCC400.fd (Solaris)	469
3.26	FXDCC2100.fd (Solaris)	474
3.27	FXDPC3530.fd (Solaris)	479
3.28	FXDPC3540.fd (Solaris)	484
3.29	FXDPC2426.fd/FXDPC2424.fd (Solaris)	489
3.30	FXDPC3200A.fd (Solaris)	494
3.31	FXDPC5450.fd (Solaris)	498
3.32	FXDPC3050.fd (Solaris)	504
3.33	FXDPC2250.fd (Solaris)	509
3.34	FXDPC3360.fd (Solaris)	515

3.35	FXDPC3350.fd (Solaris)	521
3.36	FXDPC5000d.fd (Solaris)	526
3.37	FXDCCf450.fd (Solaris)	532
3.38	FXDCC2101.fd (Solaris)	537
3.39	FXDCC4535.fd/FXAPC4535.fd (Solaris)	542
3.40	FXDCC6550.fd/FXAPC6550.fd (Solaris)	547
3.41	FXDC2C4300.fd/FXAP2C4300.fd (Solaris)	553
3.42	FXDC2C7500.fd/FXAP2C7500.fd (Solaris)	558
3.43	FXDC3C3300.fd/FXAP3C3300.fd (Solaris)	564
3.44	FXDC3C3305.fd/FXAP3C3305.fd (Solaris)	570
3.45	FXDC3C4400.fd/FXAP3C4400.fd (Solaris)	576
3.46	FXDC3C4405.fd/FXAP3C4405.fd (Solaris)	582
3.47	FXDC3C7600.fd/FXAP3C7600.fd (Solaris)	588
3.48	FXDC4C5570.fd/FXAP4C5570.fd (Solaris)	594
3.49	FXDC4C5575.fd/FXAP4C5575.fd (Solaris)	600
3.50	FXDC4C7780.fd/FXAP4C7780.fd (Solaris)	606
3.51	FXDC4C2260.fd (Solaris)	612
3.52	FXDC4C2263.fd (Solaris)	618
3.53	FXLW3320.fd (Solaris)	624
3.54	FXDPC625.fd (Solaris)	628
第 4 章	注意制限事項	632
<hr/>		
4.1	インストール時	633
4.2	プリント時	635
付録	640	
<hr/>		
A	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合	641
A.1	サンプルスクリプトを使用する場合	641
A.2	Solaris2.4 以上のOSを使用する場合	641
B	使用できるフォント	642
B.1	日本語フォント	642
B.2	欧文フォント	642
C	UNIXフィルターのアンインストール	645
C.1	SunOS 4.x/Linuxの場合	645
C.2	Solarisの場合	647
C.3	HP-UXの場合	654
用語の説明		655
索引		656

第1章 概要

1.1 UNIX フィルターについて

この節では、UNIX フィルターの特長および使用環境について説明します。

1.1.1 UNIX Filterの特長

本 UNIX フィルターは、UNIX ワークステーションのファイルをプリンタに搭載された PostScript® (ポストスクリプト) 言語に合致するよう変換出力するのに必要なユーティリティソフトウェアです。UNIX フィルターは、EUC テキストファイルや SunRaster イメージファイル (SunOS 4.x/Solaris のみ)、TIFF イメージファイル、XWD イメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換するソフトウェアを提供しています。また、プリンタ機能を使用して以下の出力を行うことができます。

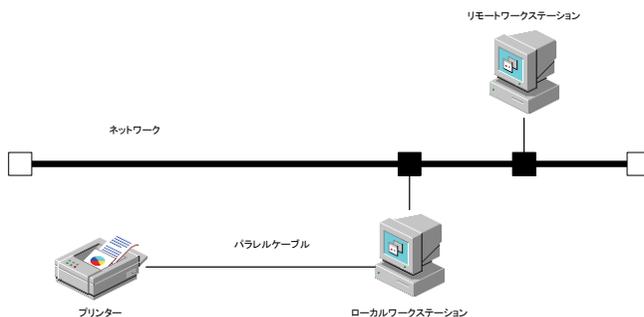
- ▶ 給紙指定印刷
- ▶ 排紙指定印刷
- ▶ カラー/モノクロ印刷
- ▶ 両面印刷 (両面印刷対応機種のみ)

lpr コマンドで自動的に起動されるフィルター(SunOS 4.x/Linux)や、lp コマンドでフィルターを自動的に起動するためのフィルター記述ファイル(Solaris)または、インターフェースプログラム(HP-UX)により、プリンタ名を指定するだけで利用することができます。

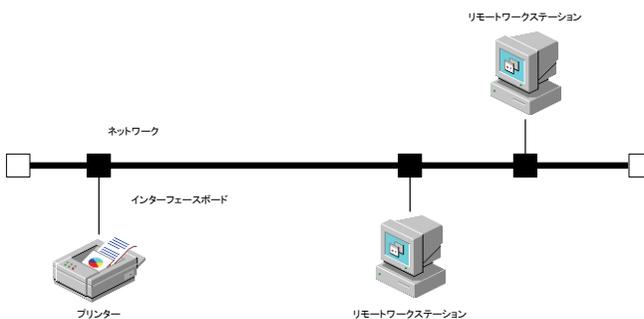
注記 ▶ 使用するプリンタの機種やその構成によっては、利用できないものがあります。

1.1.2 使用環境

プリンタとパラレルケーブルで接続されたワークステーション（以降、ローカルワークステーションと呼びます）およびネットワーク上のワークステーション（以降、リモートワークステーションと呼びます）から送られた EUC テキストファイルや SunRaster イメージファイル (SunOS 4.x/Solaris のみ)、TIFF イメージファイル、XWD イメージファイルを、PostScript 言語プログラムに変換してプリンタから出力できます。



また、プリンタにインターフェースボードを装着してネットワークに直結した環境で使用することも可能です。



1.1.3 対象プリンタ

対象プリンタは次のとおりです。

- ▶ DocuPrint C1250
- ▶ DocuColor 1250/1250 CP
- ▶ DocuCentre Color 500/500 CP
- ▶ Color Laser Wind 3320PS
- ▶ DocuPrint C625P/C626PS
- ▶ DocuPrint C2220/C2221
- ▶ DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP
- ▶ DocuCentre C2100
- ▶ DocuPrint C3530
- ▶ DocuPrint C3540/C3140/C3250
- ▶ DocuPrint C2426
- ▶ DocuPrint C2424
- ▶ DocuPrint C3200 A
- ▶ DocuPrint C5450
- ▶ DocuPrint C3050
- ▶ DocuPrint C2250
- ▶ DocuPrint C3360
- ▶ DocuPrint C3350
- ▶ DocuPrint C5000 d
- ▶ DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250
- ▶ DocuCentre C2101/C1101
- ▶ ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I
- ▶ DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I
- ▶ ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I
- ▶ DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I
- ▶ ApeosPort-II C4300/C3300/C2200
- ▶ DocuCentre-II C4300/C3300/C2200
- ▶ ApeosPort-II C7500/C6500/C5400
- ▶ DocuCentre-II C7500/C6500/C5400
- ▶ ApeosPort-III C3300/C2200
- ▶ DocuCentre-III C3300/C2200
- ▶ ApeosPort-III C3305/C2205
- ▶ DocuCentre-III C3305/C2205
- ▶ ApeosPort-III C4400
- ▶ DocuCentre-III C4400
- ▶ ApeosPort-III C4405
- ▶ DocuCentre-III C4405
- ▶ ApeosPort-III C7600/C6500/C5500
- ▶ DocuCentre-III C7600/C6500/C5500
- ▶ ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270
- ▶ DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270
- ▶ ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275
- ▶ DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275
- ▶ ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580
- ▶ DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580
- ▶ DocuCentre-IV C2260
- ▶ DocuCentre-IV C2263

注記 ▶ Color Laser Wind 3320PS、DocuPrint C625PS/C626PS 以外の機種では、プリンタ本体にオプションの PostScript Kit を装着する必要があります。

1.2 ご使用になる前に

UNIX フィルターをご使用になる前に次の点についてご確認ください。

1.2.1 操作パネルからの設定

ワークステーション側で設定を始める前に、『操作説明書』を参照してプリンタ本体側で次の設定を行ってください。

- ① 使用する接続ポートの状態を起動にします。(必須)
- ② ネットワークに直結して使用する場合は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。(必須)
- ③ プリントモードを **Auto** または **PostScript** モードに設定します。(必須)
- ④ 使用環境に応じて、受信バッファメモリーのサイズを設定します。
- ⑤ **TBCP** フィルターの有効/無効が指定できるプリンタの場合は、有効に設定します。

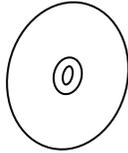
補足 ▶ プリンタによっては、この設定を行う必要ありません。詳しくはプリンタのマニュアルを参照してください。

1.2.2 梱包内容

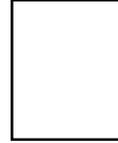
UNIX フィルターのパッケージには次のものが入っています。内容をご確認ください。

注記 ▶ Sun/Solaris 用の CD-ROM は、SunOS 4.x/Solaris 共用です。

CD-ROM



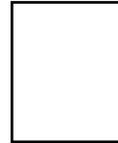
ソフトウェア使用許諾契約書



CD-ROM 取扱いの手引き



質問用紙



ユーザ登録書



万一、不足している場合や破損していた場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

第2章 インストール

2.1 インストールを始める前に

この節では、インストールを始める前に知っておいていただきたい事項について説明します。

2.1.1 インストールの前提条件

インストールの前提条件は次のとおりです。

- ▶ 対応 OS は、CD-ROM 取扱いの手引きに記載されているとおりです。
- ▶ ディスク容量は、インストール時の作業領域を含めて約 20MB の空き容量が必要です。
- ▶ スーパーユーザーになる必要があります。スーパーユーザーの権限を持っていない場合、ネットワーク管理者、システム管理者に設定を依頼してください。
- ▶ システムに出力プリンタが登録されていなければなりません。[HP-UX]
出力プリンタは `sam` コマンド等を使用する事で登録することができます。
詳しくは HP-UX 関連のマニュアルを参照してください。

Color Laser Wind 3320PS または、DocuPrint C625PS/C626PS を `sam` で出力プリンタを登録する際の、Remote Printer Name は、xidirect または xjprint として下さい。
詳しくは、プリンタ本体のマニュアルのキューを使用した印刷の項をご覧ください。

2.1.2 インストールによって変更されるファイル (Sun/Linux)

UNIX フィルターをインストールすると、次のファイルが変更されます。

ディレクトリ	ファイル名
/etc	printcap

2.1.3 インストールによって選択するプリンタモデル

インストールスクリプトを起動した後、ご使用になるプリンタモデルを選択します。プリンタモデルと製品名との対応は、次のとおりです。

プリンタモデル	対象ハードウェア製品名
DocuPrintC1250	DocuPrint C1250 DocuColor 1250/1250 CP
DocuCentreColor500	DocuCentre Color 500/500 CP
LaserWind3320	Color Laser Wind 3320PS
DocuPrintC625	DocuPrint C625PS/C626PS
DocuPrintC2220	DocuPrint C2220
DocuPrintC2221	DocuPrint C2221
DocuCentreColor400	DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP
DocuCentreC2100	DocuCentre C2100
DocuPrintC3530	DocuPrint C3530
DocuPrintC3540	DocuPrint C3540/C3140/C3250
DocuPrintC2426	DocuPrint C2426
DocuPrintC2424	DocuPrint C2424
DocuPrintC3200A	DocuPrint C3200 A
DocuPrintC5450	DocuPrint C5450
DocuPrintC3050	DocuPrint C3050
DocuPrintC2250	DocuPrint C2250
DocuPrintC3360	DocuPrint C3360
DocuPrintC3350	DocuPrint C3350
DocuPrintC5000d	DocuPrint C5000 d
DocuCentreColorf450	DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250
DocuCentreC2101	DocuCentre C2101/C1101
ApeosPortC4535	ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I
DocuCentreC4535	DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I
ApeosPortC6550	ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I
DocuCentreC6550	DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I
ApeosPort2C4300	ApeosPort-II C4300/C3300/C2200
DocuCentre2C4300	DocuCentre-II C4300/C3300/C2200
ApeosPort2C7500	ApeosPort-II C7500/C6500/C5400
DocuCentre2C7500	DocuCentre-II C7500/C6500/C5400
ApeosPort3C3300	ApeosPort-III C3300/C2200
DocuCentre3C3300	DocuCentre-III C3300/C2200
ApeosPort3C3305	ApeosPort-III C3305/C2205
DocuCentre3C3305	DocuCentre-III C3305/C2205
ApeosPort3C4400	ApeosPort-III C4400
DocuCentre3C4400	DocuCentre-III C4400
ApeosPort3C4405	ApeosPort-III C4405
DocuCentre3C4405	DocuCentre-III C4405
ApeosPort3C7600	ApeosPort-III C7600/C6500/C5500
DocuCentre3C7600	DocuCentre-III C7600/C6500/C5500
ApeosPort4C5570	ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270
DocuCentre4C5570	DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270
ApeosPort4C5575	ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275
DocuCentre4C5575	DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275
ApeosPort4C7780	ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580
DocuCentre4C7780	DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580
DocuCentre4C2260	DocuCentre-IV C2260
DocuCentre4C2263	DocuCentre-IV C2263

2.1.4 インストールによって追加されるファイル

UNIX フィルターをインストールすると、次のファイルが追加されます。

DocuPrint C1250、DocuColor 1250/1250 CP、DocuCentre Color 500/500 CP
[SunOS 4.x] (ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin1250	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	sunras2ps2	SunRaster 変換ユーティリティ
	sunras2g4	SunRaster 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
	ufptool ^{*1}	UNIX フィルタープリントツール
	Ufptool ^{*1}	UNIX フィルタープリントツールリソースファイル
/usr/local/fxbin1250/UFPDefault	.UFPDefault ^{*1}	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/fixps1250	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	ラスター出力フィルター
	fxpof	アウトプットフィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスター出力フィルター
	fxpif_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpif_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル

	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル
	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル
	fxbinpath1250*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/lib/fxps1250/UserDefault	.fxpsdefault1250	デフォルトコマンドオプションファイル
/usr/local/fxetc1250	printcap.add	サンプル追加 printcap ファイル

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

[Solaris] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin1250	euc2ps2	テキスト変換フィルター
	sunras2ps2	SunRaster 変換フィルター
	sunras2g4	SunRaster 変換フィルター
	tiff2ps2	TIFF 変換フィルター
	tiff2g4	TIFF 変換フィルター
	xwd2ps2	XWD 変換フィルター
	xwd2g4	XWD 変換フィルター
	fxpif	給紙トレイ設定フィルター
	ufptool*1	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin1250/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/etc/lp/fd	posteuc1250.fd	euc2ps2 用フィルター記述ファイル
	FXDCL1250.fd	DocuPrint C1250 DocuColor 1250/1250CP 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDCC500.fd	DocuCentre Color 500 用 fxpif フィルター記述ファイル
	Fxpostio1250.fd	Fxpostio フィルター記述ファイル
	Fxdownload1250.fd	download フィルター記述ファイル
/usr/lib/lp/postscript	posteuc1250	euc2ps2 を呼び出すシンボリックリンクファイル
	postfxps1250	fxpif を呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxbinpath1250*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/lib/lp/model	モデルインターフェイスプログラム	モデルインターフェイスプログラムの元となるファイル(登録時のプリンタモデル名で格納されています)
/etc/lp/interfaces	モデルインターフェイスプログラム	モデルインターフェイスプログラム(登録時のプリンタ名で格納されています)

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。また、UNIX フィルタープリントツールは Solaris 2.5 以降をご使用の場合

のみインストールされます。

[Linux] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin1250	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
	ufptool*1	UNIX フィルタプリントツール
/usr/local/fxbin1250/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタプリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/X11R6/lib/X11/app-defaults	Ufptool*1	UNIX フィルタプリントツールリソースファイル
/usr/lib/fxps1250	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	XWD イメージ出力フィルター
	fxpof	アウトプットフィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスター出力フィルター
	fxpif_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpif_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル
	string_from_printcap	/etc/printcap の内容を書き換えるためのファイル
	fxbanner.ps	バナー出力ヘッダファイル
	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル
	fxbinpath*1	UNIX フィルタプリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/lib/fxps1250/UserDefault	.fxpsdefault1250	デフォルトコマンドオプションファイル
	.userhomedir	ユーザーのホームディレクトリ設定ファイル

/usr/local/fxetc1250	printcap.add	サンプル追加 printcap ファイル
----------------------	--------------	----------------------

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

[HP-UX] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin1250	euc2ps2	テキスト変換フィルター
	xwd2ps2	XWD 変換フィルター
	xwd2g4	XWD 変換フィルター
	tiff2ps2	TIFF 変換フィルター
	tiff2g4	TIFF 変換フィルター
	ufptool*1	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin1250/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/lp/postscript	fxbinpath1250*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/spool/lp/interface	モデルインターフェースプログラム	モデルインターフェースプログラム(登録時のモデルインターフェースプログラム名と論理プリンタ名の名前で格納されています)

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

**DocuPrint C2220/C2221、DocuCentre Color 400 CP /320 CP/240 CP/160 CP、
DocuCentre C2100**

[SunOS 4.x] (ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin2220	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	sunras2ps2	SunRaster 変換ユーティリティ
	sunras2g4	SunRaster 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
	ufptool* ¹	UNIX フィルタープリントツール
Ufptool* ¹	UNIX フィルタープリントツールリソースファイル	
/usr/local/fxbin2220/UFPDefault	.UFPDefault* ¹	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/fxps2220	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	ラスタ出力フィルター
	fxpof	アウトプットフィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスタ出力フィルター
	fxpif_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpif_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル

	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル
	Fxbinpath2220*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/lib/fxps2220/UserDefault	.fxpsdefault2220	デフォルトコマンドオプションファイル
/usr/local/fxetc2220	printcap.add	サンプル追加 printcap ファイル

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

[Solaris] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin2220	euc2ps2	テキスト変換フィルター
	sunras2ps2	SunRaster 変換フィルター
	sunras2g4	SunRaster 変換フィルター
	tiff2ps2	TIFF 変換フィルター
	tiff2g4	TIFF 変換フィルター
	xwd2ps2	XWD 変換フィルター
	xwd2g4	XWD 変換フィルター
	fxpif ufptool ^{*1}	給紙トレイ設定フィルター UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin2220/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/etc/lp/fd	posteuc2220.fd	euc2ps2 用フィルター記述ファイル
	FXDPC2220.fd	DocuPrint C2220 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDPC2221.fd	DocuPrint C2221 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDCC400.fd	DocuCentre Color 400 CP/320 CP/ 240 CP/160 CP 用 fxpif フィルター記述ファイル
	Fxpostio2220.fd	Fxpostio フィルター記述ファイル
	Fxdownload2220.fd	download フィルター記述ファイル
/usr/lib/lp/postscript	posteuc2220	euc2ps2 を呼び出すシンボリックリンクファイル
	postfxps2220	fxpif を呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxbinpath2220*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/lib/lp/model	モデルインターフェースプログラム	モデルインターフェースプログラムの元となるファイル(登録時のプリンタモデル名で格納されています)
/etc/lp/interfaces	モデルインターフェースプログラム	モデルインターフェースプログラム(登録時のプリンタ名で格納されています)

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

の取扱説明書を参照してください。また、UNIX フィルタープリントツールは Solaris 2.5 以降をご使用の場合のみインストールされます。

[Linux] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fixbin2220	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
	ufptool*1	UNIX フィルタプリントツール
/usr/local/fixbin2220/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタプリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/X11R6/lib/X11/app-defaults	Ufptool*1	UNIX フィルタプリントツールリソースファイル
/usr/lib/fixps2220	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	XWD イメージ出力フィルター
	fxpof	アウトプットフィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスター出力フィルター
	fxpif_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpif_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxoption_exec	.fixpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル
	string_from_printcap	/etc/printcap の内容を書き換えるためのファイル
	fixbanner.ps	バナー出力ヘッダファイル
	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル
fixbinpath*1	UNIX フィルタプリントツール用ディレクトリ記述ファイル	
/usr/lib/fixps2220/UserDefault	.fixpsdefault2220	デフォルトコマンドオプションファイル

第 2 章 インストール

	.userhomedir	ユーザーのホームディレクトリ設定ファイル
/usr/local/fxetc2220	printcap.add	サンプル追加 printcap ファイル

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

[HP-UX] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin2220	euc2ps2	テキスト変換フィルター
	xwd2ps2	XWD 変換フィルター
	xwd2g4	XWD 変換フィルター
	tiff2ps2	TIFF 変換フィルター
	tiff2g4	TIFF 変換フィルター
	ufptool*1	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin2220/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/lp/postscript	fxbinpath2220*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/spool/lp/interface	モデルインターフェースプログラム	モデルインターフェースプログラム(登録時のモデルインターフェースプログラム名と論理プリンタ名の名前で格納されています)

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

DocuPrint C3530、DocuPrint C3540/C3140/C3250、DocuPrint C2426、DocuPrint C2424、
 DocuPrint C3200 A、DocuPrint C5450、DocuPrint C3050、
 DocuPrint C2250、DocuPrint C3360、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、
 DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250、DocuCentre C2101/C1101、
 ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I、DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I、
 ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、
 ApeosPort-II C4300/C3300/C2200、DocuCentre-II C4300/C3300/C2200、
 ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、
 ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、
 ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、
 ApeosPort-III C4400、DocuCentre-III C4400、
 ApeosPort-III C4405、DocuCentre-III C4405、
 ApeosPort-III C7600/C6500/C5500、DocuCentre-III C7600/C6500/C5500、
 ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、
 ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、
 ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、
 DocuCentre-IV C2260、DocuCentre-IV C2263

[SunOS 4.x] (ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin3530	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	sunras2ps2	SunRaster 変換ユーティリティ
	sunras2g4	SunRaster 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
	ufptool ^{*1}	UNIX フィルタープリントツール
Ufptool ^{*1}	UNIX フィルタープリントツールリソースファイル	
/usr/local/fxbin3530/UFPDe fault	.UFPDefault ^{*1}	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/fxps3530	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	ラスター出力フィルター
	fxpof	アウトプットフィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスター出力フィルター
	fxpif_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル

	fxpif_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル
	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル
	fxbinpath3530*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/lib/fxps3530/UserDefault	.fxpsdefault3530	デフォルトコマンドオプションファイル
/usr/local/fxetc3530	printcap.add	サンプル追加 printcap ファイル

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

[Solaris] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin3530	euc2ps2	テキスト変換フィルター
	sunras2ps2	SunRaster 変換フィルター
	sunras2g4	SunRaster 変換フィルター
	tiff2ps2	TIFF 変換フィルター
	tiff2g4	TIFF 変換フィルター
	xwd2ps2	XWD 変換フィルター
	xwd2g4	XWD 変換フィルター
	fxpif	給紙トレイ設定フィルター
	ufptool ^{*1}	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin3530/UFPDefault	.UFPDefault ^{*1}	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/etc/lp/fd	posteuc3530.fd	euc2ps2 用フィルター記述ファイル
	FXDPC3530.fd	DocuPrint C3530 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDPC3540.fd	DocuPrint C3540/C3140/C3250 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDPC2426.fd	DocuPrint C2426 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDPC2424.fd	DocuPrint C2424 用 fxpif フィルター記述ファイル

FXDPC3200A.fd	DocuPrint C3200 A 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDPC5450.fd	DocuPrint C5450 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDPC3050.fd	DocuPrint C3050 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDPC2250.fd	DocuPrint C2250 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDPC3360.fd	DocuPrint C3360 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDPC3350.fd	DocuPrint C3350 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDPC5000d.fd	DocuPrint C5000 d 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDCCf450.fd	DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDCC2101.fd	DocuCentre C2101/C1101 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDCC4535.fd	DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXAPC6650.fd	ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDCC6650.fd	DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXAP2C4300.fd	ApeosPort-II C4300/C3300/C2200 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDC2C4300.fd	DocuCentre -II C4300/C3300/C2200 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXAP2C7500.fd	ApeosPort-II C7500/C6500/C5400 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXAP3C3300.fd	ApeosPort-III C3300/C2200 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDC3C3300.fd	DocuCentre-III C3300/C2200 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXAP3C3305.fd	ApeosPort-III C3305/C2205 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDC3C3305.fd	DocuCentre-III C3305/C2205 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXAP3C4400.fd	ApeosPort-III C4400 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDC3C4400.fd	DocuCentre-III C4400 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXAP3C4405.fd	ApeosPort-III C4405 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXDC3C4405.fd	DocuCentre-III C4405 用 fxpif フィルター記述ファイル
FXAP3C7600.fd	ApeosPort-III C7600/C6500/C5500 用 fxpif フィルター記述ファイル

	FXDC3C7600.fd	DocuCentre-III C7600/C6500/C5500 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXAP4C5570.fd	ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC4C5570.fd	DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXAP4C5575.fd	ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC4C5575.fd	DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXAP4C7780.fd	ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC4C7780.fd	DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC4C2260.fd	DocuCentre-IV C2260 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC4C2263.fd	DocuCentre-IV C2263 用 fxpif フィルター記述ファイル
	fxpostio3530.fd	fxpostio フィルター記述ファイル
	fxdownload3530.fd	download フィルター記述ファイル
/usr/lib/lp/postscript	posteuc3530	euc2ps2 を呼び出すシンボリックリンク ファイル
	postfxps3530	fxpif を呼び出すシンボリックリンクフ ァイル
	fxbinpath3530 ^{*1}	UNIX フィルタープリントツール用ディ レクトリ記述ファイル
/usr/lib/lp/model	モデルインターフェ ースプログラム	モデルインターフェースプログラムの 元となるファイル(登録時のプリンタモ デル名で格納されています)
/etc/lp/interfaces	モデルインターフェ ースプログラム	モデルインターフェースプログラム(登 録時のプリンタ名で格納されています)

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの
使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツール
の取扱説明書を参照してください。また、UNIX フィルタープリントツールは Solaris 2.5 以降をご使用の場合
のみインストールされます。

[Linux] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/ufbin3530	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修 正用コマンド
	ufptool*1	UNIX フィルタプリントツール

/usr/local/fxbin3530/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタプリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/X11R6/lib/X11/app-defaults	Ufptool*1	UNIX フィルタプリントツールリソースファイル
/usr/lib/fxps3530	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	XWD イメージ出力フィルター
	fxpof	アウトプットフィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスタ出力フィルター
	fxpif_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpif_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル
	string_from_printcap	/etc/printcap の内容を書き換えるためのファイル
fxbanner.ps	バナー出力ヘッダファイル	
fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル	
fxbinpath*1	UNIX フィルタプリントツール用ディレクトリ記述ファイル	
/usr/lib/fxps3530/UserDefault	.fxpsdefault3530	デフォルトコマンドオプションファイル
	.userhomedir	ユーザーのホームディレクトリ設定ファイル
/usr/local/fxetc3530	printcap.add	サンプル追加 printcap ファイル

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

[HP-UX] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin3530	euc2ps2	テキスト変換フィルター
	xwd2ps2	XWD 変換フィルター
	xwd2g4	XWD 変換フィルター
	tiff2ps2	TIFF 変換フィルター

	tiff2g4	TIFF 変換フィルター
	ufptool*1	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin3530/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/lp/postscript	fxbinpath3530*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/spool/lp/interface	モデルインターフェースプログラム	モデルインターフェースプログラム(登録時のモデルインターフェースプログラム名と論理プリンタ名の名前で格納されています)

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

Color Laser Wind 3320PS、DocuPrint C625PS/C626PS

[SunOS 4.x] (ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin3320	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	sunras2ps2	SunRaster 変換ユーティリティ
	sunras2g4	SunRaster 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
	ufptool* ¹	UNIX フィルタープリントツール
	Ufptool* ¹	UNIX フィルタープリントツールリソースファイル
/usr/local/fxbin3320/UFPDefault	.UFPDefault* ¹	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/fxps3320	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	ラスター出力フィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスター出力フィルター
	fxpif_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpif_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル
	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル
	string_from_printcap	/etc/printcap の内容を書き換えるためのファイル
	Fxbinpath3320* ¹	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル

/usr/lib/fxps3320/UserDefault	.fxpsdefault3320	デフォルトコマンドオプションファイル
/usr/local/fxetc3320	printcap.add	サンプル追加 printcap ファイル

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

[Solaris] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin3320	euc2ps2	テキスト変換フィルター
	sunras2ps2	SunRaster 変換フィルター
	sunras2g4	SunRaster 変換フィルター
	tiff2ps2	TIFF 変換フィルター
	tiff2g4	TIFF 変換フィルター
	xwd2ps2	XWD 変換フィルター
	xwd2g4	XWD 変換フィルター
	fxpif	給紙トレイ設定フィルター
ufptool ^{*1}	UNIX フィルタープリントツール	
/usr/local/fxbin3320/UFPDefault	.UFPDefault ^{*1}	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/etc/lp/fd	posteuc3320.fd	euc2ps2 用フィルター記述ファイル
	FXLW3320.fd	Color Laser Wind 3320PS 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDPC625.fd	DocuPrint C625PS/C626PS 用 fxpif フィルター記述ファイル
	Fxpostio3320.fd	Fxpostio フィルター記述ファイル
	Fxdownload3320.fd	download フィルター記述ファイル
/usr/lib/lp/postscript	posteuc3320	euc2ps2 を呼び出すシンボリックリンク ファイル
	postfxps3320	fxpif を呼び出すシンボリックリンク ファイル
	fxbinpath3320 ^{*1}	UNIX フィルタープリントツール用ディ レクトリ記述ファイル
/usr/lib/lp/model	モデルインターフェースプログラム	モデルインターフェースプログラムの 元となるファイル(登録時のプリンタモ デル名で格納されています)
/etc/lp/interfaces	モデルインターフェースプログラム	モデルインターフェースプログラム(登 録時のプリンタ名で格納されています)

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。また、UNIX フィルタープリントツールは Solaris 2.5 以降をご使用の場合のみインストールされます。

[Linux] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin3320	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ

	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
	ufptool*1	UNIX フィルタプリントツール
/usr/local/fxbin3320/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタプリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/X11R6/lib/X11/app-defaults	Ufptool*1	UNIX フィルタプリントツールリソースファイル
/usr/lib/fxps3320	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	XWD イメージ出力フィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスタ出力フィルター
	fxpif_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A3	A3 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpif_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A4	A4 用紙を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル
	string_from_printcap	/etc/printcap の内容を書き換えるためのファイル
	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル
	Fxbinpath3320*1	UNIX フィルタプリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/lib/fxps3320/UserDefault	.fxpsdefault3320	デフォルトコマンドオプションファイル
	.userhomedir	ユーザーのホームディレクトリ設定ファイル
/usr/local/fxetc3320	printcap.add	サンプル追加 printcap ファイル

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

[HP-UX] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin3320	euc2ps2	テキスト変換フィルター
	xwd2ps2	XWD 変換フィルター
	xwd2g4	XWD 変換フィルター
	tiff2ps2	TIFF 変換フィルター
	tiff2g4	TIFF 変換フィルター

	ufptool*1	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin3320/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/lp/postscript	fxbinpath3320*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/spool/lp/interface	モデルインターフェースプログラム	モデルインターフェースプログラム(登録時のモデルインターフェースプログラム名と論理プリンタ名の名前で格納されています)

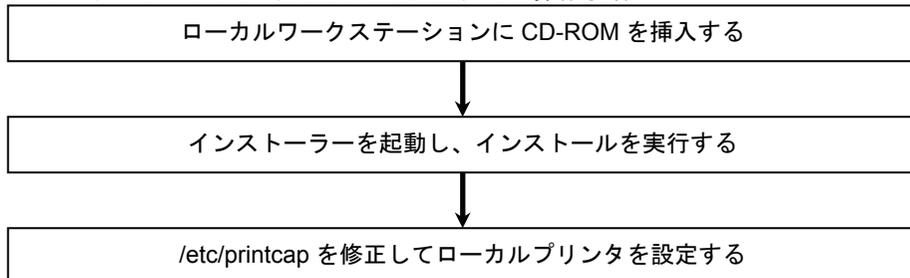
*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

2.1.5 インストール手順概要

UNIX フィルターを UNIX ワークステーションにインストールする手順について説明します。ローカルワークステーションからプリンタを使用する場合もリモートワークステーションからプリンタを使用する場合も、まずローカルワークステーション側での設定を行ってください。リモートワークステーションからプリンタを使用する場合は、ローカルワークステーション側での設定に引き続き、リモートワークステーション側での設定を行ってください。

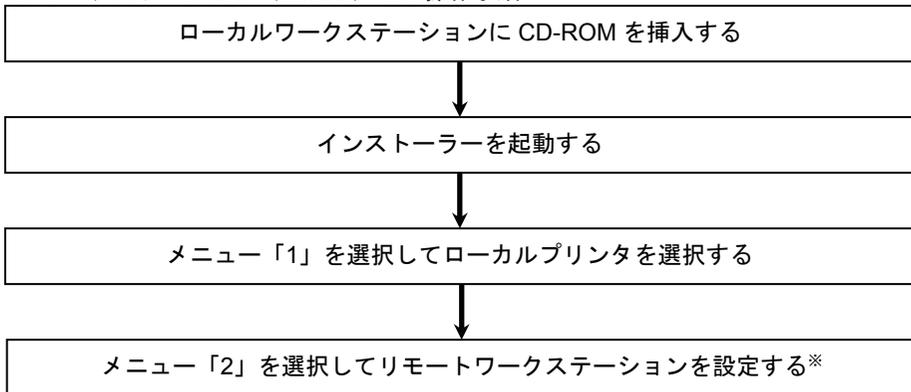
DocuPrint C1250、DocuColor 1250/1250 CP、DocuCentre Color 500/500 CP、DocuPrint C2220/C2221、DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、DocuCentre C2100、DocuPrint C3530、DocuPrint C3540/C3140/C3250、DocuPrint C2426、DocuPrint C2424、DocuPrint C3200 A、DocuPrint C5450、DocuPrint C3050、DocuPrint C2250、DocuPrint C3360、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250、DocuCentre C2101/C1101、ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I、DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、ApeosPort-II C4300/C3300/C2200、DocuCentre-II C4300/C3300/C2200、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、ApeosPort-III C4400、DocuCentre-III C4400、ApeosPort-III C4405、DocuCentre-III C4405、ApeosPort-III C7600/C6500/C5500、DocuCentre-III C7600/C6500/C5500、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C2260、DocuCentre-IV C2263

ローカルワークステーション (SunOS 4.x/Linux) での操作手順



参照 ▶ 詳細は「2.2 ローカルワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Sun/Linux)」を参照してください。

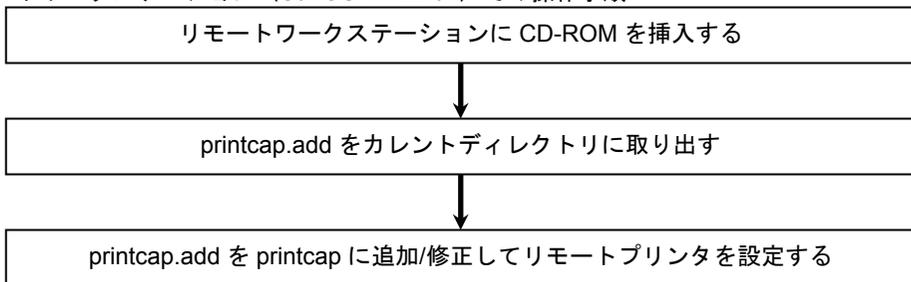
ローカルワークステーション (Solaris) での操作手順



※ : リモートワークステーションからプリンタを使用する場合のみ必要な操作です。

参照 ▶ 詳細は「2.3 ローカルワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Solaris)」を参照してください。

リモートワークステーション (SunOS 4.x/Linux) での操作手順



参照 ▶ 詳細は「2.4 リモートワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Sun/Linux)」を参照してください。

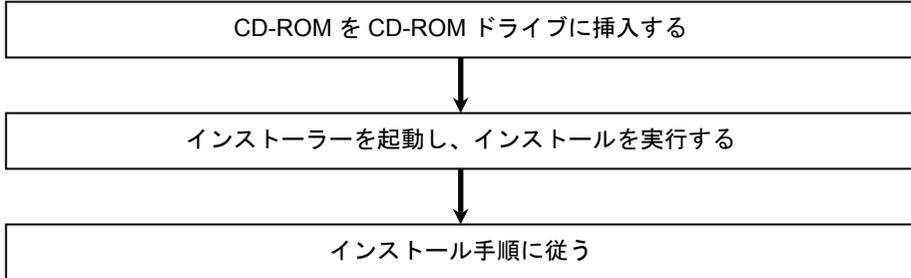
リモートワークステーション (Solaris) での操作手順



参照 ▶ 詳細は「2.5 リモートワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Solaris)」を参照してください。

リモートワークステーション (HP-UX) での操作手順

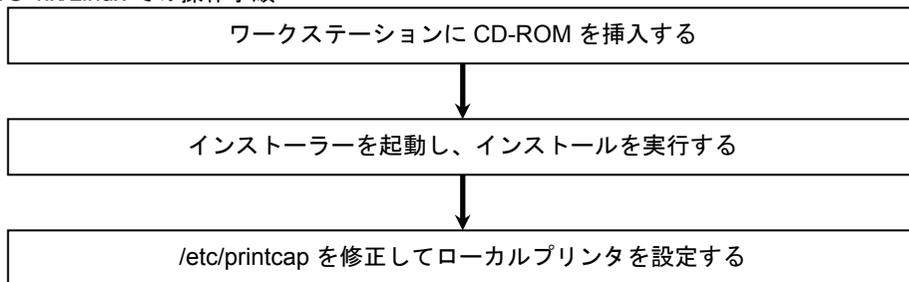
(ローカルワークステーションからプリンタを使用する場合もリモートワークステーションからプリンタを使用する場合も手順は同様です。)



参照 ▶ 詳細は「2.8 インストールでの操作手順 (HP-UX)」を参照してください。

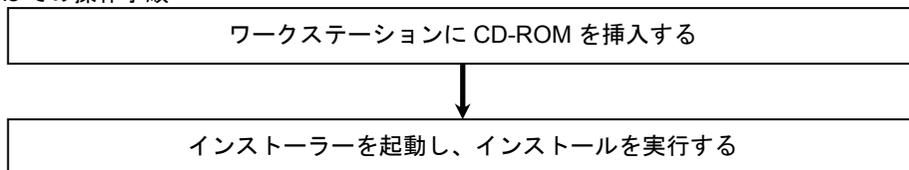
Color Laser Wind 3320PS、DocuPrint C625PS/C626PS

SunOS 4.x/Linux での操作手順



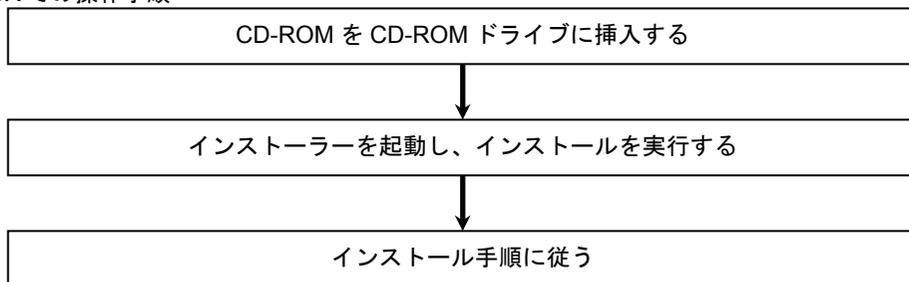
参照 ▶ 詳細は「2.6 ワークステーションでの操作 (CLWDC Sun/Linux)」を参照してください。

Solaris での操作手順



参照 ▶ 詳細は「2.7 ワークステーションでの操作 (CLWDC Solaris)」を参照してください。

HP-UX での操作手順

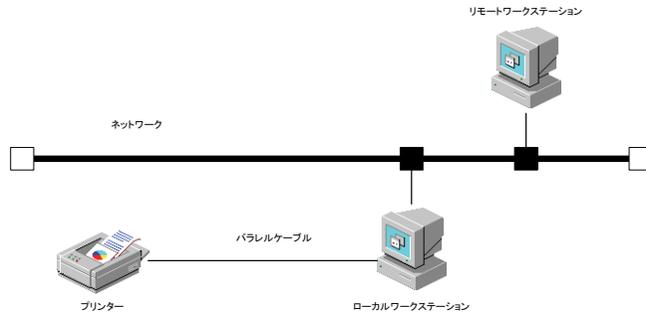


参照 ▶ 詳細は「2.8 インストールでの操作手順 (HP-UX)」を参照してください。

2.2 ローカルワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Sun/Linux)

この節では、ローカルワークステーション (Sun/Linux) での操作手順を説明します。下図は、プリンタをシリアルケーブルまたはパラレルケーブルを用いて接続し、ローカルワークステーションをプリントサーバーとして使用した環境設定の例です。

注記 ▶ この節では、プリンタ側で通信パラメーターがデフォルト値に設定されていることを前提に説明しています。デフォルト値以外の場合は、必要に応じて SunOS 4.x/Linux 関連マニュアルを参照してください。



2.2.1 ソフトウェアのインストール

①CD-ROM をローカルワークステーションの CD-ROM ドライブに挿入します。

②スーパーユーザーになり、CD-ROM からインストールに必要なファイルを取り出します。

注記 ▶ スーパーユーザーの権限を持っていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

[SunOS 4.x]

```
#mount -t hsfs -o ro /dev/sr0 /cdrom
#cd /tmp
#cp /cdrom/UXFILTER.tar .
#tar xvf ./UXFILTER.tar
```

[Linux]

```
#mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
#cd /tmp
#cp /mnt/cdrom/UXFILTER.tar .
#tar xvf ./UXFILTER.tar
```

以下のファイルが取り出されます。

- ▶ README
- ▶ install.sh
- ▶ ufilter.tar
- ▶ ufilter2.tar
- ▶ ufilter3.tar
- ▶ ufilter4.tar

③ 「./install.sh」を入力して、インストーラーを起動します。

```
# ./install.sh
```

- ④ 「2.1.3 インストールによって選択するプリンタモデル」から、ご使用になるプリンタに対応するプリンタモデルを選択します。ここでは、「1」を選択することになります。

```
Printer Model?
 1. DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP
 2. DocuCentre Color 500/500 CP
 3. Color Laser Wind 3320PS
 4. DocuPrint C625PS/C626PS
 5. DocuPrint C2220
 6. DocuPrint C2221
 7. DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP
 8. DocuCentre C2100
 9. DocuPrint C3530
10. DocuPrint C3540/C3140/C3250
11. DocuPrint C2426
12. DocuPrint C2424
13. DocuPrint C3200 A
14. DocuPrint C5450
15. DocuPrint C3050
16. DocuPrint C2250
17. DocuPrint C5000 d
18. DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250
19. DocuCentre C2101/C1101
20. ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I
21. DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I
22. ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I
23. DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I
24. ApeosPort-II C4300/C3300/C2200
25. DocuCentre-II C4300/C3300/C2200
26. ApeosPort-II C7500/C6500/C5400
27. DocuCentre-II C7500/C6500/C5400
28. ApeosPort-III C3300/C2200
29. DocuCentre-III C3300/C2200
30. ApeosPort-III C4400
31. DocuCentre-III C4400
32. ApeosPort-III C4405
33. DocuCentre-III C4405
34. DocuPrint C3360
35. DocuPrint C3350
36. ApeosPort-III C3305/C2205
37. DocuCentre-III C3305/C2205
38. ApeosPort-III C7600/C6500/C5500
39. DocuCentre-III C7600/C6500/C5500
40. ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270
41. DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270
42. ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275
43. DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275
44. ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580
45. DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580
46. DocuCentre-IV C2260
47. DocuCentre-IV C2263
48. Exit
Enter Process No
(1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24
/25/26/27/28/29/30/31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41/42/43/44/45
/46/47/48)? : 1
```

- ⑤ フィルターをインストールするかたずねてきます。「y」を入力します。

```
Install Filter? (y/n) [y] : y
```

補足 ▶ メッセージ中に[] がある場合、[] 内はデフォルト値を表しています。この場合、メッセージに対して<Return>キーを押すと、デフォルト値が選択されます。

- ⑥ フィルターファイルをインストールするディレクトリを指定します。/usr/lib/fxps1250 にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxps」に変更することにします。また、デフォルトディレクトリを選択する場合は、/usr/local ディレクトリは作成されていなくてはいけません。(選択機種によってデフォルトのディレクトリが、「/usr/lib/fxps2220」、「/usr/lib/fxps3530」になります。)

```
Enter Library directory name[/usr/lib/fxps1250] : /home/fxps
```

- ⑦ インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory is '/home/fxps' (y/n) [y] : y
```

- ⑧ ユーティリティをインストールするディレクトリを指定します。/usr/local/fxbin1250 にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxbin」に変更することにします。(選択機種によってデフォルトのディレクトリが、「/usr/local/fxbin2220」、「/usr/local/fxbin3530」になります。)

```
Enter Binary directory name[/usr/local/fxbin1250] : /home/fxbin
```

- ⑨ インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory is '/home/fxbin' (y/n) [y] : y
```

- ⑩ printcap.add をインストールするディレクトリを指定します。/usr/local/fxetc1250 にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxetc」に変更することにします。(選択機種によってデフォルトのディレクトリが、「/usr/local/fxetc2220」、「/usr/local/fxetc3530」になります。)

```
Enter etc directory name[/usr/local/fxetc1250] : /home/fxetc
```

- ⑪ インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory is '/home/fxetc' (y/n) [y] : y
```

ソフトウェアがインストールされます。

[SunOS 4.x]

```
x euc2ps2.z, 152691 bytes, 299 tape blocks
x fxoption.z, 675 bytes, 2 tape blocks
x sunras2ps2.z, 149244 bytes, 292 tape blocks
x fxbanner.ps.z, 1454 bytes, 3 tape blocks
x fxoption_exec.z, 15564 bytes, 31 tape blocks
x fxpif.z, 153600 bytes, 300 tape blocks
x fxpof.z, 141243 bytes, 276 tape blocks
x fxpvf.z, 150079 bytes, 294 tape blocks
x .fxpsdefault.z, 219 bytes, 1 tape blocks
x printcap.add.z, 977 bytes, 2 tape blocks
```

[Linux]

```
euc2ps2.z
```

```
fxoption.z
xwd2ps2.z
fxbanner.ps.z
fxoption_exec.z
fxpif.z
fxpof.z
fxpvf.z
.fxpsdefault1250.z
printcap.add.z
```

`printcap` ファイルにひな形 (サンプル) の記述が追加されます。

```
*** Editing DocuPrintC1250 Environment files. ***
/etc/printcap ... done
```

参照 ▶ プリンタにインターフェイスボードを装着して、ネットワークにプリンタを接続する場合の設定方法は、「付録A.1 サンプルスクリプトを使用する場合」を参照してください。

オリジナルの `printcap` は、インストーラーを起動したディレクトリの `SAVED` ディレクトリに保存されます。`/tmp` でインストーラーを起動した場合は、次のメッセージが表示されます。

```
/etc/printcap
Original files is saved in '/tmp/SAVED'.
done.
```

これでソフトウェアのインストールは終了です。

2.2.2 インストールによる/etc/printcapの追加

インストール後の/etc/printcapには次のような記述が追加されています。
(選択機種によって fxps1250 の箇所が、「fxps2220」、「fxps3530」になります。)

注記 ▶ Linux (LPRng) の場合は別紙の設定をご覧ください。

```
##
##Typical remote printer entry.
##
#Symphony_LBP|RemoteDocuPrint LBP:\
# :lp=rp=LBP:rm=symphony:sd=/var/spool/rlbp:\
# :lf=/usr/adm/rlpd-errors:mx#0:
#Symphony_A4|RemoteDocuPrint-A4:\
# :lp=rp=A4:rm=symphony:sd=/var/spool/ra4lpd:\
# :lf=/usr/adm/rlpd-errors:mx#0:
#Symphony_A3|RemoteDocuPrint-A3:\
# :lp=rp=A3:rm=symphony:sd=/var/spool/ra3lpd:\
# :lf=/usr/adm/rlpd-errors:mx#0:
##
## Sample entry for direct connection via network.
##
#net_LBP|RemoteDocuPrint|No depends on TRAY and PAPER:\
# :lp=/dev/null:sd=/var/spool/lbp:\
# :lf=/usr/adm/lpd-errors:af=/usr/adm/fxpsacct:\
# :if=/usr/lib/fxps1250/fxpif_sample.sh:\
# :sb:sf:mx#0:
#RLP|RemoteDocuPrint|No depends on TRAY and PAPER:\
# :lp=rp=PS:rm=docuPrint:sd=/var/spool/rlbp:\
# :lf=/usr/adm/rlpd-errors:mx#0:
##
## Typical local printer entry using a parallel port.
##
#LBP|Docu Print|No depends on TRAY and PAPER:\
# :lp=/dev/bpp0:sd=/var/spool/lbp:\
# :lf=/usr/adm/lpd-errors:af=/usr/adm/fxpsacct:\
# :of=/usr/lib/fxps1250/fxpof:\
# :if=/usr/lib/fxps1250/fxpif:\
# :vf=/usr/lib/fxps1250/fxpvf:\
# :sb:sf:mx#0:
#A4|DocuPrint-A4|Select A4\
# :lp=/dev/bpp0:sd=/var/spool/lbp:\
# :lf=/usr/adm/lpd-errors:af=/usr/adm/fxpsacct:\
# :of=/usr/lib/fxps1250/fxpof_A4:\
# :if=/usr/lib/fxps1250/fxpif_A4:\
# :vf=/usr/lib/fxps1250/fxpvf_A4:\
# :sb:sf:mx#0:
#A3|DocuPrint-A3|Select A3:\
# :lp=/dev/bpp0:sd=/var/spool/lbp:\
# :lf=/usr/adm/lpd-errors:af=/usr/adm/fxpsacct:\
# :of=/usr/lib/fxps1250/fxpof_A3:\
```

2.2.3 プリンタの設定

/etc/printcap に追加されたエントリーを使って、ローカルプリンタの設定を行います。ここではプリンタ名「A4」を設定する場合を例に説明します。

注記 ▶ Linux (LPRng) 環境の場合は、別紙の設定方法をご覧ください。

- ① スーパーユーザーになり、/etc/printcap の「Typical local printer entry.」以下の「A4」プリンタエントリー部分のコメントアウト「#」を取り除きます。

```
A4|DocuPrint PS-A4|Select A4:\
:lp=/dev/bpp0:sd=/var/spool/lbp:\
:lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:\
:of=/usr/lib/fxps1250/fxpopf_A4:\
:if=/usr/lib/fxps1250/fxpif_A4:\
:vf=/usr/lib/fxps1250/fxpvf_A4:\
:sb:sf:mx#0:
```

補足 ▶ 必要に応じて、デフォルトプリンタ lp に対するエントリーを「lp|A4|DocuPrint PS-A4|Select A4」のように追加してください。

注記 ▶ スプールディレクトリは、十分余裕のあるファイルシステムに作成してください。スプールディレクトリの容量が足りないと、大きなファイルのプリントができない場合があります。

注記 ▶ エラーログファイル「/usr/adm/lpd-errs」がない場合は作成してください。作成方法は手順 3 を参照してください。

- ② プリンタエントリーで指定したスプールディレクトリを作成し、オーナー、パーミッションを変更します。

```
# cd /var/spool
# mkdir a4lpd
# chown daemon.daemon a4lpd
# chmod 755 a4lpd
```

- ③ プリンタエントリーで指定したエラーログファイルを作成します。

```
# cd /usr/adm; touch lpd-errs
# chmod 644 lpd-errs
```

注記 ▶ ディレクトリが存在しない場合は作成してください。

これでローカルプリンタの設定は終了です。

2.2.4 複数のプリンタを設定する場合

「2.2.3 プリンタの設定」では、「A4」プリンタのみ設定した場合を説明しました。複数のプリンタを設定する場合、各プリンタに対してスプールディレクトリを作成する必要があります。複数のプリンタに対してスプールディレクトリを一度に作成する場合は、次のようにすると便利です。

注記 ▶ Linux (LPRng) 環境の場合は、別紙の設定方法をご覧ください。

/bin/sh の場合

[SunOS 4.x/Linux]

```
# cd /var/spool
# for i in lbp a41pd a31pd
> do
> mkdir $i; chown daemon.daemon $i; chmod 755 $i
> done
#
```

/bin/csh の場合

[SunOS 4.x]

```
# foreach i (lbp a41pd a31pd)
? mkdir $i; chown daemon.daemon $i; chmod 755 $i
? end
#
```

[Linux]

```
# foreach i (lbp a41pd a31pd)
foreach? mkdir $i; chown daemon.daemon $i; chmod 755 $i
foreach? end
#
```

2.2.5 printcapをカスタマイズする場合

「2.2.3 プリンタの設定」では、プリンタ側の通信パラメーターの設定がデフォルト値で、インストールによって/etc/printcap に追加されているデフォルトのエントリーをそのまま使用した場合の設定方法を説明しました。プリンタ側の通信パラメーターの設定がデフォルト値以外の場合や、プリンタ名、接続ポート、スプールディレクトリ名を任意のものにしたい場合は、次の下線部分を変更してください。ただし下線部以外は編集しないでください。（選択機種によってfxps1250の箇所が、「fxps2220」、「fxps3530」になります。）

注記 ▶ Linux (LPRng) 環境の場合は、別紙の設定方法をご覧ください。

[SunOS 4.x/Linux]

```
A4|DocuPrint PS-A4|Select A4:\
:lp=/dev/bpp0:sd=/var/spool/lbp:\
:lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:\
:of=/usr/lib/fxps1250/fxpof_A4:\
:if=/usr/lib/fxps1250/fxpiif_A4:\
:vf=/usr/lib/fxps1250/fxpvf_A4:\
:sb:sf:mx#0:
```

補足 ▶ /etc/printcap の最初のフィールドにはプリンタ名を記述します。プリンタ名を複数指定する場合には、"|"で区切ります。

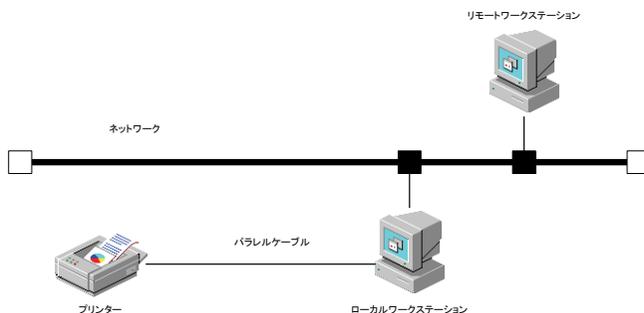
補足 ▶ 接続ポートは「lp=接続ポートデバイスファイル」で指定します。

補足 ▶ スプールディレクトリは「sd=作成したディレクトリの絶対パス」で指定します。ここで指定したディレクトリはプリンタを使用する前に作成して、オーナー名およびグループ名を daemon、パーミッションを 755 に変更しておく必要があります。

2.3 ローカルワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Solaris)

この節では、ローカルワークステーション (Solaris) での操作手順を説明します。下図は、プリンタをシリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いて接続し、ローカルワークステーションをプリントサーバーとして使用した例です。

注記 ▶ この節では、プリンタ側で通信パラメーターがデフォルト値に設定されていることを前提に説明しています。デフォルト値以外の場合は、必要に応じて SunOS 関連マニュアルを参照してください。



2.3.1 インストール/プリンタの設定

① CD-ROM をローカルワークステーションの CD-ROM ドライブに挿入します。

② 環境変数 LANG の設定を行います。

/bin/csh の場合

```
setenv LANG C
```

/bin/sh の場合

```
LANG=C;export LANG
```

③ スーパーユーザーになり、CD-ROM からインストール用スクリプトを取り出します。

注記 ▶ スーパーユーザーの権限をもっていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

```
# cd /tmp
# cp /cdrom/cdrom0/UXFILTER.tar .
# tar xvf ./UXFILTER.tar
```

以下のファイルが取り出されます。

- ▶ README
- ▶ install.sh
- ▶ ufilter.tar
- ▶ ufilter2.tar
- ▶ ufilter3.tar
- ▶ ufilter4.tar

④ 「./install.sh」を入力して、インストーラーを起動します。

```
# ./install.sh
```

- ⑤ 「2.1.3 インストールによって選択するプリンタモデル」から、ご使用になるプリンタに対応するプリンタモデルを選択します。ここでは、「1」を選択することになります。

```
Printer Model?
 1. DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP
 2. DocuCentre Color 500/500 CP
 3. Color Laser Wind 3320PS
 4. DocuPrint C625PS/C626PS
 5. DocuPrint C2220
 6. DocuPrint C2221
 7. DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP
 8. DocuCentre C2100
 9. DocuPrint C3530
10. DocuPrint C3540/C3140/C3250
11. DocuPrint C2426
12. DocuPrint C2424
13. DocuPrint C3200 A
14. DocuPrint C5450
15. DocuPrint C3050
16. DocuPrint C2250
17. DocuPrint C5000 d
18. DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250
19. DocuCentre C2101/C1101
20. ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I
21. DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I
22. ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I
23. DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I
24. ApeosPort-II C4300/C3300/C2200
25. DocuCentre-II C4300/C3300/C2200
26. ApeosPort-II C7500/C6500/C5400
27. DocuCentre-II C7500/C6500/C5400
28. ApeosPort-III C3300/C2200
29. DocuCentre-III C3300/C2200
30. ApeosPort-III C4400
31. DocuCentre-III C4400
32. ApeosPort-III C4405
33. DocuCentre-III C4405
34. DocuPrint C3360
35. DocuPrint C3350
36. ApeosPort-III C3305/C2205
37. DocuCentre-III C3305/C2205
38. ApeosPort-III C7600/C6500/C5500
39. DocuCentre-III C7600/C6500/C5500
40. ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270
41. DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270
42. ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275
43. DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275
44. ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580
45. DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580
46. DocuCentre-IV C2260
47. DocuCentre-IV C2263
48. Exit
Enter Process No
(1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24
/25/26/27/28/29/30/31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41/42/43/44/45
/46/47/48)? : 1
```

- ⑥ 次のようなメニューが表示されます。「1」を選択して、ローカルプリンタの設定を行います。(⑤で選択したプリンタモデル名が表示されます。)

```
Solaris Installation for DocuPrintC1250
  1. Set Local Printer
  2. Set Remote Printer
Enter Process No (1/2)? : 1
```

- ⑦ 接続ポートのデバイス名を入力します。ここでは、パラレルポートを使用します。

```
Enter port-device-name? [/dev/bpp0] : /dev/ecpp0
```

注記 ▶ デバイスファイル名は一例です。各ワークステーションの接続ポートのデバイスファイルを指定してください。

補足 ▶ メッセージ中に[]がある場合、[]内はデフォルト値を表しています。この場合メッセージに対して<Return>キーのみを入力すると、デフォルト値が選択されます。

- ⑧ プリンタ名を入力します。ここでは「DPC1250」を登録することになります。

```
Enter printer-name? [DocuPrintC1250] : DPC1250
Printer-name is 'DPC1250' (y/n)[y] : y
```

- ⑨ ユーティリティをインストールするディレクトリを指定します。/usr/local/fxbin1250 にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxbin」に変更することになります。また、デフォルトディレクトリを選択する場合は、/usr/local ディレクトリは作成されていなくてはいけません。(選択機種によってデフォルトのディレクトリが、「/usr/local/fxbin2220」、「/usr/local/fxbin3530」になります。)

```
Enter Binary directory name [/usr/local/fxbin1250] : /home/fxbin
```

- ⑩ インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory is '/home/fxbin' (y/n)[y] : y
```

ソフトウェアがインストールされます。

```
x euc2ps25.z, 21068 bytes, 42 tape blocks
x fxpif5.z, 22518 bytes, 44 tape blocks
x sunras2ps25.z, 18850 bytes, 37 tape blocks
x FXDCL1250.fd.z, 398 bytes, 1 tape blocks
x Fxdownload.fd.z, 221 bytes, 1 tape blocks
x Fxpostio.fd.z, 250 bytes, 1 tape blocks
x posteuc.z, 321 bytes, 1 tape blocks
```

- ⑪ フィルターの再登録をします。システムにすでに登録されている各フィルターについて、一度削除して再登録するかたずねてきます。フィルターの再登録を行う場合は「y」を、再登録を行わない場合は「n」を入力します。ここでは、すべてのフィルターを再登録することになります。

```
Do you want remove 'download' filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postio' filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postior' filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postplot' filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postreverse' filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postteck' filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'dpost' filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postdaily' filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postdmd' filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postprint' filter and re-install? (y/n)[y] : y
```

```
Do you want remove 'postmd' filter and re-install? (y/n)[y] : y
```

参照 ▶ 各フィルターについての詳細は、SunOS 関連マニュアルを参照してください。

注記 ▶ Solaris で提供されている Administration Tool (admintool)から起動されている PrintManager を利用した場合、プリンタの設定が変更されることがあります。"lpstat -p プリンタ名 -l"と入力して、"Content types: postscript"となった場合は、lpadmin コマンドによりプリンタを削除して再インストールする必要があります。

⑫ プリンタポートモニターを設定します。「y」を入力すると、TCP ポートが追加され、それにプリントサービスが追加されます。

```
Do You want set Port-Monitor? (y/n)[y] : y
```

注記 ▶ Solaris 2.6 以降の OS では、この質問は行われません。

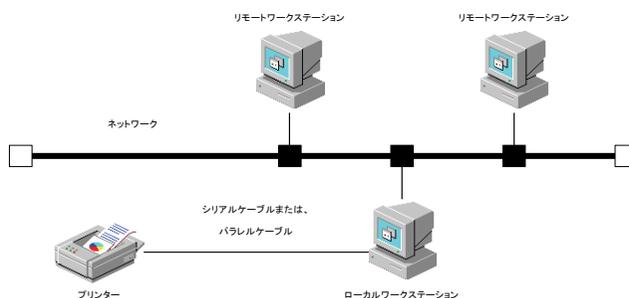
これでリモートワークステーションからプリンタを使用する場合のローカルワークステーション側の設定は終了です。

2.4 リモートワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Sun/Linux)

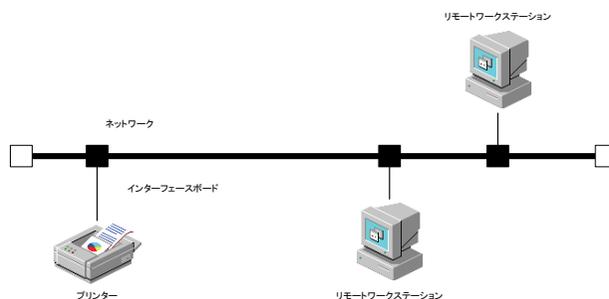
この節では、リモートワークステーション (SunOS 4.x/Linux) での操作手順を説明します。リモートワークステーションからプリンタを使用する場合、ローカルワークステーション側とリモートワークステーション側での設定が必要です。リモートワークステーション側で設定を始める前に、ローカルワークステーション側で設定ができていないかご確認ください。

参照 ▶ ローカルワークステーション側の設定方法は、OS が SunOS 4.x または Linux の場合「2.2 ローカルワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Sun/Linux)」を、Solaris の場合「2.3 ローカルワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Solaris)」を、HP-UX の場合「2.8 インストールでの操作手順」を参照してください。

下図は、プリンタにシリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いてローカルワークステーションと接続し、リモートワークステーションから印刷指示をする場合の例です。



下図は、プリンタにインターフェースボードを装着して直接ネットワークに接続した場合の例です。



参照 ▶ ネットワークに直接接続されたプリンタの設定方法は、「付録 A ネットワーク接続したプリンタに出力する場合」を参照してください。

2.4.1 プリンタの設定

注記 ▶ Linux (LPRng) 環境の場合は、別紙の設定方法をご覧ください。

- ① CD-ROM をリモートワークステーションの CD-ROM ドライブに挿入します。
- ② スーパーユーザーになり、`printcap.add` をカレントディレクトリに取り出します。

[SunOS 4.x]

```
# mount -t hsfs -o ro /dev/sr0 /cdrom
# cd /tmp
# cp /cdrom/UXFILTER.tar
# tar xvf ./UXFILTER.tar ufilter.tar
# tar xvf ufilter.tar printcap.add.Z
# uncompress printcap.add.Z
```

[Linux]

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
# cd /tmp
# cp /mnt/cdrom/UXFILTER.tar
# tar xvf ./UXFILTER.tar ufilter.tar
# tar xvf ufilter.tar printcap.add.Z
# uncompress printcap.add.Z
```

注記 ▶ スーパーユーザーの権限をもっていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

補足 ▶ リモートワークステーション側でプリントユーティリティを使用する場合は、「2.2 ローカルワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 SunOS/Linux)」を参照して、プリントユーティリティをインストールしてください。

- ③ `printcap.add` を `/etc/printcap` に追加した後、「Typical remote printer entry.」以下の部分のうち使用するプリンタのコメントアウト「#」を取り、リモートプリンタの設定を行います。下線部の「Symphony」および「symphony」の部分は、プリンタに接続しているワークステーション名に合わせて変更してください。ここでは、すべてのエントリーを有効にすることにします。

```
Symphony LBP|Remote Docu Print LBP:\
:lp=:rp=LBP:rm=symphony:sd=/var/spool/rlbp:\
:lf=/usr/adm/rlpd-errors:mx#0:
Symphony A4|Remote Docu Print-A4:\
:lp=:rp=A4:rm=symphony:sd=/var/spool/ra4lpd:\
:lf=/usr/adm/rlpd-errors:mx#0:
Symphony A3|Remote Docu Print-A3:\
:lp=:rp=A3:rm=symphony:sd=/var/spool/ra3lpd:\
:lf=/usr/adm/rlpd-errors:mx#0:\
```

補足 ▶ 必要に応じて、デフォルトプリンタ `lp` に対するエントリーを「`lp|Symphony-A4|Remote DocuPrint-A4`」のように追加してください。

注記 ▶ スプールディレクトリは、十分余裕のあるファイルシステムに作成してください。スプールディレクトリの容量が足りないと、大きなファイルのプリントができない場合があります。

- ▶ エラーログファイル「`/usr/adm/lpd-errors`」がない場合は作成してください。作成方法は手順 5. を参照してください。

- ④ 各プリンタエントリーで指定しているスプールディレクトリを作成し、オーナー、パーミッションを変更します。下記はシェルが/bin/sh の場合です。

```
# cd /usr/spool
# for i in rlpd ra4lpd ra3lpd
> do
> mkdir $i; chown daemon.daemon $i; chmod 755 $i
> done
#
```

補足 ▶ /bin/csh の場合には、foreach 以下は次のようになります。

```
[SunOS 4.x]
# foreach i(rlpd ra4lpd ra3lpd)
? mkdir $i; chown daemon.daemon $i; chmod 755 $i
? end
```

```
[Linux] (BSD LPR)
# foreach i(rlpd ra4lpd ra3lpd)
foreach? mkdir $i; chown daemon.daemon $i; chmod 755 $i
foreach? end
```

- ⑤ 各プリンタエントリーで指定しているエラーログファイルを作成します。

```
# cd /usr/adm; touch rlpd-errs
# chmod 644 rlpd-errs
```

注記 ▶ ディレクトリが無い場合作成してください。

これで、リモートワークステーションでの設定は終了です。

2.4.2 printcapをカスタマイズする場合

注記 ▶ Linux (LPRng) 環境の場合は、別紙の設定方法をご覧ください。

「2.4.1 プリンタの設定」では、インストールによって/etc/printcapに追加されているデフォルトのエントリーをそのまま使用しました。プリンタ名やスプールディレクトリ名を任意のものにしたい場合には、次の下線部分を変更してください。ただし、下線部以外は編集しないでください。

```
Symphony A3|Remote Docu Print-A3:\  
:lp=:rp=A3:rm=symphony:sd=/var/spool/ra3lpd:\  
:lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
```

補足 ▶ /etc/printcapの最初のフィールドにはプリンタ名を記述します。プリンタ名を複数指定する場合は"|"で区切ります。

▶ リモートワークステーションの/etc/printcapでのプリンタ名の指定は、「rp=プリンタに接続しているワークステーションの/etc/printcapに登録したプリンタ」で指定します。

▶ スプールディレクトリは「sd=作成したディレクトリの絶対パス」で指定します。ここで指定したディレクトリはプリンタを使用する前に作成して、オーナー名およびグループ名を daemon、パーミッションを 755 に変更しておく必要があります。

2.5 リモートワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Solaris)

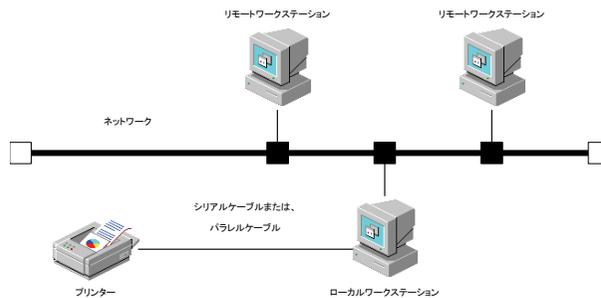
この節では、リモートワークステーション (Solaris) での操作手順を説明します。

リモートワークステーションからプリンタを使用する場合、ローカルワークステーション側とリモートワークステーション側での設定が必要です。リモートワークステーション側で設定を始める前に、ローカルワークステーション側で設定ができていないかご確認ください。また、プリンタ側では、lpd を起動していなければなりません。

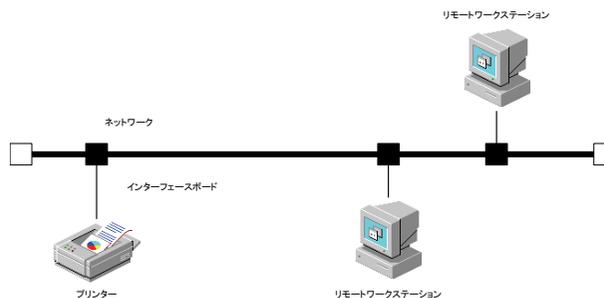
参照 ▶ ローカルワークステーション側の設定方法は、OS が SunOS 4.x または Linux の場合「2.2 ローカルワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Sun/Linux)」を、Solaris の場合「2.3 ローカルワークステーションでの操作 (DC1250/DP2220/DP3530 Solaris)」を、HP-UX の場合「2.8 インストールでの操作手順」を参照してください。

注記 ▶ Solaris をご使用の場合は、プリントサーバーに出力する際、クライアント側ではフィルターリングできません。

下図は、プリンタにシリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いて接続しているワークステーションに、リモートワークステーションから印刷指示をする場合の例です。



下図は、プリンタにインターフェースボードを装着して直接ネットワークに接続した場合の例です。



2.5.1 インストール/プリンタの設定

- ① CD-ROM をリモートワークステーションの CD-ROM ドライブに挿入します。
- ② 環境変数 LANG の設定を行います。

/bin/csh の場合

```
setenv LANG C
```

/bin/sh の場合

```
LANG=C; export LANG
```

- ③ スーパーユーザーになり、CD-ROM からインストール用スクリプトを取り出します。
注記 ▶ スーパーユーザーの権限をもっていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

```
# cd /tmp  
# cp /cdrom/cdrom0/UXFILTER.tar .  
# tar xvf ./UXFILTER.tar
```

以下のファイルが取り出されます。

- ▶ README
- ▶ install.sh
- ▶ ufilter.tar
- ▶ ufilter2.tar
- ▶ ufilter3.tar
- ▶ ufilter4.tar

- ④ 「./install.sh」を入力して、インストーラーを起動します。

```
# ./install.sh
```

- ⑤ 「2.1.3 インストールによって選択するプリンタモデル」から、ご使用になるプリンタに対応するプリンタモデルを選択します。ここでは、「1」を選択することになります。

```
Printer Model?  
1. DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP  
2. DocuCentre Color 500/500 CP  
3. Color Laser Wind 3320PS  
4. DocuPrint C625PS/C626PS  
5. DocuPrint C2220  
6. DocuPrint C2221  
7. DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP  
8. DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP  
9. DocuPrint C3530  
10. DocuPrint C3540/C3140/C3250  
11. DocuPrint C2426  
12. DocuPrint C2424  
13. DocuPrint C3200 A  
14. DocuPrint C5450  
15. DocuPrint C3050  
16. DocuPrint C2250  
17. DocuPrint C5000 d  
18. DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250  
19. DocuCentre C2101/C1101  
20. ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I  
21. DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I  
22. ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I  
23. DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I  
24. ApeosPort-II C4300/C3200/C2200
```

```

25. DocuCentre-II C4300/3200/C2200
26. ApeosPort-II C7500/C6500/C5400
27. DocuCentre-II C7500/6500/C5400
28. ApeosPort-III C3300/C2200
29. DocuCentre-III C3300/C2200
30. ApeosPort-III C4400
31. DocuCentre-III C4400
32. ApeosPort-III C4405
33. DocuCentre-III C4405
34. DocuPrint C3360
35. DocuPrint C3350
36. ApeosPort-III C3305/C2205
37. DocuCentre-III C3305/C2205
38. ApeosPort-III C7600/C6500/C5500
39. DocuCentre-III C7600/C6500/C5500
40. ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270
41. DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270
42. ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275
43. DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275
44. ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580
45. DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580
46. DocuCentre-IV C2260
47. DocuCentre-IV C2263
48. Exit
Enter Process No
(1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24
/25/26/27/28/29/30/31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41/42/43/44/45
/46/47/48)? : 1

```

- ⑥ 次のようなメニューが表示されます。「2」を選択して、リモートプリンタの設定を行います。

```

Solaris Installation for DocuPrintC1250
  1. Set Local Printer
  2. Set Remote Printer
Enter Process No (1/2)? : 2

```

- ⑦ プリンタサーバーのホスト名またはプリンタのホスト名を入力します。ここでは「elephant」を登録することになります。

```

Enter server-hostname?: elephant
server-hostname is 'elephant' (y/n) [y] : y

```

- 注記 ▶ ホスト名はあらかじめ、DNS または NIS、NIS+または hosts に登録されている必要があります。ネットワーク接続されたプリンタで直接印刷する場合は、プリンタのホスト名を登録します。

- ⑧ プリンタを接続しているワークステーション上で定義されているプリンタ名を入力します。ここでは「ps」とすることになります。

```

Enter server-printer-name?: ps
server-printer-name is 'ps' (y/n) [y] : y

```

- 注記 ▶ リモートワークステーションで印刷する場合は、プリントサーバに接続されたプリンタ名、ネットワーク接続されたプリンタでは「ps」を登録します。

- ⑨ Solaris に登録して lp コマンドで指定するプリンタ名を入力します。ここでは「elephant」とすることになります。

```

Enter client-printer-name?: elephant
client-printer-name is 'elephant' (y/n) [y] : y

```

- 注記 ▶ インストールを行っている、ワークステーションに登録するプリンタ名を入力してください。

- ⑩ 手順7.で入力したサーバーがネットワーク接続されたプリンタの場合は「y」を、サーバーとプリンタがローカル接続されている場合は「n」を入力します。ここでは、「n」を入力することになります。

```
'Server-hostname'is network printer?:(y/n)[y] : n
```

- ⑪ 手順10.で「n」を入力した場合、プリンタに接続しているワークステーションのシステムタイプを入力します。Solaris (System V) の場合は「1」を、SunOS 4.x (BSD系) または、lpdをサポートしたネットワークプリンタを使用する場合は「2」を入力します。ここでは「2」を入力することになります。

```
Enter 'Server-hostname'system?:(1:s5 2:bsd) : 2
```

注記 ▶ Solaris 2.6以降のマシンをご使用の場合は、この設定はありません。
また、サーバーのOSがSolaris 2.6以降の場合は、「2」を入力してください。
(Solaris 2.6以降では、System V(s5)は、サポートされておりません。)

- ⑫ プリンタに接続しているワークステーション上のフィルターを使用するかたずねてきます。プリンタにシリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いるローカルワークステーションと接続する場合など、プリンタに接続しているワークステーション上のフィルターを使用する場合は「y」を、プリンタにインターフェースボード装着して直接ネットワークに接続する場合など、リモートワークステーション上でフィルターを使用する場合は「n」を入力します。ここでは「y」を入力します。

```
Use filter in Print Server (y/n)[y] : y
```

- ⑬ ユーティリティをインストールするディレクトリを指定します。/usr/local/fxbin1250にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxbin」に変更することになります。また、デフォルトディレクトリを選択する場合は、/usr/local ディレクトリは作成されていなくてはいけません。(選択機種によってデフォルトのディレクトリが、「/usr/local/fxbin2220」、「/usr/local/fxbin3530」になります。)

```
Enter Binary directory name[/usr/local/fxbin1250] : /home/fxbin
```

- ⑭ インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory is '/home/fxbin'(y/n)[y] : y
```

注記 ▶ 誤って「/tmp/y」を指定していないかを確認ください。

- ⑮ 手順10.で「n」を入力した場合、リモートワークステーション上にフィルターの登録をします。システムにすでに登録されている各フィルターについて、削除して再登録するかたずねてきます。フィルターの再登録を行う場合は「y」を、再登録を行わない場合は「n」を入力します。ここでは、すべてのフィルターを再登録することになります。

```
Do you want remove 'download'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postio'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postior'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postplot'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postreverse'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postteck'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'dpost'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postdaily'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postdmd'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postprint'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postmd'filter and re-install? (y/n)[y] : y
```

参照 ▶ 各フィルターについての詳細は、SunOS 関連マニュアルを参照してください。

これでリモートワークステーション (Solaris) での設定は終了です。

注記 ▶ Solaris で提供されている Administration Tool(admintool)を利用した場合、プリンタ設定が変更されることがあります。

"lpstat -p プリンタ名 -l"と入力して、"Content types: postscript"となった場合は、プリンタを削除して再度インストールする必要があります。

UNIX フィルターで登録したプリンタは、admintool で変更等を行わないでください。

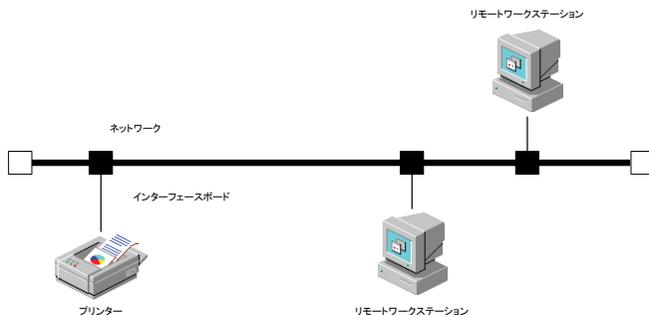
また、デフォルトプリンタの登録を行う場合には、lpadmin コマンドを使用してください。
(# lpadmin -d プリンタ名)

パンナーシートの出力を抑制するには、/etc/lp/interfaces/プリンタ名のファイルを編集します
「nobanner=no」の行を「nobanner=yes」に変更して下さい。

Solaris10 のクライアント・サーバー環境にてご使用の場合 (シリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いて接続しているローカルワークステーションに、リモートワークステーションから印刷指示をする場合)、印刷指示を行うリモートワークステーションと、プリンタの接続されたローカルワークステーションのOSのバージョンおよびUNIXフィルターのバージョンは同じものを使用して下さい。

2.6 ワークステーションでの操作 (CLWDC Sun/Linux)

この節では、Color Laser Wind 3320PS および DocuPrint C625PS/C626PS プリンタにおけるワークステーション (SunOS 4.x/Linux) での操作手順を説明します。下図は、プリンタのネットワークインターフェースを用いて直接ネットワークに接続した場合の環境設定の例です。



2.6.1 ソフトウェアのインストール

- ① CD-ROM をローカルワークステーションの CD-ROM ドライブに挿入します。
 - ② スーパーユーザーになり、CD-ROM からインストールに必要なファイルを取り出します。
- 注記 ▶ スーパーユーザーの権限を持っていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

[SunOS 4.x]

```
# mount -t hsfs -o ro /dev/sr0 /cdrom
# cd /tmp
# cp /cdrom/UXFILTER.tar .
# tar xvf ./UXFILTER.tar
```

[Linux]

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
# cd /tmp
# cp /mnt/cdrom/UXFILTER.tar .
# tar xvf ./UXFILTER.tar
```

以下のファイルが取り出されます。

- ▶ README
- ▶ install.sh
- ▶ ufilter.tar
- ▶ ufilter2.tar
- ▶ ufilter3.tar
- ▶ ufilter4.tar

- ③ 「./install.sh」を入力して、インストーラーを起動します。

```
# ./install.sh
```

- ④ 「2.1.3 インストールによって選択するプリンタモデル」から、ご使用になるプリンタに対応するプリンタモデルを選択します。ここでは、「3」を選択することになります。

```
Printer Model?
 1. DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP
 2. DocuCentre Color 500/500 CP
 3. Color Laser Wind 3320PS
 4. DocuPrint C625PS/C626PS
 5. DocuPrint C2220
 6. DocuPrint C2221
 7. DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP
 8. DocuCentre C2100
 9. DocuPrint C3530
10. DocuPrint C3540/C3140/C3250
11. DocuPrint C2426
12. DocuPrint C2424
13. DocuPrint C3200 A
14. DocuPrint C5450
15. DocuPrint C3050
16. DocuPrint C2250
17. DocuPrint C5000 d
18. DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250
19. DocuCentre C2101/C1101
20. ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I
21. DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I
22. ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I
23. DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I
24. ApeosPort-II C4300/C3300/C2200
25. DocuCentre-II C4300/C3300/C2200
26. ApeosPort-II C7500/C6500/C5400
27. DocuCentre-II C7500/C6500/C5400
28. ApeosPort-III C3300/C2200
29. DocuCentre-III C3300/C2200
30. ApeosPort-III C4400
31. DocuCentre-III C4400
32. ApeosPort-III C4405
33. DocuCenter-III C4405
34. DocuPrint C3360
35. DocuPrint C3350
36. ApeosPort-III C3305/C2205
37. DocuCentre-III C3305/C2205
38. ApeosPort-III C7600/C6500/C5500
39. DocuCentre-III C7600/C6500/C5500
40. ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270
41. DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270
42. ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275
43. DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275
44. ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580
45. DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580
46. DocuCentre-IV C2260
47. DocuCentre-IV C2263
48. Exit
Enter Process No
(1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24
/25/26/27/28/29/30/31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41/42/43/44/45
/46/47/48)? : 3
```

- ⑤ フィルターをインストールするかたずねてきます。「y」を入力します。

第2章 インストール

```
Install Filter? (y/n) [y] : y
```

補足 ▶ メッセージ中に [] がある場合、[] 内はデフォルト値を表しています。この場合、メッセージに対して<Return>キーを押すと、デフォルト値が選択されます。

- ⑥ フィルターファイルをインストールするディレクトリを指定します。/usr/lib/fxps3320 にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxps」に変更することにします。また、デフォルトディレクトリを選択する場合は、ディレクトリは作成されていなくてはいけません。

```
Enter Library directory name [/usr/lib/fxps3320] : /home/fxps
```

- ⑦ インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory is '/home/fxps3320' (y/n) [y] : y
```

- ⑧ ユーティリティをインストールするディレクトリを指定します。/usr/local/fxbin3320 にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxbin」に変更することにします。

```
Enter Binary directory name[/usr/local/fxbin3320] : /home/fxbin
```

- ⑨ インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory is '/home/fxbin3320' (y/n) [y] : y
```

- ⑩ printcap.add をインストールするディレクトリを指定します。/usr/local/fxetc3320 にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxetc」に変更することにします。

```
Enter etc directory name[/usr/local/fxetc3320] : /home/fxetc
```

- ⑪ インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory is '/home/fxetc3320' (y/n) [y] : y
```

ソフトウェアがインストールされます。

[SunOS 4.x]

```
x euc2ps2.z, 152691 bytes, 299 tape blocks
x fxoption.z, 675 bytes, 2 tape blocks
x sunras2ps2.z, 149244 bytes, 292 tape blocks
x fxbanner.ps.z, 1454 bytes, 3 tape blocks
x fxoption_exec.z, 15564 bytes, 31 tape blocks
x fxpif.z, 153600 bytes, 300 tape blocks
x fxpvf.z, 150079 bytes, 294 tape blocks
x .fxpsdefault.z, 219 bytes, 1 tape blocks
x printcap.add.z, 977 bytes, 2 tape blocks
```

[Linux]

```
euc2ps2.z
fxoption.z
xwd2ps2.z
fxbanner.ps.z
fxoption_exec.z
fxpif.z
```

```
fxpvf.z
.fxpsdefault3320.z
printcap.add.z
```

printcap ファイルにひな形 (サンプル) の記述が追加されます。

```
*** Editing LaserWind3320 Environment files. ***
/etc/printcap ... done
```

オリジナルの **printcap** は、インストーラーを起動したディレクトリの **SAVED** ディレクトリに保存されます。**/tmp** でインストーラーを起動した場合は、次のメッセージが表示されます。

```
/etc/printcap
Original files is saved in '/tmp/SAVED'.

done.
```

これでソフトウェアのインストールは終了です。

2.6.2 インストールによる/etc/printcapの追加

インストール後の/etc/printcapには次のような記述が追加されています。

```
#
#@(##)printcap.add 3.0 98/10/01 FX
#   Copyright(C) 1998 by ACEL Co.,Ltd. All rights reserved.
#
# This is a sample of printcap entries for Fuji Xerox printer.
#
##
## Typical direct connection via network.
##                               for LaserWind3320PS
##
#net_CLBP|RemoteLaserWind|No depends on TRAY and PAPER:\
#   :lp=/dev/null:sd=/var/spool/lbp:\
#   :lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:\
#   :if=/usr/lib/fxps3320/fxpif_sample.sh:\
#   :sb:sf:mx#0:
#CRLP|RemoteLaserWind|No depends on TRAY and PAPER:\
#   :lp=:rp=xjdirect:rm=laserwind:sd=/var/spool/rlbp:\
#   :lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
```

2.6.3 プリンタの設定

注記 ▶ Linux (LPRng) の場合は別紙の設定をご覧ください。

クライアントホストから送られた出力をプリントサーバーで受けた際に、起動されるフィルターが変換後、データを直接プリンタに送り、これによって余分となるプリントサーバーに送られたデータの本来の出力を/dev/nullに出すことによって消滅させます。

以下は、インストール時に/etc/printcap に追加される部分です。rm=では、プリンタに割り当てられているホスト名を指定し、rp=には **xjdirect** または **xjprint** を指定します。

```
net_CLBP|RemoteLaserWind|No depends on TRAY and PAPER:\
:lp=/dev/null:sd=/var/spool/lbp:\
:lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:\
:if=/usr/lib/fxps3320/fxpif_sample.sh:\
:sb:sf:mx#0:
CRLP|RemoteLaserWind|No depends on TRAY and PAPER:\
:lp=:rp=xjdirect:rm=laserwind:sd=/var/spool/rlbp:\
:lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
```

補足 ▶ 必要に応じて、デフォルトプリンタ lp に対するエントリーを「lp|net_CLBP|RemoteLaserWind|No depends on TRAY and PAPER」のように追加してください。

注記 ▶ スプールディレクトリは、十分余裕のあるファイルシステムに作成してください。スプールディレクトリの容量が足りないと、大きなファイルのプリントができない場合があります。

注記 ▶ エラーログファイル「/usr/adm/lpd-errs」がない場合は空のファイルを作成してください。

① プリンタエントリーで指定したスプールディレクトリを作成し、オーナー、パーミッションを変更します。

/bin/sh の場合

```
# cd /var/spool
# for i in lbp a41pd a31pd
> do
> mkdir $i;chown daemon.daemon $i;chmod 755 $i
> done
#
```

/bin/csh の場合

[SunOS 4.x]

```
# foreach i (lbp a41pd a31pd)
? mkdir $i;chown daemon. daemon $i;chmod 755 $i
? end
#
```

[Linux]

```
# foreach i (lbp a41pd a31pd)
foreach? mkdir $i;chown daemon. daemon $i;chmod 755 $i
foreach? end
#
```

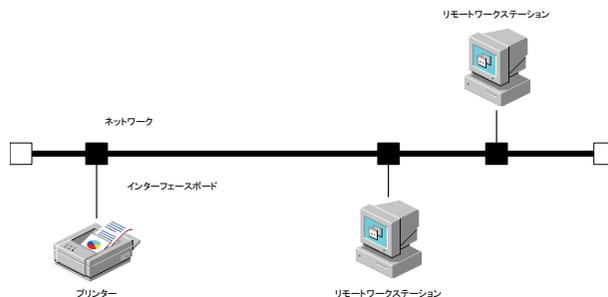
- ② プリンタエントリーで指定したエラーログファイルを作成します。

```
# cd /usr/adm;touch lpd-errs  
# chmod 644 lpd-errs
```

これでプリンタの設定は終了です。

2.7 ワークステーションでの操作 (CLWDC Solaris)

この節では、Color Laser Wind 3320PS および DocuPrint C625PS/C626PS プリンタにおけるワークステーション (Solaris) での操作手順を説明します。下図は、プリンタのネットワークインターフェースを用いて直接ネットワークに接続した場合の例です。



2.7.1 インストール/プリンタの設定

① CD-ROM をローカルワークステーションの CD-ROM ドライブに挿入します。

② 環境変数 LANG の設定を行います。

/bin/csh の場合

```
setenv LANG C
```

/bin/sh の場合

```
LANG=C; export LANG
```

③ スーパーユーザーになり、CD-ROM からインストール用スクリプトを取り出します。

注記 ▶ スーパーユーザーの権限をもっていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

```
# cd /tmp
# cp /cdrom/cdrom0/UXFILTER.tar .
# tar xvf ./UXFILTER.tar
```

以下のファイルが取り出されます。

- ▶ README
- ▶ install.sh
- ▶ ufilter.tar
- ▶ ufilter2.tar
- ▶ ufilter3.tar
- ▶ ufilter4.tar

④ 「./install.sh」を入力して、インストーラーを起動します。

```
# ./install.sh
```

- ⑤ 「2.1.3 インストールによって選択するプリンタモデル」から、ご使用になるプリンタに対応するプリンタモデルを選択します。ここでは、「3」を選択することになります。

```
Printer Model?
 1. DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP
 2. DocuCentre Color 500/500 CP
 3. Color Laser Wind 3320PS
 4. DocuPrint C625PS/C626PS
 5. DocuPrint C2220
 6. DocuPrint C2221
 7. DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP
 8. DocuCentre C2100
 9. DocuPrint C3530
10. DocuPrint C3540/C3140/C3250
11. DocuPrint C2426
12. DocuPrint C2424
13. DocuPrint C3200 A
14. DocuPrint C5450
15. DocuPrint C3050
16. DocuPrint C2250
17. DocuPrint C5000 d
18. DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250
19. DocuCentre C2101/C1101
20. ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I
21. DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I
22. ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I
23. DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I
24. ApeosPort-II C4300/C3300/C2200
25. DocuCentre-II C4300/C3300/C2200
26. ApeosPort-II C7500/C6500/C5400
27. DocuCentre-II C7500/C6500/C5400
28. ApeosPort-III C3300/C2200
29. DocuCentre-III C3300/C2200
30. ApeosPort-III C4400
31. DocuCentre-III C4400
32. ApeosPort-III C4405
33. DocuCentre-III C4405
34. DocuPrint C3360
35. DocuPrint C3350
36. ApeosPort-III C3305/C2205
37. DocuCentre-III C3305/C2205
38. ApeosPort-III C7600/C6500/C5500
39. DocuCentre-III C7600/C6500/C5500
40. ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270
41. DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270
42. ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275
43. DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275
44. ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580
45. DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580
46. DocuCentre-IV C2260
47. DocuCentre-IV C2263
48. Exit
Enter Process No
(1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24
/25/26/27/28/29/30/31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41/42/43/44/45
/46/47/48)? : 3
```

- ⑥ プリンタのホスト名を入力します。ここでは「elephant」を登録することになります。

```
Enter server-hostname? : elephant
Server-hostname is 'elephant' (y/n) [y] : y
```

補足 ▶ ホスト名はあらかじめ、DNS または NIS、NIS+または hosts に登録されている必要があります。ここでは、プリンタのホスト名を登録します。

- ⑦ リモートプリンタ名を入力します。ネットワーク接続の場合は「xjdirect」または「xiprint」と入力します。

```
Enter server-printer-name? : xjdirect
server-printer-name is 'xjdirect' (y/n) [y] : y
```

補足 ▶ プリンタ本体のマニュアルのキューを使用した印刷の項をご覧ください。

- ⑧ Solaris に登録して lp コマンドで指定するプリンタ名を入力します。ここでは「elephant」とすることにします。

```
Enter client-printer-name? : elephant
Server-printer-name is 'elephant' (y/n) [y] : y
```

補足 ▶ インストールを行っている、ワークステーションに登録するプリンタ名を入力してください。

- ⑨ ユーティリティをインストールするディレクトリを指定します。/usr/local/fxbin3320 にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxbin」に変更することにします。また、デフォルトディレクトリを選択する場合は、/usr/local ディレクトリは作成されていなくてはいけません。

```
Enter Binary directory name [/usr/local/fxbin3320] : /home/fxbin
```

- ⑩ インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory is '/home/fxbin' (y/n) [y] : y
```

注記 ▶ 誤って「/tmp/y」を指定していないかご確認ください。

- ⑪ ワークステーション上にフィルターの登録をします。システムにすでに登録されている各フィルターについて、削除して再登録するかたずねてきます。フィルターの再登録を行う場合は「y」を、再登録を行わない場合は「n」を入力します。ここでは、すべてのフィルターを再登録することにします。

```
Do You want remove 'download' filter and re-install?(y/n) [y] : y
Do You want remove 'postio' filter and re-install?(y/n) [y] : y
Do You want remove 'postior' filter and re-install?(y/n) [y] : y
Do You want remove 'postplot' filter and re-install?(y/n) [y] : y
Do You want remove 'postreverse' filter and re-install?(y/n) [y] : y
Do You want remove 'posttek' filter and re-install?(y/n) [y] : y
Do You want remove 'dpost' filter and re-install?(y/n) [y] : y
Do You want remove 'postdaily' filter and re-install?(y/n) [y] : y
Do You want remove 'postdmd' filter and re-install?(y/n) [y] : y
Do You want remove 'postprint' filter and re-install?(y/n) [y] : y
Do You want remove 'postmd' filter and re-install?(y/n) [y] : y
```

参照 ▶ 各フィルターについての詳細は、SunOS 関連マニュアルを参照してください。

これでワークステーション(Solaris)での設定は終了です。

注記 ▶ Solaris で提供されている Administration Tool(admintool)を利用した場合、プリンタ設定が変更されることがあります。

"lpstat -p プリンタ名 -l"と入力して、"Content types: postscript"となった場合は、プリンタを削除し

て再度インストールする必要があります。

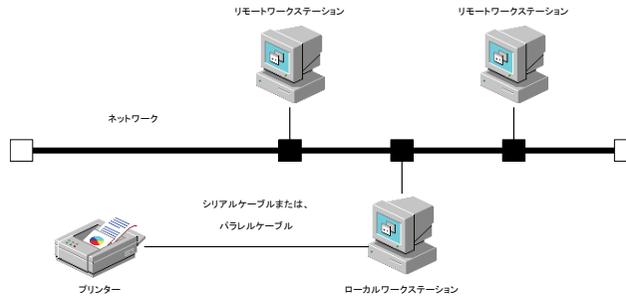
UNIX フィルターで登録したプリンタは、admintool で変更等を行わないでください。

また、デフォルトプリンタの登録を行う場合には、lpadmin コマンドを使用してください。
(# lpadmin -d プリンタ名)

バナーシートの出力を抑制するには、/etc/lp/interfaces/プリンタ名のファイルを編集します
「nobanner=no」の行を「nobanner=yes」に変更して下さい。

2.8 インストールでの操作手順 (HP-UX)

この節では、HP-UX でのインストールの操作手順を説明します。下図は、プリンタをパラレルケーブルを用いて接続し、ローカルワークステーションをプリントサーバーとして使用した例です。直接ネットワークケーブルを接続した場合も同様です。



- 注記 ▶ この節では、プリンタ側でシリアルポートの通信パラメーターがデフォルト値に設定されていることを前提に説明しています。デフォルト値以外の場合は、必要に応じて HP-UX 関連マニュアルを参照してください。
- 注記 ▶ インストーラーを起動する前に SAM で出力先のプリンタを登録する必要があります。SAM については、HP-UX のマニュアルをご覧ください。

2.8.1 インストール手順

- ① CD-ROM をワークステーションの CD-ROM ドライブに挿入します。
- ② 環境変数 LANG の設定を行います。

/bin/csh の場合

```
setenv LANG C
```

/bin/sh の場合

```
LANG=C; export LANG
```

- ③ スーパーユーザーになり、CD-ROM からインストール用スクリプトを取り出します。

注記 ▶ スーパーユーザーの権限をもっていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

```
# mount -F cdafs -o cdcase /dev/dsk/c1t2d0 /cdrom
# cd /tmp
# cp /cdrom/UXFILTER.tar .
# tar xvf UXFILTER.tar
```

注記 ▶ 「/dev/dsk/c1t2d0」は一例です。各ワークステーションの CD-ROM のデバイスファイルを指定して下さい。

以下のファイルが取り出されます。

- ▶ README
- ▶ install.sh
- ▶ ufilter.tar
- ▶ ufilter2.tar
- ▶ ufilter3.tar
- ▶ ufilter4.tar

- ④ 「./install.sh」を入力して、インストーラーを起動します。

```
# ./install.sh
```

- ⑤ 「2.1.3 インストールによって選択するプリンタモデル」から、ご使用になるプリンタに対応するプリンタモデルを選択します。ここでは、「1」を選択することになります。

```
Printer Model?
1. DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP
2. DocuCentre Color 500/500 CP
3. Color Laser Wind 3320PS
4. DocuPrint C625PS/C626PS
5. DocuPrint C2220
6. DocuPrint C2221
7. DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP
8. DocuCentre C2100
9. DocuPrint C3530
10. DocuPrint C3540/C3140/C3250
11. DocuPrint C2426
12. DocuPrint C2424
13. DocuPrint C3200 A
14. DocuPrint C5450
15. DocuPrint C3050
16. DocuPrint C2250
17. DocuPrint C5000 d
18. DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250
```

```

19. DocuCentre C2101/C1101
20. ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I
21. DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I
22. ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I
23. DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I
24. ApeosPort-II C4300/C3300/C2200
25. DocuCentre-II C4300/C3300/C2200
26. ApeosPort-II C7500/C6500/C5400
27. DocuCentre-II C7500/C6500/C5400
28. ApeosPort-III C3300/C2200
29. DocuCentre-III C3300/C2200
30. ApeosPort-III C4400
31. DocuCentre-III C4400
32. ApeosPort-III C4405
33. DocuCentre-III C4405
34. DocuPrint C3360
35. DocuPrint C3350
36. ApeosPort-III C3305/C2205
37. DocuCentre-III C3305/C2205
38. ApeosPort-III C7600/C6500/C5500
39. DocuCentre-III C7600/C6500/C5500
40. ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270
41. DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270
42. ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275
43. DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275
44. ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580
45. DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580
46. DocuCentre-IV C2260
47. DocuCentre-IV C2263
48. Exit
Enter Process No
(1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24
/25/26/27/28/29/30/31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41/42/43/44/45
/46/47/48)? : 1

```

- ⑥ ユーティリティをインストールするディレクトリを指定します。`/usr/local/fxbin1250` にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「`/home/fxbin`」に変更することにします。既に本ユーティリティがインストールされている場合には上書きしても良いかとのメッセージが表示されます。また、デフォルトディレクトリを選択する場合は、`/usr/local` ディレクトリは作成されていないけません。(選択機種によってデフォルトのディレクトリが、「`/usr/local/fxbin2220`」、「`/usr/local/fxbin3530`」になります。)

```

Enter install directory name [/usr/local/fxbin1250] : /home/fxbin
directory is '/usr/local/fxbin' (y/n) [n] : y

```

- 補足 ▶ メッセージ中に[]がある場合、[]内はデフォルト値を表しています。この場合メッセージに対して<Return>キーのみを入力すると、デフォルト値が選択されます。

- ⑦ 出力プリンタ名を入力します。ここでは「`DC1250`」を登録することにします。インストール前にSAMで登録したプリンタ名を登録して下さい。

```

Enter output-printer-name? : DC1250
output-printer-name is 'DC1250' (y/n) [y] : y

```

- 補足 ▶ 登録されているプリンタ名は「`lpstat -v`」を実行することにより、確認できます。

- 補足 ▶ `sam` で Color Laser Wind 3320PS および DocuPrint C625PS/C626PS 用の出力プリンタを登録する

際の、Remote Printer Name は、必ず xidirect または xiprint として下さい。詳しくは、プリンタ本体のマニュアルのキューを使用した印刷の項をご覧ください。

- ⑧ 論理プリンタ名を入力します。ここでは「UFILTER」を登録することにします。現在、システムに登録されていないプリンタ名を登録して下さい。インストール終了後、lp コマンドでこのプリンタを指定する事により、lp コマンドから自動的に本フィルターを起動する事ができます。詳しくは3章以降を参照してください。

```
Enter logical-printer-name? : UFILTER
Printer-name is 'UFILTER' (y/n) [y] : y
```

- ⑨ 「6.」で指定したディレクトリにユーティリティがインストールされます。ここで「8.」で登録した論理プリンタがユーティリティを参照できるように登録を行います。この処理は自動的に行われますので、入力の必要はありません。これでインストール終了です。

```
done.
```

参照 ▶ 各ユーティリティについての詳細は、「第3章 プリント操作とユーティリティ」を参照してください。

2.9 エラーメッセージ一覧

インストール時に表示されるエラーメッセージとその対処方法は次のとおりです。

[SunOS 4.x/Linux]

エラーメッセージ	原因	処置
install.sh:should be used by'root'	スーパーユーザー以外でinstall.shを実行した。	スーパーユーザーになり、install.shを再度実行してください。
install.sh:Installation give up.	フィルターライブラリーを格納する領域が十分でない。	空きディスク容量が20メガバイト以上のパーティションにインストールしてください。

[Solaris]

エラーメッセージ	原因	処置
install.sh:should be used by'root'.	スーパーユーザー以外でinstall.shを実行した。	スーパーユーザーになり、install.shを再度実行してください。
install.sh:should install sunwlp/ sunwlp package.	lpshedが動作しない。	sunwlp または sunwlp パッケージをインストールしてください。
printer-name can contains alphanumeric characters and underscores.	"printer-name"の入力で、英数字およびアンダーバー以外の文字が使用されている	正しく"printer-name"を入力する。
client-printer-name can contains alphanumeric characters and underscores.	"client-printer-name"の入力で、英数字およびアンダーバー以外の文字が使用されている。	正しく"client-printer-name"を入力する。
server-printer-name can contains alphanumeric characters and underscores.	"server-printer-name"の入力で、英数字およびアンダーバー以外の文字が使用されている。	正しく"server-printer-name"を入力する。
printer-name exceeds 14 character	"printer-name"の入力で、文字数が14文字を超えている。	正しく"printer-name"を14文字以内で入力する。
client-printer-name exceeds 14 character.	"client-printer-name"の入力で、文字数が14文字を超えている。	正しく"client-printer-name"を14文字以内で入力する。
server-printer-name exceeds 14 character.	"server-printer-name"の入力で、文字数が14文字を超えている。	正しく"server-printer-name"を14文字以内で入力する。

[HP-UX]

エラーメッセージ	原因	処置
install.sh:should be used by'root'	スーパーユーザー以外でinstall.shを実行した。	スーパーユーザーになり、install.shを再度実行してください。
Install.sh:should install LP-SPOOL filesets.	lpsched、またlpshutコマンドが存在しない。	LP-SPOOLファイルセットをインストールしてください。
output-printer-name can contains alphanumeric characters and underscores	“output-printer-name”の入力で、英数字およびアンダーバー以外の文字が使用されている。	正しく“output-printer-name”を入力する。
logical-printer-name can contains alphanumeric characters and underscores.	“logical-printer-name”の入力で、英数字およびアンダーバー以外の文字が使用されている。	正しく“logical-printer-name”を入力する。
output-printer-name exceeds 14 character.	“output-printer-name”の入力で、文字数が14文字を超えている。	正しく“output-printer-name”を14文字以内で入力する。
logical-printer-name exceeds 14 character.	“logical-printer-name”の入力で、文字数が14文字を超えている。	正しく“logical-printer-name”を14文字以内で入力する。
The printer “Printer name” is not installed.	“logical-printer-name”の入力で、登録されていないプリンタ名を使おうとした。	正しく“logical-printer-name”を入力する。
The printer “Printer name” has already been installed.	“output-printer-name”の入力で、登録されているプリンタ名を使おうとした。	正しく“output-printer-name”を入力する。

第3章 プリント操作とユーティリティ

3.1 プリント操作 (Sun/Linux)

この節では、フィルターを使ったプリント操作について説明します。各ユーティリティの詳細については、「3.5 euc2ps2」から「3.16 fxoption」を参照してください。
プリントする場合、`/etc/printcap`に登録したプリンタを出力先として指定します。

3.1.1 UNIXフィルターユーティリティを単独で使用する場合

DocuPrint C1250、DocuColor 1250/1250 CP、DocuCentre Color 500/500 CP、
DocuPrint C2220/C2221、DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、
DocuCentre C2100、
DocuPrint C3530、DocuPrint C3540/C3140/C3250、DocuPrint C2426、DocuPrint C2424、
DocuPrint C3200 A、DocuPrint C5450、DocuPrint C3050、
DocuPrint C2250、DocuPrint C3360、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、
DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250、DocuCentre C2101/C1101、
ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I、DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I、
ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、
ApeosPort-II C4300/C3300/C2200、DocuCentre-II C4300/C3300/C2200、
ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、
ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、
ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205
ApeosPort-III C4400、DocuCentre-III C4400、
ApeosPort-III C4405、DocuCentre-III C4405、
ApeosPort-III C7600/C6500/C5500、DocuCentre-III C7600/C6500/C5500、
ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、
ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、
ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、
DocuCentre-IV C2260、DocuCentre-IV C2263

デフォルトのプリンタにプリントする場合

デフォルトのプリンタとして登録した場合は、次のようにプリンタ名の指定を省略することができます。

```
% lpr filename
```

デフォルト以外のプリンタにプリントする場合

プリンタ名「A4」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lpr -PA4 filename
```

デフォルトのプリンタを一時的に変更してプリントする場合

デフォルトのプリンタを変更するには、環境変数 `PRINTER` にプリンタ名を設定します。

プリンタ名「A4」をデフォルトのプリンタにしてプリントする場合、次のように入力します。

```
% setenv PRINTER A4
% lpr filename
```

日本語のテキストファイルをプリントする場合

EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostScript 言語プログラムに変換するフィルターが、自動的に動作します。このため、特別な操作は必要ありません。英語のテキストファイルを出力する場合と同じように `lpr` コマンドを指定します。

プリンタ名「A4」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lpr -PA4 filename
```

給紙トレイを選択してプリントする場合

給紙トレイを選択してプリントする場合は、あらかじめ、.fxpsdefault1250 ファイル、.fxpsdefault2220 ファイル、.fxpsdefault3530 ファイルを使って、希望の給紙トレイを使用するフィルタを定義する必要があります。

トレイ 2 (2 段目のトレイ) を選択してプリントする場合、トレイ 2 から給紙するようにフィルタのオプションを定義します。定義されたフィルタを使用しているプリンタのプリンタ名「tray2」を次のように指定します。

```
% lpr -Ptray2 filename
```

Color Laser Wind 3320PS、DocuPrint C625PS/C626PS

デフォルトのプリンタにプリントする場合

デフォルトのプリンタとして登録した場合は、次のようにプリンタ名の指定を省略することができます。

```
% lpr filename
```

デフォルト以外のプリンタにプリントする場合

プリンタ名「A4」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lpr -PA4 filename
```

デフォルトのプリンタを一時的に変更してプリントする場合

デフォルトのプリンタを変更するには、環境変数 PRINTER にプリンタ名を設定します。

プリンタ名「A4」をデフォルトのプリンタにしてプリントする場合、次のように入力します。

```
% setenv PRINTER A4
% lpr filename
```

日本語のテキストファイルをプリントする場合

EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostScript 言語プログラムに変換するフィルターが、自動的に動作します。このため、特別な操作は必要ありません。英語のテキストファイルを出力する場合と同じように lpr コマンドを指定します。

プリンタ名「A4」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lpr -PA4 filename
```

給紙トレイを選択してプリントする場合

給紙トレイを選択してプリントする場合は、あらかじめ、.fxpsdefault3320 ファイルを使って、希望の給紙トレイを使用するプリンタを定義する必要があります。

B4 用紙を選択してプリントする場合、.fxpsdefault3320 ファイルを使って、B4 用紙を給紙するようにプリンタを定義します。定義されたプリンタのプリンタ名「B4」を次のように指定します。

```
% lpr -PB4 filename
```

3.1.2 UNIXフィルターユーティリティを複数で使用する場合

印刷処理で使用したい各ユーティリティを複数の異なる設定で使用する場合、ユーティリティ `fxoption` を使用して設定ファイル `.fxpsdefault1250` ファイル、`.fxpsdefault2220` ファイル、`.fxpsdefault3530`、`.fxpsdefault3320` ファイルを作成します。

参照 ▶ 各ユーティリティの詳細については、「3.5 euc2ps2」から、「3.16 fxoption」を参照してください。

.fxpsdefault1250、.fxpsdefault2220、.fxpsdefault3530 について

`/etc/printcap` を通して各ユーティリティを利用するときに、独自オプションを設定するためのファイルです。以降、デフォルトコマンドオプション設定ファイルと呼びます。

設定方法

A4 用紙に長辺とじ印刷を行うプリンタ「A4D」を定義する場合、次のように操作します。

操作手順

- ⑩ ユーザーのホームディレクトリ、またはディレクトリ `/usr/lib/fxps1250/UserDefault` 下に、デフォルトコマンドオプション設定ファイルを作成します。

```
% ユーザーのホームディレクトリ/.fxpsdefault1250
または
% /usr/lib/fxps1250/UserDefault/.fxpsdefault1250
```

(DP2220 の場合、`/usr/lib/fxps2220/UserDefault/.fxpsdefault2220` ファイル)

(DP3530 の場合、`/usr/lib/fxps3530/UserDefault/.fxpsdefault3530` ファイル)

ユーザーがプリントジョブを `lpr` コマンドで送信すると、ユーザーのホームディレクトリにある `.fxpsdefault1250` ファイルに設定されたオプションが追加されて印刷されます。

ホームディレクトリに `.fxpsdefault1250` デフォルトオプション設定ファイルが無いユーザーの場合は `lpr` コマンドで印刷を行うと `/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.fxpsdefault1250` ファイルに設定されたオプションが自動で追加されます。

補足 ▶ 全てのユーザーで同じ設定を利用する場合は、`/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.fxpsdefault1250` を設定します。

- ⑪ `/etc/printcap` にプリンタ「A4D」を登録します。

[SunOS 4.x]

```
A4D|1250-A4D|A4 Size DuplexBook:\
:lp=/dev/bpp0:sd=/var/spool/a41dlbp:\
:lf=/usr/adm/lpd-errors:af=/usr/adm/fxpsacct:\
:of=/usr/lib/fxps1250/a4dof:\
:vf=/usr/lib/fxps1250/a4dvf:\
:if=/usr/lib/fxps1250/a4dif:\
:sb:sf:mx#0:
```

[Linux] (BSD LPR)

```
A4D|1250-A4D|A4 Size DuplexBook:\
:lp=/dev/lp1:sd=/var/spool/a41dlbp:\
:lf=/usr/adm/lpd-errors:af=/usr/adm/fxpsacct:\
:of=/usr/lib/fxps1250/a4dof:\
:vf=/usr/lib/fxps1250/a4dvf:\
:if=/usr/lib/fxps1250/a4dif:\
:sb:sf:mx#0:
```

注記 ▶ Linux (LPRng) の場合は別紙の設定をご覧ください。

- ⑫ スーパーユーザーになり、A4 用紙に長辺とじ印刷を行うためのフィルター a4dif、a4dvf、a4dof をシンボリックリンクを使って作成します。

```
# ln -s /usr/lib/fxps1250/fxpif /usr/lib/fxps1250/a4dif
# ln -s /usr/lib/fxps1250/fxpvf /usr/lib/fxps1250/a4dvf
# ln -s /usr/lib/fxps1250/fxpof /usr/lib/fxps1250/a4dof
```

- ⑬ フィルター a4dif、a4dvf、a4dof のオプションを指定するデフォルトコマンドオプション設定ファイルに次のように記述します。

```
a4dif -D IA4
a4dvf -IA4
a4dof -IA4
```

- ⑭ プリンタ名に「A4D」を指定すると、A4 用紙に長辺とじ印刷を行うことができます。

```
% lpr -PA4D filename
```

注記 ▶ fxpvf、fxpg4f は、SunOS 4.x の場合 sunras2ps2 を、Linux の場合 xwd2ps2 をハードリンクしているため、上記の方法で指定を行う場合には、fxpg4f は指定できません。G4 圧縮を行う場合は、fxpvf に-G4 オプションを指定して下さい。

- ▶ シンボリックリンクで作成する a4dif、a4dvf、a4dof などのファイル名は各ユーザーで共通のファイル名となります。

.fxpsdefault3320 について

/etc/printcap を通して各ユーティリティを利用するときに、独自オプションを設定するためのファイルです。以降、デフォルトコマンドオプション設定ファイルと呼びます。

設定方法

A4 用紙に横向き印刷を行うプリンタ「A4R」を定義する場合、次のように操作します。

操作手順

- ⑮ ユーザーのホームディレクトリ、またはディレクトリ /usr/lib/fxps3320/UserDefault 下に、デフォルトコマンドオプション設定ファイルを作成します。

```
% ユーザーのホームディレクトリ/.fxpsdefault3320 または
% /usr/lib/fxps3320/UserDefault/.fxpsdefault3320
```

ユーザーがプリントジョブを lpr コマンドで送信すると、ユーザーのホームディレクトリにある .fxpsdefault3320 ファイルに設定されたオプションが追加されて印刷されます。

また、ホームディレクトリに .fxpsdefault3320 デフォルトオプション設定ファイルが無いユーザーの場合は、/usr/lib/fxps3320/UserDefault/.fxpsdefault3320 ファイルに設定されたオプションが自動で追加されます。

補足 ▶ 全てのユーザーで同じ設定を利用する場合は、/usr/lib/fxps3320/UserDefault/.fxpsdefault3320 を設定します。

- ⑩ /etc/printcap にプリンタ「A4R」を登録し、横向き印刷を行うシェルスクリプトを追加します。

[SunOS 4.x]

```
A4R|3320-A4R|A4 Size LandScape:\
:lp=/dev/null:sd=/var/spool/lbp:\
:lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:\
:if=/usr/lib/fxps3320/a4rif.sh:\
:vf=/usr/lib/fxps3320/a4rvf.sh:\
:sb:sf:mx#0:
CRLP|RemoteLaserWind|No depends on TRAY and PAPER:\
:lp=:rp=xjdirect:rm=laserwind:sd=/var/spool/rlbp:\
:lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
```

[Linux] (BSD LPR)

```
A4R|3320-A4R|A4 Size LandScape:\
:lp=/dev/null:sd=/var/spool/lbp:\
:lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:\
:if=/usr/lib/fxps3320/a4rif.sh:\
:vf=/usr/lib/fxps3320/a4rvf.sh:\
:sb:sf:mx#0:
CRLP|RemoteLaserWind|No depends on TRAY and PAPER:\
:lp=:rp=xjdirect:rm=laserwind:sd=/var/spool/rlbp:\
:lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
```

注記 ▶ Linux (LPRng) の場合は別紙の設定をご覧ください。

- ⑪ スーパーユーザーになり、A4 用紙に長辺とじ印刷を行うためのフィルター a4rif、a4rvf を、シンボリックリンクを使って作成します。

```
# ln -s /usr/lib/fxps3320/fxpif /usr/lib/fxps3320/a4rif
# ln -s /usr/lib/fxps3320/fxpvf /usr/lib/fxps3320/a4rvf
```

- ⑫ フィルター a4rif、a4rvf の独自オプションを指定するデフォルトコマンドオプション設定ファイルに次のように記述します。

```
a4rif -r -IA4
a4rvf -r -IA4
```

- ⑬ 横向きに印刷するためのシェルスクリプト a4rif.sh a4rvf.sh を、サンプルで提供されるシェルスクリプトを参考に作成します。(例では a4rif.sh のみ作成していますが同様に、a4rvf.sh も作成します)

```
#!/bin/sh
# a4rif.sh
PATH=/bin:/usr/bin:/usr/ucb ;export PATH
/usr/lib/fxps3320/a4rif $* | lpr -PCRLP
exit 0
```

- ⑭ プリンタ名に「A4R」を指定すると、A4 用紙に長辺とじ印刷を行うことができます。

```
% lpr -PA4R filename
```

注記 ▶ fxpvf、fxpg4f は、SunOS 4.x の場合 sunras2ps2 を、Linux の場合 xwd2ps2 をハードリンクしているため、上記の方法で指定を行う場合には、fxpg4f は指定できません。G4 圧縮を行う場合は、fxpvf に -G4 オプションを指定して下さい。

- ▶ シンボリックリンクで作成する a4rif、a4rvf などのファイル名は各ユーザーで共通のファイル名となります。

3.2 プリント操作 (Solaris)

この節では、フィルターを使ったプリント操作について説明します。各ユーティリティの詳細については、「3.5 euc2ps2」以降の項目を参照してください。Solaris からプリントする場合、フィルターのインストールのときに登録したプリンタを出力先として指定します。

注記 ▶ lp コマンドを使用するときは、lpstat コマンド (lpstat -p all) によってスプーラーの動作環境 (enabled,available) が正しく設定されていることを確認してください。なお、ld コマンドおよび lpstat コマンドのオプションや使用方法の詳細については SunOS 関連のマニュアルを参照してください。

3.2.1 Solarisからプリントする場合

DocuPrint C1250、DocuColor 1250/1250 CP、DocuCentre Color 500/500 CP、
 DocuPrint C2220/C2221、DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、
 DocuCentre C2100、
 DocuPrint C3530、DocuPrint C3540/C3140/C3250、DocuPrint C2426、DocuPrint C2424、
 DocuPrint C3200 A、DocuPrint C5450、DocuPrint C3050、
 DocuPrint C2250、DocuPrint C3360、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、
 DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250、DocuCentre C2101/C1101、
 ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I、DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I、
 ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、
 ApeosPort-II C4300/C3300/C2200、DocuCentre-II C4300/C3300/C2200、
 ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、
 ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、
 ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、
 ApeosPort-III C4400、DocuCentre-III C4400、
 ApeosPort-III C4405、DocuCentre-III C4405、
 ApeosPort-III C7600/C6500/C5500、DocuCentre-III C7600/C6500/C5500、
 ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、
 ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、
 ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、
 DocuCentre-IV C2260、DocuCentre-IV C2263

デフォルトのプリンタにプリントする場合

デフォルトのプリンタとして登録した場合は、次のようにプリンタ名の指定を省略することができます。

```
% lp filename
```

補足 ▶ デフォルトプリンタは「lpadmin -d プリンタ名」を実行することにより、変更できます。

デフォルト以外のプリンタにプリントする場合

プリンタ名「c1250」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -d c1250 filename
```

補足 ▶ プリンタ名は「lpstat -v」を実行することにより、確認できます。

デフォルトのプリンタを一時的に変更してプリントする場合

デフォルトのプリンタを変更するには、環境変数 LPDEST にプリンタ名を設定します。

プリンタ名「1250PS」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% setenv LPDEST 1250PS
% lp filename
```

補足 ▶ この方法を使用すれば、ユーザーごとにデフォルトプリンタを設定することができます。
 ▶ 上の例は csh を使用している場合の設定方法です。

日本語のテキストファイルをプリントする場合

EUCコードで表現された日本語のテキストファイルをPostScript言語プログラムに変換するフィルターが、自動的に動作します。このため、特別な操作は必要ありません。英語のテキストファイルを出力する場合と同じようにlpコマンドを指定します。

プリンタ名「1250PS」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -d 1250PS filename
```

給紙トレイを選択してプリントする場合

給紙トレイを選択してプリントする場合、lpコマンドの-yオプションに続けて給紙トレイを指定します。トレイ2(2段目のトレイ)を選択してプリンタ名「1250PS」にプリントする場合、次のように指定します。

```
% lp -d 1250PS -y tray2 filename
```

注記 ▶ Solarisのプリント環境では、システムの構造上バナーシートがデフォルトのトレイから出力されます。例えば、lpの-yオプションでA3用紙を指定した場合であってもバナーシートはデフォルトのトレイ(出荷時はトレイ1)から出力されます。なお、バナーシートの出力の抑制には、`/etc/lp/interfaces/プリンタ名ファイル`の、「`nobanner=no`」を「`nobanner=yes`」に変更して下さい。

Color Laser Wind 3320PS、DocuPrint C625PS/C626PS

デフォルトのプリンタにプリントする場合

デフォルトのプリンタとして登録した場合は、次のようにプリンタ名の指定を省略することができます。

```
% lp filename
```

補足 ▶ デフォルトプリンタは「`lpadmin -d プリンタ名`」を実行することにより、変更できます。

デフォルト以外のプリンタにプリントする場合

プリンタ名「3320PS」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -d 3320PS filename
```

補足 ▶ プリンタ名は「`lpstat -v`」を実行することにより、確認できます。

デフォルトのプリンタを一時的に変更してプリントする場合

デフォルトのプリンタを変更するには、環境変数LPDESTにプリンタ名を設定します。

プリンタ名「3320PS」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% setenv LPDEST 3320PS
% lp filename
```

補足 ▶ この方法を使用すれば、ユーザーごとにデフォルトプリンタを設定することができます。
▶ 上の例はcshを使用している場合の設定方法です。

日本語のテキストファイルをプリントする場合

EUCコードで表現された日本語のテキストファイルをPostScript言語プログラムに変換するフィルターが、自動的に動作します。このため、特別な操作は必要ありません。英語のテキストファイルを出力する場合と同じようにlpコマンドを指定します。

プリンタ名「3320PS」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -d 3320PS filename
```

給紙トレイを選択してプリントする場合

給紙トレイを選択してプリントする場合、lp コマンドの-y オプションに続けて給紙トレイを指定します。

B4 用紙を選択してプリンタ名「3320PS」にプリントする場合、次のように指定します。

```
% lp -d 3320PS -y b4 filename
```

参照 ▶ 指定可能な用紙は、Color Laser Wind 3320PS の場合「3.17 FXLW3320.fd」を、DocuPrint C625PS/C626PS の場合「3.18 FXDPC625.fd」を参照してください。

注記 ▶ Solaris のプリント環境では、システムの構造上バナーシートがデフォルトのトレイから出力されます。例えば、lp の-y オプションで A3 用紙を指定した場合であってもバナーシートはデフォルトのトレイ（出荷時はトレイ 1）から出力されます。なお、バナーシートの出力の抑制には、`/etc/lp/interfaces/プリンタ名ファイル`の、「nobanner=no」を「nobanner=yes」に変更して下さい。

3.3 論理プリンタからのプリント操作 (HP-UX)

この節では、インストール時に登録した論理プリンタを使ったプリント操作について説明します。使用できるオプションについては「3.3.2 共通オプション一覧」以降の項を参照してください。各ユーティリティの詳細については、「3.5 euc2ps2」以降を参照してください。

3.3.1 論理プリンタから印刷する場合 (HP-UX)

デフォルトのプリンタにプリントする場合

デフォルトのプリンタとして登録した場合は、次のようにプリンタ名の指定を省略することができます。

```
% lp filename
```

補足 ▶ デフォルトプリンタは「lpadmin -d プリンタ名」を実行することにより、変更できます。

デフォルト以外のプリンタにプリントする場合

プリンタ名「UFILTER」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -dUFILTER filename
```

デフォルトのプリンタを一時的に変更してプリントする場合

デフォルトのプリンタを変更するには、環境変数 PRINTER にプリンタ名を設定します。

プリンタ名「UFILTER」をデフォルトのプリンタにしてプリントする場合、次のように入力します。

```
% setenv PRINTER UFILTER  
% lp filename
```

オプションを付加してプリントする場合

例えば、トレイ 2 (2 段目のトレイ) を選択してプリントする場合、オプションを使って、トレイ 2 から給紙するように定義します。オプションは以下のように「-o」を用いて定義します。各フィルターのオプションについては「3.3.2 共通オプション一覧」、および「3.3.3 プリンタ固有のオプション」を参照してください。

```
% lp -oI2 filename
```

日本語のテキストファイルをプリントする場合

EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostScript 言語プログラムに変換するフィルターが、自動的に動作します。このため、特別な操作は必要ありません。英語のテキストファイルを出力する場合と同じように lp コマンドを指定します。

論理プリンタ名「UFILTER」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -dUFILTER filename
```

XWD フォーマットのファイルをプリントする場合

XWD フォーマットで表現された XWD フォーマットファイルを PostScript 言語プログラムに変換するフィルターを起動します。オプションにて XWD フォーマット用のフィルターファイル起動を指定する必要があります。

論理プリンタ名「UFILTER」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -dUFILTER -o XWD filename
```

XWD フォーマットのファイルを G4 圧縮してプリントする場合

XWD フォーマットで表現された XWD フォーマットファイルを G4 圧縮形式の PostScript 言語プログラムに変換するフィルターを起動します。この場合、スプーラに送られるデータ量は圧縮しない場合よりも少なくなります。ただし、圧縮を行うのは画素の深さが 1 ビットの XWD イメージのみです。オプションにて XWD フォーマット G4 圧縮用のフィルターファイル起動を指定する必要があります。

論理プリンタ名「UFILTER」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -dUFILTER -o XG4 filename
```

TIFF フォーマットのファイルをプリントする場合

TIFF フォーマットで表現された TIFF フォーマットファイルを PostScript 言語プログラムに変換するフィルターを起動します。オプションにて TIFF フォーマット用のフィルターファイル起動を指定する必要があります。

論理プリンタ名「UFILTER」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -dUFILTER -o TIF filename
```

TIFF フォーマットのファイルを G4 圧縮してプリントする場合

TIFF フォーマットで表現された TIFF フォーマットファイルを G4 圧縮形式の PostScript 言語プログラムに変換するフィルターを起動します。この場合、スプーラに送られるデータ量は圧縮しない場合よりも少なくなります。ただし、圧縮を行うのは画素の深さが 1 ビットの TIFF イメージのみです。オプションにて TIFF フォーマット G4 圧縮用のフィルターファイル起動を指定する必要があります。

論理プリンタ名「UFILTER」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -dUFILTER -o TG4 filename
```

PostScript ファイルをプリントする場合

PostScript ファイルを印刷する場合、特別な操作は必要ありません。英語のテキストファイルを出力する場合と同じように lp コマンドを指定します。

PostScript ファイルを「UFILTER」にプリントする場合、次のように指定します。

```
% lp -dUFILTER filename
```

ただし、用紙指定等のオプションが設定された PostScript ファイルに対して、同様のオプションを指定した場合、そのオプションは無視されます。

また、PostScript ファイルをテキストファイルとして出力したい場合にはオプション「TX」を指定します。これにより PostScript ファイルはテキストファイルとして処理されます。

PostScript ファイルをテキストファイルとして「UFILTER」にプリントする場合、次のように指定します。

```
% lp -dUFILTER -o TX filename
```

3.3.2 共通オプション一覧 (HP-UX)

HP-UX では `lp` コマンド実行時に、インストール時に設定した論理プリンタを指定した場合には `lp` コマンドの機能に加えて以下のオプションが使用できるようになります。以下に示すオプションは本フィルターが対応している全てのプリンタで使用できます。プリンタ固有のオプションについては「3.3.3 プリンタ固有のオプション」以降を参照してください。また、`lp` コマンドにおけるオプションの指定方法は HP-UX 関連のマニュアルを参照してください。

◇実行形式

`lp [-option] filename`

◇オプション

[XWD]

XWD イメージファイルを PostScript 言語のファイルに変更するフィルターを起動します。XWD イメージファイルをプリントする場合に必ず指定して下さい。

[XG4]

XWD イメージファイルを、G4 圧縮を行った PostScript 言語のファイルに変更するフィルターを起動します。XWD イメージファイルを G4 圧縮してプリントする場合に必ず指定して下さい。

[TIF]

TIFF イメージファイルを PostScript 言語のファイルに変更するフィルターを起動します。TIFF イメージファイルをプリントする場合に必ず指定して下さい。

[TG4]

TIFF イメージファイルを、G4 圧縮を行った PostScript 言語のファイルに変更するフィルターを起動します。TIFF イメージファイルを G4 圧縮してプリントする場合に必ず指定して下さい。

[TX]

PostScript 言語のファイルをテキストファイルとしてプリントする場合に必ず指定して下さい。

補足 ▶ 上記の 5 オプションを指定しない場合は EUC テキストファイルもしくは PostScript 言語のファイルとしてフィルターが起動されます。

[Nc=copies]

出力部数の指定を行います (copies は正の整数です)。

[Hd=position:format:page]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出します。

position は出力位置を指定します。但し、PostScript ファイルを変換する場合は常に左下に出します。

<code>ul</code>	用紙の左上に出します
<code>ur</code>	用紙の右上に出します
<code>dl</code>	用紙の左下に出します
<code>dr</code>	用紙の右下に出します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は `uh` がデフォルトとなります。

<code>u</code>	ユーザー名
<code>h</code>	ホスト名
<code>t</code>	日時

出力内容を `tuh` と指定した場合は次のように出します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

page は出力するページを指定します。この指定は省略可能です。

XWD,TIFF イメージではこの指定は無視されます。

f 先頭ページのみ出力 (PostScript ファイル変換時デフォルト)
a 全ページ出力 (テキストファイル変換時デフォルト)

指定は次のように行います。

左下に日時、ホスト名の順番で先頭ページのみ出力する場合。

Hd=dl:th:f

注記 ▶ PostScript ファイル変換時に全ページ出力指定を行っても出力されない場合があります。その際は、先頭ページのみ出力の指定を行ってください。

日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行います。

[Hfheaderfont]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。

※以下のオプションは、EUC テキストを印刷する際に指定可能です。

[2]

2 段組で印刷します。

[r]

出力を 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

[g]

日本語文字をゴシック体で印刷します。このオプションを省略した場合は、明朝体で印刷します。

[F]

改ページコード (FF) を無視します。

[l|lines]

1 ページ当たりの行数を lines 行とします。

[w|columns]

1 行当たりの桁数を columns 桁とします。

[o|outcolumns]

半角文字に換算して outcolumns 桁目から文字を印刷します。

[L|outlines] (Color Laser Wind 3320PS、DocuPrint C625PS/C626PS 用)

outlines 桁目から文字を印刷します。

[en]

水平タブを n 桁の空白 (スペース) に展開します。デフォルトは 8 です。

[s|size]

フォントサイズを size ポイントとします。デフォルトは 10 ポイントです。

[mg=upmargin:bottommargin:rightmargin:leftmargin]

ページの余白をインチ単位で指定します。upmargin (上余白)、bottommargin (下余白)、rightmargin (右余白)、leftmargin (左余白) は、正の実数 (小数点第二位まで有効) です。デフォルトは 0 です。

-mg=0:0:0:3 左余白を 3 インチにします。

-mg=3:3:0:5 上余白を 3、下余白を 3、左余白を 5 インチにします。

余白が 0 インチの場合値を省略できます。

-mg=:::3 左余白を 3 インチにします。

[f|font]

半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。

フォントの指定は、「-o f」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

% lp -o fCourier-Oblique filename

[jfont]

日本語を印刷するためのフォントを指定します。
フォントの指定は、「-o jf」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

% lp -o jfHeiseiMin-W3-H filename

参照 ▶ 使用できるフォントについては、付録または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[ps]

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルか否かに関わらず、その他の EUC テキストファイル用のオプションは無視されます。

※ 以下のオプションは XWD、TIFF イメージを印刷する際に指定可能です。

[r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[l=*left, bottom*]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* ともに 0.25 インチです。

[s=*width, height*]

出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。

[S=*width*]

出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

参照 ▶ オプションの注意事項については、「第4章 注意制限事項」を参照してください。

3.3.3 プリンタ固有のオプション (HP-UX)

HP-UX では `lp` コマンド実行時に、インストール時に設定した論理プリンタを指定した場合には、`lp` コマンドの機能に加えて以下のオプションが使用できるようになります。以下に示すオプションは、ご使用のプリンタの機能により使用できないものがあります。プリンタ固有の機能について、プリンタモデル毎に記述しています。ご使用のプリンタがどのプリンタモデルに含まれるかは、「2.1.3 インストールによって選択するプリンタモデル」を参照してください。

◆ DocuPrint C1250

HP-UX で DocuPrint C1250、DocuColor 1250/1250 CP をご使用の場合、この項を参照してください。

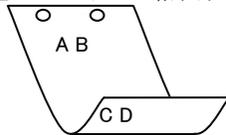
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

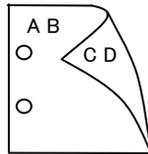
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[MSI-CF]

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
H	大容量トレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォルリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

最小 148.5x200.4mm、最大 296.3x431.4mm

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	フェースダウントレイへ排紙します。
mn	メールボックスのビン <i>n</i> へ排紙します。 <i>n</i> は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ(工場出荷時はフェースダウントレイ)が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t] トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E] イメージエンハンス機能を使用しません。

[CM=*mode*]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Auto	カラー/白黒自動判別
Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー/白黒自動判別」が選択されます。

[Br=*brightness*]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=*collection*]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

注記 ▶ カラーモードを「カラー/白黒自動判別」を指定し、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定しますと、「カラー/白黒自動判別」が正常に動作せず、誤判定される場合があります。正しい課金のためには、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定する場合、明示的に「カラー」または「白黒」を指定する必要があります。

[CS]

カラー分解を指定します。このオプションを指定すると、各色成分ごとに白黒ページを出力します。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
OF	opaquefilm	電飾フィルム
TP	tracingpaper	トレーシングペーパー
TF	tackfilm	タックフィルム

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Fast	速度優先
Fine	画質優先

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

TX	text	テキスト文書
GR	graphics	図・表・グラフ
IM	image	写真

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

手差しトレイよりハガキを選択してプリンタ名「DC1250」に出力する場合
`% lp -d DC1250 -oMSI -oIPC filename`

◆ DocuCentre Color 500/500 CP

HP-UX で DocuCentre Color 500/500 CP をご使用の場合、この項を参照してください。

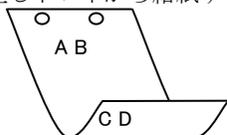
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

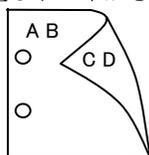
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[MSI-CF]

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|----|--|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| H | 大容量トレイから給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LT | レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LD | レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |

FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

最小 148.5x200.4mm、最大 319.6x456.5mm

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	フェースダウントレイへ排紙します。
mn	メールボックスのビン <i>n</i> へ排紙します。 <i>n</i> は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ(工場出荷時はフェースダウントレイ)が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Auto	カラー/白黒自動判別
Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー/白黒自動判別」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

注記 ▶ カラーモードを「カラー/白黒自動判別」を指定し、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定しますと、「カラー/白黒自動判別」が正常に動作せず、誤判定される場合があります。正しい課金のためには、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定する場合、明示的に「カラー」または「白黒」を指定する必要があります。

[CS]

カラー分解を指定します。このオプションを指定すると、各色成分ごとに白黒ページを出力します。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
GL	glossy	専用光沢紙
TP	tracingpaper	トレーシングペーパー
TF	tackfilm	タックフィルム

[Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Fast	速度優先
Fine	画質優先

[Pt=target]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

TX	text	テキスト文書
GR	graphics	図・表・グラフ
IM	image	写真

[Td=type]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=username]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

手差しトレイよりハガキを選択してプリンタ名「DCC500」に出力する場合
% `lp -d DCC500 -oMSI -oIPC filename`

◆ Color Laser Wind 3320PS

HP-UX で Color Laser Wind 3320PS をご使用の場合、この項を参照してください。

◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

`[tray_input]`

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、用紙サイズを指定します。用紙サイズを指定すると、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

SA3	特 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター用紙がセットされたトレイから給紙します。
TB	タブロイド用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル"14 用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-SA3	特 A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-TB	タブロイド用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル"14 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキがセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-C6	封筒:洋形2号がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI- <i>MxN</i> mm	<i>MxN</i> mm のユーザー定義用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第一位まで有効)。
MSI- <i>MxN</i> in	<i>MxN</i> インチのユーザー定義用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第二位まで有効)。
MSI- <i>MxN</i> pt	<i>MxN</i> ポイントのユーザー定義用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の整数です。

このオプションを指定しない場合、プリンタに設定されているデフォルト用紙サイズ(A4、レター)で出力されます。

指定した用紙がトレイに無い場合は、トレイに用紙の補充を求められます。ユーザー定義用紙の指定は MSI-180x250.2mm の様に指定します。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- fd フェースダウントレイへ排紙します。
- fu フェースアップトレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、フェースダウントレイに排紙されます。但し、出力できない用紙の場合は、エラーとなります。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[CM=mode]

カラーモデルを選択します。以下のカラーモデルが指定できます。

- Gray グレースケール(白黒)
- CMYK シアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)の 4 色

このオプションを指定しない場合は CMYK が選択されます。

[Br=brightness]

明るさを指定します。次の明るさが指定できます。

- 3 非常に明るい
- 2 明るい
- 1 やや明るい
- 0 標準
- 1 やや暗い
- 2 暗い
- 3 非常に暗い

このオプションを指定しない場合は、0(標準)が選択されます。

[CRD=dicname..]

カラーレンダリング辞書を選択します。次のカラーレンダリング辞書が指定できます。2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

- | | | |
|----|----------------------|----------------------|
| PT | photographic-text | テキスト文書用連続調辞書 |
| BT | business-text | テキスト文書用ビジネスグラフィック辞書 |
| OT | ohp-text | テキスト文書用 OHP/OHT 辞書 |
| PG | photographic-graphic | 図・表・グラフ用連続調辞書 |
| BG | business-graphic | 図・表・グラフ用ビジネスグラフィック辞書 |
| OG | ohp-graphic | 図・表・グラフ用 OHP/OHT 辞書 |
| PI | hotographic-image | 写真用連続調辞書 |
| BI | business-image | 写真用ビジネスグラフィック辞書 |
| OI | ohp-image | 写真用 OHP/OHT 辞書 |

このオプションを指定しない場合は、テキストは PT、図・表・グラフは PG、写真は PI が選択されます。

オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。

但し、OHP を指定する場合は必ず、テキスト、図・表・グラフ、写真を全て OHP で指定して下さい。また、用紙サイズは手差し A4 またはレター、出力トレイはフェースアップトレイ、用紙種別は OHP シートを指定して下さい。

-CRD=PT,BG,BI

-CRD=photographic-graphic,business-text

尚、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

-CRD=PT,photographic-image,business-text,business- g raphic,PG

[CO=*type*...]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

DT	detail-text	解像度を優先するテキスト文書
ST	smooth-text	階調を優先するテキスト文書
DG	detail-graphic	解像度を優先する図・表・グラフ
SG	smooth-graphic	階調を優先する図・表・グラフ
DI	detail-image	解像度を優先する写真
SI	smooth-image	階調を優先する写真

このオプションを指定しない場合は、テキストは DT、図・表・グラフは SG、写真は SI が選択されます。

オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。

-CO=DT,SG,DI

-CO=detail-graphic,smooth-text

尚、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

-CO=DT,detail-image,smooth-text,detail-graphic,SG

[Rs=*sourcename*]

使用する RGB ソースを指定します。RGB データのソース色空間定義を指定します。このソース色空間を基点にして、RGB データがプリンタの CMYK 色空間にマッピングされます。

次の RGB ソースが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

ER	efirgb	EFIRGB(Color Laser Wind 3320PS に出力するためのカラーデータ変換に最適な RGB ソース色空間)
SR	srgb	sRGB(PC)(Windows 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
AP	apple	Apple 標準(MacOS 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
OF	off	オフ(マッピングを行いません)

このオプションを指定しない場合は、sRGB(PC)が選択されます。

[Sm=*model*]

CMYK シミュレーションを指定します。オフセット印刷標準をシミュレートするように、CMYK カラーデータ値を調整します。

次の CMYK シミュレーションが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

SW	swop	SWOP-corted(米国の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
DI	dic	DIC(大日本インキ化学工業株式会社の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
EU	euroscale	Euroscale(ヨーロッパの印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
OF	off	オフ(CMYK カラーデータに対して、シミュレーションは行われません)

このオプションを指定しない場合は、オフが選択されます。

[**M**=*type2*]

使用する用紙種別を指定します。

次の用紙種別が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL plain 普通紙

OH ohp OHP 用紙

LB label ラベル

CV cover 厚紙・封筒

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。.

◇使用例

B5 用紙を選択して、プリンタ「3320PS」に出力する場合。

```
% lp -d3320PS -oIB5 file
```

◆ DocuPrint C625PS/C626PS

HP-UX で DocuPrint C625PS/C626PS をご使用の場合、この節を参照して下さい。

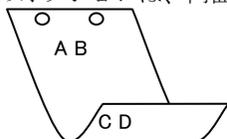
◇ 実行形式

`lp [-option] filename`

◇ オプション

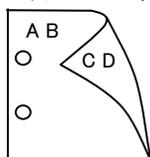
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、用紙サイズを指定します。用紙サイズを指定すると、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

SA3	特 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター用紙がセットされたトレイから給紙します。
TB	タブロイド用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル"14 用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-SA3	特 A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-TB	タブロイド用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル"14 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。

MSI-13x18in 13x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。

MSI-PC ハガキがセットされた手差しトレイから給紙します。

MSI-C6 封筒:洋形2号がセットされた手差しトレイから給紙します。

MSI-Y3 封筒:洋形3号がセットされた手差しトレイから給紙します。

MSI-Y4 封筒:洋形4号がセットされた手差しトレイから給紙します。

MSI-YC3 封筒:長洋形3号がセットされた手差しトレイから給紙します。

MSI-MxNmm MxNmm のユーザー定義用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。

M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第一位まで有効)。

MSI-MxNin MxN インチのユーザー定義用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。

M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第二位まで有効)。

MSI-MxNpt MxN ポイントのユーザー定義用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の整数です。

このオプションを指定しない場合、プリンタに設定されているデフォルト用紙サイズ(A4、レター)で出力されます。

指定した用紙がトレイに無い場合は、トレイに用紙の補充を求められます。ユーザー定義用紙の指定は MSI-180x250.2mm の様に指定します。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd フェースダウントレイへ排紙します。

fu フェースアップトレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、フェースダウントレイに排紙されます。但し、出力できない用紙の場合は、エラーとなります。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[CM=mode]

カラーモデルを選択します。以下のカラーモデルが指定できます。

Gray グレースケール(白黒)

CMYK シアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)の4色

このオプションを指定しない場合は、CMYK が選択されます。

[Br=brightness]

明るさを指定します。次の明るさが指定できます。

3 非常に明るい

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

-3 非常に暗い

このオプションを指定しない場合は、0(標準)が選択されます。

[CRD=*dicname*...]

カラーレンダリング辞書を選択します。次のカラーレンダリング辞書が指定できます。2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PHO	連続調辞書
PRE	ビジネスグラフィック辞書
ABS	絶対カラーメトリック辞書
REL	相対カラーメトリック辞書

このオプションを指定しない場合は、PREが選択されます。

[Rs=*sourcename*]

使用する RGB ソースを指定します。RGB データのソース色空間定義を指定します。このソース色空間を基点にして、RGB データがプリンタの CMYK 色空間にマッピングされます。

次の RGB ソースが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

ER	efirgb	EFIRGB(Color Laser Wind 3320PS に出力するためのカラーデータ変換に最適な RGB ソース色空間)
SR	srgb	sRGB(PC)(Windows 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
AP	apple	Apple 標準(MacOS 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
OF	off	オフ(マッピングを行いません)

このオプションを指定しない場合は、sRGB(PC)が選択されます。

[Sm=*mode*]

CMYK シミュレーションを指定します。オフセット印刷標準をシミュレートするように、CMYK カラーデータ値を調整します。

次の CMYK シミュレーションが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

SW	swop	SWOP-corted(米国の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
DI	dic	DIC(大日本インキ化学工業株式会社の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
EU	euroscale	Euroscale(ヨーロッパの印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
OF	off	オフ(CMYK カラーデータに対して、シミュレーションは行われません)

このオプションを指定しない場合は、オフが選択されます。

[**M**=*type2*]

使用する用紙種別を指定します。

次の用紙種別が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
OH	ohp	OHP 用紙
LB	label	ラベル
CV	cover	厚紙
PD	pldup	普通紙裏面
CD	covdup	厚紙裏面
GL	glossy	専用光沢紙
GD	glsdup	専用光沢紙裏面
CT	coated	コート紙
TD	cotdup	コート紙裏面
CS	cdstock	ハガキ
SD	cdsdup	ハガキ裏面
EV	envelope	封筒

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

◇ 使用例

B5 用紙を選択して、長辺とじ両面印刷で、プリンタ「625PS」に出力する場合。

```
% lp -d625PS -oIB5 -oD file
```

◆ DocuPrint C2220/C2221

HP-UX で DocuPrint C2220/C2221 をご使用の場合、この項を参照してください。

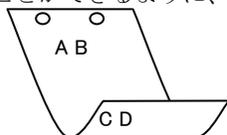
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

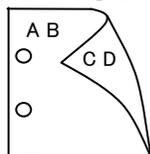
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。

12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd センタートレイへ排紙します。

[C]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない

ST standard 標準

PH photo 写真

PR presentation プレゼンテーション

WB web Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。
1 トレイ 1 を使用します

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**username** で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。**username** を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

手差しトレイよりハガキを選択してプリンタ名「dpc2220」に出力する場合
% lp -d dpc2220 -oMSI -oIPC filename

◆DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP

HP-UX で DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP をご使用の場合、この項を参照してください。

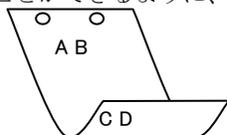
◇実行形式

`lp [option] filename`

◇オプション

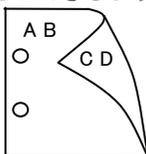
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|----|--|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| LT | レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LD | レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| FL | フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |

LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

[Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

[Pt=target]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

[Td=type]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

1	トレイ 1 を使用します
---	--------------

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=username]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

手差しトレイよりハガキを選択してプリンタ名「DCC400」に出力する場合

```
% lp -d DCC400 -oMSI -oIPC filename
```

◆ DocuCentre C2100

HP-UX で DocuCentre C2100 をご使用の場合、この項を参照してください。

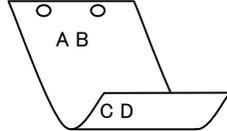
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

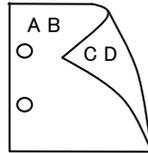
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|----|--|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| LT | レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LD | レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| FL | フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LG | リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |

12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

1	トレイ 1 を使用します
---	--------------

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、`username` で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。`username` を指定しない場合は、`UnknownUser` で記録されます。

◇使用例

手差しトレイよりハガキを選択してプリンタ名「DCC2100」に出力する場合

```
% lp -d DCC2100 -oMSI -oIPC filename
```

◆ DocuPrint C2250

◆ DocuPrint C3360

HP-UX で DocuPrint C2250、DocuPrint C3360 をご使用の場合、この項を参照してください。

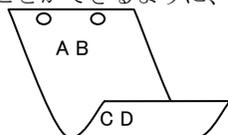
◇ 実行形式

`lp [-option] filename`

◇ オプション

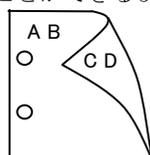
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|------|---|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| SRA3 | 12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| PC | ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| DPCY | 往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)LT レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |

EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 320.0x483.0mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd センタートレイへ排紙します。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない

ST standard 標準

PH photo 写真

PR presentation プレゼンテーション

WB web Web ページ

CA cad CAD

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job ジョブ単位

SE set セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質 2
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	standard	標準

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**username** で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。**username** を指定しない場合は、**UnknownUser** で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**documentname** で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。**documentname** を指定しない場合は、**UnknownDocument** で記録されます。

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「dpc2250」に出力する場合

```
% lp -d dpc2250 -oIA4 -oD filename
```

◆ DocuPrint C3530

HP-UX で DocuPrint C3530 をご使用の場合、この項を参照してください。

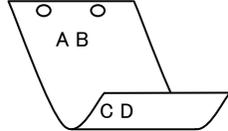
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

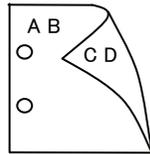
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|----|--|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| LT | レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LD | レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| FL | フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LG | リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |

12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x19in	12x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター, 5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。

[C]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

[Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

[Pt=target]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先

[Td=type]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。
1 トレイ 1 を使用します

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「dpc3530」に出力する場合
`% lp -d dpc3530 -oIA4 -oD filename`

◆ DocuPrint C3540/C3140/C3250

HP-UX で DocuPrint C3540/C3140/C3250 をご使用の場合、この項を参照してください。

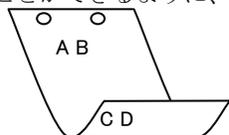
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

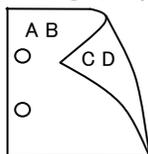
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|------|---|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| SRA3 | 12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| PC | ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| DPC | 往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |

PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x100.2mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。
(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない

ST standard 標準

PH photo 写真

PR presentation プレゼンテーション

WB web Web ページ

CA cad CAD

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job ジョブ単位

SE set セット単位

[M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL plain 普通紙

UD used 普通紙裏面

H1 hwpaper1 厚紙 1

1B hwpback1 厚紙 1 裏面

H2 hwpaper2 厚紙 2

2B hwpback2 厚紙 2 裏面

OH ohp OHP 用紙

FN fine 上質紙

RC recycled 再生紙

TN thin うす紙

LB label ラベル

C1 coat1 コート紙 1

C1B coat1back コート紙 1 裏面

C2 coat2 コート紙 2

C2B coat2back コート紙 2 裏面

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先

[Td=*type*]

OHP用合紙の給紙先を選択します。次のOHP用合紙の給紙先が利用できます。

1	トレイ 1 を使用します
---	--------------

[JOAU=*username*]

XPJLヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJLヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。またXPJLに対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username*で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username*を指定しない場合は、UnknownUserで記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJLヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJLヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。またXPJLに対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname*で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname*を指定しない場合は、UnknownDocumentで記録されます。

◇使用例

A4用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「dpc3540」に出力する場合
% `lp -d dpc3540 -oIA4 -oD filename`

◆ DocuPrint C2426/C2424

HP-UX で DocuPrint C2426/C2424 をご使用の場合、この項を参照してください。

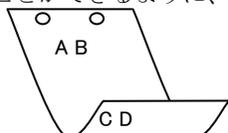
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

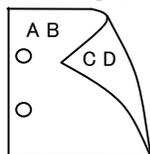
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|----|--|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| LT | レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LD | レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| FL | フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LG | リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |

12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ST	ステートメント (ハーフレター, 5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3Y	封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY2	封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY3	封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY4	封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C2426

最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x457.2mm

DocuPrint C2424

最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x431.8mm

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd センタートレイへ排紙します。

fu サイドトレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏面
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
EN	envelope	封筒
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

[Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
OH	ohp	OHP フィルム向け

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

1	トレイ 1 を使用します
---	--------------

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「dpc2426」に出力する場合
% `lp -d dpc2426 -oIA4 -oD filename`

◆ DocuPrint C3200 A

HP-UX で DocuPrint C3200 A をご使用の場合、この項を参照してください。

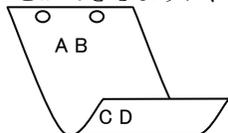
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

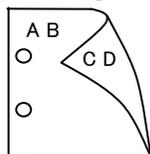
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|-----|---|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| PC | ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| LT | レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LG | リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| FL | フォルリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| C5 | 封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| EY2 | 封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| EY3 | 封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |

- EY4 封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- EC3Y 封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- MxNmm* *MxNmm* の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
M(幅)、*N*(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。
(手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない

ST standard 標準

PH photo 写真

PR presentation プレゼンテーション

WB web Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏面
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
EN	envelope	封筒
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	Standard	標準

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「dpc3200A」に出力する場合
`% lp -d dpc3200A -oIA4 -oD filename`

◆ DocuPrint C5450

HP-UX で DocuPrint C5450 をご使用の場合、この項を参照してください。

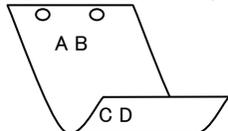
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

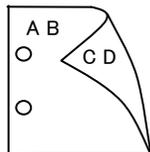
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|------|---|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| 6 | トレイ 6 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| SRA3 | 12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| PC | ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| DPCY | 往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |

EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x148.2mm、最大サイズは 329.8x487.9mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd センタートレイへ排紙します。
fs フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。）

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー
Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい
1 やや明るい
0 標準
-1 やや暗い
-2 暗い
OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない
ST standard 標準
PH photo 写真
PR presentation プレゼンテーション
WB web Web ページ
CA cad CAD

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job ジョブ単位
SE set セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
HO	holed	穴あき紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム

[Pr2=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細
Page	ページ印刷

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	standard	標準

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「dpc5450」に出力する場合
% lp -d dpc5450 -oIA4 -oD filename

◆ DocuPrint C3050

HP-UX で DocuPrint C3050 をご使用の場合、この項を参照してください。

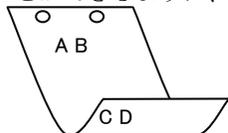
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

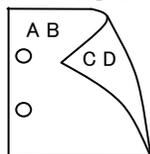
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|--------|--|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| PC | ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| DPCY | 往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| COM10 | 封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| Monarc | 封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| DL | 封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |

C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3Y	封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY2	封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY3	封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY4	封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 74.8x97.7mm、最大サイズは 297.0x431.8mm です。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏面
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
EN	envelope	封筒
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

[Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質

[Pt=target]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	standard	標準

[Td=type]

OHP用合紙の給紙先を選択します。次のOHP用合紙の給紙先が利用できます。

- | | |
|---|--------------|
| A | プリンタ設定を使用します |
| 1 | トレイ 1 を使用します |
| 2 | トレイ 2 を使用します |
| 3 | トレイ 3 を使用します |
| 4 | トレイ 4 を使用します |

[JOAU=username]

XPJLヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJLヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。またXPJLに対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**username**で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。**username**を指定しない場合は、**UnknownUser**で記録されます。

◇使用例

A4用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「dpc3050」に出力する場合
`% lp -d dpc3050 -oIA4 -oD filename`

◆ DocuPrint C3350

HP-UX で DocuPrint C3350 をご使用の場合、この項を参照してください。

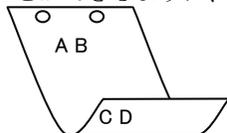
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

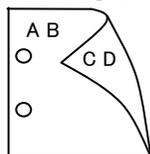
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3Y	封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。

	(手差しトレイのみ有効)
EY2	封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY3	封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY4	封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。 不定形用紙の最小サイズは 75.2x98.1mm、最大サイズは 296.6x431.8mm です。 長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

297x900mm
297x1200mm

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-t2=tonersave]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1 ややうすい(節約量小)
Mode2 うすい(節約量大)
Mode3 かなりうすい(ドラフト)

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー
Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
LB	label	ラベル紙
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
EN	envelope	封筒
ENB	envelopeback	封筒裏面
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

[Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質
Minute	高精細

[Pt=target]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	standard	標準

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

A4 用紙、両面印刷 (長辺とじ) でプリンタ名「ap4c5570」に出力する場合
% `lp -d ap4c5570 -oIA4 -oD filename`

◆ DocuPrint C5000 d

HP-UX で DocuPrint C5000d をご使用の場合、この項を参照してください。

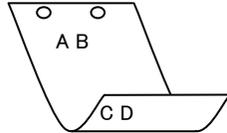
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

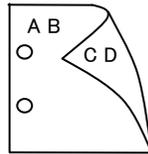
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|------|---|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| 6 | トレイ 6 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| SRA3 | 12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| PC | ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| DPCY | 往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |

EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 319.9x1199.7mm です。長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

297x900mm
297x1200mm

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fi	センタートレイ上段へ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。
fo	排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-t2=tonersave]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1	ややうすい(節約量小)
Mode2	うすい(節約量大)
Mode3	かなりうすい(ドラフト)

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H1A	hwpaper1A	厚紙 1[A]
1BA	hwpback1A	厚紙 1[A]裏面
H1B	hwpaper1B	厚紙 1[B]
1BB	hwpback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwpback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwpback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwpback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwpback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwpback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwpback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwpback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	standard	標準

[Td=type]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

- A プリンタ設定を使用します
- 1 トレイ 1 を使用します
- 2 トレイ 2 を使用します
- 3 トレイ 3 を使用します
- 4 トレイ 4 を使用します
- 6 トレイ 6 を使用します
- M 手差しトレイを使用します

[JOAU=username]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**username** で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。**username** を指定しない場合は、**UnknownUser** で記録されます。

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「dpc5000d」に出力する場合

```
% lp -d dpc5000d -oIA4 -oD filename
```

◆ DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250

HP-UX で DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250 をご使用の場合、この項を参照してください。

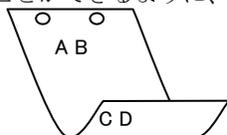
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

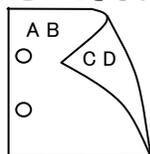
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|----|--|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| LT | レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LD | レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| FL | フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |

LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。
不定形用紙の最小サイズは 100.2x100.2mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

[C]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

[Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。
1 トレイ 1 を使用します

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「**dccf450**」に出力する場合
% **lp -d dccf450 -oIA4 -oD filename**

◆ DocuCentre C2101/C1101

HP-UX で DocuCentre C2101/C1101 をご使用の場合、この項を参照してください。

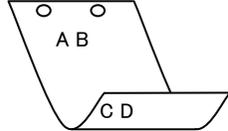
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

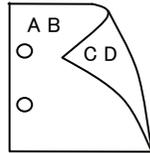
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|----|--|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| LT | レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LD | レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| FL | フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LG | リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |

ST	ステートメント (ハーフレター, 5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。(手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.0x100.0mm、最大サイズは 305.0x483.0mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。

[C]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

(印刷解像度が速度優先以外の場合、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=*mode*]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=*brightness*]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=*collection*]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PD	pldup	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	standard	標準

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

◇使用例

手差しトレイよりハガキを選択してプリンタ名「DCC2101」に出力する場合

```
% lp -d DCC2101 -oMSI -oIPC filename
```

◆ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I

◆DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I

HP-UX で ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I、DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I をご使用の場合、この項を参照してください。

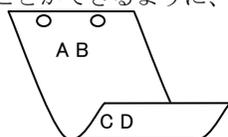
◇実行形式

`lp [option] filename`

◇オプション

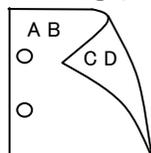
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|----|--|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| LT | レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LD | レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| FL | フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |

LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x100.2mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

[Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先

[Td=*type*]

OHP用合紙の給紙先を選択します。次のOHP用合紙の給紙先が利用できます。
1 トレイ 1 を使用します

◇使用例

A4用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「apc4535」に出力する場合
% **lp -d apc4535 -oIA4 -oD filename**

◆ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I

◆DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I

HP-UX で ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I をご使用の場合、この項を参照してください。

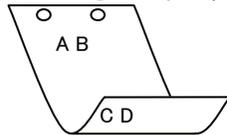
◇実行形式

`lp [option] filename`

◇オプション

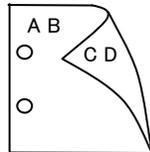
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|------|---|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| 6 | トレイ 6 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| SRA3 | 12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| PC | ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |

DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形3号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒C5号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒C4号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x148.2mm、最大サイズは 329.8x487.9mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
mbn	メールボックスのビン <i>n</i> へ排紙します。N は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

[C]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。（印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。）

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
HO	holed	穴あき紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム

[Pr2=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細
Page	ページ印刷

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。
1 トレイ 1 を使用します

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「apc6550」に出力する場合
% **lp -d apc6550 -oIA4 -oD filename**

◆ApeosPort-II C4300/C3300/C2200

◆DocuCentre-II C4300/C3300/C2200

HP-UX で ApeosPort-II C4300/C3300/C2200、DocuCentre-II C4300/C3300/C2200 をご使用の場合、この項を参照してください。

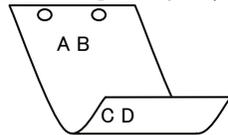
◇実行形式

`lp [option] filename`

◇オプション

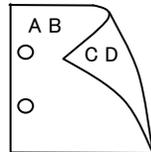
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|----|--|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| LT | レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| LD | レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| FL | フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 |

LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。
不定形用紙の最小サイズは 100.2x100.2mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。

[C]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル紙
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

[Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	Standard	標準

[Td=*type*]

OHP用合紙の給紙先を選択します。次のOHP用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[JOAU=*username*]

XPJLヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJLヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。またXPJLに対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username*で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username*を指定しない場合は、UnknownUserで記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJLヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJLヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。またXPJLに対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname*で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname*を指定しない場合は、UnknownDocumentで記録されます。

◇使用例

A4用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「ap2c4300」に出力する場合
`% lp -d ap2c4300 -oIA4 -oD filename`

◆ApeosPort-II C7500/C6500/C5400

◆DocuCentre-II C7500/C6500/C5400

◆ApeosPort-III C7600/C6500/C5500

◆DocuCentre-III C7600/C6500/C5500

HP-UX で ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-III C7600/C6500/C5500、DocuCentre-III C7600/C6500/C5500 をご使用の場合、この項を参照してください。

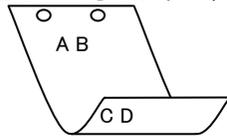
◇実行形式

`lp [option] filename`

◇オプション

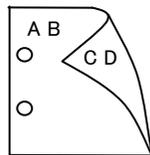
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- 1 トレイ 1 から給紙します。
- 2 トレイ 2 から給紙します。
- 3 トレイ 3 から給紙します。
- 4 トレイ 4 から給紙します。
- 6 トレイ 6 から給紙します。
- A3 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
- A4 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
- A5 A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
- A6 A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- B4 B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
- B5 B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
- B6 B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)

SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x148.2mm、最大サイズは 329.8x487.9mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd センタートレイへ排紙します。
mn メールボックスのビン n へ排紙します。N は 1 以上 10 以下の値
 です。

fs フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。（印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。）

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい
1 やや明るい
0 標準
-1 やや暗い
-2 暗い
OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない
ST standard 標準
PH photo 写真
PR presentation プレゼンテーション
WB web Web ページ
CA cad CAD

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job ジョブ単位
SE set セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
HO	holed	穴あき紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム

[Pr2=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細
Page	ページ印刷

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	standard	標準

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「ap2c7500」に出力する場合

```
% lp -d ap2c7500 -oIA4 -oD filename
```

◆ApeosPort-III C3300/C2200

◆DocuCentre-III C3300/C2200

◆ApeosPort-III C3305/C2205

◆DocuCentre-III C3305/C2205

HP-UX で ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205 をご使用の場合、この項を参照してください。

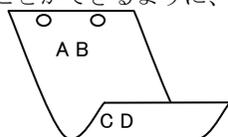
◇実行形式

`lp [option] filename`

◇オプション

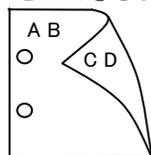
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|------|---|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| SRA3 | 12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |

PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 320.0x483.0mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fi	センタートレイ上段へ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。
fo	排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。（印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。）

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質 2
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	standard	標準

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、`username` で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。`username` を指定しない場合は、`UnknownUser` で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、`documentname` で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。`documentname` を指定しない場合は、`UnknownDocument` で記録されます。

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「ap3c3300」に出力する場合

```
% lp -d ap3c3300 -oIA4 -oD filename
```

◆ApeosPort-III C4405/C4400

◆DocuCentre-III C4405/C4400

HP-UX で ApeosPort-III C4405/C4400、DocuCentre-III C4405/C4400 をご使用の場合、この項を参照してください。

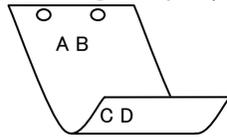
◇実行形式

`lp [option] filename`

◇オプション

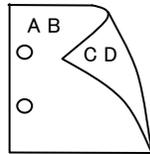
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- 1 トレイ 1 から給紙します。
- 2 トレイ 2 から給紙します。
- 3 トレイ 3 から給紙します。
- 4 トレイ 4 から給紙します。
- A3 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
- A4 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
- A5 A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
- A6 A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- B4 B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
- B5 B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
- B6 B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- SRA3 12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- PC ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)

DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x100.2mm、最大サイズは 304.8x483.0mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fu サイドトレイへ排紙します。

fs フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

- [t] トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。
- [E] イメージエンハンス機能を使用しません。(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)
- [CM=*mode*]
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- | | |
|-------|-----|
| Color | カラー |
| Bw | 白黒 |
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- [Br=*brightness*]
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- | | |
|----|---------|
| 2 | 明るい |
| 1 | やや明るい |
| 0 | 標準 |
| -1 | やや暗い |
| -2 | 暗い |
| OF | 補正を行わない |
- このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。
- [CRD=*collection*]
RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。
- | | | |
|----|--------------|-----------|
| OF | off | 補正を行わない |
| ST | standard | 標準 |
| PH | photo | 写真 |
| PR | presentation | プレゼンテーション |
| WB | web | Web ページ |
| CA | cad | CAD |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [FE] ユーザ定義用紙向き修正を行いません。
- [Jo=*type*]
オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。
- | | | |
|----|-----|-------|
| JB | job | ジョブ単位 |
| SE | set | セット単位 |

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	standard	標準

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**username** で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。**username** を指定しない場合は、**UnknownUser** で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**documentname** で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。**documentname** を指定しない場合は、**UnknownDocument** で記録されます。

◇使用例

A4用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「ap3c4400」に出力する場合
% `lp -d ap3c4400 -oIA4 -oD filename`

◆ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270

◆DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270

HP-UX で ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、
DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270 をご使用の場合、この項を参照してください。

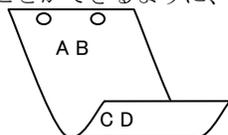
◇実行形式

`lp [option] filename`

◇オプション

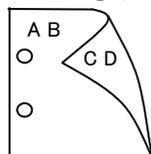
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|------|---|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| 6 | トレイ 6 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| SRA3 | 12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| PC | ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |

DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 319.9x482.9mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fi	センタートレイ上段へ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。
fo	排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。（印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。）

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	standard	標準

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します
M	手差しトレイを使用します

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、`username` で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。`username` を指定しない場合は、`UnknownUser` で記録されます。

[**ACNA=***documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「ap4c5570」に出力する場合

```
% lp -d ap4c5570 -oIA4 -oD filename
```

◆ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275

◆DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275

HP-UX で ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、
DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 をご使用の場合、この項を参照してください。

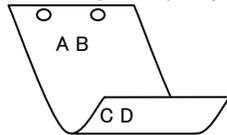
◇実行形式

`lp [option] filename`

◇オプション

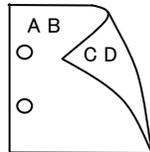
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|------|---|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| 6 | トレイ 6 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| SRA3 | 12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| PC | ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |

DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 319.9x482.9mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fi	センタートレイ上段へ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。
fo	排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。（印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。）

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H1A	hwpaper1A	厚紙 1[A]
1BA	hwpback1A	厚紙 1[A]裏面
H1B	hwpaper1B	厚紙 1[B]
1BB	hwpback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwpback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwpback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwpback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwpback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwpback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwpback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwpback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質
Minute	高精細

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	standard	標準

[Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

- A プリンタ設定を使用します
- 1 トレイ 1 を使用します
- 2 トレイ 2 を使用します
- 3 トレイ 3 を使用します
- 4 トレイ 4 を使用します
- 6 トレイ 6 を使用します
- M 手差しトレイを使用します

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「ap4c5575」に出力する場合

```
% lp -d ap4c5575 -oIA4 -oD filename
```

◆ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580

◆DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580

HP-UX で ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580 をご使用の場合、この項を参照してください。

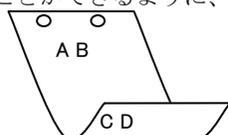
◇実行形式

`lp [option] filename`

◇オプション

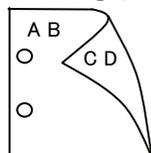
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|------|---|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| 6 | トレイ 6 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| SRA3 | 12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| PC | ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |

DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形3号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EK2	封筒角形2号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 (手差しトレイのみ有効)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x148.2mm、最大サイズは 329.8x487.9mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|----|---|
| fd | センタートレイへ排紙します。 |
| mn | メールボックスのビン n へ排紙します。N は 1 以上 10 以下の値です。 |
| fs | フィニッシャーへ排紙します。 |
- このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。（印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。）

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

- | | |
|-------|-----|
| Color | カラー |
| Bw | 白黒 |

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

- | | |
|----|---------|
| 2 | 明るい |
| 1 | やや明るい |
| 0 | 標準 |
| -1 | やや暗い |
| -2 | 暗い |
| OF | 補正を行わない |

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

- | | | |
|----|--------------|-----------|
| OF | off | 補正を行わない |
| ST | standard | 標準 |
| PH | photo | 写真 |
| PR | presentation | プレゼンテーション |
| WB | web | Web ページ |
| CA | cad | CAD |
| PO | pop | POP |

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

- | | | |
|----|-----|-------|
| JB | job | ジョブ単位 |
| SE | set | セット単位 |

[M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
H4	hwpaper4	厚紙 4
4B	hwpback4	厚紙 4 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
HO	holed	穴あき紙
HOT1	holedthick1	穴あき紙厚 1
HOT2	holedthick2	穴あき紙厚 2
HOT3	holedthick3	穴あき紙厚 3
HOT4	holedthick4	穴あき紙厚 4
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
TB3	tabbed3	インデックス紙 3
TB4	tabbed4	インデックス紙 4
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム
EN	envelope	封筒
HA	hagaki	はがき

[Pr2=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed2	高速 2
Quality2	高画質 2
Minute	高精細
Glossy	光沢

[Pt=target]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FN	fine	精細度優先
FS	fast	階調優先
ST	standard	標準

[Td=type]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

- | | |
|---|--------------|
| A | プリンタ設定を使用します |
| 1 | トレイ 1 を使用します |
| 2 | トレイ 2 を使用します |
| 3 | トレイ 3 を使用します |
| 4 | トレイ 4 を使用します |
| 6 | トレイ 6 を使用します |

[JOAU=username]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**username** で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。**username** を指定しない場合は、**UnknownUser** で記録されます。

[ACNA=documentname]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**documentname** で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。**documentname** を指定しない場合は、**UnknownDocument** で記録されます。

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「ap4c7780」に出力する場合
% **lp -d ap4c7780 -oIA4 -oD filename**

◆DocuCentre-IV C2260

HP-UX で DocuCentre-IV C2260 をご使用の場合、この項を参照してください。

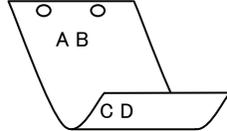
◇実行形式

`lp [option] filename`

◇オプション

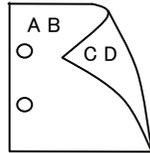
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|------|--|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| 6 | トレイ 6 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| PC | ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| DPCY | 往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| EC3 | 封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |

COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxN</i> mm	<i>MxN</i> mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。 不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 296.6x431.8mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- fi センタートレイ上段へ排紙します。
- fs フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

[Cl]
部単位での印刷を選択します。

[t]
トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]
イメージエンハンス機能を使用しません。（印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。）

[CM=mode]
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー
Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい
1 やや明るい
0 標準
-1 やや暗い
-2 暗い
OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]
RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない
ST standard 標準
PH photo 写真
PR presentation プレゼンテーション
WB web Web ページ
CA cad CAD
PO pop POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[FE]
ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]
オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job ジョブ単位
SE set セット単位

[M=type]
手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL plain 普通紙
UD used 普通紙裏面
H1 hwpaper1 厚紙 1
1B hwpback1 厚紙 1 裏面
H1A hwpaper1A 厚紙 1[A]
1BA hwpback1A 厚紙 1[A]裏面
H1B hwpaper1B 厚紙 1[B]
1BB hwpback1B 厚紙 1[B]裏面

H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwpback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwpback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwpback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwpback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwpback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwpback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwpback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面

[Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed 高速
Quality 高画質

[Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU auto 自動
FN fine 精細度優先
FS fast 階調優先
ST standard 標準

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**username** で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。**username** を指定しない場合は、**UnknownUser** で記録されます。

[**ACNA=***documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「ap4c5570」に出力する場合

```
% lp -d ap4c5570 -oIA4 -oD filename
```

◆ DocuCentre-IV C2263

HP-UX で DocuCentre-IV C2263 をご使用の場合、この項を参照してください。

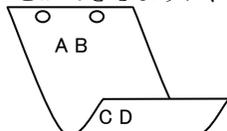
◇ 実行形式

`lp [option] filename`

◇ オプション

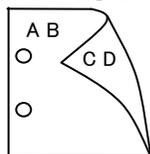
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。

	(手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 296.6x482.9mm です。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fi	センタートレイ上段へ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

[Cl]

部単位での印刷を選択します。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。（印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。）

[CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[FE]

ユーザ定義用紙向き修正を行いません。

[Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwback1	厚紙 1 裏面
H1A	hwpaper1A	厚紙 1[A]
1BA	hwback1A	厚紙 1[A]裏面
H1B	hwpaper1B	厚紙 1[B]
1BB	hwback1B	厚紙 1[B]裏面

H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwpback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwpback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwpback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwpback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwpback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwpback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwpback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面

[Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed 高速
Quality 高画質

[Pt=target]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

AU auto 自動
FN fine 精細度優先
FS fast 階調優先
ST standard 標準

[JOAU=username]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[**ACNA=***documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

A4 用紙、両面印刷（長辺とじ）でプリンタ名「dc4c2263」に出力する場合

```
% lp -d dc4c2263 -oIA4 -oD filename
```

3.4 ユーティリティ概要

3.4.1 ユーティリティー一覧

利用可能なユーティリティは次のとおりです。

[SunOS 4.x]

ファイル名	機能説明	参照節
euc2ps2	EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.5
sunras2ps2	SunRaster 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.6
sunras2g4	SunRaster 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.7
tiff2ps2	TIFF 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.8
tiff2g4	TIFF 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.9
xwd2ps2	XWD 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.10
xwd2g4	XWD 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.11
fxpif	lpr コマンドにより起動される文字列出力フィルターです。	3.12
fxpvf	lpr コマンドにより起動されるラスターデータ出力フィルターです。	3.13
fxpg4f	lpr コマンドにより起動されるラスターデータを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.14
fxpof	DocuPrint C1250/DocuColor 1250/CP/DocuPrint C2220/C2221 用で、lpr コマンドにより起動されるバナー出力フィルターです。	3.15
fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンドです。	3.16
.fxpsdefault1250 .fxpsdefault2220 .fxpsdefault3530 .fxpsdefault3320	デフォルトコマンドオプションファイルです。fxpif、fxpvf、fxpof フィルターの独自オプションが設定できます。	3.16

[Solaris]

ファイル名	機能説明	参照節
euc2ps2	EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.5
sunras2ps2	SunRaster 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.6
sunras2g4	SunRaster 形式のイメージファイルを G4 形式に変換します。	3.7
tiff2ps2	TIFF 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.8
tiff2g4	TIFF 形式のイメージファイルを G4 形式に変換します。	3.9
xwd2ps2	XWD 形式のイメージファイルを PostScript 言語のプログラムに変換します。	3.10
xwd2g4	XWD 形式のイメージファイルを G\$形式に変換します。	3.11

fxpif	PostScript 言語プログラムデータに給紙トレイ指定を行うオペレーターを付加します。	3.12
posteur1250.fd	euc2ps2 用フィルター記述ファイルです。	3.18
posteur2220.fd	euc2ps2 用フィルター記述ファイルです。	3.19
posteur3530.fd	euc2ps2 用フィルター記述ファイルです。	3.20
posteur3320.fd	euc2ps2 用フィルター記述ファイルです。	3.21
FXDCL1250.fd	DocuPrint C1250/DocuColor 1250/CP 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.22
FXDCC500.fd	DocuCentre Color 500 CP 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.23
FXDPC2220.fd/ FXDPC2221.fd	DocuPrint C2220/C2221 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.24
FXDCC400.fd	DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.25
FXDCC2100.fd	DocuCentre C2100 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.26
FXDPC3530.fd	DocuPrint C3530 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.27
FXDPC3540.fd	DocuPrint C3540 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.28
FXDPC2426.fd/ FXDPC2424.fd	DocuPrint C2426/C2424 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.29
FXDPC3200A.fd	DocuPrint C3200 A 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.30
FXDPC5450.fd	DocuPrint C5450 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.31
FXDPC3050.fd	DocuPrint C3050 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.32
FXDPC2250.fd	DocuPrint C2250 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.33
FXDPC3360.fd	DocuPrint C3360 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.34
FXDPC3350.fd	DocuPrint C3350 用、fxpif フィルター記述ファイルです。	3.35
FXDPC5000d.fd	DocuPrint C5000 d 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.36
FXDCCf450.fd	DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.37
FXDCC2101.fd	DocuCentre C2101/C1101 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.38
FXDCC4535.fd/ FXAPC4535.fd	DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I 用、ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.39
FXDCC6550.fd/ FXAPC6550.fd	DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I 用、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.40
FXDC2C4300.fd/ FXAP2C4300.fd	DocuCentre-II C4300/C3300/C2200 用、ApeosPort-II C4300/C3300/C2200 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.41
FXDC2C7500.fd/ FXAP2C7500.fd	DocuCentre-II C7500/C6500/C5400 用、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.42
FXDC3C3300.fd/ FXAP3C3300.fd	DocuCentre-III C3300/C2200 用、ApeosPort-III C3300/C2200 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.43
FXDC3C3305.fd/ FXAP3C3305.fd	DocuCentre-III C3305/C2205 用、ApeosPort-III C3305/C2205 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.44
FXDC3C4400.fd/ FXAP3C4400.fd	DocuCentre-III C4400 用、ApeosPort-III C4400 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.45
FXDC3C4405.fd/ FXAP3C4405.fd	DocuCentre-III C4405 用、ApeosPort-III C4405 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.46

FXDC3C7600.fd/ FXAP3C7600.fd	DocuCentre-III C7600/C6500/C5500 用、ApeosPort-III C7600/C6500/C5500 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.47
FXDC4C5570.fd/ FXAP4C5570.fd	DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270 用、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.48
FXDC4C5575.fd/ FXAP4C5575.fd	DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.49
FXDC4C7780.fd/ FXAP4C7780.fd	DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580 用、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.50
FXDC4C2260.fd	DocuCentre-IV C2260 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.51
FXDC4C2263.fd	DocuCentre-IV C2263 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.52
FXLW3320.fd	Color Laser Wind 3320PS 用で、PostScript 言語プログラムデータに給紙トレイ指定を行うオペレータを付加する fxpif フィルター記述ファイルです。	3.53
FXDPC625.fd	DocuPrint C625PS/C626PS 用で、PostScript 言語プログラムデータに給紙トレイ指定を行うオペレータを付加する fxpif フィルター記述ファイルです。	3.54

[Linux]

ファイル名	機能説明	参照節
euc2ps2	EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.5
tiff2ps2	TIFF 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.8
tiff2g4	TIFF 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.9
xwd2ps2	XWD 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.10
xwd2g4	XWD 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.11
fxpif	lpr コマンドにより起動される文字列出力フィルターです。	3.12
fxpvf	lpr コマンドにより起動されるラスターデータ出力フィルターです。	3.13
fxpg4f	lpr コマンドにより起動されるラスターデータを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.14
fxpof	lpr コマンドにより起動されるバナー出力フィルターです。	3.15
fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンドです。	3.16
.fxpsdefault1250 .fxpsdefault2220 .fxpsdefault3530 .fxpsdefault3320	デフォルトコマンドオプションファイルです。fxpif、fxpvf、fxpof フィルターの独自オプションが設定できます。	3.16

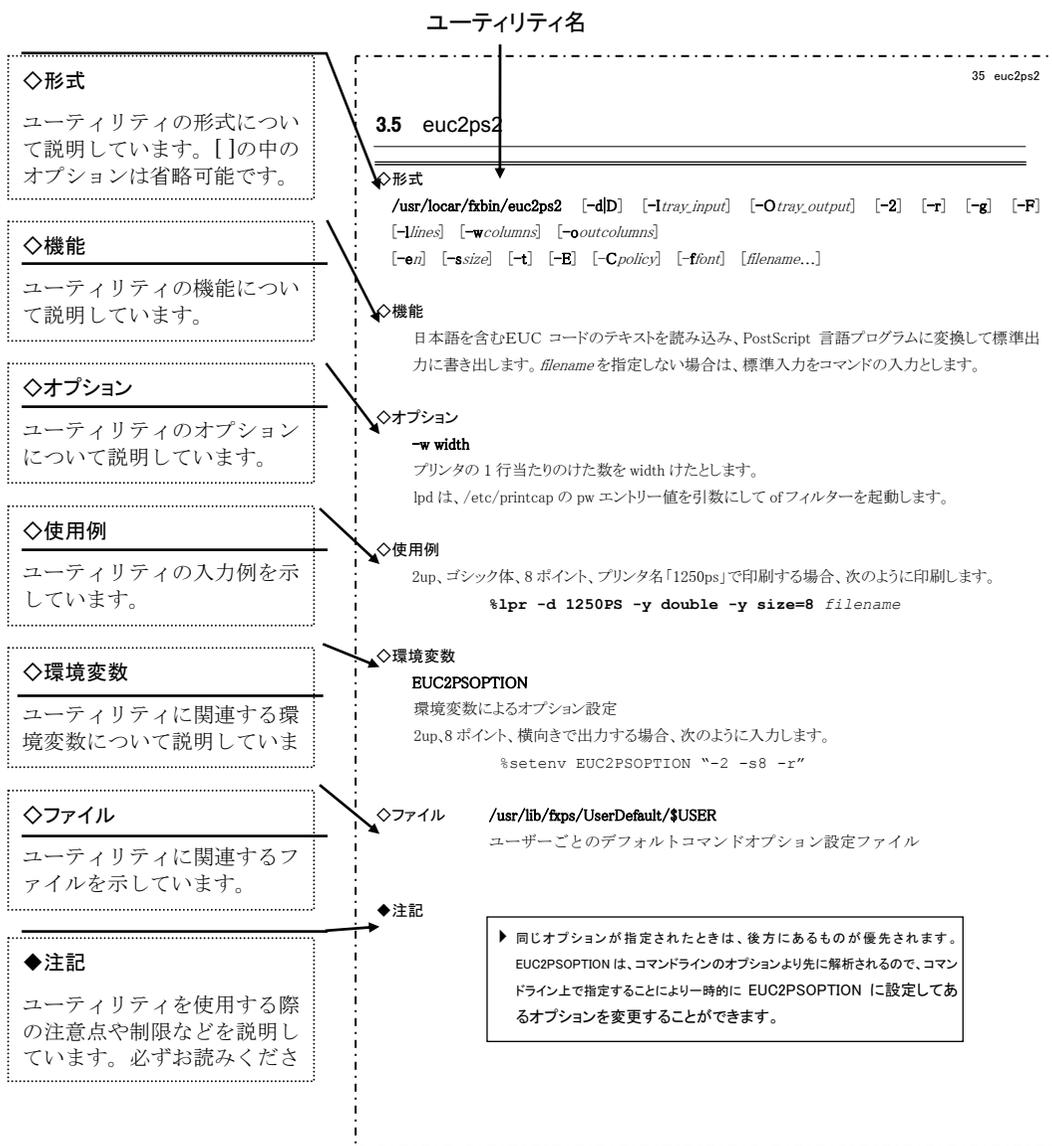
[HP-UX]

ファイル名	機能説明	参照節
euc2ps2	EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを	3.5

	PostScript 言語プログラムに変換します。	
tiff2ps2	TIFF 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.8
tiff2g4	TIFF 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.9
xwd2ps2	XWD 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.10
xwd2g4	XWD 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.11

3.4.2 ユーティリティフォーマット

「3.5 euc2ps2」以降の形式で、ユーティリティの使用方法を説明しています。



3.5 euc2ps2 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

3.5.1 DC1250 の場合

◇形式

```
/usr/local/fxbin1250/euc2ps2 [-d | -D] [-MSI] [-MSI-CF] [-Itray_input]
[-Otray_output] [-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-2] [-F] [-l:lines] [-L:outlines] [-w:columns]
[-o:outcolumns] [-mg=upmargin:bottommargin:rightmargin:leftmargin]
[-en] [-t] [-E] [-g] [-s:size] [-f:font] [-jf:font] [-CM=model] [-Br=brightness]
[-CRD=collection] [-CS] [-FE] [-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target]
[-Td=type] [-ps] [-Hd= position:format:page] [-Hf:headerfont] [filename...]
```

◇機能

日本語を含む EUC コードのテキストを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。

環境変数 EUC2PSOPTION に文字列を設定することで、コマンドラインのオプションの入力を省略することができます。

環境変数 EUC2PSOPTION およびコマンドラインで、何もオプションを指定していなければ、フォントサイズ 10 ポイントで用紙を縦長に使用して出力します。

環境変数 EUC2PSOPTION とコマンドラインで同じオプションが指定されている場合は、コマンドラインで指定したオプションが優先されます。

euc2ps2 は、用紙サイズに従って行けたを調整する PostScript 言語プログラムを出力します。このため特に用紙サイズを意識する必要はありません。行けたを指定するオプションがある場合は、用紙サイズによる自動改行を行わず、指定された行けたの指定に従って出力します。

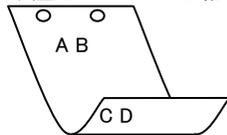
euc2ps2 は次の制御コードを解釈します。その他の制御コード/未定義コードについては、8 進数へ変換し、そのまま出力します。

LF	改行
FF	改ページ (オプションで変更可)
TAB	8 けたタブストップ (オプションで変更可)
BS	1 文字戻る

◇オプション

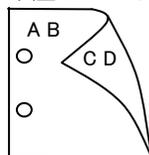
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。

-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-MSI-CF]

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。

-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
H	大容量トレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (DocuCentre Color 500/500 CP の手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MxMmm	MxMmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、M(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 296.3x431.4mm

DocuCentre Color 500/500 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 319.6x456.5mm

注記 ▶ 手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	フェースダウントレイへ排紙します。
mn	メールボックスのビン n へ排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はフェースダウントレイ) に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-2]

2 段組で印刷します。

[-F]

改ページコード (FF) を無視します。

[-l:lines]

1 ページ当たりの行数を *lines* 行とします。

[-w:columns]

1 行当たりのけた数を *columns* けたとします。

[-L:outlines]

outlines 行目から文字を印刷します。

[-o:outcolumns]

半角文字に換算して *outcolumns* けた目から文字を印刷します。

[-mg=upmargin:bottommargin:rightmargin:leftmargin]

ページの余白をインチ単位で指定します。

upmargin (上余白)、*bottommargin* (下余白)、*rightmargin* (右余白)、*leftmargin* (左余白) は、正の実数 (小数点第二位まで有効) です。デフォルトは 0 です。

-mg=0:0:0:3 左余白を 3 インチにします。

-mg=3:3:0:5 上余白を 3、下余白を 3、左余白を 5 インチにします。

余白が 0 インチの場合値を省略できます。

-mg=:::3 左余白を 3 インチにします。

[-en]

水平タブを *n* けたの空白 (スペース) に展開します。デフォルトは 8 です。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。

[-g]

日本語文字をゴシック体で印刷します。

このオプションを省略した場合は、明朝体で印刷します。

[-s:size]

フォントサイズを *size* ポイントとします。デフォルトは 10 ポイントです。

[-f:font]

半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。

[-j:f:font]

日本語を印刷するためのフォントを指定します。
ゴシック指定オプションと同時に使用される場合は、後方にあるものが優先されます。また、誤ったフォント名や、プリンタが使用できないフォント名を入力された場合は、デフォルトの欧文フォントが使用されます。

- フォントの指定は、「-f」または「-jf」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

```
% euc2ps2 -fCourier-Oblique filename
% euc2ps2 -jfJun101-Light-H filename
```

参照 ▶ 使用できるフォントについては、「付録 B 使用できるフォント」または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[-CM=*mode*]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Auto	カラー/白黒自動判別
Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー/白黒自動判別」が選択されます。

[-Br=*brightness*]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[-CRD=*collection*]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

注記 ▶ カラーモードを「カラー/白黒自動判別」を指定し、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定しますと、「カラー/白黒自動判別」が正常に動作せず、誤判定される場合があります。正しい課金のためには、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定する場合、明示的に「カラー」または「白黒」を指定する必要があります。

[-CS]

カラー分解を指定します。このオプションを指定すると、各色成分ごとに白黒ページを出力します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
----	-------	-----

H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
OF	opaquefilm	電飾フィルム (DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP 用)
GL	glossy	専用光沢紙 (DocuCentre Color 500/500 CP 用)
TP	tracingpaper	トレーシングペーパー
TF	tackfilm	タックフィルム

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Fast	速度優先
Fine	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

TX	text	テキスト文書
GR	graphics	図・表・グラフ
IM	image	写真

[-Td=*type*]

OHP用合紙の給紙先を選択します。次のOHP用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[-ps]

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合は `fxpif` と同様の処理を行います。

[-JN]

XJCLヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。

XJCLヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタのJCLスイッチをONにしている場合のみ使用できます。またXJCLに対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。(HP-UXのみ使用可能です。)

[-JU=*username*]

XJCLヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。

XJCLヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタのJCLスイッチをONにしている場合のみ使用できます。またXJCLに対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、`username` で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。`username` を指定しない場合は、`UnknownUser` で記録されます。(HP-UXのみ使用可能です。)

[-Hd=*position:format:page*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

`position` は出力位置を指定します。但し、この指定はテキストファイルを変換する場合のみ有効で、PostScript ファイルを変換する場合は常に左下に出します。

ul 用紙の左上に出力します
 ur 用紙の右上に出力します
 dl 用紙の左下に出力します
 dr 用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は *uh* がデフォルトとなります。

u ユーザー名
 h ホスト名
 t 日時

出力内容を *tuh* と指定した場合は次のよう出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

page は出力するページを指定します。この指定は省略可能です。

f 先頭ページのみ出力 (PostScript ファイル変換時デフォルト)
 a 全ページ出力 (テキストファイル変換時デフォルト)

指定は次のように行います。

テキストファイル変換で右上にユーザ名、ホスト名の順番で全ページに出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名、全ページ出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

```
-Hd=ur          または
-Hd=ur:uh      または
-Hd=ur:uh:a
```

PostScript ファイル変換で左下に日時、ホスト名の順番で全ページに出力する場合。

(PostScript 変換時は先頭ページ出力がデフォルトなので必ず *a* 指定が必要です)

```
-Hd=dl:th:a
```

注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は euc2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。

PostScript ファイル変換時に全ページ出力指定を行っても出力されない場合があります。その際は、先頭ページのみ出力の指定を行ってください。

日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hhfheaderfont]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。

半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。

参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

「file1.c」ファイルのプログラムリストを、紙を横向きにして、2up で印刷する PostScript 言語プログラムに変換しプリントする場合、次のように入力します。

```
% euc2ps -2 -r file1.c
```

file1 を PostScript 言語プログラムに変換し、ファイル file1.ps に出力する場合、次のように入力します。

```
% euc2ps2 file1 > file1.ps
```

コマンドの出力結果を euc2ps2 で PostScript 言語プログラムに変換し、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% ls | euc2ps2 | lpr (SunOS 4.x/Linux の場合)
```

```
% ls | euc2ps2 | lp
```

(Solaris/HP-UX の場合)

◇環境変数

EUC2PSOPTION

環境変数によるオプション設定

2up、8ポイント、横向きで出力する場合、次のように入力します。

```
% setenv EUC2PSOPTION "-2 -s8 -r"
```

printcap で指定する fxpif フィルターと同じオプションを使用する場合、次のように入力します。(SunOS 4.x/Linux のみ使用可能です。)

```
% setenv EUC2PSOPTION "<fxpif>"
```

◇ファイル

\$HOME/.fxpsdefault1250

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル(SunOS 4.x/Linux)

◆ 注記

- ▶ 同じオプションが指定されたときは、後方にあるものが優先されます。EUC2PSOPTION は、コマンドラインのオプションより先に解析されるので、コマンドライン上で指定することにより一時的に EUC2PSOPTION に設定してあるオプションを変更することができます。
- ▶ euc2ps2 のデフォルトオプションで出力した PostScript プログラムファイルには、ページ番号のコメント記述 (%%page:m n) を出力しません。したがって、euc2ps2 の出力を他のアプリケーション (TRANSCRIPT の psrev 等) の入力とするときには、行数指定 (-lines) を入れてページ番号記述を付加してください。
- ▶ BS コードが行頭にあると、次の文字の印刷位置が行頭より左側になってしまいます。
- ▶ 1 行内にタブコードが複数ある場合に、自動改行によりタブ位置がずれることがあります。このような場合には、-l や -w オプションを指定してください。
- ▶ -w オプションで指定する桁数 (columns) は、実際に印刷される文字数ではありません。-w オプションで指定する桁数から -o オプションで指定する出力カラム位置 (outcolumns) を引いた値が、実際に印刷される半角文字数となります。
-w、-l、-o、-L オプションと同時に、-mg オプションを指定することはできません。余白指定オプション (-mg=u:b:r:l) の余白の開始位置は、用紙の端からではなく、各用紙に対するプリンタの印刷可能領域からの余白を設定します。
なお印刷可能領域は、機種によって異なります。
詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。
- ▶ -ps オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。

3.5.2 DP2220 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin2220/euc2ps2 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-2] [-F] [-l/lines] [-L/outlines] [-w/columns] [-o/outcolumns]
[-mg=upmargin:bottommargin:rightmargin:leftmargin] [-en] [-t] [-E] [-g]
[-ssize] [-ffont] [-jffont] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection]
[-FE] [-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type] [-ps]
[-Hd= position:format:page] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

日本語を含む EUC コードのテキストを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。

環境変数 EUC2PSOPTION に文字列を設定することで、コマンドラインのオプションの入力を省略することができます。

環境変数 EUC2PSOPTION およびコマンドラインで、何もオプションを指定していなければ、フォントサイズ 10 ポイントで用紙を縦長に使用して出力します。

環境変数 EUC2PSOPTION とコマンドラインで同じオプションが指定されている場合は、コマンドラインで指定したオプションが優先されます。

euc2ps2 は、用紙サイズに従って行けたを調整する PostScript 言語プログラムを出力します。このため特に用紙サイズを意識する必要はありません。行けたを指定するオプションがある場合は、用紙サイズによる自動改行を行わず、指定された行けたの指定に従って出力します。

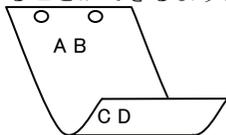
euc2ps2 は次の制御コードを解釈します。その他の制御コード/未定義コードについては、8 進数へ変換し、そのまま出力します。

LF	改行
FF	改ページ (オプションで変更可)
TAB	8 けたタブストップ (オプションで変更可)
BS	1 文字戻る

◇オプション

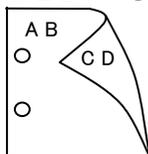
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。

-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[*-Itray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[*-Otray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

- [-r]**
イメージを 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。
- [-Nc=copies]**
出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。
- [-Cl]**
部単位での印刷を選択します。
- [-2]**
2 段組で印刷します。
- [-F]**
改ページコード (FF) を無視します。
- [-l $lines$]**
1 ページ当たりの行数を *lines* 行とします。
- [-w $columns$]**
1 行当たりのけた数を *columns* けたとします。
- [-L $outlines$]**
outlines 行目から文字を印刷します。
- [-o $outcolumns$]**
半角文字に換算して *outcolumns* けた目から文字を印刷します。
- [-mg= $upmargin$ · $bottommargin$ · $rightmargin$ · $leftmargin$]**
ページの余白をインチ単位で指定します。
upmargin (上余白)、*bottommargin* (下余白)、*rightmargin* (右余白)、*leftmargin* (左余白) は、正の実数 (小数点第二位まで有効) です。デフォルトは 0 です。
- mg=0:0:0:3 左余白を 3 インチにします。
 - mg=3:3:0:5 上余白を 3、下余白を 3、左余白を 5 インチにします。
余白が 0 インチの場合値を省略できます。
 - mg=:::3 左余白を 3 インチにします。
- [-en]**
水平タブを *n* けたの空白 (スペース) に展開します。デフォルトは 8 です。
- [-t]**
トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。
- [-E]**
イメージエンハンス機能を使用しません。
イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)
- [-g]**
日本語文字をゴシック体で印刷します。
このオプションを省略した場合は、明朝体で印刷します。
- [-ssize]**
フォントサイズを *size* ポイントとします。デフォルトは 10 ポイントです。
- [-ffont]**
半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。
- [-jffont]**
日本語を印刷するためのフォントを指定します。
ゴシック指定オプションと同時に使用される場合は、後方にあるものが優先されます。また、誤ったフォント名や、プリンタが使用できないフォント名を入力された場合は、デフォルトの欧文フォントが使用されます。
- フォントの指定は、「-f」または「-jf」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。
 - % euc2ps2 -fCourier-Oblique *filename*
 - % euc2ps2 -jfJun101-Light-H *filename*

参照 ▶ 使用できるフォントについては、「付録 B 使用できるフォント」または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[-CM=*mode*]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[-Br=*brightness*]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-CRD=*collection*]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
 2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。
 1 トレイ 1 を使用します

[-ps]

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合は `fxpif` と同様の処理を行います。

[-JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。
 XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。
 プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。(HP-UX のみ使用可能です。)

[-JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。
 XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。
 プリンタには、`username` で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。`username` を指定しない場合は、`UnknownUser` で記録されます。(HP-UX のみ使用可能です。)

[-Hd=*position:format:page*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。
position は出力位置を指定します。但し、この指定はテキストファイルを変換する場合のみ有効で、PostScript ファイルを変換する場合は常に左下に出力します。

- `ul` 用紙の左上に出力します
- `ur` 用紙の右上に出力します
- `dl` 用紙の左下に出力します
- `dr` 用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。
 省略した場合は `uh` がデフォルトとなります。

- `u` ユーザー名
- `h` ホスト名
- `t` 日時

出力内容を `tuh` と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

page は出力するページを指定します。この指定は省略可能です。

- `f` 先頭ページのみ出力 (PostScript ファイル変換時デフォルト)
- `a` 全ページ出力 (テキストファイル変換時デフォルト)

指定は次のように行います。

テキストファイル変換で右上にユーザ名、ホスト名の順番で全ページに出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名、全ページ出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

```
-Hd=ur                または
-Hd=ur:uh            または
-Hd=ur:uh:a
```

PostScript ファイル変換で左下に日時、ホスト名の順番で全ページに出力する場合。

(PostScript 変換時は先頭ページ出力がデフォルトなので必ず a 指定が必要です)

```
-Hd=dl:th:a
```

注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は euc2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。

PostScript ファイル変換時に全ページ出力指定を行っても出力されない場合があります。その際は、先頭ページのみ出力の指定を行ってください。

日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行います。

[-Hfheaderfont]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。

参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

「file1.c」ファイルのプログラムリストを、紙を横向きにして、2up で印刷する PostScript 言語プログラムに変換しプリントする場合、次のように入力します。

```
% euc2ps -2 -r file1.c
```

file1 を PostScript 言語プログラムに変換し、ファイル file1.ps に出力する場合、次のように入力します。

```
% euc2ps2 file1 > file1.ps
```

コマンドの出力結果を euc2ps2 で PostScript 言語プログラムに変換し、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% ls | euc2ps2 | lpr (SunOS 4.x/Linux の場合)
```

```
% ls | euc2ps2 | lp (Solaris/HP-UX の場合)
```

◇環境変数

EUC2PSOPTION

環境変数によるオプション設定

2up、8 ポイント、横向きで出力する場合、次のように入力します。

```
% setenv EUC2PSOPTION "-2 -s8 -r"
```

printcap で指定する fxpif フィルターと同じオプションを使用する場合、次のように入力します。(SunOS 4.x/Linux のみ使用可能です。)

```
% setenv EUC2PSOPTION "<fxpif>"
```

◇ファイル

\$HOME/.fxpsdefault2220

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル(SunOS 4.x/Linux)

◆ 注記

- ▶ 同じオプションが指定されたときは、後方にあるものが優先されます。EUC2PSOPTION は、コマンドラインのオプションより先に解析されるので、コマンドライン上で指定することにより一時的に EUC2PSOPTION に設定してあるオプションを変更することができます。
- ▶ euc2ps2 のデフォルトオプションで出力した PostScript プログラムファイルには、ページ番号のコメント記述 (%%page:m n) を出力しません。したがって、euc2ps2 の出力を他のアプリケーション (TRANSCRIPT の psrev 等) の入力とするときには、行数指定 (-lines) を入れてページ番号記述を付加してください。
- ▶ BS コードが行頭にあると、次の文字の印刷位置が行頭より左側になってしまいます。
- ▶ 1 行内にタブコードが複数ある場合に、自動改行によりタブ位置がずれることがあります。このような場合には、-l や -w オプションを指定してください。
- ▶ -w オプションで指定する桁数 (columns) は、実際に印刷される文字数ではありません。-w オプションで指定する桁数から -o オプションで指定する出力カラム位置 (outcolumns) を引いた値が、実際に印刷される半角文字数となります。
-w、-l、-o、-L オプションと同時に、-mg オプションを指定することはできません。
余白指定オプション (-mg=u:b:r:l) の余白の開始位置は、用紙の端からではなく、各用紙に対するプリンタの印刷可能領域からの余白を設定します。
なお印刷可能領域は、機種によって異なります。
詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。
- ▶ -ps オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。

3.5.3 DP3530 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin3530/euc2ps2 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-2] [-F] [-l:lines] [-L:outlines] [-w:columns] [-o:outcolumns]
[-mg=upmargin:bottommargin:rightmargin:leftmargin] [-en] [-t]
[-t2=tonersave] [-E] [-g] [-s:size] [-ffont] [-jffont] [-CM=model] [-Br=brightness]
[-CRD=collection] [-FE] [-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pr2=resolution]
[-Pt=target] [-Td=type] [-ps] [-JOAU=username] [-ACNA=documentname]
[-Hd= position:format:page] [-Hf:headerfont] [filename...]
```

◇機能

日本語を含む EUC コードのテキストを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。

環境変数 EUC2PSOPTION に文字列を設定することで、コマンドラインのオプションの入力を省略することができます。

環境変数 EUC2PSOPTION およびコマンドラインで、何もオプションを指定していなければ、フォントサイズ 10 ポイントで用紙を縦長に使用して出力します。

環境変数 EUC2PSOPTION とコマンドラインで同じオプションが指定されている場合は、コマンドラインで指定したオプションが優先されます。

euc2ps2 は、用紙サイズに従って行けたを調整する PostScript 言語プログラムを出力します。このため特に用紙サイズを意識する必要はありません。行けたを指定するオプションがある場合は、用紙サイズによる自動改行を行わず、指定された行けたの指定に従って出力します。

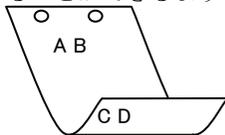
euc2ps2 は次の制御コードを解釈します。その他の制御コード/未定義コードについては、8 進数へ変換し、そのまま出力します。

LF	改行
FF	改ページ (オプションで変更可)
TAB	8 けたタブストップ (オプションで変更可)
BS	1 文字戻る

◇オプション

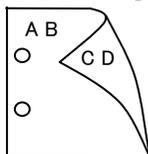
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙する

ことができます。

[*-Tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- | | |
|--------|---|
| 1 | トレイ 1 から給紙します。 |
| 2 | トレイ 2 から給紙します。 |
| 3 | トレイ 3 から給紙します。 |
| 4 | トレイ 4 から給紙します。 |
| 6 | トレイ 6 から給紙します。 |
| A3 | A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A4 | A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A5 | A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| A6 | A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| B4 | B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B5 | B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。 |
| B6 | B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| SRA3 | 12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| PC | ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| DPC | 往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| DPCY | 往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| EC3 | 封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| EC3Y | 封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| EK2 | 封筒角形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| EY2 | 封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| EY3 | 封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| EY4 | 封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| COM10 | 封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| Monarc | 封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| DL | 封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| C5 | 封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| C4 | 封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効) |
| LT | レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙し |

	ます。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x19in	12x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxN</i> mm	<i>MxN</i> mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C3530
最小 100.2x139.7mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C3540/C3140/C3250
最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C2426	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x457.2mm
DocuPrint C2424	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x431.8mm
DocuPrint C3200 A	最小 88.9x139.7mm、最大 215.9x355.6mm
DocuPrint C5450	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C3050	最小 74.8x97.7mm、最大 297.0x431.8mm
DocuPrint C5000 d	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x1199.7mm
DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250	
DocuCentre C2101/C1101	
ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I	
DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I	
ApeosPort-II C4300/C3300/C2200	
DocuCentre-II C4300/C3300/C2200	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm
ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I	
DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I	
ApeosPort-II C7500/C6500/C5400	
DocuCentre-II C7500/C6500/C5400	
ApeosPort-III C7600/C6500/C5500	
DocuCentre-III C7600/C6500/C5500	
ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580	
DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C2250	
DocuPrint C3360	
ApeosPort-III C3300/C2200	
DocuCentre-III C3300/C2200	
ApeosPort-III C3305/C2205	
DocuCentre-III C3305/C2205	最小 89.3x98.1mm、最大 320.0x483.0mm
ApeosPort-III C4405/C4400	
DocuCentre-III C4405/C4400	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x483.0mm
ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x482.9mm
DocuPrint C3350	最小 75.2x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2260	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2263	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x482.9mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

(長尺紙が給紙可能な機種のみ)

297x900mm

297x1130mm

297x1200mm

210x900mm

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
mn	メールボックスのビン <i>n</i> へ排紙します。 <i>n</i> は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。
fi	センタートレイ上段へ排紙します。
fo	排出トレイへ排紙します。

(fu2 は、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C2263、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d 用です。

fu は ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C2263、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d に対応しておりません。)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-2]

2 段組で印刷します。

[-F]

改ページコード (FF) を無視します。

[-llines]

1 ページ当たりの行数を *lines* 行とします。

[-wcolumns]

1 行当たりのけた数を *columns* けたとします。

[-Loutlines]

outlines 行目から文字を印刷します。

[-ooutcolumns]

半角文字に換算して *outcolumns* けた目から文字を印刷します。

[-mg=upmargin:bottommargin:rightmargin:leftmargin]

ページの余白をインチ単位で指定します。

upmargin (上余白)、bottommargin (下余白)、rightmargin (右余白)、leftmargin (左余白) は、正の実数 (小数点第二位まで有効) です。デフォルトは 0 です。

-mg=0:0:0:3 左余白を 3 インチにします。

-mg=3:3:0:5 上余白を 3、下余白を 3、左余白を 5 インチにします。
余白が 0 インチの場合値を省略できます。

-mg:::3 左余白を 3 インチにします。

- [-en]**
 水平タブを **n** けたの空白 (スペース) に展開します。デフォルトは 8 です。
- [-t]**
 トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。
 トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。
 -t と -t 2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。
- [-t2=tonersave]**
 トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。
 Mode1 ややうすい(節約量小)
 Mode2 うすい(節約量大)
 Mode3 かなりうすい(ドラフト)
 (DocuPrint C3350、 DocuPrint C5000 d 用です。)
 -t と -t 2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。
 このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。
- [-E]**
 イメージエンハンス機能を使用しません。イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。
 (印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)
- [-g]**
 日本語文字をゴシック体で印刷します。
 このオプションを省略した場合は、明朝体で印刷します。
- [-ssize]**
 フォントサイズを **size** ポイントとします。デフォルトは 10 ポイントです。
- [-ffont]**
 半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。
- [-jffont]**
 日本語を印刷するためのフォントを指定します。
 ゴシック指定オプションと同時に使用される場合は、後方にあるものが優先されます。また、誤ったフォント名や、プリンタが使用できないフォント名を入力された場合は、デフォルトの欧文フォントが使用されます。
- フォントの指定は、「-f」または「-jf」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。
 - % euc2ps2 -fCourier-Oblique filename
 - % euc2ps2 -jffJun101-Light-H filename
- 参照 ▶ 使用できるフォントについては、「付録 B 使用できるフォント」または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。
- [-CM=mode]**
 カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
 Color カラー
 Bw 白黒
 このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- [-Br=brightness]**
 RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
 2 明るい
 1 やや明るい
 0 標準
 -1 やや暗い
 -2 暗い
 OF 補正を行わない
 このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-CRD=collection]**
 RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字のもののは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
UD	used	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwback1	厚紙 1 裏面
H1A	hwpaper1A	厚紙 1[A]
1BA	hwback1A	厚紙 1[A]裏面
H1B	hwpaper1B	厚紙 1[B]
1BB	hwback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwback3	厚紙 3 裏面
H4	hwpaper4	厚紙 4
4B	hwback4	厚紙 4 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面

RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏面
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
HOT1	holedthick1	穴あき紙厚 1
HOT2	holedthick2	穴あき紙厚 2
HOT3	holedthick3	穴あき紙厚 3
HOT4	holedthick4	穴あき紙厚 4
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
TB3	tabbed3	インデックス紙 3
TB4	tabbed4	インデックス紙 4
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム
EN	envelope	封筒
ENB	envelopeback	封筒裏面
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

[-Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Quality2	高画質 2
Minute	高精細

(Quality2 は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用です。Quality は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 に対応しておりません。)

[-Pr2=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Speed2	高速 2
Quality	高画質
Quality2	高画質 2
Minute	高精細
Page	ページ印刷
Glossy	光沢

(DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuPrint C5450 用です)

(Speed2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Speed は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません)

(Quality2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Quality は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

-Pr= と -Pr2= の両方を指定した場合、指定は無効となります。

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
OH	ohp	OHP フィルム向け(DocuPrintC2426 用です)
ST	standard	標準

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	自動を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します
M	手差しトレイを使用します

[-ps]

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合は fxpif と同様の処理を行います。

[-JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。

XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。(HP-UX のみ使用可能です。)

[-ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。

XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。(HP-UX のみ使用可能です。)

[-Hd=*position:format:page*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。但し、この指定はテキストファイルを変換する場合のみ有効で、PostScript ファイルを変換する場合は常に左下に出

力します。

ul 用紙の左上に出力します
 ur 用紙の右上に出力します
 dl 用紙の左下に出力します
 dr 用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は *uh* がデフォルトとなります。

u ユーザー名
 h ホスト名
 t 日時

出力内容を *tuh* と指定した場合は次のよう出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

page は出力するページを指定します。この指定は省略可能です。

f 先頭ページのみ出力 (PostScript ファイル変換時デフォルト)
 a 全ページ出力 (テキストファイル変換時デフォルト)

指定は次のように行います。

テキストファイル変換で右上にユーザ名、ホスト名の順番で全ページに出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名、全ページ出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または
 -Hd=ur:uh または
 -Hd=ur:uh:a

PostScript ファイル変換で左下に日時、ホスト名の順番で全ページに出力する場合。

(PostScript 変換時は先頭ページ出力がデフォルトなので必ず *a* 指定が必要です)

-Hd=dl:th:a

注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は euc2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。

PostScript ファイル変換時に全ページ出力指定を行っても出力されない場合があります。その際は、先頭ページのみ出力の指定を行ってください。

日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[**-Hfheaderfont**]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されず。

参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

「file1.c」ファイルのプログラムリストを、紙を横向きにして、2up で印刷する PostScript 言語プログラムに変換しプリントする場合、次のように入力します。

```
% euc2ps -2 -r file1.c
```

file1 を PostScript 言語プログラムに変換し、ファイル file1.ps に出力する場合、次のように入力します。

```
% euc2ps2 file1 > file1.ps
```

コマンドの出力結果を euc2ps2 で PostScript 言語プログラムに変換し、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% ls | euc2ps2 | lpr      (SunOS 4.x/Linux の場合)
% ls | euc2ps2 | lp       (Solaris/HP-UX の場合)
```

◇環境変数

EUC2PSOPTION

環境変数によるオプション設定

2up、8ポイント、横向きで出力する場合、次のように入力します。

```
% setenv EUC2PSOPTION "-2 -s8 -r"
```

printcap で指定する fxpif フィルターと同じオプションを使用する場合、次のように入力します。(SunOS 4.x/Linux のみ使用可能です。)

```
% setenv EUC2PSOPTION "<fxpif>"
```

◇ファイル

\$HOME/.fxpsdefault3530

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル(SunOS 4.x/Linux)

◆ 注記

- ▶ 同じオプションが指定されたときは、後方にあるものが優先されます。EUC2PSOPTION は、コマンドラインのオプションより先に解析されるので、コマンドライン上で指定することにより一時的に EUC2PSOPTION に設定してあるオプションを変更することができます。
- ▶ euc2ps2 のデフォルトオプションで出力した PostScript プログラムファイルには、ページ番号のコメント記述 (%%page:m n) を出力しません。したがって、euc2ps2 の出力を他のアプリケーション (TRANSCRIPT の psrev 等) の入力とするときには、行数指定 (-lines) を入れてページ番号記述を付加してください。
- ▶ BS コードが行頭にあると、次の文字の印刷位置が行頭より左側になってしまいます。
- ▶ 1 行内にタブコードが複数ある場合に、自動改行によりタブ位置がずれることがあります。このような場合には、-l や -w オプションを指定してください。
- ▶ -w オプションで指定する桁数 (columns) は、実際に印刷される文字数ではありません。-w オプションで指定する桁数から -o オプションで指定する出力カラム位置 (outcolumns) を引いた値が、実際に印刷される半角文字数となります。
-w、-l、-o、-L オプションと同時に、-mg オプションを指定することはできません。余白指定オプション (-mg=u:b:r:l) の余白の開始位置は、用紙の端からではなく、各用紙に対するプリンタの印刷可能領域からの余白を設定します。
なお印刷可能領域は、機種によって異なります。
詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。
- ▶ -ps オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。

3.5.4 CLWDPの場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin3320/euc2ps2 [-d | -D] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-2] [-F] [-l:lines] [-L:outlines] [-w:columns] [-o:outcolumns]
[-mg=upmargin:bottommargin:rightmargin:leftmargin] [-en] [-g] [-ssize]
[-ffont] [-jf:font] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=dicname...]
[-CO=type...] [-Rs=sourcename] [-Sm=model] [-M=type2]
[-ps] [-Hd= position:format:page] [-Hf:headerfont] [filename...]
```

◇機能

日本語を含む EUC コードのテキストを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。

環境変数 EUC2PSOPTION に文字列を設定することで、コマンドラインのオプションの入力を省略することができます。

環境変数 EUC2PSOPTION およびコマンドラインで、何もオプションを指定していなければ、フォントサイズ 10 ポイントで用紙を縦長に使用して出力します。

環境変数 EUC2PSOPTION とコマンドラインで同じオプションが指定されている場合は、コマンドラインで指定したオプションが優先されます。

euc2ps2 は、用紙サイズに従って行けたを調整する PostScript 言語プログラムを出力します。このため特に用紙サイズを意識する必要はありません。行けたを指定するオプションがある場合は、用紙サイズによる自動改行を行わず、指定された行けたの指定に従って出力します。

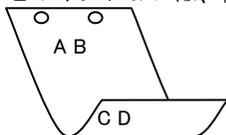
euc2ps2 は次の制御コードを解釈します。その他の制御コード/未定義コードについては、8 進数へ変換し、そのまま出力します。

LF	改行
FF	改ページ (オプションで変更可)
TAB	8 けたタブストップ (オプションで変更可)
BS	1 文字戻る

◇オプション

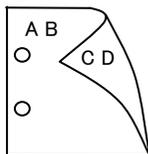
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[*-Itray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、用紙サイズを指定します。用紙サイズを指定すると、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

SA3	特 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター用紙がセットされたトレイから給紙します。
TB	タブロイド用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル"14 用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-SA3	特 A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-TB	タブロイド用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル"14 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキがセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-C6	封筒:洋形 2 号がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-Y3	封筒:洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-Y4	封筒:洋形 4 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-YC3	封筒:長洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-MxNmm	M×Nmm の不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第一位まで有効)。
MSI-MxNin	M×Nインチの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第二位まで有効)。
MSI-MxNpt	M×Nポイントの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の整数です。

このオプションを指定しない場合、プリンタに設定されているデフォルト用紙サイズ(A 4、レター)で出力されます。

指定した用紙がトレイに無い場合は、トレイに用紙の補充を求められます。

不定形用紙の指定は MSI-180x250.2mm の様に指定します。

プリンタが使用できない不定形用紙サイズを指定した場合エラーとなります。

不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90~330.2、高さ 139.7~457.2、

インチ単位指定の場合、幅 3.54~13、高さ 5.5~18、ポイント指定の場合、幅 255~936、高さ 396~1296 の範囲で指定して下さい。(1in=72pt)

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd フェースダウントレイへ排紙します。

fu フェースアップトレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合、フェースダウントレイに排紙されます。

但し、出力できない用紙の場合は、エラーとなります。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います(copies は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-2]

2 段組で印刷します。

[-F]

改ページコード (FF) を無視します。

[-llines]

1 ページ当たりの行数を *lines* 行とします。

[-wcolumns]

1 行当たりのけた数を *columns* けたとします。

[-Loutlines]

outlines 行目から文字を印刷します。

[-ooutcolumns]

半角文字に換算して *outcolumns* けた目から文字を印刷します。

[-mg=upmargin·bottommargin·rightmargin·leftmargin]

ページの余白をインチ単位で指定します。

upmargin (上余白)、bottommargin (下余白)、rightmargin (右余白)、leftmargin (左余白) は、正の実数 (小数点第二位まで有効) です。デフォルトは 0 です。

-mg=0:0:0:3 左余白を 3 インチにします。

-mg=3:3:0:5 上余白を 3、下余白を 3、左余白を 5 インチにします。

余白が 0 インチの場合値を省略できます。

-mg=:::3 左余白を 3 インチにします。

[-en]

水平タブを *n* けたの空白 (スペース) に展開します。デフォルトは 8 です。

[-g]

日本語文字をゴシック体で印刷します。

このオプションを省略した場合は、明朝体で印刷します。

[-s size]

フォントサイズを *size* ポイントとします。デフォルトは 10 ポイントです。

[-ffont]

半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。

[-jfifont]

日本語を印刷するためのフォントを指定します。

ゴシック指定オプションと同時に使用される場合は、後方にあるものが優先されます。また、誤ったフォント名や、プリンタが使用できないフォント名を入力された場合は、デフォルトの欧文フォントが使用されます。

- フォントの指定は、「-f」または「-jf」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

```
% euc2ps2 -fCourier-Oblique filename
% euc2ps2 -jfRyumin-Light-H filename
```

参照 ▶ 使用できるフォントについては、「付録 A 使用できるフォント」または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[-CM=model]

カラーモデルを選択します。次のカラーモデルが指定できます。

Gray グレースケール(白黒)

CMYK シアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)の4色

このオプションを指定しない場合は、CMYKが選択されます。

[-Br=brightness]

RGB明るさ補正を選択します。次のRGB明るさ補正が利用できます。

3 非常に明るい
2 明るい
1 やや明るい
0 標準
-1 やや暗い
-2 暗い
-3 非常に暗い

このオプションを指定しない場合は、0(標準)が選択されます。

[-CRD=dicname...]

カラーレンダリング辞書を選択します。次のカラーレンダリング辞書が指定できます。

Color Laser Wind 3320PS

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PT	photographic-text	テキスト文書用連続調辞書
BT	business-text	テキスト文書用ビジネスグラフィック辞書
OT	ohp-text	テキスト文書用 OHP/OHT 辞書
PG	photographic-graphic	図・表・グラフ用連続調辞書
BG	business-graphic	図・表・グラフ用ビジネスグラフィック辞書
OG	ohp-graphic	図・表・グラフ用 OHP/OHT 辞書
PI	hotographic-image	写真用連続調辞書
BI	business-image	写真用ビジネスグラフィック辞書
OI	ohp-image	写真用 OHP/OHT 辞書

このオプションを指定しない場合は、テキストは PT、図・表・グラフは PG、写真は PI が選択されます。

Color Laser Wind 3320PS では、オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。但し、OHP を指定する場合は必ず、テキスト、図・表・グラフ、写真を全て OHP で指定して下さい。また、用紙サイズは手差しの A4 またはレター、出力トレイはフェースアップトレイ、用紙種別は OHP シートを指定して下さい。

```
-CRD=PT,BG,BI
```

```
-CRD=photographic-graphic,business-text
```

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

`-CRD=PT,photographic-image,business-text,business-graphic,PG`

DocuPrint C625PS/C626PS

PHO	連続調辞書
PRE	ビジネスグラフィック辞書
ABS	絶対カラーメトリック辞書
REL	相対カラーメトリック辞書

このオプションを指定しない場合は、PRE が選択されます。

`[-CO=type…]`

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

(Color Laser Wind 3320PS 専用のオプションです)

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

DT	detail-text	解像度を優先するテキスト文書
ST	smooth-text	階調を優先するテキスト文書
DG	detail-graphic	解像度を優先する図・表・グラフ
SG	smooth-graphic	階調を優先する図・表・グラフ
DI	detail-image	解像度を優先する写真
SI	smooth-image	階調を優先する写真

このオプションを指定しない場合は、テキストは DT、図・表・グラフは SG、写真は SI が選択されます。

オプションはカンマで区切るにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。

`-CO=DT,SG,DI`

`-CO=detail-graphic,smooth-text`

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

`-CO=DT,detail-image,smooth-text,detail-graphic,SG`

`[-Rs=sourcename]`

使用する RGB ソースを指定します。RGB データのソース色空間定義を指定します。このソース色空間を基点にして、RGB データがプリンタの CMYK 色空間にマッピングされます。

次の RGB ソースが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

ER	efirgb	EFIRGB(Color Laser Wind 3320PS に出力するためのカラーデータ変換に最適な RGB ソース色空間)
SR	srgb	sRGB(PC)(Windows 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
AP	apple	Apple 標準(MacOS 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
OF	off	オフ(マッピングを行いません)

このオプションを指定しない場合は、sRGB(PC)が選択されます。

[-Sm=*mode*]

CMYK シミュレーションを指定します。オフセット印刷標準をシミュレートするように、CMYK カラーデータ値を調整します。

次の CMYK シミュレーションが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

SW	swop	SWOP-corted(米国の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
DI	dic	DIC(大日本インキ化学工業株式会社の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
EU	euroscale	Euroscale(ヨーロッパの印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
OF	off	オフ(CMYK カラーデータに対して、シミュレーションは行われません)

このオプションを指定しない場合は、オフが選択されます。

[-M=*type2*]

使用する用紙種別を指定します。次の用紙種別が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
OH	ohp	OHP シート
LB	label	ラベル
CV	cover	厚紙・封筒 (DocuPrint C625PS/C626PS では厚紙のみです)

(以下のパラメータは DocuPrint C625PS/C626PS 専用 です)

PD	pldup	普通紙裏面
CD	covdup	厚紙裏面
GL	glossy	専用光沢紙
GD	glsdup	専用光沢紙裏面
CT	coated	コート紙
TD	cotdup	コート紙裏面
CS	cdstock	ハガキ
SD	cdsdup	ハガキ裏面
EV	envelope	封筒

このオプションを指定しない場合は、普通紙が選択されます。

[-ps]

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合は `fxpif` と同様の処理を行います。

[-Hd=*position:format:page*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。但し、この指定はテキストファイルを変換する場合のみ有効で、PostScript ファイルを変換する場合は常に左下に出力します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は *uh* がデフォルトとなります。

u ユーザー名
h ホスト名
t 日時

出力内容を *tuh* と指定した場合は次のよう出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

page は出力するページを指定します。この指定は省略可能です。

f 先頭ページのみ出力 (PostScript ファイル変換時デフォルト)
a 全ページ出力 (テキストファイル変換時デフォルト)

指定は次のように行います。

テキストファイル変換で右上にユーザ名、ホスト名の順番で全ページに出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名、全ページ出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

`·Hd=ur` または
`·Hd=ur:uh` または
`·Hd=ur:uh:a`

PostScript ファイル変換で左下に日時、ホスト名の順番で全ページに出力する場合。

(PostScript 変換時は先頭ページ出力がデフォルトなので必ず *a* 指定が必要です)

`·Hd=dl:th:a`

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は euc2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。PostScript ファイル変換時に全ページ出力指定を行っても出力されない場合があります。その際は、先頭ページのみ出力の指定を行ってください。日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

`[-Hfheaderfont]`

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

「file1.c」ファイルのプログラムリストを、紙を横向きにして、2up で印刷する PostScript 言語プログラムに変換しプリントする場合、次のように入力します。

```
% euc2ps -2 -r file1.c
```

file1 を PostScript 言語プログラムに変換し、ファイル file1.ps に出力する場合、次のように入力します。

```
% euc2ps2 file1 > file1.ps
```

コマンドの出力結果を euc2ps2 で PostScript 言語プログラムに変換し、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% ls | euc2ps2 | lpr (SunOS 4.x/Linux の場合)
```

```
% ls | euc2ps2 | lp (Solaris/HP-UX の場合)
```

◇環境変数

EUC2PSOPTION

環境変数によるオプション設定

2up, 8 ポイント、横向きで出力する場合、次のように入力します。

```
% setenv EUC2PSOPTION "-2 -s8 -r"
```

printcap で指定する fxpif フィルターと同じオプションを使用する場合、次のように入力します。(SunOS 4.x/Linux のみ使用可能です。)

```
% setenv EUC2PSOPTION "<fxpif>"
```

◇ファイル

\$HOME/.fxpsdefault3320

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル(SunOS 4.x/Linux)

◆ 注記

- ▶ 同じオプションが指定されたときは、後方にあるものが優先されます。EUC2PSOPTION は、コマンドラインのオプションより先に解析されるので、コマンドライン上で指定することにより一時的に EUC2PSOPTION に設定してあるオプションを変更することができます。
- ▶ euc2ps2 のデフォルトオプションで出力した PostScript プログラムファイルには、ページ番号のコメント記述 (%%page:m n) を出力しません。したがって、euc2ps2 の出力を他のアプリケーション (TRANSCRIPT の psrev 等) の入力とするときには、行数指定 (-lines) を入れてページ番号記述を付加してください。
- ▶ BS コードが行頭にあると、次の文字の印刷位置が行頭より左側になってしまいます。
- ▶ 1 行内にタブコードが複数ある場合に、自動改行によりタブ位置がずれることがあります。このような場合には、-l や -w オプションを指定してください。
- ▶ -w オプションで指定する桁数 (columns) は、実際に印刷される文字数ではありません。-w オプションで指定する桁数から -o オプションで指定する出力カラム位置 (outcolumns) を引いた値が、実際に印刷される半角文字数となります。
- ▶ -ps オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。
- ▶ euc2ps2 ではカラーに関するオプションは無視されます。カラーを指定しても、出力される結果は、黒で出力されます。
- ▶ 普通用紙を指定する場合で、用紙サイズに手差し A5、ハガキ、洋形 2 号を指定する場合は必ず出カトレイにフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ OHP シートを指定する場合は、必ず用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。また、CRD には全て OHP を指定して下さい。
- ▶ ラベルを指定する場合は、用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 厚紙・封筒を指定する場合は、用紙サイズは手差し用紙、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90~330.2、高さ 139.7~457.2、インチ単位指定の場合、幅 3.54~13、高さ 5.5~18、ポイント指定の場合、幅 255~936、高さ 396~1296 の範囲で指定して下さい。(1in=72pt)
- ▶ -w、-l、-o、-L オプションと同時に、-mg オプションを指定することはできません。
- ▶ 余白指定オプション (-mg=u:b:r:l) の余白の開始位置は、用紙の端からではなく、各用紙に対するプリンタの印刷可能領域からの余白を設定します。
- ▶ EUC2PSOPTION で fxpif フィルタと同じオプションを使用する場合は、環境変数 HOME にユーザーのホームディレクトリを設定してください。環境変数 HOME が設定されていない場合は、fxpif フィルタと同じオプションは使用できません。

3.6 sunras2ps2 (Sun/Solaris)

3.6.1 DC1250 の場合

◇形式

```
/usr/local/fxbin1250/sunras2ps2 [-d | -D] [-MSI] [-MSI-CF] [-Itray_input]
[-Otray_output] [-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-G4] [-l left bottom] [-s width height]
[-S width] [-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-CS] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-Hd= position:format] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

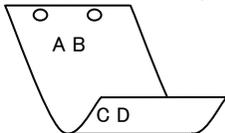
SunRaster フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、8、24、32 ビットの SunRaster フォーマットのファイルを指定することができます。

sunran2ps2 は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された SunRaster フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

◇オプション

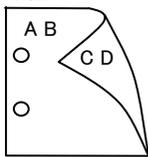
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-MSI-CF]

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
H	大容量トレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー (ダブルレター, 11x17 インチ) セットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ (リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター, 5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (DocuCentre Color 500/500 CP の手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 296.3x431.4mm

DocuCentre Color 500/500 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 319.6x456.5mm

注記 ▶ 手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- fd** フェースダウントレイへ排紙します。
- mn** メールボックスのビン **n** へ排紙します。n は 1 以上 10 以下の値です。
- fs** フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はフェースダウントレイ) に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するとき使用します。

[-G4]

G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで **sunras2g4** と同様の動作をします。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* ともに 0.25 インチです。

12x18 インチ用紙、SRA3 用紙を使用する場合、用紙の余白 (印刷可能領域) が他の用紙と異なります。デフォルト値では画像が切れて印刷されない部分がありますので、以下の通りに印刷開始位置を指定し、調整を行って下さい。

- 12x18 インチ用紙 (上下左右の余白: 上下 10mm 左右: 4mm)
 - 左印刷開始位置: 0.25 インチ
 - 下印刷開始位置: 0.43 インチ
- SRA3 用紙 (上下左右の余白: 上下 6mm 左右: 9mm)
 - 左印刷開始位置: 0.28 インチ
 - 下印刷開始位置: 0.40 インチ

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 **width** インチ、高さ **height** インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を **width** インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

- Auto** カラー/白黒自動判別
- Color** カラー
- Bw** 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー/白黒自動判別」が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

注記 ▶ カラーモードを「カラー/白黒自動判別」を指定し、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定しますと、「カラー/白黒自動判別」が正常に動作せず、誤判定される場合があります。正しい課金のためには、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定する場合、明示的に「カラー」または「白黒」を指定する必要があります。

[-CS]

カラー分解を指定します。このオプションを指定すると、各色成分ごとに白黒ページを出力します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
OF	opaquefilm	電飾フィルム (DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP 用)
GL	glossy	専用光沢紙 (DocuCentre Color 500/500 CP 用)
TP	tracingpaper	トレーシングペーパー
TF	tackfilm	タックフィルム

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Fast	速度優先
Fine	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

TX	text	テキスト文書
GR	graphics	図・表・グラフ
IM	image	写真

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は *uh* がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を *tuh* と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

`-Hd=ur` または、

`-Hd=ur:uh`

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は sunras2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行います。

[-Hf=*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇ 使用例

SunOS 4.x の場合

表示画面イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2ps2 > file1.ps
```

表示画面イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2ps2 | lpr
```

Solaris の場合

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2ps2 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% sunras2ps2 file1.rs > file1.ps
```

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2ps2 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% sunras2ps2 file1.rs | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.6.2 DP2220 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin2220/sunras2ps2 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-G4] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE] [-Jo=type]
[-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type] [-Hd= position:format]
[-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

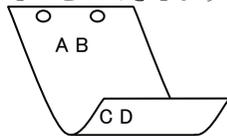
SunRaster フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、8、24、32 ビットの SunRaster フォーマットのファイルを指定することができます。

sunran2ps2 は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された SunRaster フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

◇オプション

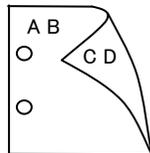
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[*-Itray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー (ダブルレター, 11x17 インチ) セットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ (リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14, 8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[*-Otray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

- [-r]**
イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。
- [-Nc=copies]**
出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。
- [-Cl]**
部単位での印刷を選択します。
- [-n]**
`showpage` を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。
- [-G4]**
G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで `sunras2g4` と同様の動作をします。
- [-l left bottom]**
印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。
- [-s width height]**
出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。
- [-S width]**
出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。
- [-t]**
トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。
- [-E]**
イメージエンハンス機能を使用しません。
(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)
- [-CM=model]**
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- | | |
|-------|-----|
| Color | カラー |
| Bw | 白黒 |
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- [-Br=brightness]**
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- | | |
|----|---------|
| 2 | 明るい |
| 1 | やや明るい |
| 0 | 標準 |
| -1 | やや暗い |
| -2 | 暗い |
| OF | 補正を行わない |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-CRD=collection]**
RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。
- | | | |
|----|--------------|-----------|
| OF | off | 補正を行わない |
| ST | standard | 標準 |
| PH | photo | 写真 |
| PR | presentation | プレゼンテーション |
| WB | web | Web ページ |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-FE]**
ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。
1 トレイ 1 を使用します

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、
-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は sunras2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行います。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4.x の場合

表示画面イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2ps2 > file1.ps
```

表示画面イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2ps2 | lpr
```

Solaris の場合

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2ps2 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% sunras2ps2 file1.rs > file1.ps
```

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2ps2 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% sunras2ps2 file1.rs | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と-S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、ラスターデータの1画素がプリンタの1画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.6.3 DP3530 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin3530/sunras2ps2 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-G4] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-t] [-t2=tonersave] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pr2=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-Hd= position:format] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

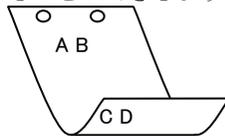
SunRaster フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、8、24、32 ビットの SunRaster フォーマットのファイルを指定することができます。

sunran2ps2 は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された SunRaster フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

◇オプション

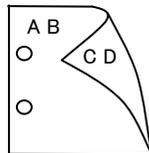
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[**-Tray_input**]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3Y	封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EK2	封筒角形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY2	封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY3	封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY4	封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。

LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x19in	12x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxN</i> mm	<i>MxN</i> mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C3530
最小 100.2x139.7mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C3540/C3140/C3250
最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C2426

	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x457.2mm
DocuPrint C2424	
	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x431.8mm
DocuPrint C3200 A	
	最小 88.9x139.7mm、最大 215.9x355.6mm
DocuPrint C5450	
	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C3050	
	最小 74.8x97.7mm、最大 297.0x431.8mm
DocuPrint C5000 d	
	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x1199.7mm
DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250	
DocuCentre C2101/C1101	
ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I	
DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I	
ApeosPort-II C4300/C3300/C2200	
DocuCentre-II C4300/C3300/C2200	
	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm
ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I	
DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I	
ApeosPort-II C7500/C6500/C5400	
DocuCentre-II C7500/C6500/C5400	
ApeosPort-III C7600/C6500/C5500	
DocuCentre-III C7600/C6500/C5500	
ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580	
DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580	
	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C2250	
DocuPrint C3360	
ApeosPort-III C3300/C2200	
DocuCentre-III C3300/C2200	
ApeosPort-III C3305/C2205	
DocuCentre-III C3305/C2205	
	最小 89.3x98.1mm、最大 320.0x483.0mm
ApeosPort-III C4405/C4400	
DocuCentre-III C4405/C4400	
	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x483.0mm
ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x482.9mm
DocuPrint C3350	
	最小 75.2x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2260	
	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2263	
	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x482.9mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

(長尺紙が給紙可能な機種のみ)

297x900mm

297x1130mm

297x1200mm

210x900mm

[-O *tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
mn	メールボックスのビン <i>n</i> へ排紙します。 <i>n</i> は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。
fi	センタートレイ上段へ排紙します。
fo	排出トレイへ排紙します。

(fu2 は、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C2263、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d 用です。fu は ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C2263、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d に対応しておりません。)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=*copies*]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-G4]

G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで sunras2g4 と同様の動作をします。

[-l *left bottom*]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。

[-s *width height*]

出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。

[-S *width*]

出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。
-t と -t 2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=*tonersave*]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1 ややうすい(節約量小)
 Mode2 うすい(節約量大)
 Mode3 かなりうすい(ドラフト)

(DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d 用です。)

-t と -t 2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。
 このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。
 (印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[-CM=model]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー
 Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい
 1 やや明るい
 0 標準
 -1 やや暗い
 -2 暗い
 OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない
 ST standard 標準
 PH photo 写真
 PR presentation プレゼンテーション
 WB web Web ページ
 CA cad CAD
 PO pop POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job ジョブ単位
 SE set セット単位

[-M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL plain 普通紙
 PLB plainback 普通紙裏面
 UD used 普通紙裏面
 H1 hwpaper1 厚紙 1
 1B hwpback1 厚紙 1 裏面
 H1A hwpaper1A 厚紙 1[A]
 1BA hwpback1A 厚紙 1[A]裏面
 H1B hwpaper1B 厚紙 1[B]

1BB	hwback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwback3	厚紙 3 裏面
H4	hwpaper4	厚紙 4
4B	hwback4	厚紙 4 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
HOT1	holedthick1	穴あき紙厚 1
HOT2	holedthick2	穴あき紙厚 2
HOT3	holedthick3	穴あき紙厚 3
HOT4	holedthick4	穴あき紙厚 4
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏面
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
TB3	tabbed3	インデックス紙 3
TB4	tabbed4	インデックス紙 4
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム
EN	envelope	封筒
ENB	envelopeback	封筒裏面
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Quality2	高画質 2
Minute	高精細

(Quality2 は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用です。Quality は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 に対応しておりません。)

[-Pr2=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Speed2	高速 2
Quality	高画質
Quality2	高画質 2
Minute	高精細
Page	ページ印刷
Glossy	光沢

(DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuPrint C5450 用です)

(Speed2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Speed は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

(Quality2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Quality は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

-Pr= と -Pr2= の両方を指定した場合、指定は無効となります。

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
OH	ohp	OHP フィルム向け (DocuPrintC2426 用です)
ST	standard	標準

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	自動を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します

M 手差しトレイを使用します

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul 用紙の左上に出力します
 ur 用紙の右上に出力します
 dl 用紙の左下に出力します
 dr 用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u ユーザー名
 h ホスト名
 t 日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、

-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は sunras2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
 日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4. x の場合

表示画面イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2ps2 > file1.ps
```

表示画面イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2ps2 | lpr
```

Solaris の場合

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2ps2 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% sunras2ps2 file1.rs > file1.ps
```

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2ps2 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% sunras2ps2 file1.rs | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.6.4 CLWDPの場合

◇形式

```
/usr/local/fxbin3320/sunras2ps2 [-d | -D] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-G4] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=dicname...] [-CO=type...]
[-Rs=sourcename] [-Sm=mode] [-M=type2] [-Hd= position:format]
[-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

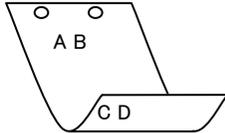
SunRaster フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、8、24、32 ビットの SunRaster フォーマットのファイルを指定することができます。

sunran2ps2 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された SunRaster フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

◇オプション

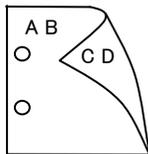
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[*-Itray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、用紙サイズを指定します。用紙サイズを指定すると、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

SA3	特 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター用紙がセットされたトレイから給紙します。
TB	タブロイド用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル"14 用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-SA3	特 A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-TB	タブロイド用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル"14 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキがセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-C6	封筒:洋形 2 号がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-Y3	封筒:洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-Y4	封筒:洋形 4 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-YC3	封筒:長洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-MxNmm	Mc×Nmm の不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第一位まで有効)。
MSI-MxNin	M×N インチの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第二位まで有効)。
MSI-MxNpt	M×N ポイントの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の整数です。

このオプションを指定しない場合、プリンタに設定されているデフォルト用紙サイズ(A 4、レター)で出力されます。

指定した用紙がトレイに無い場合は、トレイに用紙の補充を求められます。

不定形用紙の指定は MSI-180x250.2mm の様に指定します。

プリンタが使用できない不定形用紙サイズを指定した場合エラーとなります。

不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90~330.2、高さ 139.7~457.2、

インチ単位指定の場合、幅 3.54~13、高さ 5.5~18、ポイント指定の場合、幅 255~936、高さ 396~1296 の範囲で指定して下さい。(lin=72pt)

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd フェースダウントレイへ排紙します。

fu フェースアップトレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合、フェースダウントレイに排紙されます。

但し、出力できない用紙の場合は、エラーとなります。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います(copies は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するとき 사용합니다。

[-G4]

G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで sunras2g4 と同様の動作をします。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom とともに 0.25 インチです。

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-CM=model]

カラーモデルを選択します。次のカラーモデルが指定できます。

Gray グレースケール(白黒)

CMYK シアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)の 4 色

このオプションを指定しない場合は、CMYK が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

3 非常に明るい

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

-3 非常に暗い

このオプションを指定しない場合は、0(標準)が選択されます。

[-CRD=*dicname*...]

カラーレンダリング辞書を選択します。次のカラーレンダリング辞書が指定できます。

Color Laser Wind 3320PS の場合

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PT	photographic-text	テキスト文書用連続調辞書
BT	business-text	テキスト文書用ビジネスグラフィック辞書
OT	ohp-text	テキスト文書用 OHP/OHT 辞書
PG	photographic-graphic	図・表・グラフ用連続調辞書
BG	business-graphic	図・表・グラフ用ビジネスグラフィック辞書
OG	ohp-graphic	図・表・グラフ用 OHP/OHT 辞書
PI	photographic-image	写真用連続調辞書
BI	business-image	写真用ビジネスグラフィック辞書
OI	ohp-image	写真用 OHP/OHT 辞書

このオプションを指定しない場合は、テキストは PT、図・表・グラフは PG、写真は PI が選択されます。

Color Laser Wind 3320PS では、オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。但し、OHP を指定する場合は必ず、テキスト、図・表・グラフ、写真を全て OHP で指定して下さい。また、用紙サイズは手差し A4 またはレター、出力トレイはフェースアップトレイ、用紙種別は OHP シートを指定して下さい。

-CRD=PT,BG,BI

-CRD=photographic-graphic,business-text

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

-CRD=PT,photographic-image,business-text,business-graphic,PG

DocuPrint C625PS/C626PS の場合

PHO	連続調辞書
PRE	ビジネスグラフィック辞書
ABS	絶対カラーメトリック辞書
REL	相対カラーメトリック辞書

このオプションを指定しない場合は、PRE が選択されます。

[-CO=*type*...]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

(Color Laser Wind 3320PS 専用のオプションです)

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

DT	detail-text	解像度を優先するテキスト文書
ST	smooth-text	階調を優先するテキスト文書
DG	detail-graphic	解像度を優先する図・表・グラフ
SG	smooth-graphic	階調を優先する図・表・グラフ
DI	detail-image	解像度を優先する写真
SI	smooth-image	階調を優先する写真

このオプションを指定しない場合は、テキストは DT、図・表・グラフは SG、写真は SI が選択されます。

オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。

-CO=DT,SG,DI

-CO=detail-graphic,smooth-text

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

`-CO=DT,detail-image,smooth-text,detail-graphic,SG`

[-Rs=sourcename]

使用する RGB ソースを指定します。RGB データのソース色空間定義を指定します。このソース色空間を基点にして、RGB データがプリンタの CMYK 色空間にマッピングされます。

次の RGB ソースが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

ER	efirgb	EFIRGB(Color Laser Wind 3320PS に出力するためのカラーデータ変換に最適な RGB ソース色空間)
SR	srgb	sRGB(PC)(Windows 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
AP	apple	Apple 標準(MacOS 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
OF	off	オフ(マッピングを行いません)

このオプションを指定しない場合は、sRGB(PC)が選択されます。

[-Sm=model]

CMYK シミュレーションを指定します。オフセット印刷標準をシミュレートするように、CMYK カラーデータ値を調整します。

次の CMYK シミュレーションが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

SW	swop	SWOP-corted(米国の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
DI	dic	DIC(大日本インキ化学工業株式会社の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
EU	euroscale	Euroscale(ヨーロッパの印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
OF	off	オフ(CMYK カラーデータに対して、シミュレーションは行われません)

このオプションを指定しない場合は、オフが選択されます。

[-M=type2]

使用する用紙種別を指定します。次の用紙種別が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
OH	ohp	OHP シート
LB	label	ラベル
CV	cover	厚紙・封筒 (DocuPrint C625PS/C626PS では厚紙のみです)

(以下のパラメータは DocuPrint C625PS/C626PS 専用です)

PD	pldup	普通紙裏面
CD	covdup	厚紙裏面
GL	glossy	専用光沢紙
GD	glsdup	専用光沢紙裏面
CT	coated	コート紙
TD	cotdup	コート紙裏面
CS	cdstock	ハガキ
SD	cdsdup	ハガキ裏面
EV	envelope	封筒

このオプションを指定しない場合は、普通紙が選択されます。

[*-Hd=position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、

-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は **sunras2ps2** で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4. x の場合

表示画面イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2ps2 > file1.ps
```

表示画面イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2ps2 | lpr
```

Solaris の場合

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、**sunras2ps2** コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% sunras2ps2 file1.rs > file1.ps
```

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、**sunras2ps2** コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% sunras2ps2 file1.rs | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 普通用紙を指定する場合で、用紙サイズに手差し A5、ハガキ、洋形 2 号を指定する場合は必ず出カトレイにフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ OHP シートを指定する場合は、必ず用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。また、CRD には全て OHP を指定して下さい。
- ▶ ラベルを指定する場合は、用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 厚紙・封筒を指定する場合は、用紙サイズは手差し用紙、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90～330.2、高さ 139.7～457.2、インチ単位指定の場合、幅 3.54～13、高さ 5.5～18、ポイント指定の場合、幅 255～936、高さ 396～1296 の範囲で指定して下さい。(1in=72pt)
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.7 sunras2g4 (Sun/Solaris)

3.7.1 DC1250 の場合

◇形式

```
/usr/local/fxbin1250/sunras2g4 [-d | -D] [-MSI] [-MSI-CF] [-Itray_input]
[-Otray_output] [-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-l left bottom] [-s width height]
[-S width] [-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-CS] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-Hd= position:format] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

SunRaster フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、8、24、32 ビットの SunRaster フォーマットのファイルを指定することができます。

sunras2g4 は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された SunRaster フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s, -S) を指定して変換してください。

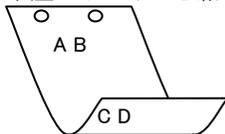
sunras2g4 は、SunRaster フォーマットの画素の深さが 1 ビットの場合に、CCITT グループ 4 形式の圧縮された PostScript 言語プログラムを生成します。出力されるファイルサイズは、sunras2ps2 に比べて小さくなります。

sunras2g4 は sunras2ps2 のハードリンクファイルです。

◇オプション

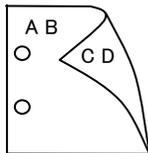
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-MSI-CF]

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-Itray_inpu]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
H	大容量トレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (DocuCentre Color 500/500 CP の手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M(幅)、N(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 296.3x431.4mm

DocuCentre Color 500/500 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 319.6x456.5mm

注記 ▶ 手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。

[-O *tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- fd** フェースダウントレイへ排紙します。
- mn** メールボックスのビン **n** へ排紙します。 **n** は 1 以上 10 以下の値です。
- fs** フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はフェースダウントレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、紙を横向きに使用します。

[-Nc=*copies*]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するとき 사용합니다。

[-l *left bottom*]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* ともに 0.25 インチです。

12x18 インチ用紙、SRA3 用紙を使用する場合、用紙の余白 (印刷可能領域) が他の用紙と異なります。デフォルト値では画像が切れて印刷されない部分がありますので、以下の通りに印刷開始位置を指定し、調整を行って下さい。

- ・ 12x18 インチ用紙 (上下左右の余白: 上下 10mm 左右 4mm)
 - 左印刷開始位置 : 0.25 インチ
 - 下印刷開始位置 : 0.43 インチ
- ・ SRA3 用紙 (上下左右の余白: 上下 6mm 左右 9mm)
 - 左印刷開始位置 : 0.28 インチ
 - 下印刷開始位置 : 0.40 インチ

[-s *width height*]

出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。

[-S *width*]

出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=*mode*]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

- Auto** カラー/白黒自動判別
- Color** カラー
- Bw** 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー/白黒自動判別」が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

注記 ▶ カラーモードを「カラー/白黒自動判別」を指定し、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定しますと、「カラー/白黒自動判別」が正常に動作せず、誤判定される場合があります。正しい課金のためには、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定する場合、明示的に「カラー」または「白黒」を指定する必要があります。

[-CS]

カラー分解を指定します。このオプションを指定すると、各色成分ごとに白黒ページを出力します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
OF	opaquefilm	電飾フィルム (DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP 用)
GL	glossy	専用光沢紙 (DocuCentre Color 500/500 CP 用)
TP	tracingpaper	トレーシングペーパー
TF	tackfilm	タックフィルム

[-Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Fast	速度優先
Fine	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

TX	text	テキスト文書
GR	graphics	図・表・グラフ
IM	image	写真

このオプションが指定されない場合は「テキスト文書」が選択されます。

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、

-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は sunras2g4 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf=*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇ 使用例

SunOS 4. x の場合

表示画面イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2g4 > file1.ps
```

表示画面イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2g4 | lpr
```

Solaris の場合

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2g4 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% sunras2g4 file1.rs > file1.ps
```

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2g4 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% sunras2g4 file1.rs | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.7.2 DP2220 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin2220/sunras2g4 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE] [-Jo=type]
[-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type] [-Hd= position:format]
[-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

SunRaster フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、8、24、32 ビットの SunRaster フォーマットのファイルを指定することができます。

sunras2g4 は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された SunRaster フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s, S) を指定して変換してください。

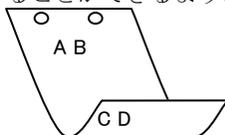
sunras2g4 は、SunRaster フォーマットの画素の深さが 1 ビットの場合に、CCITT グループ 4 形式の圧縮された PostScript 言語プログラムを生成します。出力されるファイルサイズは、sunras2ps2 に比べて小さくなります。

sunras2g4 は sunras2ps2 のハードリンクファイルです。

◇オプション

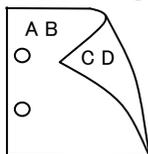
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[*-Itray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[*-Otray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

- [-r]**
イメージを 90 度回転させて、紙を横向きに使用します。
- [-Nc=copies]**
出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。
- [-Cl]**
部単位での印刷を選択します。
- [-n]**
showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。
- [-l left bottom]**
印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。
- [-s width height]**
出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。
- [-S width]**
出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。
- [-t]**
トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。
- [-E]**
イメージエンハンス機能を使用しません。
(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)
- [-CM=mode]**
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- | | |
|-------|-----|
| Color | カラー |
| Bw | 白黒 |
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- [-Br=brightness]**
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- | | |
|----|---------|
| 2 | 明るい |
| 1 | やや明るい |
| 0 | 標準 |
| -1 | やや暗い |
| -2 | 暗い |
| OF | 補正を行わない |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-CRD=collection]**
RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。
- | | | |
|----|--------------|-----------|
| OF | off | 補正を行わない |
| ST | standard | 標準 |
| PH | photo | 写真 |
| PR | presentation | プレゼンテーション |
| WB | web | Web ページ |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-FE]**
ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。
1 トレイ 1 を使用します

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のよう出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、
-Hd=ur:uh

注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は sunras2g4 で処

理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。

日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行います。

[-Hfheaderfont]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。

参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4. x の場合

表示画面イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2g4 > file1.ps
```

表示画面イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2g4 | lpr
```

Solaris の場合

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2g4 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% sunras2g4 file1.rs > file1.ps
```

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2g4 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% sunras2g4 file1.rs | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.7.3 DP3530 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin3530/sunras2g4 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-l left_bottom] [-s width height] [-S width]
[-t] [-t2=tonersave] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pr2=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-Hd= position:format] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

SunRaster フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、8、24、32 ビットの SunRaster フォーマットのファイルを指定することができます。

sunras2g4 は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された SunRaster フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s, -S) を指定して変換してください。

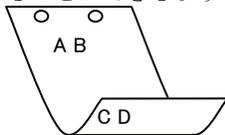
sunras2g4 は、SunRaster フォーマットの画素の深さが 1 ビットの場合に、CCITT グループ 4 形式の圧縮された PostScript 言語プログラムを生成します。出力されるファイルサイズは、sunras2ps2 に比べて小さくなります。

sunras2g4 は sunras2ps2 のハードリンクファイルです。

◇オプション

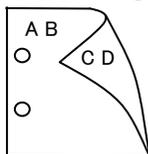
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[**Itray_input**]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3Y	封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EK2	封筒角形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY2	封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY3	封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY4	封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。

LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x19in	12x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxN</i> mm	<i>MxN</i> mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C3530
最小 100.2x139.7mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C3540/C3140/C3250
最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C2426

	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x457.2mm
DocuPrint C2424	
	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x431.8mm
DocuPrint C3200 A	
	最小 88.9x139.7mm、最大 215.9x355.6mm
DocuPrint C5450	
	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C3050	
	最小 74.8x97.7mm、最大 297.0x431.8mm
DocuPrint C5000 d	
	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x1199.7mm
DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250	
DocuCentre C2101/C1101	
ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I	
DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I	
ApeosPort-II C4300/C3300/C2200	
DocuCentre-II C4300/C3300/C2200	
	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm
ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I	
DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I	
ApeosPort-II C7500/C6500/C5400	
DocuCentre-II C7500/C6500/C5400	
ApeosPort-III C7600/C6500/C5500	
DocuCentre-III C7600/C6500/C5500	
ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580	
DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580	
	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C2250	
DocuPrint C3360	
ApeosPort-III C3300/C2200	
DocuCentre-III C3300/C2200	
ApeosPort-III C3305/C2205	
DocuCentre-III C3305/C2205	
	最小 89.3x98.1mm、最大 320.0x483.0mm
ApeosPort-III C4405/C4400	
DocuCentre-III C4405/C4400	
	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x483.0mm
ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x482.9mm
DocuPrint C3350	
	最小 75.2x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2260	
	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2263	
	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x482.9mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。
(長尺紙が給紙可能な機種のみ)

297x900mm
297x1130mm
297x1200mm
210x900mm

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
mn	メールボックスのビン <i>n</i> へ排紙します。 <i>n</i> は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。
fi	センタートレイ上段へ排紙します。
fo	排出トレイへ排紙します。

(fu2 は、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C2263、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d 用です。fu は ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C2263、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d に対応しておりません。)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、紙を横向きに使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。*-t* と *-t 2=* の両方を指定した場合、*-t* のみ有効となります。

[-t2=tonersave]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1	ややうすい(節約量小)
Mode2	うすい(節約量大)
Mode3	かなりうすい(ドラフト)

(DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d 用です。)

-t と -t 2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。
このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

(印刷解像度が速度優先以外の場合は、イメージエンハンスを行いません。)

[-CM=*mode*]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[-Br=*brightness*]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-CRD=*collection*]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
UD	used	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H1A	hwpaper1A	厚紙 1[A]
1BA	hwpback1A	厚紙 1[A]裏面
H1B	hwpaper1B	厚紙 1[B]
1BB	hwpback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwpback1C	厚紙 1[C]裏面

H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwpback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwpback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwpback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwpback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwpback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwpback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
H4	hwpaper4	厚紙 4
4B	hwpback4	厚紙 4 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏面
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
HOT1	holedthick1	穴あき紙厚 1
HOT2	holedthick2	穴あき紙厚 2
HOT3	holedthick3	穴あき紙厚 3
HOT4	holedthick4	穴あき紙厚 4
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
TB3	tabbed3	インデックス紙 3
TB4	tabbed4	インデックス紙 4
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム
EN	envelope	封筒
ENB	envelopeback	封筒裏面
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

[-Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed 高速

Quality	高画質
Quality2	高画質 2
Minute	高精細

(Quality2 は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用です。Quality は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 に対応しておりません。)

[-Pr2=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Speed2	高速 2
Quality	高画質
Quality2	高画質 2
Minute	高精細
Page	ページ印刷
Glossy	光沢

(DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuPrint C5450 用です)

(Speed2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Speed は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

(Quality2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Quality は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

-Pr= と -Pr2= の両方を指定した場合、指定は無効となります。

[-Pt=target]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
OH	ohp	OHP フィルム向け (DocuPrintC2426 用です)
ST	standard	標準

[-Td=type]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	自動を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します
M	手差しトレイを使用します

[-Hd=position:format]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は *uh* がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を *tuh* と指定した場合は次のよう出力します。

```
2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname
```

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

```
-Hd=ur          または、
-Hd=ur:uh
```

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は sunras2g4 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行います。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4. x の場合

表示画面イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2g4 > file1.ps
```

表示画面イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2g4 | lpr
```

Solaris の場合

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2g4 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% sunras2g4 file1.rs > file1.ps
```

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2g4 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% sunras2g4 file1.rs | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、ラスターデータの1画素がプリンタの1画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.7.4 CLWDCの場合

◇形式

```
/usr/local/fxbin3320/sunras2g4 [-d | -D] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-l left_bottom] [-s width height] [-S width]
[-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=dicname...] [-CO=type...]
[-Rs=sourcename] [-Sm=mode] [-M=type2] [-Hd= position:format]
[-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

SunRaster フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、8、24、32 ビットの SunRaster フォーマットのファイルを指定することができます。

sunras2g4 は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された SunRaster フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

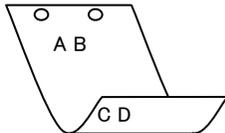
sunras2g4 は、SunRaster フォーマットの画素の深さが 1 ビットの場合に、CCITT グループ 4 形式の圧縮された PostScript 言語プログラムを生成します。出力されるファイルサイズは、sunras2ps2 に比べて小さくなります。

sunras2g4 は sunras2ps2 のハードリンクファイルです。

◇オプション

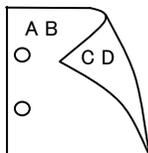
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[*-Itray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、用紙サイズを指定します。用紙サイズを指定すると、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

SA3	特 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター用紙がセットされたトレイから給紙します。
TB	タブロイド用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル"14 用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-SA3	特 A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-TB	タブロイド用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル"14 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキがセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-C6	封筒:洋形 2 号がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-Y3	封筒:洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-Y4	封筒:洋形 4 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-YC3	封筒:長洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-MxNmm	M×Nmm の不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第一位まで有効)。
MSI-MxNin	M×Nインチの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第二位まで有効)。
MSI-MxNpt	M×Nポイントの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の整数です。

このオプションを指定しない場合、プリンタに設定されているデフォルト用紙サイズ(A 4、レター)で出力されます。

指定した用紙がトレイに無い場合は、トレイに用紙の補充を求められます。

不定形用紙の指定は MSI-180x250.2mm の様に指定します。

プリンタが使用できない不定形用紙サイズを指定した場合エラーとなります。

不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90~330.2、高さ 139.7~457.2、

インチ単位指定の場合、幅 3.54~13、高さ 5.5~18、ポイント指定の場合、幅 255~936、高さ 396~1296 の範囲で指定して下さい。(1in=72pt)

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd フェースダウントレイへ排紙します。

fu フェースアップトレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合、フェースダウントレイに排紙されます。

但し、出力できない用紙の場合は、エラーとなります。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います(copies は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときを使用します。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom とともに 0.25 インチです。

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-CM=mode]

カラーモデルを選択します。次のカラーモデルが指定できます。

Gray グレースケール(白黒)

CMYK シアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)の 4 色

このオプションを指定しない場合は、CMYK が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

3 非常に明るい

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

-3 非常に暗い

このオプションを指定しない場合は、0(標準)が選択されます。

[-CRD=*dicname*...]

カラーレンダリング辞書を選択します。次のカラーレンダリング辞書が指定できます。

Color Laser Wind 3320PS の場合

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PT	photographic-text	テキスト文書用連続調辞書
BT	business-text	テキスト文書用ビジネスグラフィック辞書
OT	ohp-text	テキスト文書用 OHP/OHT 辞書
PG	photographic-graphic	図・表・グラフ用連続調辞書
BG	business-graphic	図・表・グラフ用ビジネスグラフィック辞書
OG	ohp-graphic	図・表・グラフ用 OHP/OHT 辞書
PI	photographic-image	写真用連続調辞書
BI	business-image	写真用ビジネスグラフィック辞書
OI	ohp-image	写真用 OHP/OHT 辞書

このオプションを指定しない場合は、テキストは PT、図・表・グラフは PG、写真は PI が選択されます。

Color Laser Wind 3320PS では、オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。但し、OHP を指定する場合は必ず、テキスト、図・表・グラフ、写真を全て OHP で指定して下さい。また、用紙サイズは手差し A4 またはレター、出力トレイはフェースアップトレイ、用紙種別は OHP シートを指定して下さい。

-CRD=PT,BG,BI

-CRD=photographic-graphic,business-text

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

-CRD=PT,photographic-image,business-text,business-graphic,PG

DocuPrint C625PS/C626PS の場合

PHO	連続調辞書
PRE	ビジネスグラフィック辞書
ABS	絶対カラーメトリック辞書
REL	相対カラーメトリック辞書

このオプションを指定しない場合は、PRE が選択されます。

[-CO=*type*...]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

(Color Laser Wind 3320PS 専用のオプションです)

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

DT	detail-text	解像度を優先するテキスト文書
ST	smooth-text	階調を優先するテキスト文書
DG	detail-graphic	解像度を優先する図・表・グラフ
SG	smooth-graphic	階調を優先する図・表・グラフ
DI	detail-image	解像度を優先する写真
SI	smooth-image	階調を優先する写真

このオプションを指定しない場合は、テキストは DT、図・表・グラフは SG、写真は SI が選択されます。

オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。

-CO=DT,SG,DI

-CO=detail-graphic,smooth-text

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

`-CO=DT,detail-image,smooth-text,detail-graphic,SG`

[-Rs=sourcename]

使用する RGB ソースを指定します。RGB データのソース色空間定義を指定します。このソース色空間を基点にして、RGB データがプリンタの CMYK 色空間にマッピングされます。

次の RGB ソースが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

ER	efirgb	EFIRGB(Color Laser Wind 3320PS に出力するためのカラーデータ変換に最適な RGB ソース色空間)
SR	srgb	sRGB(PC)(Windows 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
AP	apple	Apple 標準(MacOS 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
OF	off	オフ(マッピングを行いません)

このオプションを指定しない場合は、sRGB(PC)が選択されます。

[-Sm=model]

CMYK シミュレーションを指定します。オフセット印刷標準をシミュレートするように、CMYK カラーデータ値を調整します。

次の CMYK シミュレーションが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

SW	swop	SWOP-corted(米国の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
DI	dic	DIC(大日本インキ化学工業株式会社の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
EU	euroscale	Euroscale(ヨーロッパの印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
OF	off	オフ(CMYK カラーデータに対して、シミュレーションは行われません)

このオプションを指定しない場合は、オフが選択されます。

[-M=type2]

使用する用紙種別を指定します。次の用紙種別が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
OH	ohp	OHP シート
LB	label	ラベル
CV	cover	厚紙・封筒 (DocuPrint C625PS/C626PS では厚紙のみです)

(以下のパラメータは DocuPrint C625PS/C626PS 専用です)

PD	pldup	普通紙裏面
CD	covdup	厚紙裏面
GL	glossy	専用光沢紙
GD	glsdup	専用光沢紙裏面
CT	coated	コート紙
TD	cotdup	コート紙裏面
CS	cdstock	ハガキ
SD	cdsdup	ハガキ裏面
EV	envelope	封筒

このオプションを指定しない場合は、普通紙が選択されます。

[*-Hd=position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

- ul 用紙の左上に出力します
- ur 用紙の右上に出力します
- dl 用紙の左下に出力します
- dr 用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

- u ユーザー名
- h ホスト名
- t 日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、

-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は sunras2g4 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4. x の場合

表示画面イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2g4 > file1.ps
```

表示画面イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2g4 | lpr
```

Solaris の場合

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2g4 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% sunras2g4 file1.rs > file1.ps
```

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2g4 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% sunras2g4 file1.rs | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 普通用紙を指定する場合で、用紙サイズに手差し A5、ハガキ、洋形 2 号を指定する場合は必ず出力トレイにフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ OHP シートを指定する場合は、必ず用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出力トレイはフェースアップトレイを指定して下さい。また、CRD には全て OHP を指定して下さい。
- ▶ ラベルを指定する場合は、用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出力トレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 厚紙・封筒を指定する場合は、用紙サイズは手差し用紙、出力トレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90～330.2、高さ 139.7～457.2、インチ単位指定の場合、幅 3.54～13、高さ 5.5～18、ポイント指定の場合、幅 255～936、高さ 396～1296 の範囲で指定して下さい。(1in=72pt)
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.8 tiff2ps2 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

3.8.1 DC1250 の場合

◇形式

```
/usr/local/fxbin1250/tiff2ps2 [-d | -D] [-MSI] [-MSI-CF] [-Itray_input]
[-Otray_output] [-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-G4] [-l left bottom] [-s width height]
[-S width] [-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-CS] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-Hd= position:format] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

TIFF フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの TIFF フォーマットのファイルを指定することができます。

対応する圧縮形式は以下の 4 つです。

- ・ハフマン圧縮(CCITT Group 3 変形ハフマンランレングスエンコーディング)
- ・Fax-CCITT3 圧縮(ファクシミリ互換の CCITT Group 3)
- ・パックビット圧縮
- ・非圧縮

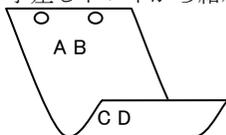
※上記圧縮形式であっても、1 ファイルに複数画像を持つ TIFF ファイルには、対応していません。

tiff2ps2 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された TIFF フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

◇オプション

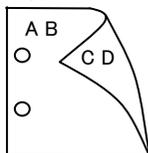
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-MSI-CF]

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-Itray_inpu]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
H	大容量トレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー (ダブルレター, 11x17 インチ) セットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ (リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14, 8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター, 5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。(DocuCentre Color 500/500 CP の手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 296.3x431.4mm

DocuCentre Color 500/500 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 319.6x456.5mm

注記 ▶ 手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- fd** フェースダウントレイへ排紙します。
- mn** メールボックスのビン **n** へ排紙します。 **n** は 1 以上 10 以下の値です。
- fs** フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はフェースダウントレイ) に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するとき使用します。

[-G4]

G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで **tiff2g4** と同様の動作をします。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* ともに 0.25 インチです。

12x18 インチ用紙、SRA3 用紙を使用する場合、用紙の余白 (印刷可能領域) が他の用紙と異なります。デフォルト値では画像が切れて印刷されない部分がありますので、以下の通りに印刷開始位置を指定し、調整を行って下さい。

- 12x18 インチ用紙 (上下左右の余白: 上下 10mm 左右: 4mm)
 - 左印刷開始位置: 0.25 インチ
 - 下印刷開始位置: 0.43 インチ
- SRA3 用紙 (上下左右の余白: 上下 6mm 左右: 9mm)
 - 左印刷開始位置: 0.28 インチ
 - 下印刷開始位置: 0.40 インチ

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 **width** インチ、高さ **height** インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を **width** インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

- Auto** カラー/白黒自動判別
- Color** カラー
- Bw** 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー/白黒自動判別」が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

注記 ▶ カラーモードを「カラー/白黒自動判別」を指定し、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定しますと、「カラー/白黒自動判別」が正常に動作せず、誤判定される場合があります。正しい課金のためには、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定する場合、明示的に「カラー」または「白黒」を指定する必要があります。

[-CS]

カラー分解を指定します。このオプションを指定すると、各色成分ごとに白黒ページを出力します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
OF	opaquefilm	電飾フィルム (DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP 用)
GL	glossy	専用光沢紙(DocuCentre Color 500/500 CP 用)
TP	tracingpaper	トレーシングペーパー
TF	tackfilm	タックフィルム

[-Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Fast	速度優先
Fine	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

TX	text	テキスト文書
GR	graphics	図・表・グラフ
IM	image	写真

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、
-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は tiff2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf=*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇ 使用例

SunOS 4.x/Linux の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換し、ファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージを、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、TIFF データの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.8.2 DP2220 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin2220/tiff2ps2 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-G4] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE] [-Jo=type]
[-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type] [-Hd= position:format]
[-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

TIFF フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの TIFF フォーマットのファイルを指定することができます。

対応する圧縮形式は以下の 4 つです。

- ・ハフマン圧縮(CCITT Group 3 変形ハフマンランレングスエンコーディング)
- ・Fax-CCITT3 圧縮(ファクシミリ互換の CCITT Group 3)
- ・パックビット圧縮
- ・非圧縮

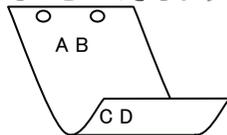
※上記圧縮形式であっても、1 ファイルに複数画像を持つ TIFF ファイルには、対応していません。

tiff2ps2 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された TIFF フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

◇オプション

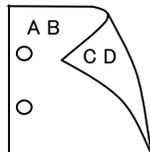
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー (ダブルレター, 11x17 インチ) セットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ (リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14, 8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)

排紙トレイこのオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

- [-r]**
イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。
- [-Nc=copies]**
出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。
- [-Cl]**
部単位での印刷を選択します。
- [-n]**
`showpage` を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。
- [-G4]**
G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで `tiff2g4` と同様の動作をします。
- [-l left bottom]**
印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。
- [-s width height]**
出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。
- [-S width]**
出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。
- [-t]**
トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。
- [-E]**
イメージエンハンス機能を使用しません。
(印刷解像度が、階調優先の場合イメージエンハンス機能は使用できません)
- [-CM=model]**
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- | | |
|-------|-----|
| Color | カラー |
| Bw | 白黒 |
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- [-Br=brightness]**
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- | | |
|----|---------|
| 2 | 明るい |
| 1 | やや明るい |
| 0 | 標準 |
| -1 | やや暗い |
| -2 | 暗い |
| OF | 補正を行わない |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-CRD=collection]**
RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。
- | | | |
|----|--------------|-----------|
| OF | off | 補正を行わない |
| ST | standard | 標準 |
| PH | photo | 写真 |
| PR | presentation | プレゼンテーション |
| WB | web | Web ページ |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-FE]**
ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

1	トレイ 1 を使用します
---	--------------

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のよう出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、

-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は tiff2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4. x/Linux の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換し、ファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージを、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、TIFF データの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.8.3 DP3530 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin3530/tiff2ps2 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-G4] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-t] [-t2=tonersave] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pr2=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-Hd= position:format] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

TIFF フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの TIFF フォーマットのファイルを指定することができます。

対応する圧縮形式は以下の 4 つです。

- ・ハフマン圧縮(CCITT Group 3 変形ハフマンランレングスエンコーディング)
- ・Fax-CCITT3 圧縮(ファクシミリ互換の CCITT Group 3)
- ・パックビット圧縮
- ・非圧縮

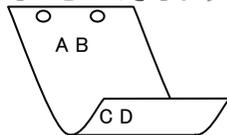
※上記圧縮形式であっても、1 ファイルに複数画像を持つ TIFF ファイルには、対応していません。

tiff2ps2 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された TIFF フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

◇オプション

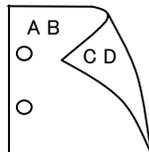
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[**Itray_input**]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3Y	封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EK2	封筒角形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY2	封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY3	封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY4	封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。

LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x19in	12x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxN</i> mm	<i>MxN</i> mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C3530
最小 100.2x139.7mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C3540/C3140/C3250
最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C2426

	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x457.2mm
DocuPrint C2424	
	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x431.8mm
DocuPrint C3200 A	
	最小 88.9x139.7mm、最大 215.9x355.6mm
DocuPrint C5450	
	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C3050	
	最小 74.8x97.7mm、最大 297.0x431.8mm
DocuPrint C5000 d	
	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x1199.7mm
DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250	
DocuCentre C2101/C1101	
ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I	
DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I	
ApeosPort-II C4300/C3300/C2200	
DocuCentre-II C4300/C3300/C2200	
	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm
ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I	
DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I	
ApeosPort-II C7500/C6500/C5400	
DocuCentre-II C7500/C6500/C5400	
ApeosPort-III C7600/C6500/C5500	
DocuCentre-III C7600/C6500/C5500	
ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580	
DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580	
	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C2250	
DocuPrint C3360	
ApeosPort-III C3300/C2200	
DocuCentre-III C3300/C2200	
ApeosPort-III C3305/C2205	
DocuCentre-III C3305/C2205	
	最小 89.3x98.1mm、最大 320.0x483.0mm
ApeosPort-III C4405/C4400	
DocuCentre-III C4405/C4400	
	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x483.0mm
ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x482.9mm
DocuPrint C3350	
	最小 75.2x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2260	
	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2263	
	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x482.9mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

(長尺紙が給紙可能な機種のみ)

297x900mm

297x1130mm

297x1200mm

210x900mm

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
mn	メールボックスのビン <i>n</i> へ排紙します。 <i>n</i> は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。
fi	センタートレイ上段へ排紙します。
fo	排出トレイへ排紙します。

(fu2 は、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C2263、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d 用です。fu は ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C2263、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d に対応しておりません。)

排紙トレイこのオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-G4]

G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで tiff2g4 と同様の動作をします。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。*-t* と *-t 2=* の両方を指定した場合、*-t* のみ有効となります。

[-t2=tonersave]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1 ややうすい(節約量小)
Mode2 うすい(節約量大)
Mode3 かなりうすい(ドラフト)

(DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d 用です。)

-t と -t 2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。
このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。
(印刷解像度が、階調優先の場合イメージエンハンス機能は使用できません)

[-CM=model]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない

ST standard 標準

PH photo 写真

PR presentation プレゼンテーション

WB web Web ページ

CA cad CAD

PO pop POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job ジョブ単位

SE set セット単位

[-M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL plain 普通紙

PLB plainback 普通紙裏面

UD used 普通紙裏面

H1 hwpaper1 厚紙 1

1B hwpback1 厚紙 1 裏面

H1A hwpaper1A 厚紙 1[A]

1BA hwpback1A 厚紙 1[A]裏面

H1B hwpaper1B 厚紙 1[B]

1BB	hwpback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwpback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwpback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwpback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwpback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwpback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwpback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwpback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
H4	hwpaper4	厚紙 4
4B	hwpback4	厚紙 4 裏面
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏面
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
HOT1	holedthick1	穴あき紙厚 1
HOT2	holedthick2	穴あき紙厚 2
HOT3	holedthick3	穴あき紙厚 3
HOT4	holedthick4	穴あき紙厚 4
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
TB3	tabbed3	インデックス紙 3
TB4	tabbed4	インデックス紙 4
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム
EN	envelope	封筒
ENB	envelopeback	封筒裏面
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Quality2	高画質 2
Minute	高精細

(Quality2 は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用です。Quality は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 に対応しておりません。)

[-Pr2=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Speed2	高速 2
Quality	高画質
Quality2	高画質 2
Minute	高精細
Page	ページ印刷
Glossy	光沢

(DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuPrint C5450 用です)

(Speed2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Speed は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

(Quality2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Quality は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

-Pr= と -Pr2= の両方を指定した場合、指定は無効となります。

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
OH	ohp	OHP フィルム向け (DocuPrintC2426 用です)
ST	standard	標準

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	自動を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します

M 手差しトレイを使用します

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul 用紙の左上に出力します
 ur 用紙の右上に出力します
 dl 用紙の左下に出力します
 dr 用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u ユーザー名
 h ホスト名
 t 日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、

-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は tiff2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
 日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4.x/Linux の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換し、ファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージを、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、TIFF データの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.8.4 CLWDCの場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin3320/tiff2ps2 [-d | -D] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-G4] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=dicname...] [-CO=type...]
[-Rs=sourcename] [-Sm=mode] [-M=type2] [-Hd= position:format]
[-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

TIFF フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの TIFF フォーマットのファイルを指定することができます。

対応する圧縮形式は以下の 4 つです。

- ・ハフマン圧縮(CCITT Group 3 変形ハフマンランレングスエンコーディング)
- ・Fax-CCITT3 圧縮(ファクシミリ互換の CCITT Group 3)
- ・パックビット圧縮
- ・非圧縮

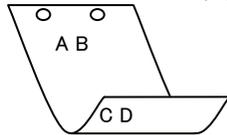
※上記圧縮形式であっても、1 ファイルに複数画像を持つ TIFF ファイルには、対応していません。

tiff2ps2 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された TIFF フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

◇オプション

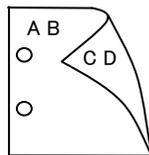
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、用紙サイズを指定します。用紙サイズを指定すると、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

SA3	特 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター用紙がセットされたトレイから給紙します。
TB	タブロイド用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル"14 用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-SA3	特 A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-TB	タブロイド用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル"14 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキがセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-C6	封筒:洋形 2 号がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-Y3	封筒:洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-Y4	封筒:洋形 4 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-YC3	封筒:長洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-MxNmm	M×Nmm の不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第一位まで有効)。
MSI-MxNin	M×Nインチの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第二位まで有効)。
MSI-MxNpt	M×Nポイントの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の整数です。

このオプションを指定しない場合、プリンタに設定されているデフォルト用紙サイズ(A 4、レター)で出力されます。

指定した用紙がトレイに無い場合は、トレイに用紙の補充を求められます。

不定形用紙の指定は MSI-180x250.2mm の様に指定します。

プリンタが使用できない不定形用紙サイズを指定した場合エラーとなります。

不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90~330.2、高さ 139.7~457.2、

インチ単位指定の場合、幅 3.54~13、高さ 5.5~18、ポイント指定の場合、幅 255~936、高さ 396~1296 の範囲で指定して下さい。(lin=72pt)

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd フェースダウントレイへ排紙します。

fu フェースアップトレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合、フェースダウントレイに排紙されます。

但し、出力できない用紙の場合は、エラーとなります。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います(copies は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときを使用します。

[-G4]

G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで sunras2g4 と同様の動作をします。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom とともに 0.25 インチです。

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-CM=model]

カラーモデルを選択します。次のカラーモデルが指定できます。

Gray グレースケール(白黒)

CMYK シアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)の 4 色

このオプションを指定しない場合は、CMYK が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

3 非常に明るい

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

-3 非常に暗い

このオプションを指定しない場合は、0(標準)が選択されます。

[-CRD=*dicname*...]

カラーレンダリング辞書を選択します。次のカラーレンダリング辞書が指定できます。

Color Laser Wind 3320PS の場合

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PT	photographic-text	テキスト文書用連続調辞書
BT	business-text	テキスト文書用ビジネスグラフィック辞書
OT	ohp-text	テキスト文書用 OHP/OHT 辞書
PG	photographic-graphic	図・表・グラフ用連続調辞書
BG	business-graphic	図・表・グラフ用ビジネスグラフィック辞書
OG	ohp-graphic	図・表・グラフ用 OHP/OHT 辞書
PI	photographic-image	写真用連続調辞書
BI	business-image	写真用ビジネスグラフィック辞書
OI	ohp-image	写真用 OHP/OHT 辞書

このオプションを指定しない場合は、テキストは PT、図・表・グラフは PG、写真は PI が選択されます。

Color Laser Wind 3320PS では、オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。但し、OHP を指定する場合は必ず、テキスト、図・表・グラフ、写真を全て OHP で指定して下さい。また、用紙サイズは手差し A4 またはレター、出力トレイはフェースアップトレイ、用紙種別は OHP シートを指定して下さい。

-CRD=PT,BG,BI

-CRD=photographic-graphic,business-text

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

-CRD=PT,photographic-image,business-text,business-graphic,PG

DocuPrint C625PS/C626PS の場合

PHO	連続調辞書
PRE	ビジネスグラフィック辞書
ABS	絶対カラーメトリック辞書
REL	相対カラーメトリック辞書

このオプションを指定しない場合は、PRE が選択されます。

[-CO=*type*...]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

(Color Laser Wind 3320PS 専用のオプションです)

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

DT	detail-text	解像度を優先するテキスト文書
ST	smooth-text	階調を優先するテキスト文書
DG	detail-graphic	解像度を優先する図・表・グラフ
SG	smooth-graphic	階調を優先する図・表・グラフ
DI	detail-image	解像度を優先する写真
SI	smooth-image	階調を優先する写真

このオプションを指定しない場合は、テキストは DT、図・表・グラフは SG、写真は SI が選択されます。

オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。

-CO=DT,SG,DI

-CO=detail-graphic,smooth-text

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

`-CO=DT,detail-image,smooth-text,detail-graphic,SG`

[-Rs=sourcename]

使用する RGB ソースを指定します。RGB データのソース色空間定義を指定します。このソース色空間を基点にして、RGB データがプリンタの CMYK 色空間にマッピングされます。

次の RGB ソースが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

ER	efirgb	EFIRGB(Color Laser Wind 3320PS に出力するためのカラーデータ変換に最適な RGB ソース色空間)
SR	srgb	sRGB(PC)(Windows 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
AP	apple	Apple 標準(MacOS 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
OF	off	オフ(マッピングを行いません)

このオプションを指定しない場合は、sRGB(PC)が選択されます。

[-Sm=model]

CMYK シミュレーションを指定します。オフセット印刷標準をシミュレートするように、CMYK カラーデータ値を調整します。

次の CMYK シミュレーションが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

SW	swop	SWOP-corted(米国の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
DI	dic	DIC(大日本インキ化学工業株式会社の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
EU	euroscale	Euroscale(ヨーロッパの印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
OF	off	オフ(CMYK カラーデータに対して、シミュレーションは行われません)

このオプションを指定しない場合は、オフが選択されます。

[-M=type2]

使用する用紙種別を指定します。次の用紙種別が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
OH	ohp	OHP シート
LB	label	ラベル
CV	cover	厚紙・封筒 (DocuPrint C625PS/C626PS では厚紙のみです)

(以下のパラメータは DocuPrint C625PS/C626PS 専用です)

PD	pldup	普通紙裏面
CD	covdup	厚紙裏面
GL	glossy	専用光沢紙
GD	glsdup	専用光沢紙裏面
CT	coated	コート紙
TD	cotdup	コート紙裏面
CS	cdstock	ハガキ
SD	cdsdup	ハガキ裏面
EV	envelope	封筒

このオプションを指定しない場合は、普通紙が選択されます。

[*-Hd=position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

- ul 用紙の左上に出力します
- ur 用紙の右上に出力します
- dl 用紙の左下に出力します
- dr 用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

- u ユーザー名
- h ホスト名
- t 日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、

-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は **tiff2ps2** で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4.x/Linux の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換し、ファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージを、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 普通用紙を指定する場合で、用紙サイズに手差し A5、ハガキ、洋形 2 号を指定する場合は必ず出カトレイにフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ OHP シートを指定する場合は、必ず用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。また、CRD には全て OHP を指定して下さい。
- ▶ ラベルを指定する場合は、用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 厚紙・封筒を指定する場合は、用紙サイズは手差し用紙、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90～330.2、高さ 139.7～457.2、インチ単位指定の場合、幅 3.54～13、高さ 5.5～18、ポイント指定の場合、幅 255～936、高さ 396～1296 の範囲で指定して下さい。(1in=72pt)
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.9 tiff2g4 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

3.9.1 DC1250 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin1250/tiff2g4 [-d | -D] [-MSI] [-MSI-CF] [-Itray_input]
[-Otray_output] [-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-l left bottom] [-s width height]
[-S width] [-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-CS] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-Hd= position:format] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

TIFF フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの TIFF フォーマットのファイルを指定することができます。

対応する圧縮形式は以下の 4 つです。

- ・ハフマン圧縮(CCITT Group 3 変形ハフマンランレングスエンコーディング)
- ・Fax-CCITT3 圧縮(ファクシミリ互換の CCITT Group 3)
- ・パックビット圧縮
- ・非圧縮

※上記圧縮形式であっても、1 ファイルに複数画像を持つ TIFF ファイルには、対応していません。

tiff2g4 は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された TIFF フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

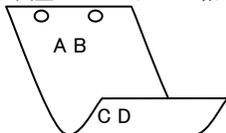
tiff2g4 は、TIFF フォーマットの画素の深さが 1 ビットの場合に、CCITT グループ 4 形式の圧縮された PostScript 言語プログラムを生成します。出力されるファイルサイズは、tiff2ps2 に比べて小さくなります。

tiff2g4 は tiff2ps2 のハードリンクファイルです。

◇オプション

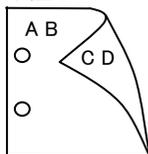
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-MSI-CF]

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
H	大容量トレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー (ダブルレター, 11x17 インチ) セットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ (リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14, 8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター, 5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (DocuCentre Color 500/500 CP の手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 296.3x431.4mm

DocuCentre Color 500/500 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 319.6x456.5mm

注記 ▶ 手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd フェースダウントレイへ排紙します。

mn メールボックスのビン **n** へ排紙します。**n** は 1 以上 10 以下の値です。

fs フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ(工場出荷時はフェースダウントレイ)に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。

12x18 インチ用紙、SRA3 用紙を使用する場合、用紙の余白(印刷可能領域)が他の用紙と異なります。デフォルト値では画像が切れて印刷されない部分がありますので、以下の通りに印刷開始位置を指定し、調整を行って下さい。

・ 12x18 インチ用紙(上下左右の余白:上下 10mm 左右:4mm)

左印刷開始位置 : 0.25 インチ

下印刷開始位置 : 0.43 インチ

・ SRA3 用紙(上下左右の余白:上下 6mm 左右:9mm)

左印刷開始位置 : 0.28 インチ

下印刷開始位置 : 0.40 インチ

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=*mode*]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Auto	カラー/白黒自動判別
Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー/白黒自動判別」が選択されます。

[-Br=*brightness*]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[-CRD=*collection*]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

注記 ▶ カラーモードを「カラー/白黒自動判別」を指定し、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定しますと、「カラー/白黒自動判別」が正常に動作せず、誤判定される場合があります。正しい課金のためには、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定する場合、明示的に「カラー」または「白黒」を指定する必要があります。

[-CS]

カラー分解を指定します。このオプションを指定すると、各色成分ごとに白黒ページを出力します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
OF	opaquefilm	電飾フィルム
		(DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP 用)
GL	glossy	専用光沢紙 (DocuCentre Color 500/500 CP 用)
TP	tracingpaper	トレーシングペーパー
TF	tackfilm	タックフィルム

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Fast	速度優先
Fine	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

TX	text	テキスト文書
GR	graphics	図・表・グラフ
IM	image	写真

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は *uh* がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を *tuh* と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

`-Hd=ur` または、
`-Hd=ur:uh`

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は *tiff2g4* で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf=*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇ 使用例

SunOS 4. x/Linux の場合

TIFF イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、TIFF データの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.9.2 DP2220 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin2220/tiff2g4 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE] [-Jo=type]
[-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type] [-Hd= position:format]
[-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

TIFF フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの TIFF フォーマットのファイルを指定することができます。

対応する圧縮形式は以下の 4 つです。

- ・ハフマン圧縮(CCITT Group 3 変形ハフマンランレングスエンコーディング)
- ・Fax-CCITT3 圧縮(ファクシミリ互換の CCITT Group 3)
- ・パックビット圧縮
- ・非圧縮

※上記圧縮形式であっても、1 ファイルに複数画像を持つ TIFF ファイルには、対応していません。

tiff2g4 は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された TIFF フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

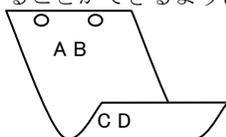
tiff2g4 は、TIFF フォーマットの画素の深さが 1 ビットの場合に、CCITT グループ 4 形式の圧縮された PostScript 言語プログラムを生成します。出力されるファイルサイズは、tiff2ps2 に比べて小さくなります。

tiff2g4 は tiff2ps2 のハードリンクファイルです。

◇オプション

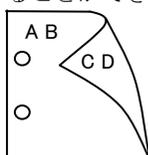
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー (ダブルレター, 11x17 インチ) セットされたトレイから給紙します。
FL	フォルリオ (リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14, 8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

- [-r]**
イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。
- [-Nc=copies]**
出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。
- [-Cl]**
部単位での印刷を選択します。
- [-n]**
showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。
- [-l left bottom]**
印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。
- [-s width height]**
出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。
- [-S width]**
出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。
- [-t]**
トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。
- [-E]**
イメージエンハンス機能を使用しません。
(印刷解像度が、階調優先の場合、イメージエンハンス機能は使用できません。)
- [-CM=mode]**
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- | | |
|-------|-----|
| Color | カラー |
| Bw | 白黒 |
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- [-Br=brightness]**
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- | | |
|----|---------|
| 2 | 明るい |
| 1 | やや明るい |
| 0 | 標準 |
| -1 | やや暗い |
| -2 | 暗い |
| OF | 補正を行わない |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-CRD=collection]**
RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。
- | | | |
|----|--------------|-----------|
| OF | off | 補正を行わない |
| ST | standard | 標準 |
| PH | photo | 写真 |
| PR | presentation | プレゼンテーション |
| WB | web | Web ページ |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-FE]**
ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。
1 トレイ 1 を使用します

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のよう出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、
-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は tiff2g4 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行います。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4. x/Linux の場合

TIFF イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、TIFF データの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.9.3 DP3530 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin3530/tiff2g4 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-t] [-t2=tonersave] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pr2=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-Hd= position:format] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

TIFF フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの TIFF フォーマットのファイルを指定することができます。

対応する圧縮形式は以下の 4 つです。

- ・ハフマン圧縮(CCITT Group 3 変形ハフマンランレングスエンコーディング)
- ・Fax-CCITT3 圧縮(ファクシミリ互換の CCITT Group 3)
- ・パックビット圧縮
- ・非圧縮

※上記圧縮形式であっても、1 ファイルに複数画像を持つ TIFF ファイルには、対応していません。

tiff2g4 は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された TIFF フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

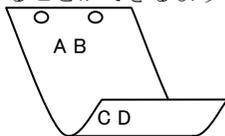
tiff2g4 は、TIFF フォーマットの画素の深さが 1 ビットの場合に、CCITT グループ 4 形式の圧縮された PostScript 言語プログラムを生成します。出力されるファイルサイズは、tiff2ps2 に比べて小さくなります。

tiff2g4 は tiff2ps2 のハードリンクファイルです。

◇オプション

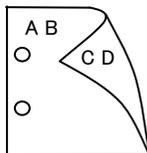
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[**-Tray_input**]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3Y	封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EK2	封筒角形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY2	封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY3	封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY4	封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。

LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x19in	12x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxN</i> mm	<i>MxN</i> mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C3530
最小 100.2x139.7mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C3540/C3140/C3250
最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C2426

	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x457.2mm
DocuPrint C2424	
	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x431.8mm
DocuPrint C3200 A	
	最小 88.9x139.7mm、最大 215.9x355.6mm
DocuPrint C5450	
	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C3050	
	最小 74.8x97.7mm、最大 297.0x431.8mm
DocuPrint C5000 d	
	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x1199.7mm
DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250	
DocuCentre C2101/C1101	
ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I	
DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I	
ApeosPort-II C4300/C3300/C2200	
DocuCentre-II C4300/C3300/C2200	
	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm
ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I	
DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I	
ApeosPort-II C7500/C6500/C5400	
DocuCentre-II C7500/C6500/C5400	
ApeosPort-III C7600/C6500/C5500	
DocuCentre-III C7600/C6500/C5500	
ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580	
DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580	
	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C2250	
DocuPrint C3360	
ApeosPort-III C3300/C2200	
DocuCentre-III C3300/C2200	
ApeosPort-III C3305/C2205	
DocuCentre-III C3305/C2205	
	最小 89.3x98.1mm、最大 320.0x483.0mm
ApeosPort-III C4405/C4400	
DocuCentre-III C4405/C4400	
	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x483.0mm
ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x482.9mm
DocuPrint C3350	
	最小 75.2x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2260	
	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2263	
	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x482.9mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

(長尺紙が給紙可能な機種のみ)

297x900mm

297x1130mm

297x1200mm

210x900mm

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
mn	メールボックスのビン <i>n</i> へ排紙します。 <i>n</i> は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。
fi	センタートレイ上段へ排紙します。
fo	排出トレイへ排紙します。

(fu2 は、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d 用です。fu は ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d に対応しておりません。)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

-t と -t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=tonersave]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1 ややうすい(節約量小)

Mode2 うすい(節約量大)

Mode3 かなりうすい(ドラフト)

(DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d 用です。)

-t と -t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。
このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]
イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=*mode*]
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[-Br=*brightness*]
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-CRD=*collection*]
RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-FE]
ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]
オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]
手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
UD	used	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwback1	厚紙 1 裏面
H1A	hwpaper1A	厚紙 1[A]
1BA	hwback1A	厚紙 1[A]裏面
H1B	hwpaper1B	厚紙 1[B]
1BB	hwback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwback1S	厚紙 1[S]裏面

H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwpback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwpback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwpback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwpback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwpback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
H4	hwpaper4	厚紙 4
4B	hwpback4	厚紙 4 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏面
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
HOT1	holedthick1	穴あき紙厚 1
HOT2	holedthick2	穴あき紙厚 2
HOT3	holedthick3	穴あき紙厚 3
HOT4	holedthick4	穴あき紙厚 4
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB3	tabbed3	インデックス紙 3
TB4	tabbed4	インデックス紙 4
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム
EN	envelope	封筒
ENB	envelopeback	封筒裏面
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

[-Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Quality2	高画質 2

Minute 高精細

(Quality2 は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用です。Quality は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 に対応しておりません。)

[-Pr2=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed 高速
 Speed2 高速 2
 Quality 高画質
 Quality2 高画質 2
 Minute 高精細
 Page ページ印刷
 Glossy 光沢

(DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuPrint C5450 用です)

(Speed2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Speed は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

(Quality2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Quality は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

-Pr= と -Pr2= の両方を指定した場合、指定は無効となります。

[-Pt=target]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto 自動
 FS fast 階調優先
 FN fine 精細度優先
 OH ohp OHP フィルム向け (DocuPrintC2426 用です)
 ST standard 標準

[-Td=type]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A 自動を使用します
 1 トレイ 1 を使用します
 2 トレイ 2 を使用します
 3 トレイ 3 を使用します
 4 トレイ 4 を使用します
 6 トレイ 6 を使用します
 M 手差しトレイを使用します

[-Hd=position:format]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul 用紙の左上に出力します

ur 用紙の右上に出力します
 dl 用紙の左下に出力します
 dr 用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は *uh* がデフォルトとなります。

u ユーザー名
 h ホスト名
 t 日時

出力内容を *tuh* と指定した場合は次のように入力します。
 2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように入力します。

右上にユーザー名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザー名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、
 -Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は tiff2g4 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
 日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行います。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4.x/Linux の場合

TIFF イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、TIFF データの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.9.4 CLWDCの場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin3320/tiff2g4 [-d | -D] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=dicname...] [-CO=type...]
[-Rs=sourcename] [-Sm=mode] [-M=type2] [-Hd= position:format]
[-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

TIFF フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの TIFF フォーマットのファイルを指定することができます。

対応する圧縮形式は以下の 4 つです。

- ・ハフマン圧縮(CCITT Group 3 変形ハフマンランレングスエンコーディング)
- ・Fax-CCITT3 圧縮(ファクシミリ互換の CCITT Group 3)
- ・パックビット圧縮
- ・非圧縮

※上記圧縮形式であっても、1 ファイルに複数画像を持つ TIFF ファイルには、対応していません。

tiff2g4 は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された TIFF フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s, -S) を指定して変換してください。

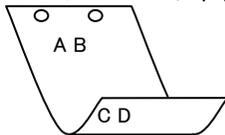
tiff2g4 は、TIFF フォーマットの画素の深さが 1 ビットの場合に、CCITT グループ 4 形式の圧縮された PostScript 言語プログラムを生成します。出力されるファイルサイズは、tiff2ps2 に比べて小さくなります。

tiff2g4 は tiff2ps2 のハードリンクファイルです。

◇オプション

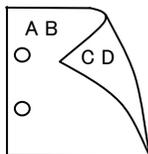
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、用紙サイズを指定します。用紙サイズを指定すると、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

SA3	特 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター用紙がセットされたトレイから給紙します。
TB	タブロイド用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル"14 用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-SA3	特 A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-TB	タブロイド用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル"14 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキがセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-C6	封筒:洋形 2 号がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-Y3	封筒:洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-Y4	封筒:洋形 4 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-YC3	封筒:長洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-MxNmm	M×Nmm の不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第一位まで有効)。
MSI-MxNin	M×Nインチの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第二位まで有効)。
MSI-MxNpt	M×Nポイントの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の整数です。

このオプションを指定しない場合、プリンタに設定されているデフォルト用紙サイズ(A 4、レター)で出力されます。

指定した用紙がトレイに無い場合は、トレイに用紙の補充を求められます。

不定形用紙の指定は MSI-180x250.2mm の様に指定します。

プリンタが使用できない不定形用紙サイズを指定した場合エラーとなります。

不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90~330.2、高さ 139.7~457.2、

インチ単位指定の場合、幅 3.54~13、高さ 5.5~18、ポイント指定の場合、幅 255~936、高さ 396~1296 の範囲で指定して下さい。(1in=72pt)

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd フェースダウントレイへ排紙します。

fu フェースアップトレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合、フェースダウントレイに排紙されます。

但し、出力できない用紙の場合は、エラーとなります。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います(copies は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するとき使用します。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom とともに 0.25 インチです。

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-CM=mode]

カラーモデルを選択します。次のカラーモデルが指定できます。

Gray グレースケール(白黒)

CMYK シアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)の 4 色

このオプションを指定しない場合は、CMYK が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

3 非常に明るい

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

-3 非常に暗い

このオプションを指定しない場合は、0(標準)が選択されます。

[-CRD=*dicname*...]

カラーレンダリング辞書を選択します。次のカラーレンダリング辞書が指定できます。

Color Laser Wind 3320PS の場合

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PT	photographic-text	テキスト文書用連続調辞書
BT	business-text	テキスト文書用ビジネスグラフィック辞書
OT	ohp-text	テキスト文書用 OHP/OHT 辞書
PG	photographic-graphic	図・表・グラフ用連続調辞書
BG	business-graphic	図・表・グラフ用ビジネスグラフィック辞書
OG	ohp-graphic	図・表・グラフ用 OHP/OHT 辞書
PI	photographic-image	写真用連続調辞書
BI	business-image	写真用ビジネスグラフィック辞書
OI	ohp-image	写真用 OHP/OHT 辞書

このオプションを指定しない場合は、テキストは PT、図・表・グラフは PG、写真は PI が選択されます。

Color Laser Wind 3320PS では、オプションはカンマで区切るにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。但し、OHP を指定する場合は必ず、テキスト、図・表・グラフ、写真を全て OHP で指定して下さい。また、用紙サイズは手差し A4 またはレター、出力トレイはフェースアップトレイ、用紙種別は OHP シートを指定して下さい。

-CRD=PT,BG,BI

-CRD=photographic-graphic,business-text

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

-CRD=PT,photographic-image,business-text,business-graphic,PG

DocuPrint C625PS/C626PS の場合

PHO	連続調辞書
PRE	ビジネスグラフィック辞書
ABS	絶対カラーメトリック辞書
REL	相対カラーメトリック辞書

このオプションを指定しない場合は、PRE が選択されます。

[-CO=*type*...]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

(Color Laser Wind 3320PS 専用のオプションです)

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

DT	detail-text	解像度を優先するテキスト文書
ST	smooth-text	階調を優先するテキスト文書
DG	detail-graphic	解像度を優先する図・表・グラフ
SG	smooth-graphic	階調を優先する図・表・グラフ
DI	detail-image	解像度を優先する写真
SI	smooth-image	階調を優先する写真

このオプションを指定しない場合は、テキストは DT、図・表・グラフは SG、写真は SI が選択されます。

オプションはカンマで区切るにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。

-CO=DT,SG,DI

-CO=detail-graphic,smooth-text

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

-CO=DT,detail-image,smooth-text,detail-graphic,SG

[-Rs=*sourcename*]

使用する RGB ソースを指定します。RGB データのソース色空間定義を指定します。このソース色空間を基点にして、RGB データがプリンタの CMYK 色空間にマッピングされます。

次の RGB ソースが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

ER	efirgb	EFIRGB(Color Laser Wind 3320PS に出力するためのカラーデータ変換に最適な RGB ソース色空間)
SR	srgb	sRGB(PC)(Windows 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
AP	apple	Apple 標準(MacOS 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
OF	off	オフ(マッピングを行いません)

このオプションを指定しない場合は、sRGB(PC)が選択されます。

[-Sm=*mode*]

CMYK シミュレーションを指定します。オフセット印刷標準をシミュレートするように、CMYK カラーデータ値を調整します。

次の CMYK シミュレーションが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

SW	swop	SWOP-corted(米国の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
DI	dic	DIC(大日本インキ化学工業株式会社の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
EU	euroscale	Euroscale(ヨーロッパの印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
OF	off	オフ(CMYK カラーデータに対して、シミュレーションは行われません)

このオプションを指定しない場合は、オフが選択されます。

[*-M=type2*]

使用する用紙種別を指定します。次の用紙種別が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
OH	ohp	OHP シート
LB	label	ラベル
CV	cover	厚紙・封筒

(DocuPrint C625PS/C626PS では厚紙のみです)

(以下のパラメータは DocuPrint C625PS/C626PS 専用です)

PD	pldup	普通紙裏面
CD	covdup	厚紙裏面
GL	glossy	専用光沢紙
GD	glsdup	専用光沢紙裏面
CT	coated	コート紙
TD	cotdup	コート紙裏面
CS	cdstock	ハガキ
SD	cdsdup	ハガキ裏面
EV	envelope	封筒

このオプションを指定しない場合は、普通紙が選択されます。

[*-Hd=position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は *uh* がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を *tuh* と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、

-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は *tiff2g4* で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。

日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇ 使用例

SunOS 4. x/Linux の場合

TIFF イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 普通用紙を指定する場合で、用紙サイズに手差し A5、ハガキ、洋形 2 号を指定する場合は必ず出カトレイにフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ OHP シートを指定する場合は、必ず用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。また、CRD には全て OHP を指定して下さい。
- ▶ ラベルを指定する場合は、用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 厚紙・封筒を指定する場合は、用紙サイズは手差し用紙、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90～330.2、高さ 139.7～457.2、インチ単位指定の場合、幅 3.54～13、高さ 5.5～18、ポイント指定の場合、幅 255～936、高さ 396～1296 の範囲で指定して下さい。(1in=72pt)
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.10 xwd2ps2 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

3.10.1 DC1250 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin1250/xwd2ps2 [-d | -D] [-MSI] [-MSI-CF] [-Itray_input]
[-Otray_output] [-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-G4] [-l left bottom] [-s width height]
[-S width] [-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-CS] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-Hd= position:format] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

XWD フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの XWD フォーマットのファイルを指定することができます。

対応するフォーマットは以下の 3 つです。

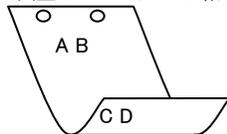
- ・ビジュアルクラスが StaticGray で画素が 1 ビット
- ・ビジュアルクラスが PseudoColor で画素が 4 ビットまたは 8 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式
- ・ビジュアルクラスが TrueColor で画素が 24 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式

xwd2ps2 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された XWD フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

◇オプション

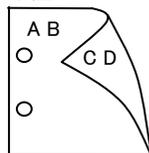
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-MSI-CF]

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-Itray_inpu]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
H	大容量トレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー (ダブルレター, 11x17 インチ) セットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ (リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14, 8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター, 5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。(DocuCentre Color 500/500 CP の手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 296.3x431.4mm

DocuCentre Color 500/500 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 319.6x456.5mm

注記 ▶ 手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

- fd** フェースダウントレイへ排紙します。
- mn** メールボックスのビン **n** へ排紙します。 **n** は 1 以上 10 以下の値です。
- fs** フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はフェースダウントレイ) に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するとき使用します。

[-G4]

G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで **sunras2g4** と同様の動作をします。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* ともに 0.25 インチです。

12x18 インチ用紙、SRA3 用紙を使用する場合、用紙の余白 (印刷可能領域) が他の用紙と異なります。デフォルト値では画像が切れて印刷されない部分がありますので、以下の通りに印刷開始位置を指定し、調整を行って下さい。

- 12x18 インチ用紙 (上下左右の余白: 上下 10mm 左右: 4mm)
 - 左印刷開始位置: 0.25 インチ
 - 下印刷開始位置: 0.43 インチ
- SRA3 用紙 (上下左右の余白: 上下 6mm 左右: 9mm)
 - 左印刷開始位置: 0.28 インチ
 - 下印刷開始位置: 0.40 インチ

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 **width** インチ、高さ **height** インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を **width** インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

- Auto** カラー/白黒自動判別
- Color** カラー
- Bw** 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー/白黒自動判別」が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

注記 ▶ カラーモードを「カラー/白黒自動判別」を指定し、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定しますと、「カラー/白黒自動判別」が正常に動作せず、誤判定される場合があります。正しい課金のためには、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定する場合、明示的に「カラー」または「白黒」を指定する必要があります。

[-CS]

カラー分解を指定します。このオプションを指定すると、各色成分ごとに白黒ページを出力します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
OF	opaquefilm	電飾フィルム (DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP 用)
GL	glossy	専用光沢紙 (DocuCentre Color 500/500 CP 用)
TP	tracingpaper	トレーシングペーパー
TF	tackfilm	タックフィルム

[-Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Fast	速度優先
Fine	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

TX	text	テキスト文書
GR	graphics	図・表・グラフ
IM	image	写真

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、
-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は `xwd2ps2` で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf=*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。

- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇ 使用例

SunOS 4. x/Linux の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換し、ファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージを、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、XWD データの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.10.2 DP2220 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin2220/xwd2ps2 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-G4] [-l left_bottom] [-s width height] [-S width]
[-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE] [-Jo=type]
[-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type] [-Hd= position:format]
[-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

XWD フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの XWD フォーマットのファイルを指定することができます。

対応するフォーマットは以下の 3 つです。

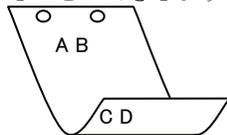
- ・ビジュアルクラスが StaticGray で画素が 1 ビット
- ・ビジュアルクラスが PseudoColor で画素が 4 ビットまたは 8 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式
- ・ビジュアルクラスが TrueColor で画素が 24 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式

xwd2ps2 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された XWD フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

◇オプション

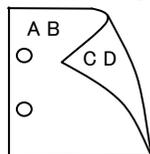
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[*-Itray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー (ダブルレター, 11x17 インチ) セットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ (リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14, 8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[*-Otray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

- [-r]**
イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。
- [-Nc=copies]**
出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。
- [-Cl]**
部単位での印刷を選択します。
- [-n]**
`showpage` を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。
- [-G4]**
G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで `xwd2g4` と同様の動作をします。
- [-l left bottom]**
印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。
- [-s width height]**
出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。
- [-S width]**
出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。
- [-t]**
トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。
- [-E]**
イメージエンハンス機能を使用しません。
(印刷解像度が、階調優先の場合、イメージエンハンスは使用できません。)
- [-CM=model]**
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- | | |
|-------|-----|
| Color | カラー |
| Bw | 白黒 |
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- [-Br=brightness]**
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- | | |
|----|---------|
| 2 | 明るい |
| 1 | やや明るい |
| 0 | 標準 |
| -1 | やや暗い |
| -2 | 暗い |
| OF | 補正を行わない |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-CRD=collection]**
RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。
- | | | |
|----|--------------|-----------|
| OF | off | 補正を行わない |
| ST | standard | 標準 |
| PH | photo | 写真 |
| PR | presentation | プレゼンテーション |
| WB | web | Web ページ |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-FE]**
ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

このオプションが指定されない場合は「階調優先」が選択されます。

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

1	トレイ 1 を使用します
---	--------------

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザ名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、

-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は xwd2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されず。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4.x/Linux の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換し、ファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージを、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、XWD データの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.10.3 DP3530 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin3530/xwd2ps2 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-G4] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-t] [-t2=tonersave] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pr2=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-Hd= position:format] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

XWD フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの XWD フォーマットのファイルを指定することができます。

対応するフォーマットは以下の 3 つです。

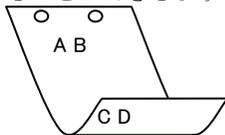
- ・ビジュアルクラスが StaticGray で画素が 1 ビット
- ・ビジュアルクラスが PseudoColor で画素が 4 ビットまたは 8 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式
- ・ビジュアルクラスが TrueColor で画素が 24 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式

xwd2ps2 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された XWD フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

◇オプション

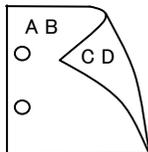
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[**Itray_input**]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3Y	封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EK2	封筒角形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY2	封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY3	封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY4	封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。

LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x19in	12x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxN</i> mm	<i>MxN</i> mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C3530
最小 100.2x139.7mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C3540/C3140/C3250
最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C2426

	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x457.2mm
DocuPrint C2424	
	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x431.8mm
DocuPrint C3200 A	
	最小 88.9x139.7mm、最大 215.9x355.6mm
DocuPrint C5450	
	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C3050	
	最小 74.8x97.7mm、最大 297.0x431.8mm
DocuPrint C5000 d	
	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x1199.7mm
DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250	
DocuCentre C2101/C1101	
ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I	
DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I	
ApeosPort-II C4300/C3300/C2200	
DocuCentre-II C4300/C3300/C2200	
	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm
ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I	
DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I	
ApeosPort-II C7500/C6500/C5400	
DocuCentre-II C7500/C6500/C5400	
ApeosPort-III C7600/C6500/C5500	
DocuCentre-III C7600/C6500/C5500	
ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580	
DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580	
	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C2250	
DocuPrint C3360	
ApeosPort-III C3300/C2200	
DocuCentre-III C3300/C2200	
ApeosPort-III C3305/C2205	
DocuCentre-III C3305/C2205	
	最小 89.3x98.1mm、最大 320.0x483.0mm
ApeosPort-III C4405/C4400	
DocuCentre-III C4405/C4400	
	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x483.0mm
ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x482.9mm
DocuPrint C3350	
	最小 75.2x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2260	
	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2263	
	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x482.9mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

(長尺紙が給紙可能な機種のみ)

297x900mm

297x1130mm

297x1200mm

210x900mm

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
mn	メールボックスのビン <i>n</i> へ排紙します。 <i>n</i> は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。
fi	センタートレイ上段へ排紙します。
fo	排出トレイへ排紙します。

(fu2 は、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C2263、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d 用です。fu は ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C2263、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d に対応しておりません。)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-G4]

G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで xwd2g4 と同様の動作をします。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

-t と -t 2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=tonersave]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1 ややうすい(節約量小)
 Mode2 うすい(節約量大)
 Mode3 かなりうすい(ドラフト)

(DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d 用です。)

-t と -t 2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。
 このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。
 (印刷解像度が、階調優先の場合、イメージエンハンスは使用できません。)

[-CM=model]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー
 Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい
 1 やや明るい
 0 標準
 -1 やや暗い
 -2 暗い
 OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない
 ST standard 標準
 PH photo 写真
 PR presentation プレゼンテーション
 WB web Web ページ
 CA cad CAD
 PO pop POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job ジョブ単位
 SE set セット単位

[-M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL plain 普通紙
 PLB plainback 普通紙裏面
 UD used 普通紙裏面
 H1 hwpaper1 厚紙 1
 1B hwpback1 厚紙 1 裏面
 H1A hwpaper1A 厚紙 1[A]
 1BA hwpback1A 厚紙 1[A]裏面
 H1B hwpaper1B 厚紙 1[B]

1BB	hwpback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwpback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwpback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwpback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwpback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwpback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwpback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwpback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
H4	hwpaper4	厚紙 4
4B	hwpback4	厚紙 4 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏面
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
HOT1	holedthick1	穴あき紙厚 1
HOT2	holedthick2	穴あき紙厚 2
HOT3	holedthick3	穴あき紙厚 3
HOT4	holedthick4	穴あき紙厚 4
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
TB3	tabbed3	インデックス紙 3
TB4	tabbed4	インデックス紙 4
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム
EN	envelope	封筒
ENB	envelopeback	封筒裏面
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Quality2	高画質 2
Minute	高精細

(Quality2 は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用です。Quality は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、に対応しておりません。)

[-Pr2=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Speed2	高速 2
Quality	高画質
Quality2	高画質 2
Minute	高精細
Page	ページ印刷
Glossy	光沢

(DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuPrint C5450 用です)

(Speed2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Speed は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

(Quality2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Quality は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

-Pr= と -Pr2= の両方を指定した場合、指定は無効となります。

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
OH	ohp	OHP フィルム向け (DocuPrintC2426 用です)
ST	standard	標準

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	自動を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します

M 手差しトレイを使用します

[-Hd=*position*:*format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

```
2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname
```

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

```
-Hd=ur          または、
-Hd=ur:uh
```

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は xwd2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4. x/Linux の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換し、ファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージを、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、XWD データの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.10.4 CLWDCの場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin3320/xwd2ps2 [-d | -D] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-G4] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=dicname...] [-CO=type...]
[-Rs=sourcename] [-Sm=mode] [-M=type2] [-Hd= position:format]
[-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

XWD フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの XWD フォーマットのファイルを指定することができます。

対応するフォーマットは以下の 3 つです。

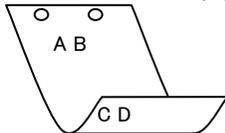
- ・ビジュアルクラスが StaticGray で画素が 1 ビット
- ・ビジュアルクラスが PseudoColor で画素が 4 ビットまたは 8 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式
- ・ビジュアルクラスが TrueColor で画素が 24 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式

xwd2ps2 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された XWD フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

◇オプション

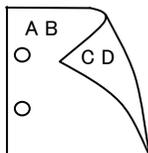
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[*-Itray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、用紙サイズを指定します。用紙サイズを指定すると、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

SA3	特 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター用紙がセットされたトレイから給紙します。
TB	タブロイド用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル"14 用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-SA3	特 A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-TB	タブロイド用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル"14 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキがセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-C6	封筒:洋形 2 号がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-Y3	封筒:洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-Y4	封筒:洋形 4 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-YC3	封筒:長洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-MxNmm	M×Nmm の不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第一位まで有効)。
MSI-MxNin	M×Nインチの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第二位まで有効)。
MSI-MxNpt	M×Nポイントの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の整数です。

このオプションを指定しない場合、プリンタに設定されているデフォルト用紙サイズ(A 4、レター)で出力されます。

指定した用紙がトレイに無い場合は、トレイに用紙の補充を求められます。

不定形用紙の指定は MSI-180x250.2mm の様に指定します。

プリンタが使用できない不定形用紙サイズを指定した場合エラーとなります。

不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90~330.2、高さ 139.7~457.2、インチ単位指定の場合、幅 3.54~13、高さ 5.5~18、ポイント指定の場合、幅

255~936、高さ 396~1296 の範囲で指定して下さい。(lin=72pt)

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd フェースダウントレイへ排紙します。

fu フェースアップトレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合、フェースダウントレイに排紙されます。

但し、出力できない用紙の場合は、エラーとなります。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います(copies は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときを使用します。

[-G4]

G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで sunras2g4 と同様の動作をします。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom とともに 0.25 インチです。

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-CM=model]

カラーモデルを選択します。次のカラーモデルが指定できます。

Gray グレースケール(白黒)

CMYK シアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)の 4 色

このオプションを指定しない場合は、CMYK が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

3 非常に明るい

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

-3 非常に暗い

このオプションを指定しない場合は、0(標準)が選択されます。

[-CRD=*dicname*...]

カラーレンダリング辞書を選択します。次のカラーレンダリング辞書が指定できます。

Color Laser Wind 3320PS の場合

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PT	photographic-text	テキスト文書用連続調辞書
BT	business-text	テキスト文書用ビジネスグラフィック辞書
OT	ohp-text	テキスト文書用 OHP/OHT 辞書
PG	photographic-graphic	図・表・グラフ用連続調辞書
BG	business-graphic	図・表・グラフ用ビジネスグラフィック辞書
OG	ohp-graphic	図・表・グラフ用 OHP/OHT 辞書
PI	photographic-image	写真用連続調辞書
BI	business-image	写真用ビジネスグラフィック辞書
OI	ohp-image	写真用 OHP/OHT 辞書

このオプションを指定しない場合は、テキストは PT、図・表・グラフは PG、写真は PI が選択されます。

Color Laser Wind 3320PS では、オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。但し、OHP を指定する場合は必ず、テキスト、図・表・グラフ、写真を全て OHP で指定して下さい。また、用紙サイズは手差し A4 またはレター、出力トレイはフェースアップトレイ、用紙種別は OHP シートを指定して下さい。

-CRD=PT,BG,BI

-CRD=photographic-graphic,business-text

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

-CRD=PT,photographic-image,business-text,business-graphic,PG

DocuPrint C625PS/C626PS の場合

PHO	連続調辞書
PRE	ビジネスグラフィック辞書
ABS	絶対カラーメトリック辞書
REL	相対カラーメトリック辞書

このオプションを指定しない場合は、PRE が選択されます。

[-CO=*type*...]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

(Color Laser Wind 3320PS 専用のオプションです)

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

DT	detail-text	解像度を優先するテキスト文書
ST	smooth-text	階調を優先するテキスト文書
DG	detail-graphic	解像度を優先する図・表・グラフ
SG	smooth-graphic	階調を優先する図・表・グラフ
DI	detail-image	解像度を優先する写真
SI	smooth-image	階調を優先する写真

このオプションを指定しない場合は、テキストは DT、図・表・グラフは SG、写真は SI が選択されます。

オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。

-CO=DT,SG,DI

-CO=detail-graphic,smooth-text

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

`-CO=DT,detail-image,smooth-text,detail-graphic,SG`

[-Rs=sourcename]

使用する RGB ソースを指定します。RGB データのソース色空間定義を指定します。このソース色空間を基点にして、RGB データがプリンタの CMYK 色空間にマッピングされます。

次の RGB ソースが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

ER	efirgb	EFIRGB(Color Laser Wind 3320PS に出力するためのカラーデータ変換に最適な RGB ソース色空間)
SR	srgb	sRGB(PC)(Windows 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
AP	apple	Apple 標準(MacOS 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
OF	off	オフ(マッピングを行いません)

このオプションを指定しない場合は、sRGB(PC)が選択されます。

[-Sm=model]

CMYK シミュレーションを指定します。オフセット印刷標準をシミュレートするように、CMYK カラーデータ値を調整します。

次の CMYK シミュレーションが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

SW	swop	SWOP-corted(米国の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
DI	dic	DIC(大日本インキ化学工業株式会社の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
EU	euroscale	Euroscale(ヨーロッパの印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
OF	off	オフ(CMYK カラーデータに対して、シミュレーションは行われません)

このオプションを指定しない場合は、オフが選択されます。

[-M=type2]

使用する用紙種別を指定します。次の用紙種別が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
OH	ohp	OHP シート
LB	label	ラベル
CV	cover	厚紙・封筒 (DocuPrint C625PS/C626PS では厚紙のみです)

(以下のパラメータは DocuPrint C625PS/C626PS 専用です)

PD	pldup	普通紙裏面
CD	covdup	厚紙裏面
GL	glossy	専用光沢紙
GD	glsdup	専用光沢紙裏面
CT	coated	コート紙
TD	cotdup	コート紙裏面
CS	cdstock	ハガキ
SD	cdsdup	ハガキ裏面
EV	envelope	封筒

このオプションを指定しない場合は、普通紙が選択されます。

[`-Hd=position:format`]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

<code>ul</code>	用紙の左上に出力します
<code>ur</code>	用紙の右上に出力します
<code>dl</code>	用紙の左下に出力します
<code>dr</code>	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は `uh` がデフォルトとなります。

<code>u</code>	ユーザー名
<code>h</code>	ホスト名
<code>t</code>	日時

出力内容を `tuh` と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

`-Hd=ur` または、

`-Hd=ur:uh`

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は `xwd2ps2` で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行います。

[`-Hfheaderfont`]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇ 使用例

SunOS 4.x/Linux の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換し、ファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージを、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と-S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 普通用紙を指定する場合で、用紙サイズに手差し A5、ハガキ、洋形 2 号を指定する場合は必ず出カトレイにフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ OHP シートを指定する場合は、必ず用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。また、CRD には全て OHP を指定して下さい。
- ▶ ラベルを指定する場合は、用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 厚紙・封筒を指定する場合は、用紙サイズは手差し用紙、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90~330.2、高さ 139.7~457.2、インチ単位指定の場合、幅 3.54~13、高さ 5.5~18、ポイント指定の場合、幅 255~936、高さ 396~1296 の範囲で指定して下さい。(1in=72pt)
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.11 xwd2g4 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

3.11.1 DC1250 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin1250/xwd2g4 [-d | -D] [-MSI] [-MSI-CF] [-Itray_input]
[-Otray_output] [-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-l left bottom] [-s width height]
[-S width] [-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-CS] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-Hd= position:format] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

XWD フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの XWD フォーマットのファイルを指定することができます。

対応するフォーマットは以下の 3 つです。

- ・ビジュアルクラスが `StaticGray` で画素が 1 ビット
- ・ビジュアルクラスが `PseudoColor` で画素が 4 ビットまたは 8 ビット、イメージ形式が `Zpixmap` 形式
- ・ビジュアルクラスが `TrueColor` で画素が 24 ビット、イメージ形式が `Zpixmap` 形式

`xwd2g4` は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された XWD フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (`-s`, `-S`) を指定して変換してください。

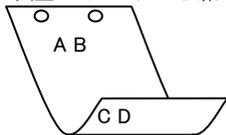
`xwd2g4` は、XWD フォーマットの画素の深さが 1 ビットの場合に、CCITT グループ 4 形式の圧縮された PostScript 言語プログラムを生成します。出力されるプログラムサイズは、`xwd2ps2` に比べて小さくなります。

`xwd2g4` は `xwd2ps2` のハードリンクファイルです。

◇オプション

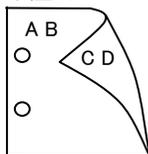
`[-d]`

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



`[-D]`

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[-MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-MSI-CF]

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
H	大容量トレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー (ダブルレター, 11x17 インチ) セットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ (リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14, 8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント (ハーフレター, 5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (DocuCentre Color 500/500 CP の手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 296.3x431.4mm

DocuCentre Color 500/500 CP

最小 148.5x200.4mm、最大 319.6x456.5mm

注記 ▶ 手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd フェースダウントレイへ排紙します。

mn メールボックスのビン **n** へ排紙します。**n** は 1 以上 10 以下の値です。

fs フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はフェースダウントレイ) に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-CI]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。

12x18 インチ用紙、SRA3 用紙を使用する場合、用紙の余白 (印刷可能領域) が他の用紙と異なります。デフォルト値では画像が切れて印刷されない部分がありますので、以下の通りに印刷開始位置を指定し、調整を行って下さい。

• 12x18 インチ用紙 (上下左右の余白: 上下 10mm 左右: 4mm)

左印刷開始位置: 0.25 インチ

下印刷開始位置: 0.43 インチ

• SRA3 用紙 (上下左右の余白: 上下 6mm 左右: 9mm)

左印刷開始位置: 0.28 インチ

下印刷開始位置: 0.40 インチ

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=mode]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Auto カラー/白黒自動判別

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー/白黒自動判別」が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

注記 ▶ カラーモードを「カラー/白黒自動判別」を指定し、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定しますと、「カラー/白黒自動判別」が正常に動作せず、誤判定される場合があります。正しい課金のためには、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定する場合、明示的に「カラー」または「白黒」を指定する必要があります。

[-CS]

カラー分解を指定します。このオプションを指定すると、各色成分ごとに白黒ページを出力します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=type]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2
OH	ohp	OHP 用紙
OF	opaquefilm	電飾フィルム (DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP 用)
GL	glossy	専用光沢紙 (DocuCentre Color 500/500 CP 用)
TP	tracingpaper	トレーシングペーパー
TF	tackfilm	タックフィルム

[-Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Fast	速度優先
Fine	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

TX	text	テキスト文書
GR	graphics	図・表・グラフ
IM	image	写真

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、
-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は **xwd2g4** で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf=*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは **Helvetica** が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されません。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇ 使用例

SunOS 4.x の/Linux 場合

XWD イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、XWD データの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.11.2 DP2220 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin2220/xwd2g4 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-l left_bottom] [-s width height] [-S width]
[-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE] [-Jo=type]
[-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type] [-Hd= position:format]
[-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

XWD フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの XWD フォーマットのファイルを指定することができます。

対応するフォーマットは以下の 3 つです。

- ・ビジュアルクラスが **StaticGray** で画素が 1 ビット
- ・ビジュアルクラスが **PseudoColor** で画素が 4 ビットまたは 8 ビット、イメージ形式が **Zpixmap** 形式
- ・ビジュアルクラスが **TrueColor** で画素が 24 ビット、イメージ形式が **Zpixmap** 形式

`xwd2g4` は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された XWD フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (`-s,-S`) を指定して変換してください。

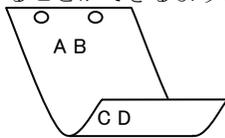
`xwd2g4` は、XWD フォーマットの画素の深さが 1 ビットの場合に、CCITT グループ 4 形式の圧縮された PostScript 言語プログラムを生成します。出力されるプログラムサイズは、`xwd2ps2` に比べて小さくなります。

`xwd2g4` は `xwd2ps2` のハードリンクファイルです。

◇オプション

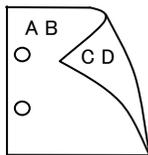
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。`-I` オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[*-Itray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー (ダブルレター, 11x17 インチ) セットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ (リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14, 8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

[*-Otray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。 (DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、 DocuCentre C2100 用)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ(工場出荷時はフェースダウントレイ)に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

- [-r]**
イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。
- [-Nc=copies]**
出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。
- [-Cl]**
部単位での印刷を選択します。
- [-n]**
showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。
- [-l left bottom]**
印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。
- [-s width height]**
出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。
- [-S width]**
出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。
- [-t]**
トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。
- [-E]**
イメージエンハンス機能を使用しません。
(印刷解像度が、階調優先の場合、イメージエンハンス機能は使用できません。)
- [-CM=mode]**
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- | | |
|-------|-----|
| Color | カラー |
| Bw | 白黒 |
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- [-Br=brightness]**
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- | | |
|----|---------|
| 2 | 明るい |
| 1 | やや明るい |
| 0 | 標準 |
| -1 | やや暗い |
| -2 | 暗い |
| OF | 補正を行わない |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-CRD=collection]**
RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。
- | | | |
|----|--------------|-----------|
| OF | off | 補正を行わない |
| ST | standard | 標準 |
| PH | photo | 写真 |
| PR | presentation | プレゼンテーション |
| WB | web | Web ページ |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- [-FE]**
ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。
1 トレイ 1 を使用します

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、
-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は xwd2g4 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されず。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4.x の/Linux 場合

XWD イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、XWD データの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.11.3 DP3530 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin3530/xwd2g4 [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-t] [-t2=tonersave] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pr2=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-Hd= position:format] [-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

XWD フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの XWD フォーマットのファイルを指定することができます。

対応するフォーマットは以下の 3 つです。

- ・ビジュアルクラスが **StaticGray** で画素が 1 ビット
- ・ビジュアルクラスが **PseudoColor** で画素が 4 ビットまたは 8 ビット、イメージ形式が **Zpixmap** 形式
- ・ビジュアルクラスが **TrueColor** で画素が 24 ビット、イメージ形式が **Zpixmap** 形式

`xwd2g4` は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された XWD フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (-s,-S) を指定して変換してください。

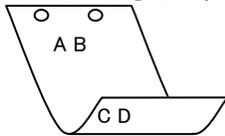
`xwd2g4` は、XWD フォーマットの画素の深さが 1 ビットの場合に、CCITT グループ 4 形式の圧縮された PostScript 言語プログラムを生成します。出力されるプログラムサイズは、`xwd2ps2` に比べて小さくなります。

`xwd2g4` は `xwd2ps2` のハードリンクファイルです。

◇オプション

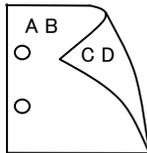
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。**-I** オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

[**Itray_input**]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
B4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DPCY	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EC3Y	封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EK2	封筒角形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY2	封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY3	封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
EY4	封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
LT	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。

LD	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x19in	12x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
CLT	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxN</i> mm	<i>MxN</i> mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。

DocuPrint C3530
最小 100.2x139.7mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C3540/C3140/C3250
最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm

DocuPrint C2426

	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x457.2mm
DocuPrint C2424	
	最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x431.8mm
DocuPrint C3200 A	
	最小 88.9x139.7mm、最大 215.9x355.6mm
DocuPrint C5450	
	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C3050	
	最小 74.8x97.7mm、最大 297.0x431.8mm
DocuPrint C5000 d	
	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x1199.7mm
DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250	
DocuCentre C2101/C1101	
ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I	
DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I	
ApeosPort-II C4300/C3300/C2200	
DocuCentre-II C4300/C3300/C2200	
	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x482.6mm
ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I	
DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I	
ApeosPort-II C7500/C6500/C5400	
DocuCentre-II C7500/C6500/C5400	
ApeosPort-III C7600/C6500/C5500	
DocuCentre-III C7600/C6500/C5500	
ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580	
DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580	
	最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm
DocuPrint C2250	
DocuPrint C3360	
ApeosPort-III C3300/C2200	
DocuCentre-III C3300/C2200	
ApeosPort-III C3305/C2205	
DocuCentre-III C3305/C2205	
	最小 89.3x98.1mm、最大 320.0x483.0mm
ApeosPort-III C4405/C4400	
DocuCentre-III C4405/C4400	
	最小 100.2x100.2mm、最大 304.8x483.0mm
ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270	
ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275	
	最小 89.3x98.1mm、最大 319.9x482.9mm
DocuPrint C3350	
	最小 75.2x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2260	
	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x431.8mm
DocuCentre-IV C2263	
	最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x482.9mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。
(長尺紙が給紙可能な機種のみ)

297x900mm
297x1130mm
297x1200mm
210x900mm

[-O *tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
mn	メールボックスのビン <i>n</i> へ排紙します。 <i>n</i> は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。
fi	センタートレイ上段へ排紙します。
fo	排出トレイへ排紙します。

(fu2 は、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C2263、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d 用です。fu は ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C2263、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、DocuPrint C5000 d に対応しておりません。)

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はフェースダウントレイ) に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=*copies*]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-l *left bottom*]

印刷位置を指定します。紙の左からの *left* インチ、下からの *bottom* インチの位置から印刷します。デフォルトは、*left*、*bottom* とともに 0.25 インチです。

[-s *width height*]

出力サイズを指定します。幅 *width* インチ、高さ *height* インチで印刷します。

[-S *width*]

出力サイズの幅を *width* インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

-t と -t 2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=*tonersave*]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1	ややうすい(節約量小)
Mode2	うすい(節約量大)
Mode3	かなりうすい(ドラフト)

(DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d 用です。)

-t と -t 2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。
このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=*mode*]

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

[-Br=*brightness*]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-CRD=*collection*]

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
UD	used	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwback1	厚紙 1 裏面
H1A	hwpaper1A	厚紙 1[A]
1BA	hwback1A	厚紙 1[A]裏面
H1B	hwpaper1B	厚紙 1[B]
1BB	hwback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]

1BS	hwpback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwpback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwpback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwpback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwpback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwpback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
H4	hwpaper4	厚紙 4
4B	hwpback4	厚紙 4 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏面
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
HOT1	holedthick1	穴あき紙厚 1
HOT2	holedthick2	穴あき紙厚 2
HOT3	holedthick3	穴あき紙厚 3
HOT4	holedthick4	穴あき紙厚 4
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
TB3	tabbed3	インデックス紙 3
TB4	tabbed4	インデックス紙 4
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム
EN	envelope	封筒
ENB	envelopeback	封筒裏面
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

[-Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質

Quality2 高画質 2
Minute 高精細

(Quality2 は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用です。Quality は DocuPrint C2250、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre C3300/C2200、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 に対応しておりません。)

[-Pr2=resolution]

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed 高速
Speed2 高速 2
Quality 高画質
Quality2 高画質 2
Minute 高精細
Page ページ印刷
Glossy 光沢

(DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuPrint C5450 用です)

(Speed2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Speed は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

(Quality2 は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用です。Quality は DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 に対応しておりません。)

-Pr= と -Pr2= の両方を指定した場合は指定は無効となります。

[-Pt=target]

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto 自動
FS fast 階調優先
FN fine 精細度優先
OH ohp OHP フィルム向け (DocuPrintC2426 用です)
ST standard 標準

[-Td=type]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A 自動を使用します
1 トレイ 1 を使用します
2 トレイ 2 を使用します
3 トレイ 3 を使用します
4 トレイ 4 を使用します
6 トレイ 6 を使用します
M 手差しトレイを使用します

[-Hd=position:format]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は *uh* がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を *tuh* と指定した場合は次のように入力します。

```
2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname
```

指定は次のように入力します。

右上にユーザー名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザー名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

```
-Hd=ur          または、
-Hd=ur:uh
```

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は xwd2g4 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行います。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

SunOS 4.x の/Linux 場合

XWD イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、XWD データの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (-l left bottom) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.11.4 CLWDCの場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin3320/xwd2g4 [-d | -D] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-r] [-Nc=copies] [-Cl] [-n] [-l left bottom] [-s width height] [-S width]
[-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=dicname...] [-CO=type...]
[-Rs=sourcename] [-Sm=mode] [-M=type2] [-Hd= position:format]
[-Hfheaderfont] [filename...]
```

◇機能

XWD フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。*filename* を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの XWD フォーマットのファイルを指定することができます。

対応するフォーマットは以下の 3 つです。

- ・ビジュアルクラスが `StaticGray` で画素が 1 ビット
- ・ビジュアルクラスが `PseudoColor` で画素が 4 ビットまたは 8 ビット、イメージ形式が `Zpixmap` 形式
- ・ビジュアルクラスが `TrueColor` で画素が 24 ビット、イメージ形式が `Zpixmap` 形式

`xwd2g4` は、*filename* を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された XWD フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション (`-s,-S`) を指定して変換してください。

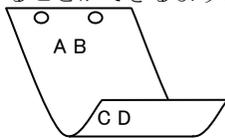
`xwd2g4` は、XWD フォーマットの画素の深さが 1 ビットの場合に、CCITT グループ 4 形式の圧縮された PostScript 言語プログラムを生成します。出力されるプログラムサイズは、`xwd2ps2` に比べて小さくなります。

`xwd2g4` は `xwd2ps2` のハードリンクファイルです。

◇オプション

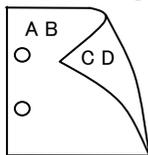
`[-d]`

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



`[-D]`

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[*-Itray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、用紙サイズを指定します。用紙サイズを指定すると、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

SA3	特 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B4	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター用紙がセットされたトレイから給紙します。
TB	タブロイド用紙がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル"14 用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-SA3	特 A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-TB	タブロイド用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル"14 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキがセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-C6	封筒:洋形 2 号がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-Y3	封筒:洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-Y4	封筒:洋形 4 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-YC3	封筒:長洋形 3 号がセットされた手差しトレイから給紙します。 (DocuPrint C625PS/C626PS 用)
MSI-MxNmm	M×Nmm の不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第一位まで有効)。
MSI-MxNin	M×Nインチの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の実数です(小数点第二位まで有効)。
MSI-MxNpt	M×Nポイントの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。M(幅)、N(高さ)は正の整数です。

このオプションを指定しない場合、プリンタに設定されているデフォルト用紙サイズ(A 4、レター)で出力されます。

指定した用紙がトレイに無い場合は、トレイに用紙の補充を求められます。

不定形用紙の指定は MSI-180x250.2mm の様に指定します。

プリンタが使用できない不定形用紙サイズを指定した場合エラーとなります。

不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90~330.2、高さ 139.7~457.2、インチ単位指定の場合、幅 3.54~13、高さ 5.5~18、ポイント指定の場合、幅

255~936、高さ 396~1296 の範囲で指定して下さい。(lin=72pt)

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd フェースダウントレイへ排紙します。

fu フェースアップトレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合、フェースダウントレイに排紙されます。

但し、出力できない用紙の場合は、エラーとなります。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います(copies は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときを使用します。

[-l left bottom]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom とともに 0.25 インチです。

[-s width height]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[-S width]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-CM=mode]

カラーモデルを選択します。次のカラーモデルが指定できます。

Gray グレースケール(白黒)

CMYK シアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)の 4 色

このオプションを指定しない場合は、CMYK が選択されます。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

3 非常に明るい

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

-3 非常に暗い

このオプションを指定しない場合は、0(標準)が選択されます。

[-CRD=*dicname*...]

カラーレンダリング辞書を選択します。次のカラーレンダリング辞書が指定できます。

Color Laser Wind 3320PS の場合

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PT	photographic-text	テキスト文書用連続調辞書
BT	business-text	テキスト文書用ビジネスグラフィック辞書
OT	ohp-text	テキスト文書用 OHP/OHT 辞書
PG	photographic-graphic	図・表・グラフ用連続調辞書
BG	business-graphic	図・表・グラフ用ビジネスグラフィック辞書
OG	ohp-graphic	図・表・グラフ用 OHP/OHT 辞書
PI	photographic-image	写真用連続調辞書
BI	business-image	写真用ビジネスグラフィック辞書
OI	ohp-image	写真用 OHP/OHT 辞書

このオプションを指定しない場合は、テキストは PT、図・表・グラフは PG、写真は PI が選択されます。

Color Laser Wind 3320PS では、オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。但し、OHP を指定する場合は必ず、テキスト、図・表・グラフ、写真を全て OHP で指定して下さい。また、用紙サイズは手差し A4 またはレター、出力トレイはフェースアップトレイ、用紙種別は OHP シートを指定して下さい。

-CRD=PT,BG,BI

-CRD=photographic-graphic,business-text

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

-CRD=PT,photographic-image,business-text,business-graphic,PG

DocuPrint C625PS/C626PS の場合

PHO	連続調辞書
PRE	ビジネスグラフィック辞書
ABS	絶対カラーメトリック辞書
REL	相対カラーメトリック辞書

このオプションを指定しない場合は、PRE が選択されます。

[-CO=*type*...]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

(Color Laser Wind 3320PS 専用のオプションです)

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

DT	detail-text	解像度を優先するテキスト文書
ST	smooth-text	階調を優先するテキスト文書
DG	detail-graphic	解像度を優先する図・表・グラフ
SG	smooth-graphic	階調を優先する図・表・グラフ
DI	detail-image	解像度を優先する写真
SI	smooth-image	階調を優先する写真

このオプションを指定しない場合は、テキストは DT、図・表・グラフは SG、写真は SI が選択されます。

オプションはカンマで区切ることにより、テキスト、図・表・グラフ、写真の設定を同時に行うことが可能です。各値を指定する順番は問いません。

-CO=DT,SG,DI

-CO=detail-graphic,smooth-text

なお、同一種別のオプションを複数指定した場合、有効になるのは最後に指定されたオプションのみです。(下の例の場合、下線部の指定が有効)

-CO=DT,detail-image,smooth-text,detail-graphic,SG

[-Rs=sourcename]

使用する RGB ソースを指定します。RGB データのソース色空間定義を指定します。このソース色空間を基点にして、RGB データがプリンタの CMYK 色空間にマッピングされます。

次の RGB ソースが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

ER	efirgb	EFIRGB(Color Laser Wind 3320PSに出力するためのカラーデータ変換に最適な RGB ソース色空間)
SR	srgb	sRGB(PC)(Windows 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
AP	apple	Apple 標準(MacOS 対応モニタ用の RGB ソース色空間定義)
OF	off	オフ(マッピングを行いません)

このオプションを指定しない場合は、sRGB(PC)が選択されます。

[-Sm=model]

CMYK シミュレーションを指定します。オフセット印刷標準をシミュレートするように、CMYK カラーデータ値を調整します。

次の CMYK シミュレーションが指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

SW	swop	SWOP-corted(米国の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
DI	dic	DIC(大日本インキ化学工業株式会社の印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
EU	euroscale	Euroscale(ヨーロッパの印刷標準に対応したシミュレーションを適用)
OF	off	オフ(CMYK カラーデータに対して、シミュレーションは行われません)

このオプションを指定しない場合は、オフが選択されます。

[-M=type]

使用する用紙種別を指定します。次の用紙種別が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
OH	ohp	OHP シート
LB	label	ラベル
CV	cover	厚紙・封筒 (DocuPrint C625PS/C626PS では厚紙のみです)

(以下のパラメータは DocuPrint C625PS/C626PS 専用です)

PD	pldup	普通紙裏面
CD	covdup	厚紙裏面
GL	glossy	専用光沢紙
GD	glsdup	専用光沢紙裏面
CT	coated	コート紙
TD	cotdup	コート紙裏面
CS	cdstock	ハガキ
SD	cdsdup	ハガキ裏面
EV	envelope	封筒

このオプションを指定しない場合は、普通紙が選択されます。

[*-Hd=position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。省略した場合は **uh** がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を **tuh** と指定した場合は次のように出力します。

2003/02/01 Fri 01:23:45 JST User:username Host:hostname

指定は次のように行います。

右上にユーザ名、ホスト名の順番で出力する場合。

(ユーザ名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur または、

-Hd=ur:uh

- 注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は **xwd2g4** で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行います。

[*-Hfheaderfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは **Helvetica** が選択されます。

- 補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。
- 参照 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇ 使用例

SunOS 4.x の/Linux 場合

XWD イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2g4 file1.xwd | lp
```

◆ 注記

- ▶ -s と -S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- ▶ 出力サイズオプション (-s、-S) が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 普通用紙を指定する場合で、用紙サイズに手差し A5、ハガキ、洋形 2 号を指定する場合は必ず出カトレイにフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ OHP シートを指定する場合は、必ず用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。また、CRD には全て OHP を指定して下さい。
- ▶ ラベルを指定する場合は、用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 厚紙・封筒を指定する場合は、用紙サイズは手差し用紙、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90～330.2、高さ 139.7～457.2、インチ単位指定の場合、幅 3.54～13、高さ 5.5～18、ポイント指定の場合、幅 255～936、高さ 396～1296 の範囲で指定して下さい。(1in=72pt)
- ▶ 印刷位置指定オプション(-l left bottom)で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.12 fxpif (Sun/Solaris/Linux)

3.12.1 DC1250 の場合

◇形式

SunOS 4.x/Linux の場合

```
/usr/lib/fxps1250/fxpif -w width -l length -i indent -n login -h host accountfile
```

Solaris の場合

```
/usr/local/fxbin1250/fxpif [-d | -D] [-MSI] [-MSI-CF] [-Itray_input]
[-Otray_output] [-t] [-E] [-Nc=copies] [-Cl] [-ps]
[-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-CS] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=targed] [-Td=type]
[-JN] [-JU=username] accountfile
```

◇機能

fxpif フィルターは、入力データの先頭 2 文字が「%!」以外の場合、用紙サイズに合わせた範囲内で出力するような PostScript 言語プログラムに変換します。入力データの先頭 2 文字が「%!」の場合は、PostScript 言語プログラムと判断してデータの変換は行いません。入力データの変換に関しては、次の制御コードを解釈します。

LF	改行
FF	改ページ
TAB	8 けたタブストップ
BS	1 文字戻る

fxpif は euc2ps2 のハードリンクファイルです。

SunOS 4.x/Linux の場合

SunOS 4.x/Linux の場合は、`/etc/printcap` で指定する if フィルターとして、fxpif フィルターを使用します。lpd デーモンは、次のコマンドオプションを指定して fxpif フィルターを起動します。

```
fxpif -w width -l length -i indent -n login -h host accountfile
```

-w *width*

プリンタの 1 行当たりのけた数を *width* けたとします。lpd は、`/etc/printcap` の pw エントリー値を引数にして if フィルターを起動します。しかし、fxpif フィルターは、用紙サイズから自動的に 1 行当たりのけた数を計算します。このため、`/etc/printcap` の pw エントリー値を無視します。

-l *length*

プリンタの 1 ページ当たりの行数を *length* 行とします。lpd は、`/etc/printcap` の pl エントリー値を引数にして if フィルターを起動します。しかし、fxpif フィルターは、用紙サイズから自動的に行数を計算します。このため、`/etc/printcap` の pl エントリー値を無視します。

-i *indent*

水平タブを *indent* けたの空白 (スペース) に展開します。lpd は、lpr 指定時の値を引数にして fxpif フィルターを起動します。

-n *login*

プリントを要求したログインユーザー名を指定します。lpd は、自動的にログインユーザー名を調べ、引数にして fxpif フィルターを起動します。

-h *host*

プリントを要求したホスト名を指定します。lpd は、自動的にホスト名を調べ、引数にして fxpif フィルターを起動します。

accountfile

アカウント出力ファイル名を指定します。lpd は、`/etc/printcap` の `af` エントリー値を引数にして `fxpif` フィルターを起動します。

`.fxpsdefault1250` ファイルで、`euc2ps2` で使用することのできるオプションを指定することができます。このオプションを使用すると、さらに細かく制御することができます。ただし、入力データの先頭 2 文字が「%!」の場合には、`euc2ps2` のオプションのうち、次のものだけが有効です。

参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.5 euc2ps2」を参照してください。

[-d]

短辺とじで両面印刷を行います。

[-D]

長辺とじで両面印刷を行います。

[-MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。

[-MSI-CF]

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-CI]

部単位での印刷を選択します。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=mode]

印刷モードを選択します。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。

[-CS]

カラー分解を指定します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。

[-M=type]

手差し用紙種別を選択します。

[-Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。

[-Pt=target]

印刷目的を指定します。

[-Td=type]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。

[-ps]

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

[-JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[-JU=username]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、username で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

- 補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

Solaris の場合

fxpif フィルターは、lpfilter コマンドによりシステムへ登録して使用します。登録すると、lp コマンドで給紙トレイ、排紙トレイ、両面印刷の指定を行うことができます。登録には、lpfilter コマンドを使用します。このとき、fxpif フィルターと一緒に提供される fd ファイルを引数に指定します。

トレイ 2 から給紙し、とじ印刷で両面に印刷し、フェースダウンドレイから排紙する場合、次のようにします。

```
lp -y tray2 -y face-down -y DuplexBook filename
```

この場合、fxpif フィルターを次のオプションを指定して起動します。

```
fxpif -I2 -Ofu -D
```

- 参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.18 posteuc1250.fd」以降の fd ファイルの説明を参照してください。

- 補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇ファイル

\$HOME/.fxpsdefault1250

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.fxpsdefault1250

デフォルトコマンドオプション設定ファイル

/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.userhomedir

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル (Linux のみ)

◆ 注記

- ▶ fxpif フィルターでは、/etc/printcap の pw と pl エントリは無視されます。このため、pw と pl エントリを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。
- ▶ 用紙指定等のオプションの追加された PostScript ファイルに対して、同様のオプションが指定される場合、そのオプションは無視されます。
- ▶ -ps オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。
- ▶ Linux ではユーザーごとにデフォルトコマンドオプション設定ファイル (**\$HOME/.fxpsdefault1250**)を使用するためにはユーザーのホームディレクトリを示した設定ファイルが必要です。

3.12.2 DP2220 の場合

◇形式

SunOS 4.x/Linux の場合

```
/usr/lib/fxps2220/fixpif -w width -l length -i indent -n login -h host accountfile
```

Solaris の場合

```
/usr/local/fixbin2220/fixpif [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-t] [-E] [-Nc=copies] [-Cl] [-ps]
[-CM=model] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE]
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-JN] [-JU=username] accountfile
```

◇機能

fixpif フィルターは、入力データの先頭 2 文字が「%!」以外の場合、用紙サイズに合わせた範囲内で出力するような PostScript 言語プログラムに変換します。入力データの先頭 2 文字が「%!」の場合は、PostScript 言語プログラムと判断してデータの変換は行いません。入力データの変換に関しては、次の制御コードを解釈します。

LF	改行
FF	改ページ
TAB	8 けたタブストップ
BS	1 文字戻る

fixpif は euc2ps2 のハードリンクファイルです。

SunOS 4.x/Linux の場合

SunOS 4.x/Linux の場合は、`/etc/printcap` で指定する if フィルターとして、fixpif フィルターを使用します。lpd デーモンは、次のコマンドオプションを指定して fixpif フィルターを起動します。

```
fixpif -w width -l length -i indent -n login -h host accountfile
```

-w width

プリンタの 1 行当たりのけた数を width けたとします。lpd は、`/etc/printcap` の pw エントリー値を引数にして if フィルターを起動します。しかし、fixpif フィルターは、用紙サイズから自動的に 1 行当たりのけた数を計算します。このため、`/etc/printcap` の pw エントリー値を無視します。

-l length

プリンタの 1 ページ当たりの行数を length 行とします。lpd は、`/etc/printcap` の pl エントリー値を引数にして if フィルターを起動します。しかし、fixpif フィルターは、用紙サイズから自動的に行数を計算します。このため、`/etc/printcap` の pl エントリー値を無視します。

-i indent

水平タブを indent けたの空白 (スペース) に展開します。lpd は、lpr 指定時の値を引数にして fixpif フィルターを起動します。

-n login

プリントを要求したログインユーザー名を指定します。lpd は、自動的にログインユーザー名を調べ、引数にして fixpif フィルターを起動します。

-h host

プリントを要求したホスト名を指定します。lpd は、自動的にホスト名を調べ、引数にして fixpif フィルターを起動します。

accountfile

アカウント出力ファイル名を指定します。lpd は、`/etc/printcap` の af エントリー値を引数にして fixpif フィルターを起動します。

.fxpsdefault2220 ファイルで、euc2ps2 で使用することのできるオプションを指定することができます。このオプションを使用すると、さらに細かく制御することができます。ただし、入力データの先頭 2 文字が「%!」の場合には、euc2ps2 のオプションのうち、次のものだけが有効です。

参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.5 euc2ps2」を参照してください。

[-d]

短辺とじで両面印刷を行います。

[-D]

長辺とじで両面印刷を行います。

[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-CI]

部単位での印刷を選択します。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=mode]

印刷モードを選択します。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。

[-M=type]

手差し用紙種別を選択します。

[-Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。

[-Pt=target]

印刷目的を指定します。

[-Td=type]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。

[-ps]

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

[-JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[-JU=username]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、**username** で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。**username** を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

Solaris の場合

fxpif フィルターは、lpfilter コマンドによりシステムへ登録して使用します。登録すると、lp コマンドで給紙トレイ、排紙トレイ、両面印刷の指定を行うことができます。登録には、lpfilter コマンドを使用します。このとき、fxpif フィルターと一緒に提供される fd ファイルを引数に指定します。

トレイ 2 から給紙し、とじ印刷で両面に印刷し、フェースダウントレイから排紙する場合、次のようにします。

```
lp -y tray2 -y face-down -y DuplexBook filename
```

この場合、fxpif フィルターを次のオプションを指定して起動します。

```
fxpif -I2 -Ofu -D
```

参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.18 posteuc1250.fd」以降の fd ファイルの説明を参照してください。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇ファイル

\$HOME/.fxpsdefault2220

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

/usr/lib/fxps2220/UserDefault/.fxpsdefault2220

デフォルトコマンドオプション設定ファイル

/usr/lib/fxps2220/UserDefault/.userhomedir

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル (Linux のみ)

◆ 注記

- ▶ fxpif フィルターでは、/etc/printcap の pw と pl エントリは無視されます。このため、pw と pl エントリを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。
- ▶ 用紙指定等のオプションの追加された PostScript ファイルに対して、同様のオプションが指定される場合、そのオプションは無視されます。
- ▶ -ps オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。
- ▶ Linux ではユーザーごとにデフォルトコマンドオプション設定ファイル (**\$HOME/.fxpsdefault2220**)を使用するためにはユーザーのホームディレクトリを示した設定ファイルが必要です。

3.12.3 DP3530 の場合

◇形式

SunOS 4.x/Linux の場合

```
/usr/lib/fxps3530/fxpif -w width -l length -i indent -n login -h host accountfile
```

Solaris の場合

```
/usr/local/fxbin3530/fxpif [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]  
[-t] [-t2=tonersave] [-E] [-Nc=copies] [-Cl] [-ps]  
[-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection] [-FE]  
[-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pr2=resolution] [-Pt=target]  
[-Td=type] [-JOAU=username] [-ACNA=documentname]  
accountfile
```

◇機能

fxpif フィルターは、入力データの先頭 2 文字が「%!」以外の場合、用紙サイズに合わせた範囲内で出力するような PostScript 言語プログラムに変換します。入力データの先頭 2 文字が「%!」の場合は、PostScript 言語プログラムと判断してデータの変換は行いません。入力データの変換に関しては、次の制御コードを解釈します。

LF	改行
FF	改ページ
TAB	8 けたタブストップ
BS	1 文字戻る

fxpif は euc2ps2 のハードリンクファイルです。

SunOS 4.x/Linux の場合

SunOS 4.x/Linux の場合は、`/etc/printcap` で指定する if フィルターとして、fxpif フィルターを使用します。lpd デーモンは、次のコマンドオプションを指定して fxpif フィルターを起動します。

```
fxpif -w width -l length -i indent -n login -h host accountfile
```

-w width

プリンタの 1 行当たりのけた数を width けたとします。lpd は、`/etc/printcap` の pw エントリー値を引数にして if フィルターを起動します。しかし、fxpif フィルターは、用紙サイズから自動的に 1 行当たりのけた数を計算します。このため、`/etc/printcap` の pw エントリー値を無視します。

-l length

プリンタの 1 ページ当たりの行数を length 行とします。lpd は、`/etc/printcap` の pl エントリー値を引数にして if フィルターを起動します。しかし、fxpif フィルターは、用紙サイズから自動的に行数を計算します。このため、`/etc/printcap` の pl エントリー値を無視します。

-i indent

水平タブを indent けたの空白 (スペース) に展開します。lpd は、lpr 指定時の値を引数にして fxpif フィルターを起動します。

-n login

プリントを要求したログインユーザー名を指定します。lpd は、自動的にログインユーザー名を調べ、引数にして fxpif フィルターを起動します。

-h host

プリントを要求したホスト名を指定します。lpd は、自動的にホスト名を調べ、引数にして fxpif フィルターを起動します。

accountfile

アカウント出力ファイル名を指定します。lpd は、/etc/printcap の af エントリー値を引数にして *fxpif* フィルターを起動します。

.fxpsdefault3530 ファイルで、*euc2ps2* で使用することのできるオプションを指定することができます。このオプションを使用すると、さらに細かく制御することができます。ただし、入力データの先頭 2 文字が「%!」の場合には、*euc2ps2* のオプションのうち、次のものだけが有効です。

参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.5 *euc2ps2*」を参照してください。

[-d]

短辺とじて両面印刷を行います。

[-D]

長辺とじて両面印刷を行います。

[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-CI]

部単位での印刷を選択します。

[-t]

トナーを節約して印刷します。

-t と -t 2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=tonersave]

トナーを節約して印刷します。

(DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d 用です。)

-t と -t 2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=model]

印刷モードを選択します。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。

[-M=type]

手差し用紙種別を選択します。

[-Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。

[-Pr2=resolution]

印刷解像度を指定します。

(DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuPrint C5450 用です)

-Pr= と -Pr2= の両方を指定した場合、無効となります。

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。

[-ps]

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

[-JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[-ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

Solaris の場合

fxpif フィルターは、`lpfilter` コマンドによりシステムへ登録して使用します。登録すると、`lp` コマンドで給紙トレイ、排紙トレイ、両面印刷の指定を行うことができます。登録には、`lpfilter` コマンドを使用します。このとき、fxpif フィルターと一緒に提供される `fd` ファイルを引数に指定します。

トレイ 2 から給紙し、同じ印刷で両面に印刷し、フェースダウンドレイから排紙する場合、次のようにします。

```
lp -y tray2 -y face-down -y DuplexBook filename
```

この場合、fxpif フィルターを次のオプションを指定して起動します。

```
fxpif -I2 -Ofu -D
```

参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.18 posteuc1250.fd」以降の `fd` ファイルの説明を参照してください。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇ファイル

\$HOME/.fxpsdefault3530

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

/usr/lib/fxps3530/UserDefault/.fxpsdefault3530

デフォルトコマンドオプション設定ファイル

/usr/lib/fxps3530/UserDefault/.userhomedir

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル (Linux のみ)

◆ 注記

- ▶ fxpif フィルターでは、/etc/printcap の pw と pl エントリは無視されます。このため、pw と pl エントリを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。
- ▶ 用紙指定等のオプションの追加された PostScript ファイルに対して、同様のオプションが指定される場合、そのオプションは無視されます。
- ▶ -ps オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。
- ▶ Linux ではユーザーごとにデフォルトコマンドオプション設定ファイル (`$HOME/.fxpsdefault3530`)を使用するためにはユーザーのホームディレクトリを示した設定ファイルが必要です。

3.12.4 CLWDCの場合

◇形式

SunOS 4.x/Linux の場合

```
/usr/lib/fxps3320/fxpif -w width -l length -i indent -n login -h host accountfile
```

Solaris の場合

```
/usr/local/fxbin3320/fxpif [-d | -D] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-Nc=copies] [-Cl] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=dicname...]
[-CO=type...] [-Rs=sourcename] [-Sm=model] [-M=type2] [-ps] accountfile
```

◇機能

fxpif フィルターは、入力データの先頭 2 文字が「%!」以外の場合、用紙サイズに合わせた範囲内で出力するような PostScript 言語プログラムに変換します。入力データの先頭 2 文字が「%!」の場合は、PostScript 言語プログラムと判断してデータの変換は行いません。入力データの変換に関しては、次の制御コードを解釈します。

LF	改行
FF	改ページ
TAB	8 けたタブストップ
BS	1 文字戻る

fxpif は euc2ps2 のハードリンクファイルです。

SunOS 4.x/Linux の場合

SunOS4.x/Linux の場合は、`/etc/printcap` で指定する if フィルターとして、fxpif フィルターを使用します。lpd デーモンは、次のコマンドオプションを指定して fxpif フィルターを起動します。

```
fxpif -w width -l length -i indent -n login -h host
accountfile
```

-w width

プリンタの 1 行当たりのけた数を width けたとします。lpd は、`/etc/printcap` の pw エントリー値を引数にして if フィルターを起動します。しかし、fxpif フィルターは、用紙サイズから自動的に 1 行当たりのけた数を計算します。このため、`/etc/printcap` の pw エントリー値を無視します。

-l length

プリンタの 1 ページ当たりの行数を length 行とします。lpd は、`/etc/printcap` の pl エントリー値を引数にして if フィルターを起動します。しかし、fxpif フィルターは、用紙サイズから自動的に行数を計算します。このため、`/etc/printcap` の pl エントリー値を無視します。

-i indent

水平タブを indent けたの空白 (スペース) に展開します。lpd は、lpr 指定時の値を引数にして fxpif フィルターを起動します。

-n login

プリントを要求したログインユーザー名を指定します。lpd は、自動的にログインユーザー名を調べ、引数にして fxpif フィルターを起動します。

-h host

プリントを要求したホスト名を指定します。lpd は、自動的にホスト名を調べ、引数にして fxpif フィルターを起動します。

[accountfile]

アカウント出力ファイル名を指定します。lpd は、`/etc/printcap` の af エントリー値を引数にして fxpif フィルターを起動します。

.fxpsdefault3320 ファイルで、euc2ps2 で使用することのできるオプションを指定することができます。このオプションを使用すると、さらに細かく制御することができます。ただし、入力データの先頭 2 文字が「%!」の場合には、euc2ps2 のオプションのうち、次のものだけが有効です。(但し、-ps オプションのみ入力データの先頭 2 文字が「%!」で無い場合に有効です。)

参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.5 euc2ps2」を参照してください。

[-d]

短辺とじで両面印刷を行います。

[-D]

長辺とじで両面印刷を行います。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います(copies は正の整数です)。

[-CI]

部単位での印刷を選択します。

[-CM=model]

カラーモデルを選択します。

[-Br=brightness]

明るさを指定します。

[-CRD=dicname...]

カラーレンダリング辞書を選択します。

[-CO=type...]

ハーフトーンを選択します。

[-Rs=sourcename]

RGB ソースを指定します。

[-Sm=model]

CMYK シミュレーションを指定します。

[-M=type2]

使用する用紙種別を指定します。

[-ps]

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

Solaris の場合

fxpif フィルターは、lpfilter コマンドによりシステムへ登録して使用します。登録すると、lp コマンドで給紙トレイ、排紙トレイ、両面印刷の指定を行うことができます。登録には、lpfilter コマンドを使用します。このとき、fxpif フィルターと一緒に提供される fd ファイルを引数に指定します。なお、登録はインストール時に自動で行います。

B4 用紙を給紙し、フェースアップトレイから排紙する場合、次のようにします。

```
lp -y b4 -y face-up filename
```

この場合、fxpif フィルターを次のオプションを指定して起動します。

```
fxpif -IB4 -Ofu
```

- 参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.18 posteuc1250.fd」以降の fd ファイルの説明を参照してください。
- 補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇ファイル

`$HOME/.fxpsdefault3320`

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

`/usr/lib/fxps3320/UserDefault/.fxpsdefault3320`

デフォルトコマンドオプション設定ファイル

`/usr/lib/fxps3320/UserDefault/.userhomedir`

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル (Linux のみ)

◆ 注記

- ▶ fxpif フィルターでは、`/etc/printcap` の `pw` と `pl` エントリは無視されます。このため、`pw` と `pl` エントリを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。
- ▶ 用紙指定等のオプションの追加された PostScript ファイルに対して、同様のオプションが指定される場合、そのオプションは無視されます。
- ▶ `-ps` オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。
- ▶ 普通用紙を指定する場合で、用紙サイズに手差し A5、ハガキ、洋形 2号を指定する場合は必ず出カトレイにフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ OHPシートを指定する場合は、必ず用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。また、CRD には全て OHP を指定して下さい。
- ▶ ラベルを指定する場合は、用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 厚紙・封筒を指定する場合は、用紙サイズは手差し用紙、出カトレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 不定形用紙のサイズはミリ単位指定の場合、幅 90～330.2、高さ 139.7～457.2、インチ単位指定の場合、幅 3.54～13、高さ 5.5～18、ポイント指定の場合、幅 255～936、高さ 396～1296 の範囲で指定して下さい。(1in=72pt)
- ▶ Linux ではユーザーごとにデフォルトコマンドオプション設定ファイル(`$HOME/.fxpsdefault3320`)を使用するためにはユーザーのホームディレクトリを示した設定ファイルが必要です。

3.13 fxpvf (Sun/Linux)

◇形式

```
/usr/lib/fxps1250/fxpvf -x width -y length -n login -h host accountfile  
/usr/lib/fxps2220/fxpvf -x width -y length -n login -h host accountfile  
/usr/lib/fxps3530/fxpvf -x width -y length -n login -h host accountfile  
/usr/lib/fxps3320/fxpvf -x width -y length -n login -h host accountfile
```

◇機能

fxpvf フィルターは、SunRaster (Sun) および XWD (Linux) ファイルを 72dpi の解像度とみなして、PostScript 言語プログラムに変換します。

fxpvf は sunras2ps2 (Sun)、xwd2ps2 (Linux) のハードリンクファイルです。

SunOS 4.x および Linux の場合は、`/etc/printcap` で指定する `vf` フィルターとして、`fxpvf` フィルターを使用します。

lpd デーモンは、次のコマンドオプションを指定して `fxpvf` フィルターを起動します。

```
fxpvf -x width -y length -n login -h host accountfile
```

-x width

プリンタの x 方向の画素数を `width` とします。lpd は、`/etc/printcap` の `px` エントリー値を引数にして `vf` フィルターを起動します。しかし、`fxpvf` フィルターは、用紙サイズから自動的に x 方向の画素数を計算します。このため、`/etc/printcap` の `px` エントリー値を無視します。

-y length

プリンタの y 方向の画素数を `length` とします。lpd は、`/etc/printcap` の `py` エントリー値を引数にして `vf` フィルターを起動します。しかし、`fxpvf` フィルターは、用紙サイズから自動的に y 方向の画素数を計算します。このため、`/etc/printcap` の `py` エントリー値を無視します。

-n login

プリントを要求したログインユーザー名を指定します。lpd は、自動的にログインユーザー名を調べ、引数にして `fxpvf` フィルターを起動します。

-h host

プリントを要求したホスト名を指定します。lpd は、自動的にホスト名を調べ、引数にして `fxpvf` フィルターを起動します。

accountfile

アカウント出力ファイル名を指定します。lpd は、`/etc/printcap` の `af` エントリー値を引数にして `fxpvf` フィルターを起動します。

`.fxpsdefault1250`、`.fxpsdefault2220`、`.fxpsdefault3530`、`.fxpsdefault3320` ファイルで、`sunras2ps2` (Sun)、`xwd2ps2` (Linux) で使用することのできるオプションを指定することができます。このオプションを使用すると、さらに細かく制御することができます。※明示的に明示的にサイズオプション (`-s`、`-S`) を指定してください。Solaris では、`fxpvf` フィルターを使用しません。

◇ファイル

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

`$HOME/.fxpsdefault1250`

`$HOME/.fxpsdefault2220`

`$HOME/.fxpsdefault3530`

`$HOME/.fxpsdefault3320`

デフォルトコマンドオプション設定ファイル

`/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.fxpsdefault1250`

`/usr/lib/fxps2220/UserDefault/.fxpsdefault2220`

`/usr/lib/fxps2220/UserDefault/.fxpsdefault3530`

`/usr/lib/fxps3320/UserDefault/.fxpsdefault3320`

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル (Linux のみ)

`/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.userhomedir`

`/usr/lib/fxps2220/UserDefault/.userhomedir`

`/usr/lib/fxps3530/UserDefault/.userhomedir`

`/usr/lib/fxps3320/UserDefault/.userhomedir`

◆ 注記

- ▶ fpxvf フィルターでは、`/etc/printcap` の `px` と `py` エントリーは無視されます。このため、`px` と `py` エントリーを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。

3.14 fxpg4f (Sun/Linux)

◇形式

```
/usr/lib/fxps1250/fxpg4f -x width -y length -n login -h host accountfile  
/usr/lib/fxps2220/fxpg4f -x width -y length -n login -h host accountfile  
/usr/lib/fxps3530/fxpg4f -x width -y length -n login -h host accountfile  
/usr/lib/fxps3320/fxpg4f -x width -y length -n login -h host accountfile
```

◇機能

fxpg4f フィルターは、SunRaster (Sun) および XWD (Linux) ファイルを 72dpi の解像度とみなして、PostScript 言語プログラムに変換します。

fxpg4f は sunras2ps2 (Sun)、xwd2ps2 (Linux) のハードリンクファイルです。

SunOS 4.x および Linux の場合は、`/etc/printcap` で指定する `vf` フィルターとして、`fxpg4f` フィルターを使用します。lpd デーモンは、次のコマンドオプションを指定して `fxpg4f` フィルターを起動します。

```
fxpg4f -x width -y length -n login -h host accountfile
```

-x width

プリンタの x 方向の画素数を `width` とします。lpd は、`/etc/printcap` の `px` エントリー値を引数にして `vf` フィルターを起動します。しかし、`fxpg4f` フィルターは、用紙サイズから自動的に x 方向の画素数を計算します。このため、`/etc/printcap` の `px` エントリー値を無視します。

-y length

プリンタの y 方向の画素数を `length` とします。lpd は、`/etc/printcap` の `py` エントリー値を引数にして `vf` フィルターを起動します。しかし、`fxpg4f` フィルターは、用紙サイズから自動的に y 方向の画素数を計算します。このため、`/etc/printcap` の `py` エントリー値を無視します。

-n login

プリントを要求したログインユーザー名を指定します。lpd は、自動的にログインユーザー名を調べ、引数にして `fxpg4f` フィルターを起動します。

-h host

プリントを要求したホスト名を指定します。lpd は、自動的にホスト名を調べ、引数にして `fxpg4f` フィルターを起動します。

accountfile

アカウント出力ファイル名を指定します。lpd は、`/etc/printcap` の `af` エントリー値を引数にして `fxpg4f` フィルターを起動します。

`.fxpsdefault1250`、`.fxpsdefault2220`、`.fxpsdefault3530`、`.fxpsdefault3320` ファイルで、`sunras2ps2` (Sun)、`xwd2ps2` (Linux) で使用することのできるオプションを指定することができます。このオプションを使用すると、さらに細かく制御することができます。※明示的に明示的にサイズオプション (`-s`、`S`) を指定してください。Solaris では、`fxpg4f` フィルターを使用しません。

◇ファイル

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

`$HOME/.fxpsdefault1250`

`$HOME/.fxpsdefault2220`

`$HOME/.fxpsdefault3530`

`$HOME/.fxpsdefault3320`

デフォルトコマンドオプション設定ファイル

`/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.fxpsdefault1250`

`/usr/lib/fxps2220/UserDefault/.fxpsdefault2220`

`/usr/lib/fxps3530/UserDefault/.fxpsdefault3530`

`/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.fxpsdefault3320`

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル (Linux のみ)

`/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.userhomedir`

`/usr/lib/fxps2220/UserDefault/.userhomedir`

`/usr/lib/fxps3530/UserDefault/.userhomedir`

`/usr/lib/fxps3320/UserDefault/.userhomedir`

◆ 注記

- ▶ fpxg4f フィルターでは、`/etc/printcap` の `px` と `py` エントリーは無視されます。このため、`px` と `py` エントリーを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。

3.15 fxpof (Sun/Linux)

◇形式

```
/usr/lib/fxps1250/fxpof -w width -l length  
/usr/lib/fxps2220/fxpof -w width -l length  
/usr/lib/fxps3530/fxpof -w width -l length
```

◇機能

fxpof フィルターは、バナーシートを出力するときに使用します。

SunOS 4.x および Linux の場合は、`/etc/printcap` の `of` エントリーで指定する `of` フィルターとして、`fxpof` フィルターを使用します。`lpd` デーモンは、次のコマンドオプションを指定して `fxpof` フィルターを起動します。

```
fxpof -w width -l length
```

-w width

プリンタの 1 行当たりのけた数を `width` けたとします。

`lpd` は、`/etc/printcap` の `pw` エントリー値を引数にして `of` フィルターを起動します。しかし、`fxpof` フィルターは、用紙サイズから自動的に 1 行当たりのけた数を計算します。このため、`/etc/printcap` の `pw` エントリー値を無視します。

-l length

プリンタの 1 ページ当たりの行数を `length` 行とします。

`lpd` は、`/etc/printcap` の `pl` エントリー値を引数にして `of` フィルターを起動します。しかし、`fxpof` フィルターは、用紙サイズから自動的に行数を計算します。このため、`/etc/printcap` の `pl` エントリー値を無視します。

`.fxpsdefault1250`、`.fxpsdefault2220`、`.fxpsdefault3530` ファイルで次のオプションを指定することができます。

```
[-Itray_input]      給紙トレイを指定します。  
[-Otray_output]   排紙トレイを指定します。
```

Solaris の場合は、`fxpof` フィルターを使用しません。

Color Laser Wind 3320PS/DocuPrint C625PS/C626PS 用の `fxpof` フィルターはありません。

◇ファイル

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

`$HOME/.fxpsdefault1250`

`$HOME/.fxpsdefault2220`

`$HOME/.fxpsdefault3530`

デフォルトコマンドオプション設定ファイル

`/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.fxpsdefault1250`

`/usr/lib/fxps2220/UserDefault/.fxpsdefault2220`

`/usr/lib/fxps3530/UserDefault/.fxpsdefault3530`

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル (Linux のみ)

`/usr/lib/fxps1250/UserDefault.userhomedir`

`/usr/lib/fxps2220/UserDefault.userhomedir`

`/usr/lib/fxps3530/UserDefault.userhomedir`

◆ 注記

- ▶ fxpof フィルターでは、`/etc/printcap` の `px` と `py` エントリーは無視されます。このため、`px` と `py` エントリーを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。

3.16 fxoption (Sun/Linux)

3.16.1 DC1250 の場合

◇形式

```
/usr/local/fxbin1250/fxoption [-d | -D] [-MSI] [-MSI-CF] [-Itray_input]
[-Otray_output] [-Nc=copies] [-CI] [-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness]
[-CRD=collection] [-CS] [-FE] [-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target]
[-Td=type] [-ps] [-G4] [-JN] [-JU=username] [-Hd= position:format:page]
[-Hfheaderfont]
```

◇機能

SunOS 4.x および Linux の場合は、fxpif または fxpvf、fxpg4f、fxpof フィルターを指定されたプリンタ名のスーパーフィルターとして使用しているときに、fxoption コマンドを使用することができます。fxoption コマンドを使用すると、\$HOME/.fxpsdefault1250 ファイルのオプションを変更して、給紙トレイ/排紙トレイ/両面印刷の指定を行うことができます。

Solaris では、fxoption コマンドは使用しません。

◇オプション

参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.12 fxpif」「3.13 fxpvf」を参照してください。

[-d]

短辺とじで両面印刷を行います。

[-D]

長辺とじで両面印刷を行います。

[-MSI]

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。

[-MSI-CF]

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-CI]

部単位での印刷を選択します。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=mode]

カラーモードを選択します。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。

[-CS]

カラー分解を指定します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。

[-ps]

fxpif 用のオプションで、入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

[-G4]

fxpvf 用のオプションで G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで fxpg4f と同様の動作をします。

[-Hd=*position:format:page*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

[-Hf=*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。

[-JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。(fxpof には使用できません。)

[-JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、*username* で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。(fxpof には使用できません。)

注記 ▶ XJCL ヘッダが付加されるため、出力されるデータが PostScript ではなくなります。他のサーバー経由で出力される場合はご注意ください。

注記 ▶ XJCL に対応していないプリンタには使用できません。また、プリンタ本体の設定で JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

◇使用例

A4 用紙がセットされたトレイから給紙し、短辺とじ印刷で両面に印刷するよう指定し、デフォルトのプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% fxoption -d -IA4
```

```
% lpr filename
```

◇ファイル

\$HOME/.fxpsdefault1250

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.userhomedir

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル (Linux のみ)

◆ 注記

- ▶ 指定されたプリンタに対するユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル (\$HOME/.fxpsdefault1250) が存在しない場合は、デフォルトコマンドオプションファイルが自動的に作成されます。
- ▶ 環境変数 HOME が設定されていない場合、fxoption コマンドは \$HOME/.fxpsdefault1250 ファイルを作成、更新しません。fxoption コマンドを使用する場合は、環境変数 HOME にユーザーのホームディレクトリを設定してください。
- ▶ Linux ではユーザーごとにデフォルトコマンドオプション設定ファイル (\$HOME/.fxpsdefault1250) を使用するためにはユーザーのホームディレクトリを示した設定ファイルが必要です。
- ▶ プリント待ちのジョブが存在する場合は、fxoption コマンドは使用できません。プリント待ちのジョブが存在する場合は、プリントジョブがなくなってから fxoption コマンドを実行してください。
- ▶ fxpif_A4 などのフィルター名でオプションが決まるフィルターに対して、fxoption を用いて給紙トレイ/排紙トレイ/両面印刷などの指定を行うことはできません。

3.16.2 DP2220 の場合

◇形式

```
/usr/local/xbbin2220/fxoption [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-Nc=copies] [-Cl] [-t] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness] [-CRD=collection]
[-FE] [-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pt=target] [-Td=type]
[-ps] [-G4] [-JN] [-JU=username] [-Hd= position:format:page] [-Hfheaderfont]
```

◇機能

SunOS 4.x および Linux の場合は、fxpif または fxpvf、fxpg4f、fxpof フィルターを指定されたプリンタ名のスプーラーフィルターとして使用しているときに、fxoption コマンドを使用することができます。fxoption コマンドを使用すると、\$HOME/.fxpsdefault2220 ファイルのオプションを変更して、給紙トレイ/排紙トレイ/両面印刷の指定を行うことができます。

Solaris では、fxoption コマンドは使用しません。

◇オプション

参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.12 fxpif」「3.13 fxpvf」を参照してください。

[-d]

短辺とじで両面印刷を行います。

[-D]

長辺とじで両面印刷を行います。

[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=mode]

カラーモードを選択します。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。

[-M=type]

手差し用紙種別を選択します。

[-Pr=resolution]

印刷解像度を指定します。

[-Pt=target]

印刷目的を指定します。

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。

[-ps]

fxpif 用のオプションで、入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

[-G4]

fxpvf 用のオプションで G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで fxpg4f と同様の動作をします。

[-Hd=*position:format:page*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

[-Hf*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。

[-JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。(fxpof には使用できません。)

[-JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、username で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。(fxpof には使用できません。) nknownUser で記録されます。(fxpof には使用できません。)

注記 ▶ XJCL ヘッダが付加されるため、出力されるデータが PostScript ではなくなります。他のサーバー経由で出力される場合はご注意ください。

注記 ▶ XJCL に対応していないプリンタには使用できません。また、プリンタ本体の設定で JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

◇使用例

A4 用紙がセットされたトレイから給紙し、短辺とじ印刷で両面に印刷するよう指定し、デフォルトのプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% fxoption -d -IA4  
% lpr filename
```

◇ファイル

\$HOME/.fxpsdefault2220

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

/usr/lib/fxps2220/UserDefault/userhomedir

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル (Linux のみ)

◆ 注記

- ▶ 指定されたプリンタに対するユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル (\$HOME/.fxpsdefault2220) が存在しない場合は、デフォルトコマンドオプションファイルが自動的に作成されます。
- ▶ 環境変数 HOME が設定されていない場合、fxoption コマンドは \$HOME/.fxpsdefault2220 ファイルを作成、更新しません。fxoption コマンドを使用する場合は、環境変数 HOME にユーザーのホームディレクトリを設定してください。
- ▶ Linux ではユーザーごとにデフォルトコマンドオプション設定ファイル (\$HOME/.fxpsdefault2220) を使用するためにはユーザーのホームディレクトリを示した設定ファイルが必要です。
- ▶ プリント待ちのジョブが存在する場合は、fxoption コマンドは使用できません。プリント待ちのジョブが存在する場合は、プリントジョブがなくなってから fxoption コマンドを実行してください。
- ▶ fxpif_A4 などのフィルター名でオプションが決まるフィルターに対して、fxoption を用いて給紙トレイ/排紙トレイ/両面印刷などの指定を行うことはできません。

3.16.3 DP3530 の場合

◇形式

```
/usr/local/fixbin3530/fixoption [-d | -D] [-MSI] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-Nc=copies] [-CI] [-t] [-t2=tonersave] [-E] [-CM=mode] [-Br=brightness]
[-CRD=collection] [-FE] [-Jo=type] [-M=type] [-Pr=resolution] [-Pr2=resolution]
[-Pt=target] [-Td=type] [-ps] [-G4] [-JOAU=username] [-ACNA=documentname]
[-Hd= position:format:page] [-Hfheaderfont]
```

◇機能

SunOS 4.x および Linux の場合は、fxpif または fxpvf、fxpg4f、fxpof フィルターを指定されたプリンタ名のスーパーフィルターとして使用しているときに、fixoption コマンドを使用することができます。fixoption コマンドを使用すると、\$HOME/.fxpsdefault3530 ファイルのオプションを変更して、給紙トレイ/排紙トレイ/両面印刷の指定を行うことができます。

Solaris の場合は、fixoption コマンドは使用しません。

◇オプション

参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.12 fxpif」「3.13 fxpvf」を参照してください。

[-d]

短辺とじで両面印刷を行います。

[-D]

長辺とじで両面印刷を行います。

[-MSI]

手差しトレイからの給紙を指定します。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います (*copies* は正の整数です)。

[-CI]

部単位での印刷を選択します。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

-t と -t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=tonersave]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

(DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d 用です。)

-t と -t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-CM=mode]

カラーモードを選択します。

[-Br=brightness]

RGB 明るさ補正を選択します。

[-CRD=collection]

RGB 色補正の色合いを選択します。

[-FE]

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

[-Jo=type]

オフセット排出を選択します。

[-M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。

[-Pr=*resolution*]

印刷解像度を指定します。

[-Pr2=*resolution*]

印刷解像度を指定します。

(DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuPrint C5450 用です)

-Pr= と -Pr2= の両方を指定した場合、無効となります。

[-Pt=*target*]

印刷目的を指定します。

[-Td=*type*]

OHP 用合紙の給紙先を選択します。

[-ps]

fxpif 用のオプションで、入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

[-G4]

fxpvf 用のオプションで G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで fxpg4f と同様の動作をします。

[-Hd=*position:format:page*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

[-Hf=*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。

[-JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。(fxpof には使用できません。)

[-ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。(fxpof には使用できません。)

◇使用例

A4 用紙がセットされたトレイから給紙し、短辺とじ印刷で両面に印刷するよう指定し、デフォルトのプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% fxoption -d -IA4
% lpr filename
```

◇ファイル

\$HOME/.fxpsdefault3530

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

/usr/lib/fxps3530/UserDefault/.userhomedir

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル (Linux のみ)

◆ 注記

- ▶ 指定されたプリンタに対するユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル (\$HOME/.fxpsdefault3530) が存在しない場合は、デフォルトコマンドオプションファイルが自動的に作成されます。
- ▶ 環境変数 HOME が設定されていない場合、fxoption コマンドは \$HOME/.fxpsdefault3530 ファイルを作成、更新しません。fxoption コマンドを使用する場合は、環境変数 HOME にユーザーのホームディレクトリを設定してください。
- ▶ Linux ではユーザーごとにデフォルトコマンドオプション設定ファイル (\$HOME/.fxpsdefault3530) を使用するためにはユーザーのホームディレクトリを示した設定ファイルが必要です。
- ▶ プリント待ちのジョブが存在する場合は、fxoption コマンドは使用できません。プリント待ちのジョブが存在する場合は、プリントジョブがなくなってから fxoption コマンドを実行してください。
- ▶ fxpif_A4 などのフィルター名でオプションが決まるフィルターに対して、fxoption を用いて給紙トレイ/排紙トレイ/両面印刷などの指定を行うことはできません。

3.16.4 CLWDCの場合

◇形式

```
/usr/local/xb320/fxoption [-d | -D] [-Itray_input] [-Otray_output]
[-Nc=copies] [-Cl] [-CM=model] [-Br=brightness] [-CRD=dicname...]
[-CO=type...] [-Rs=sourcename] [-Sm=model] [-M=type2] [-ps] [-G4]
[-Hd= position:format:page] [-Hfheaderfont]
```

◇機能

SunOS 4.x および Linux の場合は、fxpif または fxpvf、fxpg4f フィルターを指定されたプリンタ名のスプーラーフィルターとして使用しているときに、fxoption コマンドを使用することができます。fxoption コマンドを使用すると、\$HOME/.fxpsdefault3320 ファイルのオプションを変更して、給紙トレイ/排紙トレイ/両面印刷の指定を行うことができます。

Solaris の場合は、fxoption コマンドを使用しません。

◇オプション

参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.12 fxpif」「3.13 fxpvf」を参照してください。

[-d]

短辺とじて両面印刷を行います。

[-D]

長辺とじて両面印刷を行います。

[-Itray_input]

給紙トレイを指定します。

[-Otray_output]

排紙トレイを指定します。

[-Nc=copies]

出力部数の指定を行います(copies は正の整数です)。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-CM=model]

カラーモデルを選択します。

[-Br=brightness]

明るさを指定します。

[-CRD=dicname...]

カラーレンダリング辞書を選択します。

[-CO=type...]

ハーフトーンを選択します。

[-Rs=sourcename]

RGB ソースを指定します。

[-Sm=model]

CMYK シミュレーションを指定します。

[-M=type2]

使用する用紙種別を指定します。

[-ps]

fxpif 用のオプションで、入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

[-G4]

fxpvmf 用のオプションで G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで fxpg4f と同様の動作をします。

[-Hd=*position:format:page*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザ情報を指定した個所に出力します。

[-Hf=*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。

◇使用例

A4 用紙がセットされたトレイから給紙し、デフォルトのプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% fxoption -IA4  
% lpr filename
```

◇ファイル

\$HOME/.fxpsdefault3320

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

/usr/lib/fxps3320/UserDefault/.userhomedir

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル (Linux のみ)

◆ 注記

- ▶ 指定されたプリンタに対するユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル (\$HOME/.fxpsdefault3320) が存在しない場合は、デフォルトコマンドオプションファイルが自動的に作成されます。
- ▶ 環境変数 HOME が設定されていない場合、fxoption コマンドは \$HOME/.fxpsdefault3320 ファイルを作成、更新しません。fxoption コマンドを使用する場合は、環境変数 HOME にユーザーのホームディレクトリを設定してください。
- ▶ Linux ではユーザーごとにデフォルトコマンドオプション設定ファイル (**\$HOME/.fxpsdefault3320**)を使用するためにはユーザーのホームディレクトリを示した設定ファイルが必要です。
- ▶ プリント待ちのジョブが存在する場合は、fxoption コマンドは使用できません。プリント待ちのジョブが存在する場合は、プリントジョブがなくなってから fxoption コマンドを実行してください。

3.17 .userhomedir (Linux)

◇形式

```
/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.userhomedir  
/usr/lib/fxps2220/UserDefault/.userhomedir  
/usr/lib/fxps3530/UserDefault/.userhomedir  
/usr/lib/fxps3320/UserDefault/.userhomedir
```

◇機能

RedHat Linux 7.1およびTurboLinux 7等のLinuxのバージョンでは、fxpif、fxpvf、fxpg4fの処理中に、ユーザーのホームディレクトリを、従来の方式では取得できなくなったため、fxoptionで設定するユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイルを利用する際には、ユーザーホームディレクトリ設定ファイルにホームディレクトリの設定する必要があります。

ユーザーホームディレクトリ設定ファイルは、UNIXフィルターインストール時に、自動的に上書き作成されて設定されます。設定内容はUNIXフィルターインストール時の/etc/passwdファイルに設定されている全ユーザーのユーザー名とそのユーザーのホームディレクトリパスが自動的に設定されます。

ユーザーホームディレクトリ設定ファイルの内容は、
ユーザー名 ホームディレクトリパス
 で構成されています。

[例]

```
usera /home/usera  
userb /home/userb  
userc /home/userc
```

設定の必要無いユーザーや、他のディレクトリを設定したい場合は、エディタ等で内容の削除、修正を行ってください。

UNIX Filterインストール後にユーザーの追加を行った場合は、UNIX Filterの再インストールを行うか、エディタ等で内容の追加を行ってください。

◇ファイル

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

```
$HOME/.fxpsdefault1250  
$HOME/.fxpsdefault2220  
$HOME/.fxpsdefault3530  
$HOME/.fxpsdefault3320
```

デフォルトコマンドオプション設定ファイル

```
/usr/lib/fxps1250/UserDefault/.fxpsdefault1250  
/usr/lib/fxps2220/UserDefault/.fxpsdefault2220  
/usr/lib/fxps3530/UserDefault/.fxpsdefault3530  
/usr/lib/fxps3320/UserDefault/.fxpsdefault3320
```

◆ 注記

- ▶ ユーザーホームディレクトリ設定ファイルにホームディレクトリ設定がされていない場合や、設定したディレクトリにユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイルが無い場合などは、デフォルトコマンドオプション設定ファイルのオプションが有効になります。

3.18 posteuc1250.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/posteuc1250.fd`

◇機能

posteuc1250.fd ファイルは、EUC コードのテキストを PostScript 言語プログラムに変換する euc2ps2 フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルです。lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで、自動的にフィルターを起動することができます。

posteuc1250.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: simple
Output types: postscript
Printer types: DocuPrintC1250,DocuCentreColor500
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/posteuc1250
Options: LENGTH* = -1*
Options: MODES double = -2
Options: MODES font\=(.*) = -f\1
Options: MODES jfont\=(.*) = -jf\1
Options: MODES landscape = -r
Options: MODES gothic = -g
Options: MODES outcolumn\=(.*) = -o\1
Options: MODES outline\=(.*) = -L\1
Options: MODES size\=(.*) = -s\1
Options: MODES margin\=(.*) = -mg\=1
Options: MODES ps = -ps
```

コマンドで定義されている/usr/lib/lp/postscript/posteuc1250 は、シンボリックファイルです。実際には euc2ps2 コマンドが起動されます。

注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、posteuc1250.fd ファイルを使用しません。

◇オプション

lpfilter コマンドを使用して `posteur1250.fd` をプリントシステムに登録します。また、`lp` コマンドで指定することのできるオプションは、次のとおりです。

補足 ▶ `lpadmin` コマンドで指定された `length` と `width` に合わせて印刷されます。

- y double** 2 段組で印刷します。
- y landscape** 出力を 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。
- y gothic** 日本語文字をゴシック体で印刷します。
- y size=*n*** フォントサイズを *n* ポイントとします。
- y outcolumn=*n*** 半角文字に換算して、*n* けた目から文字を印刷します。
- y outline=*n*** *n* 行目から文字を印刷します。
- y font=*font*** 半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。
- y jfont=*jfont*** 日本語を印刷するためのフォントを指定します。ゴシック指定オプションと同時に使用される場合は、後方にあるものが優先されます。また、誤ったフォント名や、プリンタが使用できないフォント名を入力された場合は、デフォルトの欧文フォントが使用されます。

- フォントの指定は、「`-y font=`」および「`-y jfont=`」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

```
% lp -y font=Courier-Oblique filename
```

```
% lp -y jfont=Ryumin-Light-H filename
```

参照 ▶ 使用できるフォントについては、「付録 B 使用できるフォント」または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

- y margin=*u:b:r:l*** ページの余白をインチ単位で指定します。*u* (上余白)、*b* (下余白)、*r* (右余白)、*l* (左余白) は、正の実数 (小数点第二位まで有効) です。デフォルトは 0 です。
- y ps** 入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルか否かに関わらず、その他の `posteur1250.fd` のオプションは無視されます。

◇使用例

2up、ゴシック体、8 ポイント、プリンタ名「`dpc1250`」で印刷する場合、次のように入力します。

```
% lpr -d dpc1250 -y double -y gothic -y size=8 filename
```

3.19 posteuc2220.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/posteuc2220.fd`

◇機能

posteuc2220.fd ファイルは、EUC コードのテキストを PostScript 言語プログラムに変換する euc2ps2 フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルです。lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで、自動的にフィルターを起動することができます。

posteuc2220.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: simple
Output types: postscript
Printer types: DocuPrintC2220,DocuPrintC2221,DocuCentreColor400,DocuCentreC2100
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/posteuc2220
Options: LENGTH* = -1*
Options: MODES double = -2
Options: MODES font\=\(.*\) = -f\1
Options: MODES jfont\=\(.*\) = -jf\1
Options: MODES landscape = -r
Options: MODES gothic = -g
Options: MODES outcolumn\=\(.*\) = -o\1
Options: MODES outline\=\(.*\) = -L\1
Options: MODES size\=\(.*\) = -s\1
Options: MODES margin\=\(.*\) = -mg\=\1
Options: MODES ps = -ps

```

コマンドで定義されている/usr/lib/lp/postscript/posteuc2220 は、シンボリックファイルです。実際には euc2ps2 コマンドが起動されます。

注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、posteuc2220.fd ファイルを使用しません。

◇オプション

lpfilter コマンドを使用して `posuteuc.fd` をプリントシステムに登録します。また、`lp` コマンドで指定することのできるオプションは、次のとおりです。

補足 ▶ `lpadmin` コマンドで指定された `length` と `width` に合わせて印刷されます。

-y double 2 段組で印刷します。
-y landscape 出力を 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。
-y gothic 日本語文字をゴシック体で印刷します。
-y size=*n* フォントサイズを *n* ポイントとします。
-y outcolumn=*n* 半角文字に換算して、*n* けた目から文字を印刷します。
-y outline=*n* *n* 行目から文字を印刷します。
-y font=*font* 半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。
-y jfont=*jfont* 日本語を印刷するためのフォントを指定します。ゴシック指定オプションと同時に使用される場合は、後方にあるものが優先されます。また、誤ったフォント名や、プリンタが使用できないフォント名を入力された場合は、デフォルトの欧文フォントが使用されます。

- フォントの指定は、「`-y font=`」および「`-y jfont=`」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

```
% lp -y font=Courier-Oblique filename
```

```
% lp -y jfont=Ryumin-Light-H filename
```

参照 ▶ 使用できるフォントについては、「付録 B 使用できるフォント」または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

-y margin=*u:b:r:l* ページの余白をインチ単位で指定します。*u* (上余白)、*b* (下余白)、*r* (右余白)、*l* (左余白) は、正の実数 (小数点第二位まで有効) です。デフォルトは 0 です。
-y ps 入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルか否かに関わらず、その他の `posteuc2220.fd` のオプションは無視されます。

◇使用例

2up、ゴシック体、8 ポイント、プリンタ名「`dpc2220`」で印刷する場合、次のように入力します。

```
% lpr -d dpc2220 -y double -y gothic -y size=8 filename
```

3.20 posteuc3530.fd (Solaris)

◇形式

/etc/lp/fd/posteuc3530.fd

◇機能

posteuc3530.fd ファイルは、EUC コードのテキストを PostScript 言語プログラムに変換する euc2ps2 フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルです。lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで、自動的にフィルターを起動することができます。

Posteuc3530.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Input types: simple

Output types: postscript

Printer types: DocuPrintC3530,DocuPrintC3540,DocuPrintC2426,DocuPrintC2424,DocuPrintC3200A,DocuPrintC5450,DocuCentreColorf450,ApeosPortC4535,DocuCentreC4535,ApeosPortC6550,DocuCentreC6550,ApeosPort2C4300,DocuCentre2C4300

Printers: any

Filter type: slow

Command: /usr/lib/lp/postscript/posteuc3530

Options: LENGTH* = -1*

Options: MODES double = -2

Options: MODES font\=\(.*\) = -f\1

Options: MODES jfont\=\(.*\) = -jf\1

Options: MODES landscape = -r

Options: MODES gothic = -g

Options: MODES outcolumn\=\(.*\) = -o\1

Options: MODES outline\=\(.*\) = -L\1

Options: MODES size\=\(.*\) = -s\1

Options: MODES margin\=\(.*\) = -mg\=\1

Options: MODES ps = -ps

コマンドで定義されている/usr/lib/lp/postscript/posteuc3530 は、シンボリックファイルです。実際には euc2ps2 コマンドが起動されます。

注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、posteuc3530.fd ファイルを使用しません。

◇オプション

lpfilter コマンドを使用して `posuteuc.fd` をプリントシステムに登録します。また、`lp` コマンドで指定することのできるオプションは、次のとおりです。

補足 ▶ `lpadmin` コマンドで指定された `length` と `width` に合わせて印刷されます。

- y double** 2 段組で印刷します。
- y landscape** 出力を 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。
- y gothic** 日本語文字をゴシック体で印刷します。
- y size=*n*** フォントサイズを *n* ポイントとします。
- y outcolumn=*n*** 半角文字に換算して、*n* けた目から文字を印刷します。
- y outline=*n*** *n* 行目から文字を印刷します。
- y font=*font*** 半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。
- y jfont=*jfont*** 日本語を印刷するためのフォントを指定します。ゴシック指定オプションと同時に使用される場合は、後方にあるものが優先されます。また、誤ったフォント名や、プリンタが使用できないフォント名を入力された場合は、デフォルトの欧文フォントが使用されます。

- フォントの指定は、「`-y font=`」および「`-y jfont=`」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

```
% lp -y font=Courier-Oblique filename
```

```
% lp -y jfont=Ryumin-Light-H filename
```

参照 ▶ 使用できるフォントについては、「付録 B 使用できるフォント」または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

- y margin=*u:b:r:l*** ページの余白をインチ単位で指定します。*u* (上余白)、*b* (下余白)、*r* (右余白)、*l* (左余白) は、正の実数 (小数点第二位まで有効) です。デフォルトは 0 です。
- y ps** 入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルか否かに関わらず、その他の `posteuc3530.fd` のオプションは無視されます。

◇使用例

2up、ゴシック体、8 ポイント、プリンタ名「`dpc3530`」で印刷する場合、次のように入力します。

```
% lpr -d dpc3530 -y double -y gothic -y size=8 filename
```

3.21 posteuc3320.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/posteuc3320.fd`

◇機能

posteuc3320.fd ファイルは、EUC コードのテキストを PostScript 言語プログラムに変換する euc2ps2 フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルです。lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで、自動的にフィルターを起動することができます。

posteuc3320.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: simple
Output types: postscript
Printer types: LaserWind3320,DocuPrintC625
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/posteuc3320
Options: LENGTH * = -l*
Options: WIDTH * = -w*
Options: MODES double = -2
Options: MODES landscape = -r
Options: MODES gothic = -g
Options: MODES size\=\(.*\) = -s\1
Options: MODES font\=\(.*\) = -f\1
Options: MODES jfont\=\(.*\) = -jf\1
Options: MODES outcolumn\=\(.*\) = -o\1
Options: MODES outline\=\(.*\) = -L\1
Options: MODES margin\=\(.*\) = -mg\=\1
Options: MODES ps = -ps
```

コマンドで定義されている/usr/lib/lp/postscript/posteuc3320 は、シンボリックファイルです。実際には euc2ps2 コマンドが起動されます。

注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、posteuc3320.fd ファイルを使用しません。

◇オプション

lpfilter コマンドを使用して `posuteuc.fd` をプリントシステムに登録します。また、`lp` コマンドで指定することのできるオプションは、次のとおりです。

補足 ▶ `lpadmin` コマンドで指定された `length` と `width` に合わせて印刷されます。

- y double** 2 段組で印刷します。
- y landscape** 出力を 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。
- y gothic** 日本語文字をゴシック体で印刷します。
- y size=*n*** フォントサイズを *n* ポイントとします。
- y outcolumn=*n*** 半角文字に換算して、*n* けた目から文字を印刷します。
- y outline=*n*** *n* 行目から文字を印刷します。
- y font=*font*** 半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。
- y jfont=*jfont*** 日本語を印刷するためのフォントを指定します。ゴシック指定オプションと同時に使用される場合は、後方にあるものが優先されます。また、誤ったフォント名や、プリンタが使用できないフォント名を入力された場合は、デフォルトの欧文フォントが使用されます。

- フォントの指定は、「`-y font=`」および「`-y jfont=`」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

```
% lp -y font=Courier-Oblique filename
```

```
% lp -y jfont=Ryumin-Light-H filename
```

参照 ▶ 使用できるフォントについては、「付録 A 使用できるフォント」または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

- y margin=*u:b:r:l*** ページの余白をインチ単位で指定します。*u* (上余白)、*b* (下余白)、*r* (右余白)、*l* (左余白) は、正の実数 (小数点第二位まで有効) です。デフォルトは 0 です。
- y ps** 入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルか否かに関わらず、その他の `posteuc3320.fd` のオプションは無視されます。

◇使用例

2up、ゴシック体、8 ポイント、プリンタ名「3320PS」で印刷する場合、次のように入力します。

```
% lpr -d 3320PS -y double -y gothic -y size=8 filename
```

3.22 FXDCL1250.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDCL1250.fd
```

◇機能

FXDCL1250.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDCL1250.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC1250
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps1250
Options: MODES tray\([1-4H]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-5]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-5]\) = -IB\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES 8kai = -I8K
Options: MODES 16kai = -I16K
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES msi-cf = -MSI-CF
Options: MODES fd = -Ofd
Options: MODES mb\(.*\) = -Om\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES fs = -Ofs
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cs = -CS
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=(.*\) = -M\=\1
Options: MODES co\=(.*\) = -CO\=\1
Options: MODES br\=(.*\) = -Br=\1
Options: MODES crd\=(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=(.*\) = -Nc\=\1
```

```
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES jn = -JN
Options: MODES ju=\(.*\) = -JU=\1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps1250 は、シンボリックリンクファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDCL1250.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDCL1250.fd ファイルを、lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。-y tray_input オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y msi-cf

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
trayH	大容量トレイから給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)

postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 148.5x200.4mm、最大サイズは 296.3x431.4mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd	フェースダウントレイへ排紙します。
mbn	メールボックスのピン <i>n</i> へ排紙します。 <i>n</i> は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ(工場出荷時はフェースダウントレイ)に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Auto	カラー/白黒自動判別
Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー/白黒自動判別」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

注記 ▶ カラーモードを「カラー/白黒自動判別」を指定し、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定しますと、「カラー/白黒自動判別」が正常に動作せず、誤判定される場合があります。正しい課金のためには、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定する場合、明示的に「カラー」または「白黒」を指定する必要があります。

-y cs

カラー分解を指定します。このオプションを指定すると、各色成分ごとに白黒ページを出力します。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
OF	opaquefilm	電飾フィルム
TP	tracingpaper	トレーシングペーパー
TF	tackfilm	タックフィルム

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Fast	速度優先
Fine	画質優先

このオプションが指定されない場合は「速度優先」が選択されます。

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

TX	text	テキスト文書
GR	graphics	図・表・グラフ
IM	image	写真

このオプションが指定されない場合は「テキスト文書」が選択されます。

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**username** で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。**username** を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dpc1250」の手差しトレイのはがきに印刷する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dpc1250 -y msi -y postcard filename
```

3.23 FXDCC500.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDCC500.fd`

◇機能

FXDCC500.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre Color 500/500 CP 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDCC500.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentreColor500
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps1250
Options: MODES tray\([1-4H]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-5]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-5]\) = -IB\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES 8kai = -I8K
Options: MODES 16kai = -I16K
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES msi-cf = -MSI-CF
Options: MODES fd = -Ofd
Options: MODES mb\([1-9]\) = -Om\1
Options: MODES mb10 = -Om10
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES fs = -Ofs
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cs = -CS
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=(.*\) = -M\=\1
Options: MODES co\=(.*\) = -CO\=\1
Options: MODES br\=(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=(.*\) = -Jo\=\1

```

```
Options: MODES td=\(.*\) = -Td=\1
Options: MODES nc=\(.*\) = -Nc=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES jn = -JN
Options: MODES ju=\(.*\) = -JU=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps1250` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、`FXDCC500.fd` ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre Color 500/500 CP 以外に使用することはできません。

◇オプション

`FXDCC500.fd` ファイルを、`lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイ確認無しで、手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y msi-cf

手差しトレイ確認有りで、手差しトレイからの給紙を指定します。-I オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y *tray_input*

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

<code>tray1</code>	トレイ 1 から給紙します。
<code>tray2</code>	トレイ 2 から給紙します。
<code>tray3</code>	トレイ 3 から給紙します。
<code>tray4</code>	トレイ 4 から給紙します。
<code>trayH</code>	大容量トレイから給紙します。
<code>a3</code>	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a4</code>	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a5</code>	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b4</code>	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b5</code>	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>letter</code>	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>ledger</code>	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>folio</code>	フォリオ(リーガル”13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>legal</code>	リーガル(リーガル”14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。

statement	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
dpc	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MxNmm	MxNmm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 M (幅)、 N (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 148.5x200.4mm、最大サイズは 319.6x456.5mm です。

-y tray_ouput

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd	フェースダウントレイへ排紙します。
mbn	メールボックスのビン <i>n</i> へ排紙します。 <i>n</i> は 1 以上 10 以下の値です。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ(工場出荷時はフェースダウントレイ)に排紙されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Auto	カラー/白黒自動判別
Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー/白黒自動判別」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「補正を行わない」が選択されます。

注記 ▶ カラーモードを「カラー/白黒自動判別」を指定し、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定しますと、「カラー/白黒自動判別」が正常に動作せず、誤判定される場合があります。正しい課金のためには、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定する場合、明示的に「カラー」または「白黒」を指定する必要があります。

-y cs

カラー分解を指定します。このオプションを指定すると、各色成分ごとに白黒ページを出力します。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
GL	glossy	専用光沢紙
TP	tracingpaper	トレーシングペーパー
TF	tackfilm	タックフィルム

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Fast	速度優先
Fine	画質優先

このオプションが指定されない場合は「速度優先」が選択されます。

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

TX	text	テキスト文書
GR	graphics	図・表・グラフ
IM	image	写真

このオプションが指定されない場合は「テキスト文書」が選択されます。

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**username** で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。**username** を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dcc500」の手差しトレイのはがきに印刷する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dcc500 -y msi -y postcard filename
```

3.24 FXDPC2220.fd/FXDPC2221.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDPC2220.fd
/etc/lp/fd/FXDPC2221.fd
```

◇機能

FXDPC2220.fd/FXDPC2221.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint C2220/C2221 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDPC2220.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC2220
             (DocuPrint C2221 の場合は DocuPrintC2221 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps2220
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES fd = -Ofd
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES fs = -Ofs
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=(.*) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=(.*) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=(.*) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=(.*) = -M\=\1
Options: MODES br\=(\-[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=(.*) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=(.*) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=(.*) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=(.*) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES jn = -JN
Options: MODES ju\=(.*) = -JU=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps2220` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDPC2220.fd/FXDPC2221.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuPrint C2220/C2221 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDPC2220.fd/FXDPC2221.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル”13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル”14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

MxNmm *MxNmm* の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。

M(幅)、*N*(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd センタートレイへ排紙します。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=*collection*

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない

ST standard 標準

PH photo 写真

PR presentation プレゼンテーション

WB web Web ページ

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job ジョブ単位

SE set セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

このオプションが指定されない場合は「速度優先」が選択されます。

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

このオプションが指定されない場合は「テキスト文書」が選択されます。

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

1	トレイ 1 を使用します
---	--------------

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**username** で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。**username** を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dpc2220」の手差しトレイのはがきに印刷する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dpc2220 -y msi -y postcard filename
```

3.25 FXDCC400.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDCC400.fd`

◇機能

FXDCC400.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDCC400.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentreColor400
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps2220
Options: MODES tray\[([1-4])\] = -I\1
Options: MODES a\[([3-6])\] = -IA\1
Options: MODES b\[([4-6])\] = -IB\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\[([dus])\] = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\[([.]*)\] = -CM\[([.]*)\]
Options: MODES pr\[([.]*)\] = -Pr\[([.]*)\]
Options: MODES pt\[([.]*)\] = -Pt\[([.]*)\]
Options: MODES m\[([.]*)\] = -M\[([.]*)\]
Options: MODES br\[([.]*[0-2])\] = -Br\[([.]*[0-2])\]
Options: MODES br\[([.]*OF)\] = -Br\[([.]*OF)\]
Options: MODES crd\[([.]*)\] = -CRD\[([.]*)\]
Options: MODES jo\[([.]*)\] = -Jo\[([.]*)\]
Options: MODES td\[([.]*)\] = -Td\[([.]*)\]
Options: MODES nc\[([.]*)\] = -Nc\[([.]*)\]
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES jn = -JN
Options: MODES ju\[([.]*)\] = -JU\[([.]*)\]

```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps2220` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDCC400.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDCC400.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

MxNmm *MxNmm* の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。

M(幅)、*N*(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=*collection*

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

このオプションが指定されない場合は「速度優先」が選択されます。

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

このオプションが指定されない場合は「階調優先」が選択されます。

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

1	トレイ 1 を使用します
---	--------------

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**username** で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。**username** を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dcc400」の手差しトレイのはがきに印刷する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dcc400 -y msi -y postcard filename
```

3.26 FXDCC2100.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDCC2100.fd`

◇機能

FXDCC2100.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre C2100 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDCC400.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentreC2100
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps2220
Options: MODES tray\[([1-4])\] = -I\1
Options: MODES a\[([3-6])\] = -IA\1
Options: MODES b\[([4-6])\] = -IB\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\[([dus])\] = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\[([.]*)\] = -CM\[([.]*)\]
Options: MODES pr\[([.]*)\] = -Pr\[([.]*)\]
Options: MODES pt\[([.]*)\] = -Pt\[([.]*)\]
Options: MODES m\[([.]*)\] = -M\[([.]*)\]
Options: MODES br\[([.]*[0-2])\] = -Br\[([.]*[0-2])\]
Options: MODES br\[([.]*OF)\] = -Br\[([.]*OF)\]
Options: MODES crd\[([.]*)\] = -CRD\[([.]*)\]
Options: MODES jo\[([.]*)\] = -Jo\[([.]*)\]
Options: MODES td\[([.]*)\] = -Td\[([.]*)\]
Options: MODES nc\[([.]*)\] = -Nc\[([.]*)\]
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES jn = -JN
Options: MODES ju\[([.]*)\] = -JU\[([.]*)\]

```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps2220` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDCC2100.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre C2100 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDCC2100.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。 `-y tray_input` オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

<code>tray1</code>	トレイ 1 から給紙します。
<code>tray2</code>	トレイ 2 から給紙します。
<code>tray3</code>	トレイ 3 から給紙します。
<code>tray4</code>	トレイ 4 から給紙します。
<code>a3</code>	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a4</code>	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a5</code>	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a6</code>	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>b4</code>	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b5</code>	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b6</code>	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>letter</code>	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>ledger</code>	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>folio</code>	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>legal</code>	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>postcard</code>	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>12x18in</code>	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>ec3</code>	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>MxNmm</code>	<code>MxNmm</code> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <code>M</code> (幅)、 <code>N</code> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=*collection*

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Low	速度優先
Stand	標準
High	画質優先

このオプションが指定されない場合は「速度優先」が選択されます。

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

このオプションが指定されない場合は「階調優先」が選択されます。

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

1	トレイ 1 を使用します
---	--------------

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、**username** で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。**username** を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dcc2100」の手差しトレイのはがきに印刷する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dcc2100 -y msi -y postcard filename
```

3.27 FXDPC3530.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDPC3530.fd`

◇機能

FXDPC3530.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint C3530 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDPC3530.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC3530
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\[([1-4])\] = -I\1
Options: MODES a\[([3-6])\] = -IA\1
Options: MODES b\[([4-6])\] = -IB\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 12x19in = -I*
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES 8kai = -I*
Options: MODES 16kai = -I*
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\[([dus])\] = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\[([.]*)\] = -CM\[([.]*)\]
Options: MODES pr\[([.]*)\] = -Pr\[([.]*)\]
Options: MODES pt\[([.]*)\] = -Pt\[([.]*)\]
Options: MODES m\[([.]*)\] = -M\[([.]*)\]
Options: MODES br\[([.]*[0-2])\] = -Br\[([.]*[0-2])\]
Options: MODES br\[([.]*OF)\] = -Br\[([.]*OF)\]
Options: MODES crd\[([.]*)\] = -CRD\[([.]*)\]
Options: MODES jo\[([.]*)\] = -Jo\[([.]*)\]
Options: MODES td\[([.]*)\] = -Td\[([.]*)\]
Options: MODES nc\[([.]*)\] = -Nc\[([.]*)\]
Options: MODES ps = -ps

```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDPC3530.fd ファイルを使用しません。
▶ このファイルは、DocuPrint C3530 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDPC3530.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル”13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル”14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x19in	12x19in 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。

statement ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)

8x10in 8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。

postcard ハガキがセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)

ec3 封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)

MxNmm *MxNmm* の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。*M*(幅)、*N*(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。不定形用紙の最小サイズは 100.2x139.7mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd センタートレイへ排紙します。

fu サイドトレイへ排紙します。

fs フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ(工場出荷時はセンタートレイ)が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

このオプションが指定されない場合は「高速」が選択されます。

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

このオプションが指定されない場合は「自動」が選択されます。

-y td=type

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。
1 トレイ 1 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dpc3530」のA4の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dpc3530 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.28 FXDPC3540.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDPC3540.fd`

◇機能

FXDPC3540.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint C3540/C3140/C3250 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。FXDPC3540.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC3540
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\[([1-4])\] = -I\1
Options: MODES a\[([3-6])\] = -IA\1
Options: MODES b\[([4-6])\] = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kai = -I*
Options: MODES 16kai = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\[([dus])\] = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\[([.]*\]) = -CM\[([.]*\])\1
Options: MODES pr\[([.]*\]) = -Pr\[([.]*\])\1
Options: MODES pt\[([.]*\]) = -Pt\[([.]*\])\1
Options: MODES m\[([.]*\]) = -M\[([.]*\])\1
Options: MODES co\[([.]*\]) = -CO\[([.]*\])\1
Options: MODES br\[([.]*\]) = -Br\[([.]*\])\1

```

```
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530 は、シンボリックリンクファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDPC3540.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuPrint C3540/C3140/C3250 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDPC3540.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpc	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル”13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル”14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kai	十六開用紙がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.0x100.0mm、最大サイズは 300.5x483.0mm です。

-y tray_ouput

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ(工場出荷時はセンタートレイ)が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=mode

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=brightness

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

このオプションが指定されない場合は「高速」が選択されます。

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

このオプションが指定されない場合は「自動」が選択されます。

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

1	トレイ 1 を使用します
---	--------------

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dpc3540」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dpc3540 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.29 FXDPC2426.fd/FXDPC2424.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDPC2426.fd
/etc/lp/fd/FXDPC2424.fd
```

◇機能

FXDPC2426.fd/FXDPC2424.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint C2426/C2424 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDPC2426.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC2426
      (DocuPrint C2424 の場合は DocuPrintC2424 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES ey\([2-4]\) = -IEY\1
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([du]\) = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ts = -t
Options: MODES c1 = -C1
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=(.*) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=(.*) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=(.*) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=(.*) = -M\=\1
Options: MODES co\=(.*) = -CO\=\1
Options: MODES br\=(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=(.*) = -CRD\=\1
Options: MODES td\=(.*) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=(.*) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、`FXDPC2426.fd/FXDPC2424.fd` ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuPrint C2426/C2424 以外に使用することはできません。

◇オプション

`FXDPC2426.fd/FXDPC2424.fd` ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

<code>tray1</code>	トレイ 1 から給紙します。
<code>tray2</code>	トレイ 2 から給紙します。
<code>tray3</code>	トレイ 3 から給紙します。
<code>tray4</code>	トレイ 4 から給紙します。
<code>a3</code>	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a4</code>	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a5</code>	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a6</code>	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>b4</code>	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b5</code>	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b6</code>	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>letter</code>	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>ledger</code>	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>folio</code>	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>legal</code>	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>12x18in</code>	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>statement</code>	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<code>8x10in</code>	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。

- postcard** ハガキがセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- exe** **Executive(7.25x10.5** インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
- ec3** 封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- ec3y** 封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- ey2** 封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- ey3** 封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- ey4** 封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- MxNmm** **MxNmm** の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。**M**(幅)、**N**(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。
このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。
不定形用紙のサイズは次のサイズが利用できます。
- DocuPrint C2426**
最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x457.2mm
- DocuPrint C2424**
最小 90.3x98.1mm、最大 304.8x431.8mm
- y tray_output**
lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。
- fd** センタートレイへ排紙します。
- fu** サイドトレイへ排紙します。
- このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。
- y nc=*n***
出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。
- y cl**
部単位での印刷を選択します。
- y ts**
トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。
- y ie**
イメージエンハンス機能を使用しません。
- y cm=*mode***
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- Color** カラー
- Bw** 白黒
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=brightness

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏紙
RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
EN	envelope	封筒
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

このオプションが指定されない場合は「高速」が選択されます。

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
OH	ohp	OHP フィルム向け

このオプションが指定されない場合は「自動」が選択されます。

-y td=*type*

OHP用合紙の給紙先を選択します。次のOHP用合紙の給紙先が利用できます。

1	トレイ 1 を使用します
---	--------------

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dpc2426」のA4の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dpc2426 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.30 FXDPC3200A.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDPC3200A.fd`

◇機能

FXDPC3200A.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint C3200 A 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDPC3200A.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC3200A
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\[([1-4])\] = -I\1
Options: MODES a\[([4-5])\] = -IA\1
Options: MODES b5 = -IB5
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES c5 = -IC5
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES ey\[([2-4])\] = -IEY\1
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES fd = -Ofd
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\[\.*\] = -CM\[\.*\]
Options: MODES pr\[\.*\] = -Pr\[\.*\]
Options: MODES pt\[\.*\] = -Pt\[\.*\]
Options: MODES m\[\.*\] = -M\[\.*\]
Options: MODES co\[\.*\] = -CO\[\.*\]
Options: MODES br\[\.*\] = -Br\[\.*\]
Options: MODES br\[OF\] = -Br\[OF\]
Options: MODES crd\[\.*\] = -CRD\[\.*\]
Options: MODES td\[\.*\] = -Td\[\.*\]
Options: MODES nc\[\.*\] = -Nc\[\.*\]
Options: MODES ps = -ps

```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDPC3200A.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuPrint C3200 A 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDPC3200A.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。 `-y tray_input` オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

<code>tray1</code>	トレイ 1 から給紙します。
<code>tray2</code>	トレイ 2 から給紙します。
<code>tray3</code>	トレイ 3 から給紙します。
<code>tray4</code>	トレイ 4 から給紙します。
<code>a4</code>	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a5</code>	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b5</code>	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>postcard</code>	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>letter</code>	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>legal</code>	リーガル(リーガル”14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>folio</code>	フォリオ(リーガル”13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>c5</code>	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>ey2</code>	封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>ey3</code>	封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>ey4</code>	封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>ec3y</code>	封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>MxNmm</code>	<code>MxNmm</code> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <code>M</code> (幅)、 <code>N</code> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 88.9x139.7mm、最大サイズは 215.9x355.6mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd センタートレイへ排紙します。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=*collection*

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏面

LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
EN	envelope	封筒
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

このオプションが指定されない場合は「高速」が選択されます。

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

このオプションが指定されない場合は「自動」が選択されます。

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dpc3200A」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dpc3200A -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.31 FXDPC5450.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDPC5450.fd`

◇機能

FXDPC5450.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint C5450 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDPC5450.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC5450
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-46]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES c\([45]\) = -IC\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 12.6x19.2in = -I*
Options: MODES 13x18in = -I*
Options: MODES 13x19in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([ds]\) = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
```

```
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=\(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES pr2\=\(.*\) = -Pr2\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES co\=\(.*\) = -CO\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDPC5450.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuPrint C5450 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDPC5450.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpc	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形3号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。

ca4 表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)

cletter 表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)

MxNmm **MxNmm** の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。**M**(幅)、**N**(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。不定形用紙の最小サイズは 100.2x148.2mm、最大サイズは 329.8x487.9mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd センタートレイへ排紙します。

fs フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ(工場出荷時はセンタートレイ)が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=n

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=mode

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=brightness

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない

ST standard 標準

PH photo 写真

PR presentation プレゼンテーション

WB web Web ページ

CA cad CAD

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
HO	holed	穴あき紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr2=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細
Page	ページ印刷

このオプションが指定されない場合は「高速」が選択されます。

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

このオプションが指定されない場合は「自動」が選択されます。

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dpc5450」のA4の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dpc5450 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.32 FXDPC3050.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDPC3050.fd`

◇機能

FXDPC3050.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint C3050 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDPC3050.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC3050
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\[([1-4])\] = -I\1
Options: MODES a\[([3-5])\] = -IA\1
Options: MODES b\[([4-5])\] = -IB\1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -Imonarc
Options: MODES d1 = -IDL
Options: MODES c5 = -IC5
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES ey\[([2-4])\] = -IEY\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES fd = -Ofd
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\[\.*\] = -CM\[\.*\]
Options: MODES pr\[\.*\] = -Pr\[\.*\]
Options: MODES pt\[\.*\] = -Pt\[\.*\]
Options: MODES m\[\.*\] = -M\[\.*\]
Options: MODES co\[\.*\] = -CO\[\.*\]
Options: MODES br\[\.*\] = -Br\[\.*\]
Options: MODES br\[OF\] = -Br\[OF\]
Options: MODES crd\[\.*\] = -CRD\[\.*\]
Options: MODES td\[\.*\] = -Td\[\.*\]
Options: MODES nc\[\.*\] = -Nc\[\.*\]
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\[\.*\] = -JOAU\[\.*\]

```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDPC3050.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuPrint C3050 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDPC3050.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3y	封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ey2	封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ey3	封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

- ey4 封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- letter レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- ledger レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- folio フォリオ(リーガル”13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- legal リーガル(リーガル”14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- exe **Executive**(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
- MxNmm** **MxNmm** の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。**M**(幅)、**N**(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。
このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。
不定形用紙の最小サイズは 74.8x97.7mm、最大サイズは 297.0x431.8mm です。
- y tray_output**
lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。
- fd センタートレイへ排紙します。
- y nc=n**
出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。
- y cl**
部単位での印刷を選択します。
- y ts**
トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。
- y ie**
イメージエンハンス機能を使用しません。
- y cm=mode**
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- | | |
|-------|-----|
| Color | カラー |
| Bw | 白黒 |
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- y br=brightness**
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- | | |
|----|---------|
| 2 | 明るい |
| 1 | やや明るい |
| 0 | 標準 |
| -1 | やや暗い |
| -2 | 暗い |
| OF | 補正を行わない |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
RCB	recycledback	再生紙裏面
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
EN	envelope	封筒
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質

このオプションが指定されない場合は「高速」が選択されます。

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

このオプションが指定されない場合は「自動」が選択されます。

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dpc3050」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dpc3050 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.33 FXDPC2250.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDPC2250.fd`

◇機能

FXDPC2250.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint C2250 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDPC2250.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC2250
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES c\([45]\) = -IC\1
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -Imonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES fd = -Ofd
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=(.*) = -CM\=1

```

```
Options: MODES pr\=\(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、`FXDPC2250.fd` ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuPrint C2250 以外に使用することはできません。

◇オプション

`FXDPC2250.fd` ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

ec3y	封筒長形 3号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ledger	レジヤ(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<i>MxN</i> mm	<i>MxN</i> mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 320.0x483.0mm です。

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質 2
Minute	高精細

このオプションが指定されない場合は「高速」が選択されます。

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

このオプションが指定されない場合は「自動」が選択されます。

-y td=type

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=username

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=documentname

XPJLヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJLヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。またXPJLに対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentnameで指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentnameを指定しない場合は、UnknownDocumentで記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dpc2250」のA4の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dpc2250 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.34 FXDPC3360.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDPC3360.fd`

◇機能

FXDPC3360.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint C3360 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDPC3360.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC3360
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES c\([45]\) = -IC\1
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -Imonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES fd = -Ofd
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=(.*) = -CM\=1

```

```
Options: MODES pr\=\(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、`FXDPC3360.fd` ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuPrint C3360 以外に使用することはできません。

◇オプション

`FXDPC3360.fd` ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

ec3y	封筒長形 3号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 320.0x483.0mm です。

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
FNB	fineback	上質紙裏面
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質 2
Minute	高精細

このオプションが指定されない場合は「高速」が選択されます。

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

このオプションが指定されない場合は「自動」が選択されます。

-y td=type

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=username

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=documentname

XPJLヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJLヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。またXPJLに対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentnameで指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentnameを指定しない場合は、UnknownDocumentで記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dpc3360」のA4の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dpc3360 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.35 FXDPC3350.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDPC3350.fd`

◇機能

FXDPC3350.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrintC3350 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDPC3350.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC3350
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\[([1-4])\] = -I\1
Options: MODES a\[([3-6])\] = -IA\1
Options: MODES b\[([4-6])\] = -IB\1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES ey\[([2-4])\] = -IEY\1
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -Imonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c5 = -IC5
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts2=\(.*\) = -t2=\1\
Options: MODES c1 = -C1
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm=\(.*\) = -CM=\1
Options: MODES pr=\(.*\) = -Pr=\1
Options: MODES pt=\(.*\) = -Pt=\1
Options: MODES m=\(.*\) = -M=\1
Options: MODES br=\(\-*[0-2])\] = -Br=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd=\(.*\) = -CRD=\1
Options: MODES nc=\(.*\) = -Nc=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau=\(.*\) = -JOAU=\1
Options: MODES acna=\(.*\) = -ACNA=\1

```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDPC3350 ファイルを使用しません。
▶ このファイルは、DocuPrintC3350 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDPC3350.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3y	封筒長形 3 号[洋]用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ey2	封筒洋形 2 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ey3	封筒洋形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ey4	封筒洋形 4 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。

	(手差しトレイのみ有効)
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。 不定形用紙の最小サイズは 75.2x98.1mm、最大サイズは 296.6x431.8mm です。 長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。
	297x900mm
	297x1200mm

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts2=*tonersave*

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1 ややうすい(節約量小)

Mode2 うすい(節約量大)

Mode3 かなりうすい(ドラフト)

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=*collection*

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
LB	label	ラベル紙
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
EN	envelope	封筒
ENB	envelopeback	封筒裏面
HA	hagaki	はがき
HAB	hagakiback	はがき裏面

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質
Minute	高精細

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=username

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できま

せん。プリンタには、`username` で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。`username` を指定しない場合は、`UnknownUser` で記録されます。

`-y acna=documentname`

`XPJL` ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。`XPJL` ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また `XPJL` に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、`documentname` で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。`documentname` を指定しない場合は、`UnknownDocument` で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「`dpc3350`」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dpc3350 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.36 FXDPC5000d.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDPC5000 d .fd`

◇機能

FXDPC5000d.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint C5000 d 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDPC5000 d.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC5000d
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-46]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES c\([45]\) = -IC\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -Imonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([iso]\) = -Of\1
Options: MODES fu2 = -O*
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts2\=\.*) = -t2\=1\
Options: MODES cl = -Cl
```

```

Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=\(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=\(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1

```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDPC5000d.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuPrint C5000 d 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDPC5000d.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形3号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル ¹³ 、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル ¹⁴ 、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

MxNmm **MxNmm** の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。**M**(幅)、**N**(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 319.9x1199.7mm です。長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

297x900mm
297x1200mm

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fi センタートレイ上段へ排紙します。
fu2 サイドトレイへ排紙します。
fs フィニッシャーへ排紙します。
fo 排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ(工場出荷時はセンタートレイ)が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=n

出力部数を指定します(**n** は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts2=tonersave

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1 ややうすい(節約量小)
Mode2 うすい(節約量大)
Mode3 かなりうすい(ドラフト)

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=mode

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー
Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=brightness

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい
1 やや明るい
0 標準
-1 やや暗い
-2 暗い
OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない
ST standard 標準
PH photo 写真
PR presentation プレゼンテーション

WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H1A	hwpaper1A	厚紙 1[A]
1BA	hwpback1A	厚紙 1[A]裏面
H1B	hwpaper1B	厚紙 1[B]
1BB	hwpback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwpback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwpback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwpback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwpback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwpback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwpback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwpback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
-------	----

Quality2	高画質
Minute	高精細

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y td=*type*

OHP用合紙の給紙先を選択します。次のOHP用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ1を使用します
2	トレイ2を使用します
3	トレイ3を使用します
4	トレイ4を使用します
6	トレイ6を使用します
M	手差しトレイを使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=*username*

XPJLヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJLヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。またXPJLに対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、usernameで指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。usernameを指定しない場合は、UnknownUserで記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dpc5000d」のA4の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dpc5000d -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.37 FXDCCf450.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDCCf450.fd`

◇機能

FXDCCf450.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDCCf450.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentreColorf450
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([dus]\) = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=(.*) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=(.*) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=(.*) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=(.*) = -M\=\1
Options: MODES br\=(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=(.*) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=(.*) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=(.*) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=(.*) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps

```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDCCf450.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDCCf450.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

ec3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpc	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙 します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙しま す。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デ フォルトのトレイから給紙されます。 不定形用紙の最小サイズは 100.2x100.2mm、最大サイズは 304.8x482.6mm で す。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次
のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デ
フォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィ
ニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が
選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

FN	fine	上質紙
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

このオプションが指定されない場合は「高速」が選択されます。

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

このオプションが指定されない場合は「自動」が選択されます。

-y td=type

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

1	トレイ 1 を使用します。
---	---------------

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dccf450」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dccf450 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.38 FXDCC2101.fd (Solaris)

◇形式

/etc/lp/fd/FXDCC2101.fd

◇機能

FXDCC2101.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre C2101/C1101 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDCC2101.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentreC2101
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([dus]\) = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=(.*) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=(.*) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=(.*) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=(.*) = -M\=\1
Options: MODES br\=(\[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF

```

```
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、`FXDCC2101.fd` ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、`DocuCentre C2101/C1101` 以外に使用することはできません。

◇オプション

`FXDCC2101.fd` ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y *tray_input*

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

<code>tray1</code>	トレイ 1 から給紙します。
<code>tray2</code>	トレイ 2 から給紙します。
<code>tray3</code>	トレイ 3 から給紙します。
<code>tray4</code>	トレイ 4 から給紙します。
<code>a3</code>	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a4</code>	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a5</code>	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a6</code>	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>b4</code>	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b5</code>	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b6</code>	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>SRA3</code>	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>letter</code>	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>ledger</code>	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>folio</code>	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>legal</code>	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。

statement	ステートメント (ハーフレター, 5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。 不定形用紙の最小サイズは 100.0x100.0mm、最大サイズは 305.0x483.0mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=mode

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=brightness

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

このオプションが指定されない場合は「高速」が選択されます。

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

このオプションが指定されない場合は「自動」が選択されます。

-y td=*type*

OHP用合紙の給紙先を選択します。次のOHP用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dcc2101」の手差しトレイのはがきに印刷する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dcc2101 -y msi -y postcard filename
```

3.39 FXDCC4535.fd/FXAPC4535.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDCC4535.fd
/etc/lp/fd/FXAPC4535.fd
```

◇機能

FXDCC4535.fd/FXAPC4535.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I、ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。FXDCC4535.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentreC4535
(ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I の場合は ApeosPortC4535 と
なります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([dus]\) = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES c1 = -C1
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=(.*) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=(.*) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=(.*) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=(.*) = -M\=\1
Options: MODES co\=(.*) = -CO\=\1
Options: MODES br\=(\[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=(.*) = -CRD\=\1
```

```
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDCC4535.fd/FXAPC4535.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I、ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDCC4535.fd/FXAPC4535.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpc	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙 します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙しま す。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x100.2mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=brightness

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

FN	fine	上質紙
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

このオプションを選択しない場合は「普通紙」が選択されます。

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

このオプションが指定されない場合は「高速」が選択されます。

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

このオプションが指定されない場合は「自動」が選択されます。

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

1 トレイ 1 を使用します。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dcc4535」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dcc4535 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.40 FXDCC6550.fd/FXAPC6550.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDCC6550.fd
/etc/lp/fd/FXAPC6550.fd
```

◇機能

FXDCC6550.fd/FXAPC6550.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。FXDCC6550.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentreC6550
(ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I の場合は ApeosPortC6550 と
なります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-46]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES c\([45]\) = -IC\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 12.6x19.2in = -I*
Options: MODES 13x18in = -I*
Options: MODES 13x19in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([ds]\) = -Of\1
Options: MODES mb\([1-9]\) = -Om\1
```

```
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=\(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES pr2\=\(.*\) = -Pr2\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES co\=\(.*\) = -CO\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、`FXDCC6550.fd/FXAPC6550.fd` ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、`DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I`、`ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I` 以外に使用することはできません。

◇オプション

`FXDCC6550.fd/FXAPC6550.fd` ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。`-y tray_input` オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

<code>tray1</code>	トレイ 1 から給紙します。
<code>tray2</code>	トレイ 2 から給紙します。
<code>tray3</code>	トレイ 3 から給紙します。
<code>tray4</code>	トレイ 4 から給紙します。
<code>tray6</code>	トレイ 6 から給紙します。
<code>a3</code>	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a4</code>	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a5</code>	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a6</code>	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。

	(手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpc	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル”13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル”14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙し

ます。

8kaiC 八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。

16kaiC 十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。

ca4 表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)

cletter 表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)

MxNmm *MxNmm* の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。*M*(幅)、*N*(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。不定形用紙の最小サイズは 100.2x148.2mm、最大サイズは 329.8x487.9mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd センタートレイへ排紙します。

m n メールボックスのビン n へ排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。

fs フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc= n

出力部数を指定します(n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
HO	holed	穴あき紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム

-y pr2=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細
Page	ページ印刷

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

- 1 トレイ 1 を使用します。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dcc6550」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dcc6550 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.41 FXDC2C4300.fd/FXAP2C4300.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDC2C4300.fd
/etc/lp/fd/FXAP2C4300.fd
```

◇機能

FXDC2C4300.fd/FXAP2C4300.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-II C4300/C3300/C2200、ApeosPort-II C4300/C3300/C2200 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。FXDC2C4300.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre2C4300
(ApeosPort-II C4300/C3300/C2200 の場合は ApeosPort2C4300 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([dus]\) = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=(.*) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=(.*) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=(.*) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=(.*) = -M\=\1
Options: MODES co\=(.*) = -CO\=\1
Options: MODES br\=(\[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=(.*) = -CRD\=\1
```

```
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、`FXDC2C4300.fd/FXAP2C4300.fd` ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre-II C4300/C3300/C2200、ApeosPort-II C4300/C3300/C2200 以外に使用することはできません。

◇オプション

`FXDC2C4300.fd/FXAP2C4300.fd` ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。

12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
dpc	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 100.2x100.2mm、最大サイズは 304.8x482.6mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fs	フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=brightness

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

FN	fine	上質紙
PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
TN	thin	うす紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
LB	label	ラベル紙
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字2文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y td=*type*

OHP用合紙の給紙先を選択します。次のOHP用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=*username*

XPJLヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJLヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。またXPJLに対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJLヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJLヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。またXPJLに対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dc2c4300」のA4の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dc2c4300 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.42 FXDC2C7500.fd/FXAP2C7500.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDC2C7500.fd
/etc/lp/fd/FXAP2C7500.fd
```

◇機能

FXDC2C7500.fd/FXAP2C7500.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。FXDC2C7500.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre2C7500
(ApeosPort-II C7500/C6500/C5400 の場合は ApeosPort2C7500 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-46]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES c\([45]\) = -IC\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 12.6x19.2in = -I*
Options: MODES 13x18in = -I*
Options: MODES 13x19in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([ds]\) = -Of\1
Options: MODES mb\([1-9]\) = -Om\1
```

```

Options: MODES mb10 = -Om10
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=\(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES pr2\=\(.*\) = -Pr2\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES co\=\(.*\) = -CO\=\1
Options: MODES br\=\(\-[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1

```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、`FXDC2C7500.fd/FXAP2C7500.fd` ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400 以外に使用することはできません。

◇オプション

`FXDC2C7500.fd/FXAP2C7500.fd` ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺と同じ印刷を行います。長辺と同じ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺と同じ印刷を行います。短辺と同じ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。

a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpc	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル”13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル”14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。

- 16kaiT 十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- 8kaiC 八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- 16kaiC 十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- ca4 表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
- cletter 表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
- MxNmm* *MxNmm* の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。*M*(幅)、*N*(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。不定形用紙の最小サイズは 100.2x148.2mm、最大サイズは 329.8x487.9mm です。
- y tray_output**
lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。
- fd センタートレイへ排紙します。
- m n メールボックスのビン n へ排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。
- fs フィニッシャーへ排紙します。
- このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。
- y nc= n**
出力部数を指定します(n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。
- y cl**
部単位での印刷を選択します。
- y ts**
トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。
- y ie**
イメージエンハンス機能を使用しません。
- y cm=*mode***
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- Color カラー
- Bw 白黒
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- y br=*brightness***
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- 2 明るい
- 1 やや明るい
- 0 標準
- 1 やや暗い
- 2 暗い
- OF 補正を行わない
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
HO	holed	穴あき紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム

-y pr2=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細
Page	ページ印刷

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dc2c7500」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dc2c7500 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.43 FXDC3C3300.fd/FXAP3C3300.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDC3C3300.fd
/etc/lp/fd/FXAP3C3300.fd
```

◇機能

FXDC3C3300.fd/FXAP3C3300.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3300/C2200 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDC3C3300.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre3C3300
(ApeosPort-III C3300/C2200 の場合は ApeosPort3C3300 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES c\([45]\) = -IC\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -Imonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([dsuio]\) = -Of\1
Options: MODES fu2 = -O*
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
```

```
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -C1
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=\(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=\(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDC3C3300.fd/FXAP3C3300.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3300/C2200 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC3C3300.fd/FXAP3C3300.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。

	(手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
	(手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
	(手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。
	(手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形3号がセットされたトレイから給紙します。
	(手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。
	(手差しトレイのみ有効)
c4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
	(手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
	(手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
	(手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
	(手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
	(手差しトレイのみ有効)
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。

- (手差しトレイのみ有効)
- dl** 封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- MxNmm** *MxNmm* の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。*M*(幅)、*N*(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。
このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。
不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 320.0x483.0mm です。
- y tray_output**
lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。
- | | |
|------------|------------------|
| fi | センタートレイ上段へ排紙します。 |
| fu2 | サイドトレイへ排紙します。 |
| fs | フィニッシャーへ排紙します。 |
| fo | 排出トレイへ排紙します。 |
- このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。
- y nc=*n***
出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。
- y cl**
部単位での印刷を選択します。
- y ts**
トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。
- y ie**
イメージエンハンス機能を使用しません。
- y cm=*mode***
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- | | |
|--------------|-----|
| Color | カラー |
| Bw | 白黒 |
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- y br=*brightness***
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- | | |
|-----------|---------|
| 2 | 明るい |
| 1 | やや明るい |
| 0 | 標準 |
| -1 | やや暗い |
| -2 | 暗い |
| OF | 補正を行わない |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- y crd=*collection***
RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。
- | | | |
|-----------|---------------------|-----------|
| OF | off | 補正を行わない |
| ST | standard | 標準 |
| PH | photo | 写真 |
| PR | presentation | プレゼンテーション |
| WB | web | Web ページ |
| CA | cad | CAD |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- y fe**

ユーザ一定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質 2
Minute	高精細

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録

されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=documentname

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dc3c3300」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dc3c3300 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.44 FXDC3C3305.fd/FXAP3C3305.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDC3C3305.fd
/etc/lp/fd/FXAP3C3305.fd
```

◇機能

FXDC3C3305.fd/FXAP3C3305.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-III C3305/C2205、ApeosPort-III C3305/C2205 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDC3C3305.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre3C3305
(ApeosPort-III C3305/C2205 の場合は ApeosPort3C3305 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES c\([45]\) = -IC\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -Imonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([dsuio]\) = -Of\1
Options: MODES fu2 = -O*
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
```

```
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -C1
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=\(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=\(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDC3C3305.fd/FXAP3C3305.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre-III C3305/C2205、ApeosPort-III C3305/C2205 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC3C3305.fd/FXAP3C3305.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。

	(手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形3号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。

- (手差しトレイのみ有効)
- dl** 封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
(手差しトレイのみ有効)
- MxNmm** *MxNmm* の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。*M*(幅)、*N*(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。
このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。
不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 320.0x483.0mm です。
- y tray_output**
lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。
- | | |
|------------|------------------|
| fi | センタートレイ上段へ排紙します。 |
| fu2 | サイドトレイへ排紙します。 |
| fs | フィニッシャーへ排紙します。 |
| fo | 排出トレイへ排紙します。 |
- このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。
- y nc=*n***
出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。
- y cl**
部単位での印刷を選択します。
- y ts**
トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。
- y ie**
イメージエンハンス機能を使用しません。
- y cm=*mode***
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- | | |
|--------------|-----|
| Color | カラー |
| Bw | 白黒 |
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- y br=*brightness***
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- | | |
|-----------|---------|
| 2 | 明るい |
| 1 | やや明るい |
| 0 | 標準 |
| -1 | やや暗い |
| -2 | 暗い |
| OF | 補正を行わない |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- y crd=*collection***
RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。
- | | | |
|-----------|---------------------|-----------|
| OF | off | 補正を行わない |
| ST | standard | 標準 |
| PH | photo | 写真 |
| PR | presentation | プレゼンテーション |
| WB | web | Web ページ |
| CA | cad | CAD |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- y fe**

ユーザ一定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質 2
Minute	高精細

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録

されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=documentname

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dc3c3305」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dc3c3305 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.45 FXDC3C4400.fd/FXAP3C4400.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDC3C4400.fd
/etc/lp/fd/FXAP3C4400.fd
```

◇機能

FXDC3C4400.fd/FXAP3C4400.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-III C4400、ApeosPort-III C4400 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDC3C4400.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre3C4400
              (ApeosPort-III C4400 の場合は ApeosPort3C4400 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([us]\) = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=(.*) = -CM\=\1
```

```
Options: MODES pr\=\(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、`FXDC3C4400.fd/FXAP3C4400.fd` ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre-III C4400、ApeosPort-III C4400 以外に使用することはできません。

◇オプション

`FXDC3C4400.fd/FXAP3C4400.fd` ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル”13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル”14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。 不定形用紙の最小サイズは 100.2x100.2mm、最大サイズは 304.8x483.0mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

- fu サイドトレイへ排紙します。
- fs フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デ

フォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=*collection*

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面

OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dc3c4400」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dc3c4400 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.46 FXDC3C4405.fd/FXAP3C4405.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDC3C4405.fd
/etc/lp/fd/FXAP3C4405.fd
```

◇機能

FXDC3C4405.fd/FXAP3C4405.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-III C4405、ApeosPort-III C4405 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDC3C4405.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre3C4405
(ApeosPort-III C4405 の場合は ApeosPort3C4405 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([us]\) = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=(.*) = -CM\=\1
```

```
Options: MODES pr\=\(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、`FXDC3C4405.fd/FXAP3C4405.fd` ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre-III C4405、ApeosPort-III C4405 以外に使用することはできません。

◇オプション

`FXDC3C4405.fd/FXAP3C4405.fd` ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル [®] 13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル [®] 14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。 このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。 不定形用紙の最小サイズは 100.2x100.2mm、最大サイズは 304.8x483.0mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

- fu サイドトレイへ排紙します。
- fs フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デ

フォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=*collection*

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面

OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dc3c4405」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dc3c4405 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.47 FXDC3C7600.fd/FXAP3C7600.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDC3C7600.fd
/etc/lp/fd/FXAP3C7600.fd
```

◇機能

FXDC3C7600.fd/FXAP3C7600.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-III C7600/C6500/C5500、ApeosPort-III C7600/C6500/C5500 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。FXDC3C7600.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre3C7600
(ApeosPort-III C7600/C6500/C5500 の場合は ApeosPort3C7600 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-46]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES c\([45]\) = -IC\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 12.6x19.2in = -I*
Options: MODES 13x18in = -I*
Options: MODES 13x19in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([ds]\) = -Of\1
Options: MODES mb\([1-9]\) = -Om\1
```

```
Options: MODES mb10 = -Om10
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm=\(.*\) = -CM=\1
Options: MODES pr2=\(.*\) = -Pr2=\1
Options: MODES pt=\(.*\) = -Pt=\1
Options: MODES m=\(.*\) = -M=\1
Options: MODES co=\(.*\) = -CO=\1
Options: MODES br=\(\[-*0-2]\) = -Br=\1
Options: MODES br=OF = -Br=OF
Options: MODES crd=\(.*\) = -CRD=\1
Options: MODES jo=\(.*\) = -Jo=\1
Options: MODES td=\(.*\) = -Td=\1
Options: MODES nc=\(.*\) = -Nc=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau=\(.*\) = -JOAU=\1
Options: MODES acna=\(.*\) = -ACNA=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、`FXDC3C7600.fd/FXAP3C7600.fd` ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre-III C7600/C6500/C5500、ApeosPort-III C7600/C6500/C5500 以外に使用することはできません。

◇オプション

`FXDC3C7600.fd/FXAP3C7600.fd` ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺と同じ印刷を行います。長辺と同じ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺と同じ印刷を行います。短辺と同じ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。

a6	A6用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpc	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形3号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c4	封筒 C4号がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル”13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル”14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。

- 16kaiT 十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- 8kaiC 八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- 16kaiC 十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- ca4 表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
- cletter 表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
- MxNmm* *MxNmm* の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。*M*(幅)、*N*(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。不定形用紙の最小サイズは 100.2x148.2mm、最大サイズは 329.8x487.9mm です。
- y tray_output**
lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。
- fd センタートレイへ排紙します。
- m n メールボックスのビン n へ排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。
- fs フィニッシャーへ排紙します。
- このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。
- y nc= n**
出力部数を指定します(n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。
- y cl**
部単位での印刷を選択します。
- y ts**
トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。
- y ie**
イメージエンハンス機能を使用しません。
- y cm=*mode***
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- Color カラー
- Bw 白黒
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- y br=*brightness***
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- 2 明るい
- 1 やや明るい
- 0 標準
- 1 やや暗い
- 2 暗い
- OF 補正を行わない
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
HO	holed	穴あき紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム

-y pr2=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質
Minute	高精細
Page	ページ印刷

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y td=*type*

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*username* で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。*username* を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、*documentname* で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。*documentname* を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dc3c7600」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dc3c7600 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.48 FXDC4C5570.fd/FXAP4C5570.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDC4C5570.fd
/etc/lp/fd/FXAP4C5570.fd
```

◇機能

FXDC4C5570.fd/FXAP4C5570.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDC4C5570.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre4C5570
                (ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270
                 の場合は ApeosPort4C5570 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-46]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -Imonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([iso]\) = -Of\1
Options: MODES fu2 = -O*
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
```

```
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -C1
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=\(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=\(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDC4C5570.fd/FXAP4C5570.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC4C5570.fd/FXAP4C5570.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y *tray_input*

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。

b6	B6用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形3号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル ¹³ 、ガバメントリーガル、8.5x13インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル ¹⁴ 、8.5x14インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙A4用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

- MxNmm*** *MxNmm* の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。*M*(幅)、*N*(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。
- 不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 319.9x482.9mm です。
- y *tray_ouput***
lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。
- | | |
|-------------------|------------------|
| <i>fi</i> | センタートレイ上段へ排紙します。 |
| <i>fu2</i> | サイドトレイへ排紙します。 |
| <i>fs</i> | フィニッシャーへ排紙します。 |
| <i>fo</i> | 排出トレイへ排紙します。 |
- このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。
- y *nc=n***
出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。
- y *cl***
部単位での印刷を選択します。
- y *ts***
トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。
- y *ie***
イメージエンハンス機能を使用しません。
- y *cm=mode***
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- | | |
|---------------------|-----|
| <i>Color</i> | カラー |
| <i>Bw</i> | 白黒 |
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- y *br=brightness***
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- | | |
|------------------|---------|
| <i>2</i> | 明るい |
| <i>1</i> | やや明るい |
| <i>0</i> | 標準 |
| <i>-1</i> | やや暗い |
| <i>-2</i> | 暗い |
| <i>OF</i> | 補正を行わない |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- y *crd=collection***
RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。
- | | | |
|------------------|----------------------------|-----------|
| <i>OF</i> | <i>off</i> | 補正を行わない |
| <i>ST</i> | <i>standard</i> | 標準 |
| <i>PH</i> | <i>photo</i> | 写真 |
| <i>PR</i> | <i>presentation</i> | プレゼンテーション |
| <i>WB</i> | <i>web</i> | Web ページ |
| <i>CA</i> | <i>cad</i> | CAD |
| <i>PO</i> | <i>pop</i> | POP |
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。
- y *fe***
ユーザー定義用紙向き修正を行いません。
- y *jo=type***

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質
Minute	高精細

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y td=type

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します
M	手差しトレイを使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=username

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、`username` で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。`username` を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=documentname

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、`documentname` で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。`documentname` を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dc4c5570」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dc4c5570 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.49 FXDC4C5575.fd/FXAP4C5575.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDC4C5575.fd
/etc/lp/fd/FXAP4C5575.fd
```

◇機能

FXDC4C5575.fd/FXAP4C5575.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDC4C5575.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre4C5575
                (ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275
                 の場合は ApeosPort4C5575 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-46]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES c\([45]\) = -IC\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -Imonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([iso]\) = -Of\1
Options: MODES fu2 = -O*
Options: MODES DuplexBook = -D
```

```
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm\=\(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=\(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES td\=\(.*\) = -Td\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、`FXDC4C5575.fd/FXAP4C5575.fd` ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、`DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275`、`ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275` 以外に使用することはできません。

◇オプション

`FXDC4C5575.fd/FXAP4C5575.fd` ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y `tray_input` オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

<code>tray1</code>	トレイ 1 から給紙します。
<code>tray2</code>	トレイ 2 から給紙します。
<code>tray3</code>	トレイ 3 から給紙します。
<code>tray4</code>	トレイ 4 から給紙します。
<code>tray6</code>	トレイ 6 から給紙します。
<code>a3</code>	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a4</code>	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a5</code>	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a6</code>	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
<code>b4</code>	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。

b5	B5用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形3号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒C5号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c4	封筒C4号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル ¹³ 、ガバメントリーガル、8.5x13インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル ¹⁴ 、8.5x14インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙A4用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。

(手差しトレイのみ有効)
com10 封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
 (手差しトレイのみ有効)
dl 封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
 (手差しトレイのみ有効)
MxNmm *MxNmm* の不定形用紙がセットされたトレイから給紙しま
 す。*M*(幅)、*N*(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。
 このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デ
 フォルトのトレイから給紙されます。
 不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 319.9x482.9mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次
 のとおりです。

fi センタートレイ上段へ排紙します。
fu2 サイドトレイへ排紙します。
fs フィニッシャーへ排紙します。
fo 排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デ
 フォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィ
 ニッシャーでのホチキス止めはできません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が
 選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー
Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい
1 やや明るい
0 標準
-1 やや暗い
-2 暗い
OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=*collection*

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない
ST standard 標準
PH photo 写真
PR presentation プレゼンテーション
WB web Web ページ
CA cad CAD

PO pop POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H1A	hwpaper1A	厚紙 1[A]
1BA	hwpback1A	厚紙 1[A]裏面
H1B	hwpaper1B	厚紙 1[B]
1BB	hwpback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwpback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwpback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwpback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwpback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwpback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwpback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwpback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
FN	fine	上質紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面

-y pr=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質

3.50 FXDC4C7780.fd/FXAP4C7780.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDC4C7780.fd
/etc/lp/fd/FXAP4C7780.fd
```

◇機能

FXDC4C7780.fd/FXAP4C7780.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。FXDC4C7780.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre4C7780
(ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 の場合は ApeosPort4C7780 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-46]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES SRA3 = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES ek2 = -IEK2
Options: MODES c\([45]\) = -IC\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 12.6x19.2in = -I*
Options: MODES 13x18in = -I*
Options: MODES 13x19in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([ds]\) = -Of\1
Options: MODES mb\([1-9]\) = -Om\1
```

```

Options: MODES mb10 = -Om10
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
Options: MODES cm=\(.*\) = -CM=\1
Options: MODES pr2=\(.*\) = -Pr2=\1
Options: MODES pt=\(.*\) = -Pt=\1
Options: MODES m=\(.*\) = -M=\1
Options: MODES br=\(\-[0-2]\) = -Br=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd=\(.*\) = -CRD=\1
Options: MODES jo=\(.*\) = -Jo=\1
Options: MODES td=\(.*\) = -Td=\1
Options: MODES nc=\(.*\) = -Nc=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau=\(.*\) = -JOAU=\1
Options: MODES acna=\(.*\) = -ACNA=\1

```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDC4C7780.fd/FXAP4C7780.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC4C7780.fd/FXAP4C7780.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。

a6	A6用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
SRA3	12.6x17.8インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形3号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
ek2	封筒角形2号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c4	封筒 C4号がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル ¹³ 、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル ¹⁴ 、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント (ハーフレター、5.5x8.5 インチ) 用紙がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
12x18in	12x18in 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
12.6x19.2in	12.6x19.2 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x18in	13x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
13x19in	13x19 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。

- 16kaiT 十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- 8kaiC 八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- 16kaiC 十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
- ca4 表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
- cletter 表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
- MxNmm* *MxNmm* の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。*M*(幅)、*N*(高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。不定形用紙の最小サイズは 100.2x148.2mm、最大サイズは 329.8x487.9mm です。
- y tray_output**
lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。
- fd センタートレイへ排紙します。
- m n メールボックスのビン n へ排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。
- fs フィニッシャーへ排紙します。
- このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ (工場出荷時はセンタートレイ) が選択されます。また、フィニッシャーでのホチキス止めはできません。
- y nc= n**
出力部数を指定します(n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。
- y cl**
部単位での印刷を選択します。
- y ts**
トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。
- y ie**
イメージエンハンス機能を使用しません。
- y cm=*mode***
カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。
- Color カラー
- Bw 白黒
- このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。
- y br=*brightness***
RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。
- 2 明るい
- 1 やや明るい
- 0 標準
- 1 やや暗い
- 2 暗い
- OF 補正を行わない
- このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=collection

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=type

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=type

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
H4	hwpaper4	厚紙 4
4B	hwpback4	厚紙 4 裏面
OH	ohp	OHP 用紙
HO	holed	穴あき紙
HOT1	holedthick1	穴あき紙厚 1
HOT2	holedthick2	穴あき紙厚 2
HOT3	holedthick3	穴あき紙厚 3
HOT4	holedthick4	穴あき紙厚 4
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2
TB3	tabbed3	インデックス紙 3
TB4	tabbed4	インデックス紙 4
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面
TF	tackfilm	タックフィルム

EN	envelope	封筒
HA	hagaki	はがき

-y pr2=resolution

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed2	高速 2
Quality2	高画質 2
Minute	高精細
Glossy	光沢

-y pt=target

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y td=type

OHP 用合紙の給紙先を選択します。次の OHP 用合紙の給紙先が利用できます。

A	プリンタ設定を使用します
1	トレイ 1 を使用します
2	トレイ 2 を使用します
3	トレイ 3 を使用します
4	トレイ 4 を使用します
6	トレイ 6 を使用します

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=username

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=documentname

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dc4c7780」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dc4c7780 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.51 FXDC4C2260.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDC4C2260.fd`

◇機能

FXDC4C2260.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-IV C2260 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDC4C2260.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre4C2260
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-46]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -Imonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c5 = -IC5
Options: MODES c4 = -IC4
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([is]\) = -Of\1
Options: MODES fu2 = -O*
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE

```

```
Options: MODES cm\=\(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=\(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530 は、シンボリックリンクファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDC4C2260.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre-IV C2260 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC4C2260.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。

	(手差しトレイのみ有効)
ec3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 296.6x431.8mm です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次

のとおりです。

fi センタートレイ上段へ排紙します。

fs フィニッシャーへ排紙します。

このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color カラー

Bw 白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2 明るい

1 やや明るい

0 標準

-1 やや暗い

-2 暗い

OF 補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=*collection*

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF off 補正を行わない

ST standard 標準

PH photo 写真

PR presentation プレゼンテーション

WB web Web ページ

CA cad CAD

PO pop POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job ジョブ単位

SE set セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL plain 普通紙

UD used 普通紙裏面

H1 hwpaper1 厚紙 1

1B	hwback1	厚紙 1 裏面
H1A	hwpaper1A	厚紙 1[A]
1BA	hwback1A	厚紙 1[A]裏面
H1B	hwpaper1B	厚紙 1[B]
1BB	hwback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwback3	厚紙 3 裏面
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality2	高画質

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=username

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、`username` で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。`username` を指定しない場合は、`UnknownUser` で記録されます。

-y acna=documentname

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、`documentname` で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。`documentname` を指定しない場合は、`UnknownDocument` で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dc4c2260」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dc4c2260 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.52 FXDC4C2263.fd (Solaris)

◇形式

`/etc/lp/fd/FXDC4C2263.fd`

◇機能

FXDC4C2263.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-IV C2263 特有の指定機能を付加する `fxpif` フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、`lpfilter` コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、`lp` コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDC4C2263.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre4C2263
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3530
Options: MODES tray\([1-4]\) = -I\1
Options: MODES a\([3-6]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-6]\) = -IB\1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpcy = -IDPCY
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -Imonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c5 = -IC5
Options: MODES c4 = -IC4
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES cletter = -ICLT
Options: MODES [0-9][0-9.]*x[0-9][0-9.]*mm = -I*
Options: MODES msi = -MSI
Options: MODES f\([is]\) = -Of\1
Options: MODES fu2 = -O*
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES ie = -E
Options: MODES ts = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES fe = -FE
```

```
Options: MODES cm\=\(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES pr\=\(.*\) = -Pr\=\1
Options: MODES pt\=\(.*\) = -Pt\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-2]\) = -Br\=\1
Options: MODES br\=OF = -Br\=OF
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES jo\=\(.*\) = -Jo\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau\=\(.*\) = -JOAU\=\1
Options: MODES acna\=\(.*\) = -ACNA\=\1
```

Command で定義されている `/usr/lib/lp/postscript/postfxps3530` は、シンボリックリンクファイルであり、実際には `fxpif` コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDC4C2263.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuCentre-IV C2263 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC4C2263.fd ファイルを `lpfilter` コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、排紙トレイ、カラーモード等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y msi

手差しトレイからの給紙を指定します。-y *tray_input* オプションで用紙サイズを指定することで、手差しトレイから任意の用紙サイズを給紙することができます。

-y tray_input

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
b4	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
postcard	ハガキがセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dpcy	往復ハガキ 横がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)

ec3	封筒長形 3 号用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
c4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
letter	レター(8.5x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー(ダブルレター、11x17 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ(リーガル"13、ガバメントリーガル、8.5x13 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル(リーガル"14、8.5x14 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント(ハーフレター、5.5x8.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
exe	Executive(7.25x10.5 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
4x6in	4x6 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
5x7in	5x7 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8x10in	8x10 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
11x15in	11x15 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
8kaiT	八開(267x388mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)用紙がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。 (手差しトレイのみ有効)
cletter	表紙レター(9x11 インチ)用紙がセットされたトレイから給紙します。(手差しトレイのみ有効)
<i>MxNmm</i>	<i>MxNmm</i> の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。 <i>M</i> (幅)、 <i>N</i> (高さ)は正の実数(小数点第一位まで有効)です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 89.3x98.1mm、最大サイズは 296.6x482.9mm です。

-y tray_ouput

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fi センタートレイ上段へ排紙します。
 fu2 サイドトレイへ排紙します。
 fs フィニッシャーへ排紙します。
 このオプションを指定しない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はセンタートレイ）が選択されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します(*n* は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。

-y ts

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y ie

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y cm=*mode*

カラーモードを選択します。次のカラーモードが指定できます。

Color	カラー
Bw	白黒

このオプションを指定しない場合は「カラー」が選択されます。

-y br=*brightness*

RGB 明るさ補正を選択します。次の RGB 明るさ補正が利用できます。

2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
OF	補正を行わない

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y crd=*collection*

RGB 色補正の色合いを選択します。次の RGB 色合い補正が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

OF	off	補正を行わない
ST	standard	標準
PH	photo	写真
PR	presentation	プレゼンテーション
WB	web	Web ページ
CA	cad	CAD
PO	pop	POP

このオプションを指定しない場合は「標準」が選択されます。

-y fe

ユーザー定義用紙向き修正を行いません。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字のものは省略形です。

PL	plain	普通紙
UD	used	普通紙裏面
H1	hwpaper1	厚紙 1

1B	hwpback1	厚紙 1 裏面
H1A	hwpaper1A	厚紙 1[A]
1BA	hwpback1A	厚紙 1[A]裏面
H1B	hwpaper1B	厚紙 1[B]
1BB	hwpback1B	厚紙 1[B]裏面
H1C	hwpaper1C	厚紙 1[C]
1BC	hwpback1C	厚紙 1[C]裏面
H1S	hwpaper1S	厚紙 1[S]
1BS	hwpback1S	厚紙 1[S]裏面
H2	hwpaper2	厚紙 2
2B	hwpback2	厚紙 2 裏面
H2A	hwpaper2A	厚紙 2[A]
2BA	hwpback2A	厚紙 2[A]裏面
H2B	hwpaper2B	厚紙 2[B]
2BB	hwpback2B	厚紙 2[B]裏面
H2C	hwpaper2C	厚紙 2[C]
2BC	hwpback2C	厚紙 2[C]裏面
H2D	hwpaper2D	厚紙 2[D]
2BD	hwpback2D	厚紙 2[D]裏面
H2S	hwpaper2S	厚紙 2[S]
2BS	hwpback2S	厚紙 2[S]裏面
H3	hwpaper3	厚紙 3
3B	hwpback3	厚紙 3 裏面
FN	fine	上質紙
RC	recycled	再生紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
LB3	label3	ラベル紙 3
C1	coat1	コート紙 1
C1B	coat1back	コート紙 1 裏面
C2	coat2	コート紙 2
C2B	coat2back	コート紙 2 裏面
C3	coat3	コート紙 3
C3B	coat3back	コート紙 3 裏面

-y pr=*resolution*

印刷解像度を指定します。次の印刷解像度が指定できます。

Speed	高速
Quality	高画質

-y pt=*target*

印刷目的を指定します。次の印刷目的が指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
FS	fast	階調優先
FN	fine	精細度優先
ST	standard	標準

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y joau=username

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、`username` で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。`username` を指定しない場合は、`UnknownUser` で記録されます。

-y acna=documentname

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、`documentname` で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。`documentname` を指定しない場合は、`UnknownDocument` で記録されます。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第 4 章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「dc4c2263」の A4 の両面印刷（長辺とじ）する場合、次のように入力します。

```
% lp -d dc4c2263 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.53 FXLW3320.fd (Solaris)

◇形式

/etc/lp/fd/FXLW3320.fd

◇機能

FXLW3320.fd ファイルは PostScript データに Color Laser Wind 3320PS 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXLW3320.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: LaserWind3320
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3320
Options: MODES sa3 = -ISA3
Options: MODES a\([3-4]\) = -IA\1
Options: MODES b\([4-5]\) = -IB\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES tabloid = -ITB
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES \(.*\)in = -I\lin
Options: MODES msi-sa3 = -IMSI-SA3
Options: MODES msi-a\([345]\) = -IMSI-A\1
Options: MODES msi-b\([45]\) = -IMSI-B\1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-tabloid = -IMSI-TB
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-c6 = -IMSI-C6
Options: MODES msi-\(.*\)mm = -IMSI-\lmm
Options: MODES msi-\(.*\)in = -IMSI-\lin
Options: MODES msi-\(.*\)pt = -IMSI-\lpt
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES face-up = -Ofu
Options: MODES cm\=\(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES co\=\(.*\) = -CO\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-3]\) = -Br=\1
Options: MODES rs\=\(.*\) = -Rs\=\1
Options: MODES sm\=\(.*\) = -Sm\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps

```

Command で定義されている /usr/lib/lp/postscript/postfxps3320 は、シンボリックリンクファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXLW3320.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、Color Laser Wind 3320PS 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXLW3320.fd ファイルを `lpfilter` コマンドでプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

<code>sa3</code>	特 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a3</code>	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a4</code>	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b4</code>	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b5</code>	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>letter</code>	レター用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>tabloid</code>	タブロイド用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>legal</code>	リーガル用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>12x18in</code>	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>msi-sa3</code>	特 A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-a3</code>	A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-a4</code>	A4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-a5</code>	A5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-b4</code>	B4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-b5</code>	B5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-letter</code>	レター用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-tabloid</code>	タブロイド用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-legal</code>	リーガル用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-12x18in</code>	12x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-postcard</code>	ハガキがセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-c6</code>	封筒：洋形 2 号を手差しトレイから給紙します。
<code>msi-MxNmm</code>	$M \times N$ mm の不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。 M (幅)、 N (高さ)は正の実数です(小数点第一位まで有効)
<code>msi-MxMin</code>	$M \times N$ インチの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。 M (幅)、 N (高さ)は正の実数です(小数点第二位まで有効)。
<code>msi-MxNpt</code>	$M \times N$ ポイントの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。 M (幅)、 N (高さ)は正の整数です。

-y tray_output

`lp` コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

<code>face-down</code>	フェースダウントレイを選択します。
<code>face-up</code>	フェースアップトレイを選択します。

-y nc=n

出力部数を指定します(n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y cm=model

カラーモデルを指定します。以下の 2 つの値が指定できます。

Gray	グレースケール(白黒)
CMYK	シアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)の 4 色

-y br=brightness

明るさを指定します。次の値が指定できます。

3	非常に明るい
2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
-3	非常に暗い

-y crd=dicname

カラーレンダリング辞書を指定します。次の値が指定できます。

PT	photographic-text	テキスト文書用連続調辞書
BT	business-text	テキスト文書用ビジネスグラフィック辞書
OT	ohp-text	テキスト文書用 OHP/OHT 辞書
PG	photographic-graphic	図・表・グラフ用連続調辞書
BG	business-graphic	図・表・グラフ用ビジネスグラフィック辞書
OG	ohp-graphic	図・表・グラフ用 OHP/OHT 辞書
PI	photographic-image	写真用連続調辞書
BI	business-image	写真用ビジネスグラフィック辞書
OI	ohp-image	写真用 OHP/OHT 辞書

オプションを複数指定する場合、**-y crd=PT -y crd=BG** の様に指定します。

-y co=type

ハーフトーンを指定します。次の値が指定できます。

DT	detail-text	解像度を優先するテキスト文書
ST	smooth-text	階調を優先するテキスト文書
DG	detail-graphic	解像度を優先する図・表・グラフ
SG	smooth-graphic	階調を優先する図・表・グラフ
DI	detail-image	解像度を優先する写真
SI	smooth-image	階調を優先する写真

オプションを複数指定する場合、**-y co=DT -y co=DG** の様に指定します。

-y rs=sourcename

RGB ソースを指定します。次の値が指定できます。

ER	efrgb	EFIRGB
SR	srgb	sRGB(PC)
AP	apple	Apple 標準
OF	off	オフ

-y sm=mode

CMYK シミュレーションを指定します。次の値が指定できます。

SW	swop	SWOP-corted
DI	dic	DIC
EU	euroscale	Euroscale
OF	off	オフ

-y m=type2

用紙種別を指定します。次の値が指定できます。

PL	plain	普通紙
OH	ohp	OHP シート
LB	label	ラベル
CV	cover	厚紙・封筒

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

オプションを指定しない場合、プリンタに設定されているデフォルト用紙サイズ(A4、レター)で出力されます。

指定した用紙がトレイに無い場合は、トレイに用紙の補充を求められます。

不定形用紙の指定は-y msi-180x250.2mm の様に指定します。

また、cm、co、crd、br、rs、sm、m オプションのオプション値についての詳しい説明は、「3.5 euc2ps2」を参照して下さい。

補足 ▶ オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第4章 注意制限事項」を参照してください。

◇使用例

プリンタ名「3320PS」の手差しトレイのハガキに印刷し、ハーフトーンに ST、DG を指定する場合、次のように入力します。

```
% lp -d 3320PS -y msi-postcard -y co=ST -y co=DG filename
```

3.54 FXDPC625.fd (Solaris)

◇形式

```
/etc/lp/fd/FXDPC625.fd
```

◇機能

FXDPC625.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint C625PS/C626PS 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FXDPC625.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrintC625
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps3320
Options: MODES sa3 = -ISA3
Options: MODES a\([34]\) = -IA\1
Options: MODES b\([45]\) = -IB\1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES tabloid = -ITB
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES \(.*\)in = -I\1in
Options: MODES msi-sa3 = -IMSI-SA3
Options: MODES msi-a\([3-5]\) = -IMSI-A\1
Options: MODES msi-b\([45]\) = -IMSI-B\1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-tabloid = -IMSI-TB
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-pc = -IMSI-PC
Options: MODES msi-c6 = -IMSI-C6
Options: MODES msi-y\([34]\) = -IMSI-Y\1
Options: MODES msi-yc3 = -IMSI-YC3
Options: MODES msi-\(.*\)mm = -IMSI-\1mm
Options: MODES msi-\(.*\)in = -IMSI-\1in
Options: MODES msi-\(.*\)pt = -IMSI-\1pt
Options: MODES f\([du]\) = -Of\1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES cm\=\(.*\) = -CM\=\1
Options: MODES crd\=\(.*\) = -CRD\=\1
Options: MODES br\=\(\-*[0-3]\) = -Br=\1
Options: MODES rs\=\(.*\) = -Rs\=\1
Options: MODES sm\=\(.*\) = -Sm\=\1
Options: MODES m\=\(.*\) = -M\=\1
Options: MODES nc\=\(.*\) = -Nc\=\1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
```

Command で定義されている /usr/lib/lp/postscript/postfxps3320 は、シンボリックリンクファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

- 注記 ▶ SunOS 4.x の場合は、FXDCP625.fd ファイルを使用しません。
- ▶ このファイルは、DocuPrint C625PS/C626PS 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDPC625.fd ファイルを `lpfilter` コマンドでプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。

-y tray_input

`lp` コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

<code>sa3</code>	特 A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a3</code>	A3 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>a4</code>	A4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b4</code>	B4 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>b5</code>	B5 用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>letter</code>	レター用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>tabloid</code>	タブロイド用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>legal</code>	リーガル用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>12x18in</code>	12x18 インチ用紙がセットされたトレイから給紙します。
<code>msi-sa3</code>	特 A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-a3</code>	A3 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-a4</code>	A4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-a5</code>	A5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-b4</code>	B4 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-b5</code>	B5 用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-letter</code>	レター用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-tabloid</code>	タブロイド用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-legal</code>	リーガル用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-12x18in</code>	12x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-13x18in</code>	13x18 インチ用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-postcard</code>	ハガキがセットされた手差しトレイから給紙します。
<code>msi-c6</code>	封筒：洋形 2 号を手差しトレイから給紙します。
<code>msi-y3</code>	封筒：洋形 3 号を手差しトレイから給紙します。
<code>msi-y4</code>	封筒：洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
<code>msi-yc3</code>	封筒：長洋形 3 号を手差しトレイから給紙します。
<code>msi-MxNmm</code>	$M \times N$ mm の不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。 M (幅)、 N (高さ)は正の実数です(小数点第一位まで有効)
<code>msi-MxMin</code>	$M \times N$ インチの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。 M (幅)、 N (高さ)は正の実数です(小数点第二位まで有効)。
<code>msi-MxNpt</code>	$M \times N$ ポイントの不定形用紙がセットされた手差しトレイから給紙します。 M (幅)、 N (高さ)は正の整数です。

-y tray_output

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

fd	フェースダウントレイを選択します。
fu	フェースアップトレイを選択します。

-y nc=n

出力部数を指定します(n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y cm=model

カラーモデルを指定します。以下の 2 つの値が指定できます。

Gray	グレースケール(白黒)
CMYK	シアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)の 4 色

-y br=brightness

明るさを指定します。次の値が指定できます。

3	非常に明るい
2	明るい
1	やや明るい
0	標準
-1	やや暗い
-2	暗い
-3	非常に暗い

-y crd=dicname

カラーレンダリング辞書を指定します。次の値が指定できます。

PHO	連続調辞書
PRE	ビジネスグラフィック辞書
ABS	絶対カラーメトリック辞書
REL	相対カラーメトリック辞書

-y rs=sourcename

RGB ソースを指定します。次の値が指定できます。

ER	efirgb	EFIRGB
SR	srgb	sRGB(PC)
AP	apple	Apple 標準
OF	off	オフ

-y sm=mode

CMYK シミュレーションを指定します。次の値が指定できます。

SW	swop	SWOP-corted
DI	dic	DIC
EU	euroscale	Euroscale
OF	off	オフ

-y m=type2

用紙種別を指定します。次の値が指定できます。

PL	plain	普通紙
PD	pldup	普通紙裏面
OH	ohp	OHP シート
LB	label	ラベル
CV	cover	厚紙
CD	covdup	厚紙裏面
GL	glossy	専用光沢紙
GD	glsdup	専用光沢紙裏面
CT	coated	コート紙
TD	cotdup	コート紙裏面
CS	cdstock	ハガキ
SD	cdsdup	ハガキ裏面
EV	envelope	封筒

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

オプションを指定しない場合、プリンタに設定されているデフォルト用紙サイズ(A 4、レター)で出力されます。

指定した用紙がトレイに無い場合は、トレイに用紙の補充を求められます。

不定形用紙の指定は `-y msi-180x250.2mm` の様に指定します。

また、`cm`、`co`、`crd`、`br`、`rs`、`sm`、`m` オプションのオプション値についての詳しい説明は、「3.4 euc2ps2」を参照して下さい。

◇使用例

プリンタ名「625PS」の B5 用紙に印刷し、カラーレンダリング辞書に連続調辞書、を指定し、長辺とじの両面印刷を行う場合、次のように入力します。

```
% lp -d 625PS -y b5 -y crd=PHO -y DuplexBook filename
```

第4章 注意制限事項

4.1 インストール時

インストールするとき、次の点に注意してください。

プリンタ側

- ▶ 以前のバージョンで、JCL スイッチを無効にする事が必須操作となっていました。XJCL コマンド出力オプションにより、操作を行わなくても動作できるようになりました。XJCL コマンド出力を行わない場合は、JCL スイッチは無効にしてください。プリンタには、ユーザ名とホスト名で、プリント履歴が記録されます。
- ▶ DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP では ROM のバージョンによっては 8 開、16 開用紙の指定、トレイからの MxNmm 用紙の指定、両面印刷、手差し用紙確認、OHP 用合紙、排紙トレイのメールボックス/フィニッシャー指定、カラーモードをカラーでの画質優先指定、カラーモードの自動判別、手差し用紙種別の厚紙 1 または 2 の裏面指定、RGB 色合い補正の WEB ページ指定の機能が使用できません、詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照して下さい。
- ▶ DocuPrint C2220 と Solaris 2.6/7/8/9 をご使用の場合は、プリンタの ROM のバージョンによりましては、印刷ジョブがプリンタに送信されません。プリンタ本体のメニューから、プリンタ設定リストを出力し、標準+PostScriptROM バージョンが 1.0.15 以降のバージョンであることをご確認ください。これ以前のバージョンをご使用の場合、DocuPrint C2220 の販売店様にご相談され、ROM のアップデートを行ってください。
- ▶ DocuPrint C2220/C2221 と redhat Linux 7.1 以降および Turbolinux7 以降をご使用の場合は、プリンタの ROM のバージョンにより印刷できない場合があります。プリンタ本体のメニューから、プリンタ設定リストを出力し、標準+PostScriptROM バージョンが 1.0.30 以降のバージョンであることをご確認ください。これ以前のバージョンをご使用の場合、DocuPrint C2220/C2221 の販売店様にご相談され、ROM のアップデートを行ってください。

ワークステーション側

- ▶ [Sun/Solaris/Linux/HP-UX] 対応 OS は、CD-ROM 取扱いの手引きに記載されているとおりです。
- ▶ [Sun/Solaris/Linux/HP-UX] ディスク容量は、インストール時の作業領域を含めて約 20 メガバイト必要です。
- ▶ [Sun/Linux/HP-UX] スーパーユーザーになる必要があります。スーパーユーザーの権限を持っていない場合、ネットワーク管理者に設定を依頼してください。
- ▶ [Sun] SunOS で、/dev/ttya や/dev/ttyb にプリンタを接続する場合、/etc/ttytabs に記述されているシリアルポート (ttya または ttyb など) の status が off になっている必要があります。
- ▶ [Solaris] Solaris で提供されている Administration Tool (admintool) から起動されている PrintManager を利用した場合、プリンタのコンテンツタイプが変更されることがあります。“lpstat -p プリンタ名 -l”と入力して、“Content types: postscript”となった場合は、lpadmin コマンドによりプリンタを削除して再度インストールする必要があります。UNIX フィルターから登録したプリンタは admintool で変更を行わないでください。
また、デフォルトプリンタの登録を行う場合も、lpadmin コマンドを使用してください。
(lpadmin -d プリンタ名) パナーシートの出力の抑制には、/etc/lp/interfaces/プリンタ名ファイルの、「nobanner=no」を「nobanner=yes」に変更して下さい。
- ▶ [HP-UX] システムに出力プリンタが登録されていなければなりません。
出力プリンタは sam コマンド等を使用する事で登録することができます。
詳しくは HP-UX 関連のマニュアルを参照してください。
Color Laser Wind 3320PS または DocuPrint C625PS/C626PS を、sam でプリンタを登録する際の、Remote Printer Name は必ず xidirect または xjprint として下さい。詳しくは、プリンタ本体のマニュアルのキューを使用した印刷の項をご覧ください。

- ▶ [Sun/Solaris/Linux/HP-UX] インストールデフォルトディレクトリの `/usr/local/fxbin1250`、`/usr/local/fxbin2220`、`/usr/local/fxbin3530`、`/usr/local/fxbin3320` にインストールする場合は、`/usr/local` ディレクトリが存在する必要があります。
- ▶ [Linux] RedHatLinux7 以降および TurboLinux 7 以降では `printcap` 修正後に、`lpc reread` と入力し再構成された `printcap` の情報を読み込んで下さい。また、デフォルトプリンタは、`printcap` の先頭に書かれたプリンタがデフォルトプリンタとなります、デフォルトプリンタの確認は、`lpc defaultq` で確認できます。

4.2 プリント時

プリントするとき、次の点に注意してください。

lp/lpr コマンド使用時 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

- ▶ オプションの記述を誤って指定した場合にエラーメッセージは出力されません。lp コマンド実行後、プリントがされない場合に各ユーティリティを単独で起動するとエラーメッセージを出力します。(Solaris ではエラーが表示されます。SunOS/Linux では printcap で指定されるエラーログファイルにエラーが出力されます。)
- ▶ EUC テキストをプリントする場合、環境変数 EUC2PS2 は無視されます。
- ▶ EUC テキストをプリントする場合、BS コードが行頭にあると、次の文字の印字位置が行頭より左側になってしまいます。
- ▶ EUC テキストをプリントする場合、1 行内にタブコードが複数あると、自動改行によりタブ位置がずれる場合があります。このような場合には、l や w オプションを指定してください。
- ▶ EUC テキストをプリントする場合、w オプションで指定する桁数 (columns) は、実際に印刷される文字数を示すものではありません。w オプションで指定する桁数から o オプションで指定する出力カラム位置 (outcolumns) を引いた値が実際に印刷される半角文字数となります。
- ▶ 同一オプションや類似オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効になります。
- ▶ 画像を出力する場合、印刷位置指定オプション (l) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、プリンタの機種によって異なります。詳しくは、プリンタ本体のマニュアルを参照してください。(Solaris では画像を、lp コマンドから直接出力することはできません。)
- ▶ XWD イメージ/TIFF イメージをプリントする場合、サイズオプション (s,S) が指定されないときは、ラスターデータの 1 ピクセルがプリンタの 1 画素に対応するようにスケールアップされます。

euc2ps2 コマンド使用時 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

- ▶ 同じオプションが指定されたときは、後方にあるものが優先されます。EUC2PS2OPTION は、コマンドラインのオプションより先に解析されるので、コマンドライン上で指定することにより一時的に EUC2PS2OPTION に設定してあるオプションを変更することができます。
- ▶ euc2ps2 のデフォルト出力は、ページ番号のコメント記述 (%% Page:m n) を出力しません。これは変換された PostScript 言語プログラムが、改行・改ページを制御するようになっているためです。したがって、euc2ps2 の出力を、他のアプリケーション (TRANSCRIPT の psrev 等) の入力とするときには、必ず行数指定 (-llines) を入れてページ番号記述を付加する必要があります。
- ▶ BS コードが行頭にあると、次の文字の印字位置が行頭より左側になってしまいます。
- ▶ 1 行内にタブコードが複数ある場合に、自動改行によりタブ位置がずれる場合があります。このような場合には、-l や -w オプションを指定してください。
- ▶ -w オプションで指定するけた数 (columns) は、実際に印刷される文字数を示すものではありません。-w オプションで指定するけた数から -o オプションで指定する出力カラム位置 (outcolumns) を引いた値が実際に印刷される半角文字数となります。
- ▶ -w、-l、-o、-L オプションと、-mg オプションを同時に使用することはできません。
- ▶ 余白指定オプション (-mg=u:b:r:l) の余白の開始位置は、用紙の端からではなく、各用紙に対するプリンタの印刷可能領域からの余白を設定します。
- ▶ -ps オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。

- ▶ EUC2PSOPTION で `fxpif` フィルターと同じオプションを使用する場合は、環境変数 `HOME` にユーザーのホームディレクトリを設定してください。環境変数 `HOME` が設定されていない場合は `fxpif` フィルターと同じオプションは使用できません。(Sun/Linux)

sunras2ps2/sunras2g4/tiff2ps2/tiff2g4/xwd2ps2/xwd2g4 コマンド使用時

(sunras2ps2/sunras2g4 は Sun/Solaris のみ)

- ▶ 同一オプションや `-s,-S` が同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効になります。
- ▶ サイズオプション (`-s,-S`) が指定されないときは、画像データの 1 ピクセルがプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- ▶ 印刷位置指定オプション (`-l left bottom`) で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。
- ▶ 12x18 インチ用紙、SRA3 用紙を使用する場合、用紙の余白(印刷可能領域)が他の用紙と異なります。0.25 インチのデフォルトでは画像が切れて印刷されない部分がありますので、以下の通りに印刷位置を指定し、調整を行ってください。(DC1250)
 - 12x18 インチ用紙(上下左右の余白:上下 10mm 左右:4mm)
 - 左印刷位置 : 0.25 インチ
 - 下印刷位置 : 0.43 インチ
 - SRA3 用紙(上下左右の余白:上下 6mm 左右:9mm)
 - 左印刷位置 : 0.28 インチ
 - 下印刷位置 : 0.4 インチ

tiff2ps2/tiff2g4 コマンド使用時 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

- ▶ 対応する圧縮形式は以下の 4 つです。
 - ・ハフマン圧縮(CCITT Group 3 変形ハフマンランレングスエンコーディング)
 - ・Fax-CCITT3 圧縮(ファクシミリ互換の CCITT Group 3)
 - ・パックビット圧縮
 - ・非圧縮

※上記圧縮形式であっても、1 ファイルに複数画像を持つ TIFF ファイルには、対応していません。

xwd2ps2/xwd2g4 コマンド使用時 (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

- ▶ 対応するフォーマットは以下の 3 つです。
 - ・ビジュアルクラスが `StaticGray` で画素が 1 ビット
 - ・ビジュアルクラスが `PseudoColor` で画素が 4 ビットまたは 8 ビット、イメージ形式が `Zpixmap` 形式
 - ・ビジュアルクラスが `TrueColor` で画素が 24 ビット、イメージ形式が `Zpixmap` 形式

fxpif コマンド使用時 (Sun/Linux)

- ▶ `-ps` オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。

fxpif/fxpvf/fxpof/fxpg4f コマンド使用時 (Sun/Linux)

- ▶ 通常 `-w,-l` オプションはそれぞれの `/etc/printcap` の `pw,pl` エントリーに対応しますが、本フィルターでは `/etc/printcap` の `pw,pl` エントリーは無視されます。このため、`pw,pl` エントリーを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。
- ▶ Linux でユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイルの設定を有効にするには、ユーザーホームディレクトリ設定ファイルにホームディレクトリの設定を行ってください。未設定の場合、デフォルトコマンドオプション設定ファイルの設定が有効になります。

fxoption コマンド使用時 (Sun/Linux)

- ▶ 指定されたプリンタに対するユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル（`$HOME/.fxpsdefault1250`、`$HOME/.fxpsdefault2220`、`$HOME/.fxpsdefault3530`、`$HOME/.fxpsdefault3320`）が存在しない場合には、デフォルトコマンドオプションファイルが自動的に作成されます。
- ▶ 環境変数 `HOME` が設定されていない場合、`fxoption` コマンドはユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイルを作成、更新しません。`fxoption` コマンドを使用する場合は、環境変数 `HOME` にユーザーのホームディレクトリを設定してください。
- ▶ プリント待ちのジョブが存在する場合には、`fxoption` コマンドは使用できません。プリント待ちのジョブが存在する場合には、プリントジョブがなくなってから `fxoption` コマンドを実行してください。
- ▶ 特 A3 用紙を指定する場合、`fxpif` で出力を行う PostScript ファイルには、用紙サイズ指定を行わないで下さい。（CLWDC）

カラーモードと CRD 色補正を指定して印刷する場合について (DC1250)

- ▶ カラーモードを「カラー/白黒自動判別」を指定し、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定しますと、「カラー/白黒自動判別」が正常に動作せず、誤判定される場合があります。正しい課金のためには、CRD 色補正を「補正を行わない」以外に指定する場合、明示的に「カラー」または「白黒」を指定する必要があります。

印刷解像度の指定で、標準または画質優先を選択する場合について (DP2220)

- ▶ 速度優先を指定される場合よりも、画像が小さく印刷されます。印刷解像度を指定される場合は、画像の大きさ指定(-s または-S)をご使用になり、画像の大きさを指定してください。

PostScript ファイルを印刷する場合について (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

- ▶ 用紙サイズ等の指定の入った PostScript ファイルに対して、同様のオプションを `fxpif` (SunOS/Linux) または `lp` コマンド (Solaris/HP-UX) で指定する場合、指定されたオプションは無視されます。

オンラインマニュアルを参照する場合について

- ▶ 各コマンドに対するオンラインマニュアルを、`jman` コマンドより参照する場合は、コマンド名の最後にプリンタの機種に対応する「1250、2220、3530、3320」を付けて下さい。
例：`euc2ps2` のオンラインマニュアルを参照する場合

```
% man euc2ps21250
% man euc2ps22220
% man euc2ps23530
% man euc2ps23320
```

Solaris から画像ファイルを印刷する場合について (Solaris)

- ▶ Solaris から画像を印刷する場合、`lp` コマンドに、直接画像ファイルを指定し印刷することはできません。`sunras2ps2`、`sunras2g4`、`tiff2ps2`、`tiff2g4`、`xwd2ps2`、`xwd2g4` をご使用になり、PostScript ファイルに変換し、変換後 `lp` コマンドから出力して下さい。
例：XWD 画像をデフォルトプリンタに印刷する場合

```
% xwd2ps2 file.xwd | lp
```

ホチキスについて (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

- ▶ ステープルフィニッシャーオプションを装着してご使用の場合、UNIX フィルターからホチキス止めを指定することはできません。

XJCL について (DC1250 DP2220 Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

lp もしくは lpr コマンドを使用する際に、PostScript ファイルの先頭に、XJCL コマンドを同時に出力を行います。XJCL コマンドを付加することにより、プリンタ内部で集計リストの作成が行われます。これにより、JCL スイッチを無効にする必要は無くなりました。集計リストの出力方法は、プリンタのマニュアルを参照してください。

また、XJCL コマンドが付加された PostScript ファイルを出力する場合、ファイルに記述されるオーナー名、ホスト名は変更されません。オーナー名、ホスト名の変更を行う場合は、PostScript ファイル内の XJCL コマンドを削除し、PostScript のみの記述にして、出力を行ってください。

用紙種別と出力トレイについて (CLWDC)

- ▶ 普通紙を指定する場合で、用紙サイズに手差し A5、ハガキ、洋形 2 号を指定する場合は必ず出力トレイにフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ OHP シートを指定する場合は、必ず用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出力トレイはフェースアップトレイを指定して下さい。また、CRD には全て OHP を指定して下さい。
- ▶ ラベルを指定する場合は、用紙サイズは手差し A4 または手差しレター、出力トレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ 厚紙・封筒を指定する場合は、用紙サイズは手差し用紙、出力トレイはフェースアップトレイを指定して下さい。
- ▶ トレイからの給紙を指定する場合は、普通紙を指定してください。

不定形用紙サイズについて

- ▶ 不定形用紙として指定できる最小サイズおよび最大サイズは、プリンタが使用可能な用紙サイズの範囲内で指定ください。

Solaris 2.X で印刷する場合について (CLWDC)

- ▶ ハーフトーンまたは CRD を複数指定する場合、カンマで区切つての指定はできません。個別に"-y"で指定を行って下さい。

例: `% lp -y co=ST -y co=DG -y crd=PT -y crd=BG filename`

両面印刷を行う場合について

- ▶ 両面印刷を行う場合、手差し用紙からの給紙はできません(DC1250)。両面ユニットの装着されていないプリンタでは、両面印刷はできません。

ヘッダ/フッタオプション(-Hd= position:format:page、-Hfheaderfont)について (euc2ps2,sunras2ps2/sunras2g4,tiff2ps2/tiff2g4,xwd2ps2/xwd2g4,fxpof,fxpvf,fxoption)

- ▶ オプション使用時に同時に用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。(オプション使用して変換後の PostScript ファイルに対して lp コマンド時のオプション等で用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの印刷位置は変更されません)
- ▶ オプション使用時には余白が自動的に指定されます。余白指定オプションを同時に使用する場合、下記の自動的に指定される値より小さい値の場合は無視されます。

テキストの場合

上余白 0.23 インチ
下余白 0.06 インチ
右余白 0.03 インチ
左余白 0.09 インチ

画像の場合

下余白 0.3 インチ

- ▶ オプション使用時には行数、桁数の指定は無視されます。また、横向き、2 段組の指定は使用できません。

-
- ▶ PostScript ファイルで全ページ出力指定を行っても出力されない場合があります。その際は先頭ページのみ出力の指定を行ってください。
 - ▶ Solaris では lp コマンド使用時に使用できません。

TBCP フィルターについて (Sun/Solaris/Linux/HP-UX)

- ▶ TBCP フィルターの有効/無効を指定できるプリンタは必ず、有効に設定してください。

オプションの組合せによる制限について

- ▶ オプションによっては、組合せにより制限のあるオプションがあります。以下の組合せを指定された場合、`euc2ps2`、`tiff2ps2`、`tiff2g4`、`xwd2ps2`、`xwd2g4`、`fxoption` ではエラーとなります。また `fxpif`、`fxpvf`、`fxpg4f` では適切なデフォルト値に変換を行います。そのため、オプションで指定した通りの動作を行わない場合があります。

付録

A ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合

[Sun/Linux]

注記 ▶ Linux (LPRng) の場合は別紙の設定をご覧ください。

UNIX フィルターは、プリンタにインターフェイスボードを装着すると、プリンタがネットワークに直結した環境で印刷することができます。本製品では、このような環境下での使用に対して、サンプルスクリプトを用意しています。Solaris 2.X 以降の OS でご利用の場合は、これらのサンプルプログラムを使用する必要はありません。リモートプリンタの設定を行うことで、ネットワークに直結した環境で印刷することができます。Solaris 2.X 以降の OS でご利用の場合は、「A.2 Solaris 2.4 以上の OS を使用する場合」を参照してください。

以下に、これらのソフトウェアについて説明します。

注記 ▶ このソフトウェアはサンプルプログラムとして提供しておりますので、動作は保証できません。不具合が発生した場合は、サンプルプログラムを修正して使用してください。

A.1 サンプルスクリプトを使用する場合

サンプルスクリプトを使用した環境で印刷処理を行う場合、クライアントホストから送られた出力をプリントサーバーで受けた際に、起動されるフィルターが変換後、データを直接プリンタに送り、これによって余分となるプリントサーバーに送られたデータの本来の出力を/dev/nullに出すことによって消滅させます。

以下は、インストール時に/etc/printcap に追加される部分です。rm=では、プリンタに割り当てられているホスト名を指定し、rp=には PS と指定します。下記は、rm=dc1250 を指定し、rp=PS を指定した例です。

```
net_LBP|RemoteDocuPrint|No depends on TRAY and PAPER:\
:lp=/dev/null:sd=/var/spool/lbp:\
:lf=/usr/adm/lbd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:\
:if=/usr/lib/fxps1250/fxpif_sample.sh:\
:sb:sf:mx#0:
RLP|RemoteDocuPrint|No depends on TRAY and PAPER:\
:lp=:rp=PS:rm=dc1250:sd=/var/spool/rlbp:\
:lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
```

これらは、#によってコメントアウトされています。#を削除して有効にしてください。

A.2 Solaris2.4 以上のOSを使用する場合

Solaris 2.4 以上の OS では、リモートプリンタの設定を行うことで、ネットワークに直結した環境で印刷することができます。操作手順は、「2.5.1 インストール/プリンタの設定」を参照してください。

B 使用できるフォント

UNIX フィルターを用いてプリンタで使用できるフォントは次のとおりです。

B.1 日本語フォント

フォントを指定する場合は、「-jf」オプションに続けて、プリンタに搭載されている全角の PostScript フォント名をそのまま記述して下さい。

プリンタに搭載されていない PostScript フォントは利用できません。

例： `% euc2ps2 -jfFutoGoB101-Bold-H filename`

使用できる日本語フォントは次のとおりです。

- Ryumin-Light-H
- GothicBBB-Medium-H
- FutoGoB101-Bold-H
- FutoMinA101-Bold-H
- Jun101-Light-H
- HeiseiKakuGo-W5-H
- HeiseiMin-W3-H

B.2 欧文フォント

フォントを指定する場合は、「-f」オプションに続けて、プリンタに搭載されている半角の PostScript フォント名をそのまま記述して下さい。

プリンタに搭載されていない PostScript フォントは利用できません。

例： `% euc2ps2 -fTimesNewRomanPS-BoldItalicMT filename`

使用できる欧文フォントは次のとおりです。

● 全角の日本語フォントを半角でも使用したい場合の
フォント名

- FutoGoB101-Bold-RKSJ-H
- FutoMinA101-Bold-RKSJ-H
- Jun101-Light-RKSJ-H
- GothicBBB-Medium-RKSJ-H
- Ryumin-Light-RKSJ-H
- HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
- HeiseiMin-W3-RKSJ-H

● 半角英数字フォント

- AdobeSansMM
- AlbertusMT
- AlbertusMT-Italic
- AlbertusMT-Light
- AntiqueOlive-Bold
- AntiqueOlive-Compact
- AntiqueOlive-Italic
- AntiqueOlive-Roman
- AntiqueOliveCE-Bold
- AntiqueOliveCE-Compact
- AntiqueOliveCE-Italic
- AntiqueOliveCE-Roman
- Apple-Chancery
- Apple-ChanceryCE
- Arial-BoldItalic
- Arial-BoldItalicMT
- Arial-BoldMT
- ArialCE
- ArialCE-Bold

- ArialCE-BoldItalic
- ArialCE-Italic
- Arial-ItalicMT
- ArialMT
- AvantGarde-Book
- AvantGarde-BookOblique
- AvantGarde-Demi
- AvantGarde-DemiOblique
- AvantGardeCE-Book
- AvantGardeCE-BookOblique
- AvantGardeCE-Demi
- AvantGardeCE-DemiOblique
- Bodoni
- Bodoni-Bold
- Bodoni-BoldItalic
- BodoniCE
- BodoniCE-Bold
- BodoniCE-BoldItalic
- BodoniCE-Italic
- BodoniCE-Poster
- BodoniCE-PosterCompressed
- Bodoni-Italic
- Bodoni-Poster
- Bodoni-PosterCompressed
- BookmanCE-Demi
- BookmanCE-DemiItalic
- BookmanCE-Light
- BookmanCE-LightItalic
- Bookman-Demi

- Bookman-DemiItalic
- Bookman-Light
- Bookman-LightItalic
- Carta
- Chicago
- ChicagoCE
- Clarendon
- Clarendon-Bold
- ClarendonCE
- ClarendonCE-Bold
- ClarendonCE-Light
- Clarendon-Light
- CooperBlack
- CooperBlack-Italic
- Copperplate-ThirtyThreeBC
- Copperplate-ThirtyTwoBC
- CoronetCE-Regular
- Coronet-Regular
- Courier
- Courier-Bold
- Courier-BoldOblique
- Courier-Oblique
- CourierCE
- CourierCE-Bold
- CourierCE-BoldOblique
- CourierCE-Oblique
- Eurostile
- Eurostile-Bold
- Eurostile-BoldExtendedTwo
- Eurostile-ExtendedTwo
- EurostileCE
- EurostileCE-Bold
- EurostileCE-BoldExtendedTwo
- EurostileCE-ExtendedTwo
- Geneva
- GenevaCE
- GillSans
- GillSans-Bold
- GillSans-BoldCondensed
- GillSans-BoldItalic
- GillSans-Condensed
- GillSans-ExtraBold
- GillSans-Italic
- GillSans-Light
- GillSans-LightItalic
- GillSansCE-Bold
- GillSansCE-BoldCondensed
- GillSansCE-BoldItalic
- GillSansCE-Condensed
- GillSansCE-ExtraBold
- GillSansCE-Italic
- GillSansCE-Light
- GillSansCE-LightItalic
- GillSansCE-Roman
- Goudy
- Goudy-Bold
- Goudy-BoldItalic
- Goudy-ExtraBold
- Goudy-Italic
- Helvetica
- Helvetica-Bold
- Helvetica-BoldOblique
- Helvetica-Condensed
- Helvetica-Condensed-Bold
- Helvetica-Condensed-BoldObl
- Helvetica-Condensed-Oblique
- Helvetica-Narrow
- Helvetica-Narrow-Bold
- Helvetica-Narrow-BoldOblique
- Helvetica-Narrow-Oblique
- Helvetica-Oblique
- HelveticaCE
- HelveticaCE-Bold
- HelveticaCE-BoldOblique
- HelveticaCE-Cond
- HelveticaCE-CondBold
- HelveticaCE-CondBoldObl
- HelveticaCE-CondObl
- HelveticaCE-Narrow
- HelveticaCE-NarrowBold
- HelveticaCE-NarrowBoldOblique
- HelveticaCE-NarrowOblique
- HelveticaCE-Oblique
- HoeflerText-Black
- HoeflerText-BlackItalic
- HoeflerText-Italic
- HoeflerText-Ornaments
- HoeflerText-Regular
- HoeflerTextCE-Black
- HoeflerTextCE-BlackItalic
- HoeflerTextCE-Italic
- HoeflerTextCE-Regular
- JoannaMT
- JoannaMT-Bold
- JoannaMT-BoldItalic
- JoannaMT-Italic
- JoannaMTCE
- JoannaMTCE-Bold
- JoannaMTCE-BoldItalic
- JoannaMTCE-Italic
- LetterGothic
- LetterGothic-Bold
- LetterGothic-BoldSlanted
- LetterGothic-Slanted
- LetterGothicCE
- LetterGothicCE-Bold
- LetterGothicCE-BoldSlanted
- LetterGothicCE-Slanted
- LubalinGraph-Book
- LubalinGraph-BookOblique
- LubalinGraph-Demi
- LubalinGraph-DemiOblique
- LubalinGraphCE-Book
- LubalinGraphCE-BookOblique
- LubalinGraphCE-Demi
- LubalinGraphCE-DemiOblique

- Marigold
- Monaco
- MonacoCE
- MonaLisa-Recut
- NewCenturySchlbk-Bold
- NewCenturySchlbk-BoldItalic
- NewCenturySchlbk-Italic
- NewCenturySchlbk-Roman
- NewCenturySchlbkCE-Bold
- NewCenturySchlbkCE-BoldItalic
- NewCenturySchlbkCE-Italic
- NewCenturySchlbkCE-Roman
- NewYork
- NewYorkCE
- Optima
- Optima-Bold
- Optima-BoldItalic
- Optima-Italic
- OptimaCE-Bold
- OptimaCE-BoldItalic
- OptimaCE-Italic
- OptimaCE-Roman
- Oxford
- Palatino-Bold
- Palatino-BoldItalic
- PalatinoCE-Bold
- PalatinoCE-BoldItalic
- PalatinoCE-Italic
- PalatinoCE-Roman
- Palatino-Italic
- Palatino-Roman
- StempelGaramond-Bold
- StempelGaramond-BoldItalic
- StempelGaramond-Italic
- StempelGaramond-Roman
- StempelGaramondCE-Bold
- StempelGaramondCE-BoldItalic
- StempelGaramondCE-Italic
- StempelGaramondCE-Roman
- Symbol
- Tekton
- Times-Bold
- Times-BoldItalic
- Times-Italic
- Times-Roman
- TimesCE-Bold
- TimesCE-BoldItalic
- TimesCE-Italic
- TimesCE-Roman
- TimesNewRomanCE
- TimesNewRomanCE-Bold
- TimesNewRomanCE-BoldItalic
- TimesNewRomanCE-Italic
- TimesNewRomanPS-BoldItalicMT
- TimesNewRomanPS-BoldMT
- TimesNewRomanPS-ItalicMT
- TimesNewRomanPSMT
- Univers
- Univers-Bold
- Univers-BoldExt
- Univers-BoldExtObl
- Univers-BoldOblique
- Univers-Condensed
- Univers-CondensedBold
- Univers-CondensedBoldOblique
- Univers-CondensedOblique
- Univers-Extended
- Univers-ExtendedObl
- Univers-Light
- Univers-LightOblique
- Univers-Oblique
- UniversCE-Bold
- UniversCE-BoldExt
- UniversCE-BoldExtObl
- UniversCE-BoldOblique
- UniversCE-Condensed
- UniversCE-CondensedBold
- UniversCE-CondensedBoldOblique
- UniversCE-CondensedOblique
- UniversCE-Extended
- UniversCE-ExtendedObl
- UniversCE-Light
- UniversCE-LightOblique
- UniversCE-Medium
- UniversCE-Oblique
- Wingdings-Regular
- ZapfChanceryCE-MediumItalic
- ZapfChancery-MediumItalic
- ZapfDingbats

C UNIX フィルターのアンインストール

UNIX フィルターは、アンインストーラを提供していません。UNIX フィルターをアンインストールする場合は以下の手順に従ってアンインストールを行って下さい。

注記 ▶ ここにある操作はスーパーユーザーになって、行って下さい。スーパーユーザーの権限を持っていない場合、システム管理者に操作を依頼してください。

C.1 SunOS 4.x/Linuxの場合

① インストール時に UNIX フィルターを格納したディレクトリおよび、ディレクトリ以下のファイルを全て削除します。削除を行うディレクトリは以下の通りです。

- DocuPrint C1250、DocuColor 1250/1250 CP、DocuCentre Color 500/500 CP
 - /usr/local/fxbin1250
 - /usr/local/fxetc1250
 - /usr/lib/fxps1250
- DocuPrint C2220/C2221、DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、DocuCentre C2100
 - /usr/local/fxbin2220
 - /usr/local/fxetc2220
 - /usr/lib/fxps2220
- DocuPrint C3530、DocuPrint C3540/C3140/C3250、DocuPrint C2426、DocuPrint C2424、DocuPrint C3200 A、DocuPrint C5450、DocuPrint C3050、DocuPrint C2250、DocuPrint C3360、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250、DocuCentre C2101/C1101、ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I、DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、ApeosPort -II C4300/C3300/C2200、DocuCentre-II C4300/C3300/C2200、ApeosPort -II C7500/C6500/C5400、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、ApeosPort-III C4400、DocuCentre-III C4400、ApeosPort-III C4405、DocuCentre-III C4405、ApeosPort-III C7600/C6500/C5500、DocuCentre-III C7600/C6500/C5500、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C2260、DocuCentre-IV C2263
 - /usr/local/fxbin3530
 - /usr/local/fxetc3530
 - /usr/lib/fxps3530
- Color Laser Wind 3320PS、DocuPrint C625PS/C626PS
 - /usr/local/fxbin3320
 - /usr/local/fxetc3320
 - /usr/lib/fxps3320

ここに示したディレクトリは、インストール時の標準ディレクトリです。その他のディレクトリにインストールを行った場合は、そのディレクトリを削除して下さい。

② /etc/printcap から、各プリンタ用の記述を削除します。

- ③ スプールディレクトリ等を削除します

C.2 Solarisの場合

- ① システムに登録されているプリンタの削除を行います。インストール時に設定したプリンタ名を用いて `lpadmin` コマンドを用いて行います。

```
# lpadmin -x printername
```

- ② システムに登録したフィルターの削除を行います。インストール時に登録を行ったフィルターを、`lpfilter` コマンドを用いて削除します。

- DocuPrint C1250、DocuColor 1250/1250 CP、DocuCentre Color 500/500 CP

DocuPrint C1250、DocuColor 1250/1250 CP 用

```
# lpfilter -f FXDCL1250 -x
```

DocuCentre Color 500/500 CP 用

```
# lpfilter -f FXDCC500 -x
```

共通利用

```
# lpfilter -f FXdownload1250 -x
```

```
# lpfilter -f FXpostio1250 -x
```

```
# lpfilter -f posteuc1250 -x
```

- DocuPrint C2220/C2221、DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP

DocuCentre C2100

DocuPrint C2220 用

```
# lpfilter -f FXDPC2220 -x
```

DocuPrint C2221 用

```
# lpfilter -f FXDPC2221 -x
```

DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP 用

```
# lpfilter -f FXDCC400 -x
```

DocuCentre C2100 用

```
# lpfilter -f FXDCC2100 -x
```

共通利用

```
# lpfilter -f FXdownload2220 -x
```

```
# lpfilter -f FXpostio2220 -x
```

```
# lpfilter -f posteuc2220 -x
```

- DocuPrint C3530、DocuPrint C3540/C3140/C3250、DocuPrint C2426、DocuPrint C2424、DocuPrint C3200 A、DocuPrint C5450、DocuPrint C2250、DocuPrint C3360、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250、DocuCentre C2101/C1101、ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I、DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、ApeosPort -II C4300/C3300/C2200、DocuCentre-II C4300/C3300/C2200、ApeosPort -II C7500/C6500/C5400、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、ApeosPort-III C4400、DocuCentre-III C4400、ApeosPort-III C4405、DocuCentre-III C4405、ApeosPort -III C7600/C6500/C5500、DocuCentre-III C7600/C6500/C5500、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C2260、DocuCentre-IV C2263

DocuPrint C3530 用

```
# lpfilter -f FXDPC3530 -x
```

```
DocuPrint C3540/C3140/C3250 用
    # lpfilter -f FXDPC3540 -x
DocuPrint C2426 用
    # lpfilter -f FXDPC2426 -x
DocuPrint C2424 用
    # lpfilter -f FXDPC2424 -x
DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250 用
    # lpfilter -f FXDCCf450 -x
DocuCentre C2101/C1101 用
    # lpfilter -f FXDCC2101 -x
ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I 用
    # lpfilter -f FXAPC4535 -x
DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I 用
    # lpfilter -f FXDCC4535 -x
ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I 用
    # lpfilter -f FXAPC6550 -x
DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I 用
    # lpfilter -f FXDCC6550 -x
DocuPrint C3200 A 用
    # lpfilter -f FXDPC3200A -x
ApeosPort-II C4300/C3300/C2200 用
    # lpfilter -f FXAP2C4300 -x
DocuCentre-II C4300/C3300/C2200 用
    # lpfilter -f FXDC2C4300 -x
DocuPrint C5450 用
    # lpfilter -f FXDPC5450 -x
ApeosPort-II C7500/C6500/C5400 用
    # lpfilter -f FXAP2C7500 -x
DocuCentre-II C7500/C6500/C5400 用
    # lpfilter -f FXDC2C7500 -x
ApeosPort-III C7600/C6500/C5500 用
    # lpfilter -f FXAP3C7600 -x
DocuCentre-III C7600/C6500/C5500 用
    # lpfilter -f FXDC3C7600 -x
DocuPrint C3050 用
    # lpfilter -f FXDPC3050 -x
ApeosPort-III C3300/C2200 用
    # lpfilter -f FXAP3C3300 -x
DocuCentre-III C3300/C2200 用
    # lpfilter -f FXDC3C3300 -x
ApeosPort-III C3305/C2205 用
    # lpfilter -f FXAP3C3305 -x
DocuCentre-III C3305/C2205 用
    # lpfilter -f FXDC3C3305 -x
ApeosPort-III C4400 用
    # lpfilter -f FXAP3C4400 -x
DocuCentre-III C4400 用
    # lpfilter -f FXDC3C4400 -x
ApeosPort-III C4405 用
    # lpfilter -f FXAP3C4405 -x
DocuCentre-III C4405 用
    # lpfilter -f FXDC3C4405 -x
DocuPrint C2250 用
    # lpfilter -f FXDPC2250 -x
DocuPrint C3360 用
```

```

# lpfiler -f FXDPC3360 -x
DocuPrint C3350 用
# lpfiler -f FXDPC3350 -x
DocuPrint C5000 d 用
# lpfiler -f FXDPC5000d -x
ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270 用
# lpfiler -f FXAP4C5570 -x
DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270 用
# lpfiler -f FXDC4C5570 -x
ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用
# lpfiler -f FXAP4C5575 -x
DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用
# lpfiler -f FXDC4C5575 -x
ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用
# lpfiler -f FXAP4C7780 -x
DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580 用
# lpfiler -f FXDC4C7780 -x
DocuCentre-IV C2260 用
# lpfiler -f FXDC4C2260 -x
DocuCentre-IV C2263 用
# lpfiler -f FXDC4C2263 -x
共通利用
# lpfiler -f Fxdownload3530 -x
# lpfiler -f Fxpostio3530 -x
# lpfiler -f posteuc3530 -x
・ Color Laser Wind 3320PS、DocuPrint C625PS/C626PS
Color Laser Wind 3320PS 専用
# lpfiler -f FXLW3320 -x
DocuPrint C625PS/C626PS 専用
# lpfiler -f FXDPC625 -x
共通利用
# lpfiler -f FXdownload3320 -x
# lpfiler -f FXpostio3320 -x
# lpfiler -f posteuc3320 -x

```

③ フィルターを呼び出すためのシンボリックリンクファイルを削除します。

/usr/lib/lp/postscript 下の、以下に示すファイルを削除します。

- ・ DocuPrint C1250、DocuColor 1250/1250 CP、DocuCentre Color 500/500 CP
 - posteuc1250
 - postfxps1250
 - fxbinpath1250
- ・ DocuPrint C2220/C2221、DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、DocuCentre C2100
 - posteuc2220
 - postfxps2220
 - fxbinpath2220
- ・ DocuPrint C3530、DocuPrint C3540/C3140/C3250、DocuPrint C2426、DocuPrint C2424、DocuPrint C3200 A、DocuPrint C5450、DocuPrint C3050、DocuPrint C2250、DocuPrint C3360、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250、DocuCentre C2101/C1101、ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I、DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I、

ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、
 ApeosPort –II C4300/C3300/C2200、DocuCentre-II C4300/C3300/C2200、
 ApeosPort –II C7500/C6500/C5400、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、
 ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、
 ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、
 ApeosPort-III C4400、DocuCentre-III C4400、
 ApeosPort-III C4405、DocuCentre-III C4405、
 ApeosPort –III C7600/C6500/C5500、DocuCentre-III C7600/C6500/C5500、
 ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、
 ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、
 ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、
 DocuCentre-IV C2260、DocuCentre-IV C2263

posteuc3530
 postfxps3530
 fxbinpath3530

- ・ Color Laser Wind 3320PS、DocuPrint C625PS/C626PS

posteuc3320
 postfxps3320
 fxbinpath3320

- ④ Solaris 2.6 以降を使用している場合は、/usr/lib/lp/model にある

"DocuPrintC1250"、"DocuCentreColor500"、
 "DocuPrintC2220"、"DocuPrintC2221"、"DocuCentreColor400"、
 "DocuCentreC2100"、
 "DocuPrintC3530"、"DocuPrintC3540"、"DocuPrintC2426"、"DocuPrintC2424"、
 "DocuPrintC3200A"、"DocuPrintC5450"、"DocuPrintC3050"、
 "DocuPrintC2250"、"DocuPrintC3360"、"DocuPrint C3350"、"DocuPrintC5000d"、
 "DocuCentreColorf450"、"DocuCentreC2101"、
 "ApeosPortC4535"、"DocuCentreC4535"、
 "ApeosPortC6550"、"DocuCentreC6550"、
 "ApeosPort2C4300"、"DocuCentre2C4300"、
 "ApeosPort2C7500"、"DocuCentre2C7500"、
 "ApeosPort3C3300"、"DocuCentre3C3300"、
 "ApeosPort3C3305"、"DocuCentre3C3305"、
 "ApeosPort3C4400"、"DocuCentre3C4400"、
 "ApeosPort3C4405"、"DocuCentre3C4405"、
 "ApeosPort3C7600"、"DocuCentre3C7600"、
 "ApeosPort4C5570"、"DocuCentre4C5570"、
 "ApeosPort4C5575"、"DocuCentre4C5575"、
 "ApeosPort4C7780"、"DocuCentre4C7780"、
 "DocuCentre4C2260"、"DocuCentre4C2263"、
 "LaserWind3320"、"DocuPrintC625"

インターフェースプログラムファイルを削除します。

また、/etc/lp/interfaces 下の、"登録したプリンタ名"のインターフェースプログラムファイルも削除します。

- ⑤ インストール時に UNIX フィルターを格納したディレクトリおよび、ディレクトリ以下のファイルを全て削除します。削除を行うディレクトリは以下の通りです。

- ・ DocuPrint C1250、DocuColor 1250/1250 CP、DocuCentre Color 500/500 CP
 /usr/local/fxbin1250

- DocuPrint C2220/C2221、DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、DocuCentre C2100
/usr/local/fxbin2220
 - DocuPrint C3530、DocuPrint C3540/C3140/C3250、DocuPrint C2426、DocuPrint C2424、DocuPrint C3200 A、DocuPrint C5450、DocuPrint C3050、DocuPrint C2250、DocuPrint C3360、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250、DocuCentre C2101/C1101、ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I、DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、ApeosPort -II C4300/C3300/C2200、DocuCentre-II C4300/C3300/C2200、ApeosPort -II C7500/C6500/C5400、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、ApeosPort-III C4400、DocuCentre-III C4400、ApeosPort-III C4405、DocuCentre-III C4405、ApeosPort -III C7600/C6500/C5500、DocuCentre-III C7600/C6500/C5500、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C2260、DocuCentre-IV C2263
/usr/local/fxbin3530
 - Color Laser Wind 3320PS、DocuPrint C625PS/C626PS
/usr/local/fxbin3320
- ⑥ フィルター記述ファイルを削除します。/etc/lp/fd 下の、以下に示すファイルを削除します。各プリンタ用フィルター記述ファイル
- DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP、DocuCentre Color 500/500 CP
DocuPrint C1250/DocuColor 1250/1250 CP 用
FXDCL1250.fd
DocuCentre Color 500/500 CP 用
FXDCC500.fd
共通利用
fxdownload1250.fd
fxpostio1250.fd
posteuc1250.fd
 - DocuPrint C2220/C2221、DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP、DocuCentre C2100
DocuPrint C2220 用
FXDPC2220.fd
DocuPrint C2221 用
FXDPC2221.fd
DocuCentre Color 400 CP/320 CP/240 CP/160 CP 用
FXDCC400.fd
DocuCentre C2100 用
FXDCC2100.fd
共通利用
FXdownload2220.fd
FXpostio2220.fd
posteuc2220.fd

- ・ DocuPrint C3530、DocuPrint C3540/C3140/C3250、DocuPrint C2426、DocuPrint C2424、DocuPrint C3200 A、DocuPrint C5450、DocuPrint C3050、DocuPrint C2250、DocuPrint C3360、DocuPrint C3350、DocuPrint C5000 d、DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250、DocuCentre C2101/C1101、ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I、DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I、ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I、DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I、ApeosPort-II C4300/C3300/C2200、DocuCentre-II C4300/C3300/C2200、ApeosPort-II C7500/C6500/C5400、DocuCentre-II C7500/C6500/C5400、ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200、ApeosPort-III C3305/C2205、DocuCentre-III C3305/C2205、ApeosPort-III C4400、DocuCentre-III C4400、ApeosPort-III C4405、DocuCentre-III C4405、ApeosPort-III C7600/C6500/C5500、DocuCentre-III C7600/C6500/C5500、ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270、DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C2260、DocuCentre-IV C2263
 - DocuPrint C3530 用
FXDPC3530.fd
 - DocuPrint C3540/C3140/C3250 用
FXDPC3540.fd
 - DocuPrint C2426 用
FXDPC2426.fd
 - DocuPrint C2424 用
FXDPC2424.fd
 - DocuPrint C3200 A 用
FXDPC3200A.fd
 - DocuPrint C5450 用
FXDPC5450.fd
 - DocuPrint C3050 用
FXDPC3050.fd
 - DocuPrint C2250 用
FXDPC2250.fd
 - DocuPrint C3360 用
FXDPC3360.fd
 - DocuPrint C3350 用
FXDPC3350.fd
 - DocuPrint C5000 d 用
FXDPC5000d.fd
 - DocuCentre Color f450/f360/f250/a450/a360/a250 用
FXDCCf450.fd
 - DocuCentre C2101/C1101 用
FXDCC2101.fd
 - ApeosPort C4535 I/C3626 I/C2521 I 用
FXAPC4535.fd
 - DocuCentre C4535 I/C3626 I/C2521 I 用
FXDCC4535.fd
 - ApeosPort C7550 I/C6550 I/C5540 I 用
FXAPC6550.fd
 - DocuCentre C7550 I/C6550 I/C5540 I 用
FXDCC6550.fd
 - ApeosPort-II C4300/C3300/C2200 用

FXAP2C4300.fd
DocuCentre-II C4300/C3300/C2200 用
FXDC2C4300.fd
ApeosPort-II C7500/C6500/C5400 用
FXAP2C7500.fd
DocuCentre-II C7500/C6500/C5400 用
FXDC2C7500.fd
ApeosPort-III C3300/C2200 用
FXAP3C3300.fd
DocuCentre-III C3300/C2200 用
FXDC3C3300.fd
ApeosPort-III C3305/C2205 用
FXAP3C3305.fd
DocuCentre-III C3305/C2205 用
FXDC3C3305.fd
ApeosPort-III C4400 用
FXAP3C4400.fd
DocuCentre-III C4400 用
FXDC3C4400.fd
ApeosPort-III C4405 用
FXAP3C4405.fd
DocuCentre-III C4405 用
FXDC3C4405.fd
ApeosPort-III C7600/C6500/C5500 用
FXAP3C7600.fd
DocuCentre-III C7600/C6500/C5500 用
FXDC3C7600.fd
ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270 用
FXAP4C5570.fd
DocuCentre-IV C5570/C4470/C3370/C2270 用
FXDC4C5570.fd
ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用
FXAP4C5575.fd
DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 用
FXDC4C5575.fd
ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580 用
FXAP4C7780.fd
DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580 用
FXDC4C7780.fd
DocuCentre-IV C2260 用
FXDC4C2260.fd
DocuCentre-IV C2263 用
FXDC4C2263.fd
共通利用
fxdownload3530.fd
fxpostio3530.fd
posteuc3530.fd

- Color Laser Wind 3320PS、DocuPrint C625PS/C626PS
Color Laser Wind 3320PS 用
FXLW3320.fd
DocuPrint C625PS/C626PS 用
FXDPC625.fd

共通利用

```
fxdownload3320.fd  
fxpostio3320.fd  
posteuc3320.fd
```

C.3 HP-UXの場合

- ① システムに登録されているプリンタの削除を行います。**sam** コマンドにてインストール時に設定したプリンタを削除します。

sam

- ② ファイルを全て削除します。削除を行うディレクトリは以下の通りです。

```
/usr/local/fxbin1250  
/usr/local/fxbin2220  
/usr/local/fxbin3530  
/usr/local/fxbin3320
```

(インストール時に指定したディレクトリとなります)

用語の説明

【EUC テキストファイル】

UNIX で日本語文字コードとして広く用いられている EUC 拡張 UNIX コード (EUC) で書かれたファイルです。

【PostScript 言語プログラム】

PostScript 言語で書かれたプログラムのことです。

【printcap ファイル】

プリンタの登録およびそれぞれのプリンタに対する属性の定義を行うためのファイルです。

【SunRaster ファイル】

SunOSで広く用いられているビットマップイメージフォーマットで作成されたイメージファイルです。

【TIFF ファイル】

画像処理の分野で広く用いられているビットマップイメージフォーマットで作成されたイメージファイルです。

【XWD ファイル】

X Window システムで広く用いられているビットマップイメージフォーマットで作成されたイメージファイルです。

【スーパーユーザー】

ログイン名が「root」で、マシンを管理するための権限を持っているユーザーです。

【リモートプリンタ】

リモートワークステーションから利用するプリンタのことです。

【リモートワークステーション】

プリンタとシリアルケーブルで接続されていないネットワーク上のワークステーションのことです。

【ローカルプリンタ】

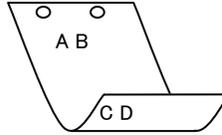
ローカルワークステーションから利用するプリンタのことです。

【ローカルワークステーション】

プリンタとシリアルケーブルで接続されたワークステーションのことです。

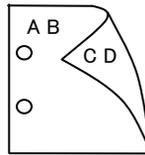
【短辺とじ両面印刷】

用紙の短いほうの辺をとじて両面印刷することです。



【長辺とじ両面印刷】

用紙の長いほうの辺をとじて両面印刷することです。



索引

.userhomedir.....445

E

euc2ps2.....213

F

FXAP2C4300.fd.....553
FXAP2C7500.fd.....558
FXAP3C3300.fd.....564
FXAP3C4400.fd.....576
FXAP3C4405.fd.....582
FXAP3C7600.fd.....588
FXAP4C5570.fd.....594
FXAP4C5575.fd.....600
FXAP4C7780.fd.....606
FXAPC4535.fd.....542
FXAPC6550.fd.....547
FXDC2C4300.fd.....553
FXDC2C7500.fd.....558
FXDC3C3300.fd.....564
FXDC3C3305.fd.....570
FXDC3C4400.fd.....576
FXDC3C4405.fd.....582
FXDC3C7600.fd.....588
FXDC4C2260.fd.....612
FXDC4C2263.fd.....618
FXDC4C5570.fd.....594
FXDC4C5575.fd.....600
FXDC4C7780.fd.....606
FXDCC2100.fd.....474
FXDCC2101.fd.....537
FXDCC400.fd.....469
FXDCC4535.fd.....542
FXDCC500.fd.....459
FXDCC6550.fd.....547
FXDCCf450.fd.....532
FXDCL1250.fd.....454
FXDPC2220.fd.....464
FXDPC2221.fd.....464
FXDPC2250.fd.....509
FXDPC2424.fd.....489
FXDPC2426.fd.....489
FXDPC3050.fd.....504
FXDPC3200A.fd.....494
FXDPC3350.fd.....521
FXDPC3360.fd.....515
FXDPC3530.fd.....479
FXDPC3540.fd.....484
FXDPC5000d.fd.....526
FXDPC5450.fd.....498
FXDPC625.fd.....628
FXLW3320.fd.....624
fxoption.....434
fxpg4f.....430
fxpif.....414
fxpof.....432

fxpvf.....428

P

posteuc1255.fd.....446
posteuc2220.fd.....448
posteuc3320.fd.....452
posteuc3530.fd.....450
printcap.....37, 40, 58

S

Solaris2.4 以上の OS を使用する場合.....641
Solaris からプリントする場合.....77
sunras2g4.....274
sunras2ps2.....246

T

tiff2g4.....330
tiff2ps2.....302

U

UNIX Filter の特長.....3
UNIX フィルター.....3

X

xwd2g4.....386
xwd2ps2.....358

あ

アンインストール.....645

い

インストール手順概要.....29
インストールでの手順操作 (HP-UX).....65
インストールの前提条件.....9

え

エラーメッセージ.....69

き

共通オプション.....82

こ

梱包内容.....7

さ

サンプルスクリプトを使用する場合.....641

し			
使用環境	4	リモートワークステーションでの操作 (Sun/Linux)	49 45
そ		ろ	
操作パネルからの設定	6	ローカルワークステーションでの操作 (Solaris)	41
た		ローカルワークステーションでの操作 (Sun/Linux)	33
対象プリンタ	5	論理プリンタ	80
ふ		わ	
フォント	642	ワークステーションでの操作 (Solaris)	61
プリント操作	72, 77	ワークステーションでの操作 (Sun/Linux)	54
り			
リモートワークステーションでの操作 (Solaris)			

サポートお問い合わせは...

この商品のセットアップ・操作・機能などについてのお問い合わせは、
エイセル株式会社 製品サポート係までご連絡ください。

エイセル株式会社 製品サポート係

E-Mail info-unixfilter@acel.co.jp
FAX 03-3230-0010
※受付時間 平日 9:30~12:00, 13:00~17:00
 土日・祝祭日・当社指定休日を除く
URL <http://www.acel.co.jp>

なお、お問い合わせいただく際には、以下の項目をご確認ください。

- UNIX Filter のバージョン
- ご使用中のパソコンの機種名および動作環境
- メモリ・ディスク容量や周辺機器の機種名など
- エラーメッセージが表示されている場合は、そのメッセージの内容
- 現象が起きた場合の詳細な手順がお分かりであれば、その内容

SunOS、Solaris、HP-UX、Linux 対応

PostScript®プリンタ用 ユーティリティソフトウェア

UNIX Filter ユーザーズガイド

2011年10月 第3版 第22刷

発行所 エイセル株式会社

住 所 〒102-0084 東京都 千代田区 二番町 9

著 作 者 ©Copyright 1998-2011 by エイセル株式会社

[本書の内容は、断りなく変更することがあります。]
